

基本目的Ⅲ 子育てと学び

「育てる幸せを感じ 生涯にわたり互いに学び続ける 家庭と文化を築くまち」

◆ 1 1 子育て

施策目的 社会全体で健やかな子どもの成長を支え、
子育ての喜びを感じられるまちになる

◆ 1 2 学校教育

施策目的 自ら学ぶ意欲とたくましく生きる力を身につけた
未来を担う子どもが育つまちになる

◆ 1 3 青少年

施策目的 心身ともに健全な子どもが育つ家庭や地域の教育力が高いまちになる

◆ 1 4 生涯学習

施策目的 生涯にわたって学び続けることができ、
生きがいと活力に満ちたまちになる

◆ 1 5 文化

施策目的 地域の歴史や伝統、芸術や文化に誇りをもち、
魅力ある文化を育み、心豊かに暮らせるまちになる

◆ 1 6 スポーツ

施策目的 スポーツを生活に取り入れ、誰もがスポーツを楽しめるまちになる

【令和6年度事業】実施計画書

整理番号	106	重要事業	○	総合戦略	○	担当部署	健康推進課 母子保健係
款・項・目		事業名		当初予算額 (R4)	当初予算額 (R5)	当初予算額 (R6)	
4・1・3		母子保健対策事業		66,444千円	64,175千円	64,378千円	

【総合計画との関連】

基本目的	▶III_育てる幸せを感じ生涯にわたり互いに学び続ける家庭と文化を築くまち
施策目的	▶11_社会全体で健やかな子どもの成長を支え子育ての喜びを感じられるまちになる
施策の方向	▶1_妊娠・出産・子育て期の切れ目のない支援

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	(1) 母性並びに乳幼児の健康の保持及び増進 <ul style="list-style-type: none"> ・不妊治療費助成（不妊・不育症に対して治療費助成） ・乳幼児健康診査、妊婦健康診査、多胎妊婦健康診査、産婦健康診査、新生児聴覚検査、妊婦歯科健康診査、妊婦初回産科受診料支援事業 ・健康相談（乳幼児発達相談、おひさま広場） ・健康教育（ママパパ学級、離乳食教室） ・保健指導、・家庭訪問、・未熟児養育医療給付 (2) 地域における子育て支援の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・母子保健推進員の育成と活動支援（乳児全戸訪問事業等）
	令和6年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

母子保健対策事業【重要事業】
【健康診査】 4か月児健康診査、10か月児健康診査、1歳6か月児健康診査、2歳児歯科健康診査、3歳児健康診査
【訪問指導】 乳幼児訪問指導、妊産婦訪問指導、新生児訪問指導、未熟児訪問指導
【健康相談】 乳幼児発達相談、乳幼児健康診査事後相談（おひさま広場）、乳幼児窓口相談、子育て相談（のびのび相談）、母子電話相談
【健康教育】 ママパパ学級、離乳食教室（見て学ぶスタート編、ステップアップ編）
【妊娠届出受理・母子健康手帳交付・妊婦健康診査受診票交付】 妊娠届出受理、母子健康手帳及び妊婦健康診査受診票の交付、保健指導
【妊婦健康診査】 第1回から第14回妊婦健康診査費用の一部を助成、医療機関委託
【新生児聴覚検査】 新生児聴覚検査費用の一部を助成、医療機関委託
【産婦健康診査】 産後2週間及び1か月の産婦健康診査費用の一部を助成、医療機関委託
【不妊治療費等助成】 不妊治療、不育症治療に要する費用の一部を助成
【母子保健推進員活動】 担当地区の母子に対し健康診査の受診勧奨や育児相談等を行い、市とのパイプ役として活動、母子保健事業の協力
【未熟児養育医療給付】 身体発育が未熟で生まれ入院を必要とする1歳未満の乳児に対し、入院治療にかかる医療費等を給付
【妊婦歯科健康診査】 妊婦の歯科健康診査を実施、医療機関委託
【多胎妊婦健康診査助成】 多胎妊婦の健康診査費用の一部を助成、医療機関委託
【妊婦初回産科受診料支援事業】【新規事業】全妊婦に対し、初回の産科受診料の一部又は全額を補助する

【事業スケジュール】

(単位：千円)

事業スケジュール	令和6年度	令和7年度	令和8年度
母子保健対策事業【重】 ・各種健康診査 ・健康相談 ・健康教育 ・訪問指導 ・不妊治療費助成 ・未熟児養育医療給付 ・地域における子育て支援 ・妊婦歯科健康診査 ・多胎妊婦健康診査助成 ・妊婦初回産科受診料支援事業 【新】	母子保健対策事業【重】 ・各種健康診査 ・健康相談 ・健康教育 ・訪問指導 ・不妊治療費助成 ・未熟児養育医療給付 ・地域における子育て支援 ・妊婦歯科健康診査 ・多胎妊婦健康診査助成 ・妊婦初回産科受診料支援事業	母子保健対策事業【重】 ・各種健康診査 ・健康相談 ・健康教育 ・訪問指導 ・不妊治療費助成 ・未熟児養育医療給付 ・地域における子育て支援 ・妊婦歯科健康診査 ・多胎妊婦健康診査助成 ・妊婦初回産科受診料支援事業	母子保健対策事業【重】 ・各種健康診査 ・健康相談 ・健康教育 ・訪問指導 ・不妊治療費助成 ・未熟児養育医療給付 ・地域における子育て支援 ・妊婦歯科健康診査 ・多胎妊婦健康診査助成 ・妊婦初回産科受診料支援事業
事業費	64,378	64,378	64,378
国庫	4,202	4,202	4,202
県費	1,222	1,222	1,222
市債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	58,954	58,954	58,954

【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度					
			R3	R4	R5	R6	R7	
総合計画指標	妊婦家庭訪問実施率	90.4	目標値	91.4	91.9	92.4	92.9	93.4
		単位：%	実績値	95.1	95.2	96.9	96.2	
総合計画指標	乳幼児健康診査受診率	98.3	目標値	98.4	98.4	98.4	98.5	98.5
		単位：%	実績値	98.6	98.9	98.6	99.3	
			目標値					
		単位：	実績値					
			目標値					
		単位：	実績値					

【令和6年度事業】事業評価調査

【事業の実績】

令和6年度予算額	63,050千円	令和6年度決算額	54,220千円
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ年	<p>■妊婦家庭訪問実施率 令和4年度 95.2%、令和5年度 96.9%、令和6年度 96.2%</p> <p>■乳幼児健康診査受診率 令和4年度 98.9%、令和5年度 98.6%、令和6年度 99.3%</p>		

【事業の評価】

【Check】 指標評価	A					
事業の 必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	<ul style="list-style-type: none"> ・妊婦家庭訪問及び乳幼児健康診査ともに目標値を上回っており、高い実施率や受診率を維持している。 ・妊娠中から家庭訪問を行う中で、個々のニーズに対応した行政サービスの紹介や個別相談を行うことで、高い妊婦訪問実施率を維持することができた。乳幼児健診における未受診者に対しては、状況を確認しながら健診勧奨を行うことで、高い受診率となっている。 					
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・妊婦の体調不良による入院及び早期からの里帰り等の理由により、妊婦訪問が未実施となっている方が一定数いる。適切な時期に訪問し支援できるよう、体調面を考慮しながら日程調整を行うことが必要である。 ・乳幼児健診の未受診者については、乳幼児健診フローチャートに基づき、健診勧奨及び必要な支援を行っていく。 					
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 (<input type="checkbox"/> 一部廃止)					
令和8年度 事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・年々支援を必要とする妊産婦及び乳幼児が増加している中、変化する対象者のニーズを把握しながら、よりきめ細やかな事業展開をする必要がある。また、関係機関と連携を図りながら虐待予防、保護者支援を行う必要がある。さらに、令和8年度の事業実施に向けた5歳児健診の取組についても検討を行う。 					
予算規模 見込み	<input type="checkbox"/> 同規模 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較					
備考						

【令和6年度事業】実施計画書

整理番号	107	重要事業	○	総合戦略	○	担当部署	健康推進課	母子保健係
款・項・目	事業名			当初予算額 (R4)	当初予算額 (R5)	当初予算額 (R6)		
4・1・3	妊娠・出産包括支援事業			23,837千円	65,410千円	70,567千円		

【総合計画との関連】

基本目的	▶III_育てる幸せを感じ生涯にわたり互いに学び続ける家庭と文化を築くまち
施策目的	▶11_社会全体で健やかな子どもの成長を支え.子育ての喜びを感じられるまちになる
施策の方向	▶1_妊娠・出産・子育て期の切れ目のない支援

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	安心して生み育てられるまちになるため、妊娠から出産・子育てまでの切れ目のない支援を行うことを目的とする。 保健センター内に母子保健コーディネーター及び困難事例対応スタッフを配置し、様々な機関の関係者との連携・情報の共有を図り、妊娠期から子育て期までワンストップで支援を行う。
	①「母子保健コーディネーター事業」 ②「産前産後サポート事業」 ③「産後ケア事業」 ④「出産・子育て応援給付金事業」 ⑤「子育て支援誕生祝品給付事業」

令和6年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

【母子保健コーディネーター事業】 【重要事業】

妊娠婦に必要な情報提供・関係機関と調整し必要な支援につなぐ、セルフプラン・支援プランの作成、定期的なフォローの実施、多言語音声翻訳アプリを用いた外国人支援、疾患を持つ者や未婚等の困難事例の妊娠婦への支援

【産前産後サポート事業】 【重要事業】

妊娠中・生後27日までの全戸訪問事業、産前産後サポート派遣事業、祖父母教室、子育てサロン、多胎妊娠交流事業、子育て支援モバイルサービス事業、子育て応援冊子配布事業、双子手帳の交付

【産後ケア事業】 【重要事業】

出産直後の産婦の健康面の悩みや育児不安などを解消するため、助産師による心身のケアや休養等の支援を行う事業（デイサービス型、アウトリーチ型、ショートステイ型）利用者の所得の状況にかかわらず、産後ケア事業を必要とする全ての産婦に対して利用者負担の減免支援を導入し、産後ケア事業を利用しやすい環境に整える。

【出産・子育て応援給付金事業】 【重要事業】

妊娠及び子育て世帯が安心して出産・子育てができるよう、妊娠期から出産・子育て期まで一貫して相談に応じ、必要な支援につなぐ伴走型相談支援を行うとともに、経済的支援を図る出産応援ギフト（妊娠1人あたり5万円）、子育て応援ギフト（出産児1人あたり5万円）を給付するする事業を一体的に行う。（今年度より、館林市デジタル地域通貨にて給付。）

【子育て支援誕生祝品給付事業】 【新規事業】

子どもの誕生に際し、早期に使用する品物を現物給付することで、子育て世帯の経済的な負担軽減を図るとともに、少子化対策へつなげる。

(単位：千円)

事業スケジュール	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	妊娠・出産包括支援事業【重】 ・母子保健コーディネーター事業 ・産前産後サポート事業 ・産後ケア事業 ・出産・子育て応援給付金事業 ・子育て支援誕生祝品給付事業【新】	妊娠・出産包括支援事業【重】 ・母子保健コーディネーター事業 ・産前産後サポート事業 ・産後ケア事業 ・出産・子育て応援給付金事業 ・子育て支援誕生祝品給付事業	妊娠・出産包括支援事業【重】 ・母子保健コーディネーター事業 ・産前産後サポート事業 ・産後ケア事業 ・出産・子育て応援給付金事業 ・子育て支援誕生祝品給付事業
事業費	70,567	70,567	70,567
国庫	41,925	41,925	41,925
県費	8,934	8,934	8,934
市債	0	0	0
その他	2,842	2,842	2,842
一般財源	16,866	16,866	16,866

【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
総合戦略 KPI	子育て支援モバイルサービス登録率	61.8	目標値	63.8	64.8	65.8	66.8
		単位：%	実績値	58.3	89.6	85.9	69.1
			目標値				
		単位：人	実績値				
			目標値				
		単位：	実績値				
			目標値				
		単位：	実績値				

【令和6年度事業】事業評価調査

【事業の実績】

令和6年度予算額	77,233千円	令和6年度決算額	72,168千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ年	<p>■子育て支援モバイルサービス登録率 令和4年度 89.6%、令和5年度 85.9%、令和6年度69.1%</p>			

【事業の評価】

【Check】 指標評価	A					
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	<p>子育て支援モバイルサービス登録率が令和5年度から16.8ポイント低下しているものの、目標値は上回る結果となつた。登録率の低下に関しては、令和5年度は産婦・新生児訪問の際にモバイルサービスの登録確認を行っていたのに対し、令和6年度は面談の際に周知するなど利用普及を図つたものの、子育て応援ギフト（給付金）や誕生祝い品の配付事務手続き等が増えたことにより、確認が徹底できなかつたことが一因と推測される。</p>					
課題	<p>特定妊婦や疾患を持つ妊婦、外国籍妊婦等の増加により、細やかな支援を必要とするケースが増加している。また、育児情報をインターネットに頼ったり、子どもと触れ合う経験のないまま親になる保護者も多く、育児不安を訴える保護者が増えており、重層的な支援が必要なケースが増えている。</p>					
【Action】 今後の方向性 ・内容	<p><input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> (一部廃止)</p> <ul style="list-style-type: none"> 年々支援を必要とする妊産婦、乳幼児が増加しており、様々に変化する対象者のニーズを十分に把握しながら、細やかな事業展開及び対応を実施する必要がある。また関係機関との連携を図りながら、虐待予防、育児支援を行う必要がある。 子どもの成長発達や発達に応じた遊びかたを様々な機会に周知し、育児支援を行っていく必要がある。 子育て支援モバイルサービスの更なる活用を促すため、タイムリーに情報を掲載し、妊娠届出時や妊産婦・新生児訪問の際にモバイルサービスについて周知をしていく。 					
令和8年度事業計画	<ul style="list-style-type: none"> 母子保健コーディネーター事業 産前産後サポート事業 産後ケア事業 妊婦のための支援給付事業（出産・子育て応援給付金事業から変更） 子育てサロン、多胎サロン 困難事例に対応する専門職の配置 子育て支援誕生祝品給付事業 					
予算規模見込み	<p><input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小</p>					
備考						

【令和6年度事業】実施計画書

整理番号	108	重要事業	○	総合戦略	担当部署	健康推進課 健康推進課	地域医療係 母子保健係
款・項・目		事業名		当初予算額 (R4)	当初予算額 (R5)	当初予算額 (R6)	
4・1・5		予防接種事業		227,830千円	224,355千円	222,775千円	

【総合計画との関連】

基本目的	▶II_地域で支え合い生涯健康で暮らせる幸福感の高いまち
基本目的	▶III_育てる幸せを感じ生涯にわたり互いに学び続ける家庭と文化を築くまち
施策目的	▶09_心身ともに健康でいきいきと暮らせるまちになる
施策目的	▶11_社会全体で健やかな子どもの成長を支え子育ての喜びを感じられるまちになる
施策の方向	▶8_感染症対策の充実
施策の方向	▶1_妊娠・出産・子育て期の切れ目のない支援

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	予防接種を行い、感染の恐れのある疾病の発症及びまん延を予防し、公衆衛生の向上及び増進を行う。 ①定期予防接種 ②任意予防接種費用の助成
	令和6年度事業計画（主要な事業とその取組内容）
予防接種【重点事業】 ※予防接種事業を接種対象により2つに分け、大人（成人）は地域医療係、子どもは母子保健係で対応。	
[定期予防接種] (子ども)：ロタ、B型肝炎、ヒブ、小児用肺炎球菌、四種混合、五種混合、二種混合、BCG、麻しん風しん、水痘、日本脳炎、子宮頸がん (成人)：風しん第5期、高齢者インフルエンザ、高齢者用肺炎球菌	
[任意接種費用の助成] (子ども)：おたふくかぜ、骨髄移植等の理由による定期予防接種ワクチン再接種、子宮頸がん予防ワクチンの任意接種費用の助成 (成人)：風しん、高齢者用肺炎球菌、帯状疱疹	

【事業スケジュール】

(単位：千円)

	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業スケジュール	予防接種【重】 ①定期予防接種 ・5種混合予防接種開始 ・風しん第5期延長（本年度終了） ・子宮頸がん予防ワクチンのうち、キャッチアップ接種（本年度終了） ・高齢者用肺炎球菌（65歳のみ） ②任意予防接種費用助成 ・おたふくかぜワクチン接種費用助成 ・骨髄移植等の理由による定期予防接種ワクチン再接種費用助成 ・子宮頸がん予防ワクチン任意接種費用助成（本年度終了） ・風しん（成人）ワクチン接種費用助成 ・高齢者用肺炎球菌ワクチン接種費用助成 ・帯状疱疹ワクチン接種助成	予防接種【重】 ①定期予防接種 ②任意予防接種費用助成 ・おたふくかぜワクチン接種費用助成 ・骨髄移植等の理由による定期予防接種ワクチン再接種費用助成 ・風しん（成人）ワクチン接種費用助成 ・高齢者用肺炎球菌ワクチン接種費用助成 ・帯状疱疹ワクチン接種助成	予防接種【重】 ①定期予防接種 ②任意予防接種費用助成 ・おたふくかぜワクチン接種費用助成 ・骨髄移植等の理由による定期予防接種ワクチン再接種費用助成 ・風しん（成人）ワクチン接種費用助成 ・高齢者用肺炎球菌ワクチン接種費用助成 ・帯状疱疹ワクチン接種助成
事業費	222,775	202,874	202,874
財源	国庫 1,068 県費 0 市債 0 その他 0 一般財源 221,707	0 0 0 0 202,874	0 0 0 0 202,874

【関連する指標】

	指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
活動指標	予防接種の接種率（麻しん風しん第1期）	91.7	目標値	92.8	93.4	93.9	94.5	95
		単位：%	実績値	98.5	109.3	96.3	96.2	
活動指標	予防接種の接種率（麻しん風しん第2期）	94.8	目標値	94.9	94.9	95	95	95
		単位：%	実績値	97.9	97.3	97.8	97.1	
			目標値					
		単位：	実績値					

【令和6年度事業】事業評価調査

【事業の実績】

令和6年度予算額	262,218千円	令和6年度決算額	247,705千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	<p>■予防接種の接種率（麻しん風しん第1期） 令和4年度：109.3%、令和5年度96.3%、令和6年度96.2%</p> <p>■予防接種の接種率（麻しん風しん第2期） 令和4年度：97.3%、令和5年度97.8%、令和6年度97.1%</p>			

【事業の評価】

【Check】 指標評価	A					
事業の 必要性	■ 高	政策の推進において不可欠な事業である	□ 中	政策の推進に寄与している事業である	□ 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の 有効性	■ 高	成果が高水準にある	□ 中	適切な成果が得られている	□ 低	成果が低水準にある
事業の 効率性	■ 高	費用対効果が高水準にある	□ 中	適切な費用対効果が得られている	□ 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	市民の健康のため、予防接種の実施は重要な事業である。 その成果においても、多様な接種勧奨により目標値を上回った。					
課題	予防接種の接種率の低下は、感染症の蔓延や市民の健康を損なう恐れがあるため、予防接種の重要性の周知や未受診者への接種勧奨を行うことで、高い接種率を維持していく。					
【Action】 今後 の 方向性 ・ 内容	<p>■ 繼続 □ 拡大 □ 改善 □ 代替 □ 統合 □ 縮小 □ 休止 □ 廃止 (□ 一部廃止)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 麻しん風しん予防接種の接種率は、今後も95%以上の維持を目標とする。 ・ 法律の改正により定期予防接種の種類に変更があった場合は、適宜対応していく。 					
令和8年度 事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ 定期予防接種の実施 ・ 任意予防接種の助成 					
予算規模 見込み	<p>■ 同規模 □ 拡大 □ 縮小</p> <p>※前年度比較</p>					
備考						

【令和6年度事業】実施計画書

整理番号	109	重要事業		総合戦略		担当部署	子育て支援課	子育て支援係
款・項・目		事業名		当初予算額 (R4)		当初予算額 (R5)	当初予算額 (R6)	
3・2・1		児童扶養手当支給事務		279,741千円		264,534千円	256,518千円	

【総合計画との関連】

基本目的	▶Ⅲ_育てる幸せを感じ生涯にわたり互いに学び続ける家庭と文化を築くまち
施策目的	▶11_社会全体で健やかな子どもの成長を支え.子育ての喜びを感じられるまちになる
施策の方向	▶2_地域子育て支援の推進

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	両親の離婚、死亡等により、ひとり親となった家庭等の生活の安定と自立を支援するため、一定の所得の範囲内で児童扶養手当を支給するもの。当該家庭の児童が健全に育成されることを目指す。（父または母がいても極めて重度の障がいがある時支給される場合あり。） ※母子家庭等の経済的負担の軽減に対処するため、昭和36年に児童扶養手法その他関係政令が整備されたことによる。
令和6年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
児童扶養手当支給事務 ・主な業務 認定請求の受付及び審査、手当支給、対象者への周知等、現況届受理、資格の取得・喪失、現況調査、各種変更等の事務を行う。 ・制度の概要については、毎年、広報・HPにて周知するほか、離婚や死亡等によりひとり親家庭になった場合、該当者へ児童扶養手当制度の説明を行い、申請可能な場合は認定請求の受付を行う。 ・支給月：奇数月（5月、7月、9月、11月、1月、3月）年6回 ・児童扶養手当額（R6.4～） 【全部支給】 45,500円～ 【一部支給】 45,490円～10,740円 子ども加算 2人目10,750～5,380円加算、3人目以降1人につき6,450円～3,230円加算	

【事業スケジュール】

(単位：千円)

事業 スケジュール	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	児童扶養手当支給事務	児童扶養手当支給事務	児童扶養手当支給事務
事業費	256,518	256,518	256,518
財源	国庫	84,805	84,805
	県費	0	0
	市債	0	0
	その他	1	1
	一般財源	171,712	171,712

【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
活動指標	児童扶養手当支給者人数	612	目標値	595	587	579	570
		単位：人	実績値	577	527	514	494
			目標値				
			実績値				
			目標値				
			実績値				
			目標値				
			実績値				

【令和6年度事業】事業評価調査

【事業の実績】

令和6年度予算額	261,018千円	令和6年度決算額	255,589千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ年	児童扶養手当受給者数 令和4年度 527人 259,945,130円 令和5年度 514人 254,529,220円 令和6年度 494人 253,569,700円			

【事業の評価】

【Check】 指標評価	—					
事業の 必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の 有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の 効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	国の政策による、児童扶養手当法に基づく給付事業（国庫補助事業）。ひとり親家庭の生活の安定と自立の促進に寄与した。					
課題	公的年金との併給が可能になるなど、制度が改正された。引き続き周知に取り組む必要がある。また、支給の資格があるかどうかの判断においてはプライベートな事情を確認する必要があるため、新規及び現況届の面談の際には受給者に十分配慮するように留意する必要がある。					
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> (一部廃止)					
児童扶養手当法に基づき、國の方針に従って対応する。受給者数は減少傾向にあるが、今後もひとり親世帯等の生活の安定には欠かせない必要性・重要性が増している経済支援制度である。令和6年11月分より制度改正となり、第三子以降の加算額が増額となった。また、受給者の所得制限緩和が実施された。						
令和8年度 事業計画	国の制度に対応し、事業を実施する。					
予算規模 見込み	<input type="checkbox"/> 同規模 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較					
備考						

【令和6年度事業】実施計画書

整理番号	110	重要事業		総合戦略		担当部署	子育て支援課	子育て支援係
款・項・目	事業名				当初予算額 (R4)	当初予算額 (R5)	当初予算額 (R6)	
3・2・1	児童手当支給事業				1,008,291 千円	957,788 千円	1,118,929千円	

【総合計画との関連】

基本目的	▶III_育てる幸せを感じ生涯にわたり互いに学び続ける家庭と文化を築くまち
施策目的	▶11_社会全体で健やかな子どもの成長を支え、子育ての喜びを感じられるまちになる
施策の方向	▶2_地域子育て支援の推進

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	次代の社会を担う児童の健やかな成長を支援するという趣旨のもとに、児童を養育する父母等に支給する。保護者の経済的不安を解消するとともに、今後、出産等を迎える若い世代に対し、子育てに関する安心感を与え、子育て支援の充実を図る。国の制度改正等に基づき支給する。
令和6年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
児童手当支給事業	
令和6年10月分より制度改正のため支給対象が拡充され、支給金額、支給月等が変更となる。	
○制度改正前（令和6年9月分以前）	
児童手当法に基づき、中学校修了前の児童を養育する世帯に対し、児童手当を支給する。	
・支給月：6月、10月	
・3歳未満月額一律 15,000円	
・3歳以上小学校修了前（第1子・第2子）月額一律10,000円、（第3子以降）月額一律15,000円	
・中学生 月額一律10,000円	
・所得制限限度額以上、所得上限限度額未満である者：月額一律5,000円	
・所得上限限度額以上である者：支給なし	
○制度改正後（令和6年10月分以降）	
児童手当法に基づき、高校生までの児童を養育する世帯に対し、児童手当を支給する。	
所得制限は撤廃となる。	
・支給月：偶数月（令和6年度は12月、2月）	
・3歳未満の第1・2子 月額一律15,000円	
・3歳以上高校生以下の第1・2子 月額一律10,000円	
・高校生以下の第3子以降 月額一律30,000円	

【事業スケジュール】

（単位：千円）

事業 スケジュール	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	児童手当支給事業	児童手当支給事業	児童手当支給事業
事業費	1,118,929	1,118,929	1,118,929
財源	国庫	770,766	770,766
	県費	172,548	172,548
	市債	0	0
	その他	0	0
	一般財源	175,615	175,615

【関連する指標】

活動指標	指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
活動指標	児童手当受給者延数	102,131	目標値	95,447	89,200	83,362	77,906	72,807
		単位：人	実績値	95,826	91,040	86,806	90,863	
			目標値					
		単位：	実績値					
			目標値					
		単位：	実績値					
			目標値					
		単位：	実績値					

【令和6年度事業】事業評価調査

【事業の実績】

令和6年度予算額	1,073,287 千円	令和6年度決算額	1,066,355 千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	児童手当受給者数延数 令和4年度 延 91,040人 989,700,000円 令和5年度 延 86,806人 946,530,000円 令和6年度 延 90,863人 1,059,050,000円			

【事業の評価】

【Check】 指標評価	—					
事業の 必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の 有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の 効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	国の政策による、児童手当法に基づく全国一律の給付事業（国庫及び県費補助事業）。子育て世帯の経済的負担を軽減することにより、子どもの生活環境の向上につながった。					
課題	令和6年10月の制度改正に伴い、支給対象児童の拡大、第3子以降分の支給金額の増加、大学生年代の経済的な負担のある児童を児童数として計上することとなった。上記に伴い、必要な手続が増加したため、受給者に対して周知を図る必要がある。					
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> (一部廃止)					
	児童手当法に基づき、國の方針に従って対応する。令和6年10月から、制度改正により所得制限の撤廃、支給対象児童の拡大、第3子以降分の手当が増額となった。 また、マイナポータルでの受付を引き続き実施し、受給者の利便性の向上を目指す。					
令和8年度 事業計画	国の制度に基づき、事業を実施する。					
予算規模 見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較					
備考						

【令和6年度事業】実施計画書

整理番号	111	重要事業	○	総合戦略	○	担当部署	子育て支援課	子育て支援係
款・項・目	事業名				当初予算額 (R4)	当初予算額 (R5)	当初予算額 (R6)	
3・2・1	地域子ども・子育て支援事業 (ファミリー・サポート・センター事業)				450 千円	450千円	200千円	

【総合計画との関連】

基本目的	▶III_育てる幸せを感じ生涯にわたり互いに学び続ける家庭と文化を築くまち
施策目的	▶11_社会全体で健やかな子どもの成長を支え、子育ての喜びを感じられるまちになる
施策の方向	▶2_地域子育て支援の推進

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	・「館林市子ども・子育て支援事業計画」に基づき、子育て支援の充実を図る事業の1つとして実施。 【ファミリー・サポート・センター事業】総合福祉センター指定管理者へ委託（実施主体：館林市社会福祉協議会） ・「育児の援助を受けたい人」と「育児の援助を行いたい人」で構成される会員組織で、アドバイザーが会員同士で子育てを支え合う活動の連絡、管理を行う。援助の一例：保育施設等への児童の送迎。冠婚葬祭、病気、外出の際の預かり等
	令和6年度事業計画（主要な事業とその取組内容） ファミリー・サポート・センター 利用者負担軽減補助金 低所得世帯の利用料金を一部助成する（市単独補助） ○補助の目的：低所得世帯の利用に対し、料金の一部助成を行うことにより、子育て世帯の経済的負担を軽減し、子育て支援の充実を図る。

【補助概要】

- ・健常児 利用 1時間あたり300円補助
- ・病児 利用 1時間あたり600円補助
- ・病後児 利用 1時間あたり400円補助

【事業スケジュール】

(単位：千円)

事業 スケジュール	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	・総合福祉センター指定管理者へ委託（館林市社会福祉協議会） ・利用者負担軽減補助（低所得世帯の利用料金一部助成）	・総合福祉センター指定管理者へ委託（館林市社会福祉協議会） ・利用者負担軽減補助（低所得世帯の利用料金一部助成）	・総合福祉センター指定管理者へ委託（館林市社会福祉協議会） ・利用者負担軽減補助（低所得世帯の利用料金一部助成）
事業費	200	200	200
財源	国庫	0	0
	県費	0	0
	市債	0	0
	その他	0	0
	一般財源	200	200

【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
総合戦略 KPI	ファミリー・サポート・センターの延べ登録者数	345	目標値	405	465	525	585
		単位：件	実績値	401	415	438	466
			目標値				
			実績値				
			目標値				
			実績値				
			目標値				
			実績値				

【令和6年度事業】事業評価調査

【事業の実績】

令和6年度予算額	200 千円	令和6年度決算額	44 千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	<p>①活動件数 令和4年度 1,149件 令和5年度 1,264件 令和6年度 912件</p> <p>②延べ登録者数 令和4年度 416人 令和5年度 438人 令和6年度 466人</p>			

【事業の評価】

【Check】 指標評価	C					
事業の 必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の 有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の 効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	前年と比較して活動件数の減少や登録者数及び市利用料補助の申請者数が伸び悩んでおり、さらなる事業の利用促進を図る必要があると考えられる。					
課題	まかせて会員数が思うように増えないため、地域の人々の子育て支援への参加を促すような周知方法等を検討する必要がある。 また、市利用料補助の申請者数が少ない現状を鑑み、館林市社会福祉協議会と連携し、登録者に対し更なる周知を図る必要がある。					
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> (一部廃止)					
まかせて会員の増加を図るための周知方法等を工夫するなど、館林市社会福祉協議会と連携し、事業のさらなる周知を図りながら継続して事業を実施する。						
令和8年度 事業計画	地域における子育て支援を活性化し、子育て世帯の負担軽減につなげるため、事業のさらなる周知を図りながら継続して事業を実施する。					
予算規模 見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較					
備考						

【令和6年度事業】実施計画書

整理番号	112	重要事業	○	総合戦略		担当部署	子育て支援課	こども相談係
款・項・目		事業名		当初予算額 (R4)	当初予算額 (R5)	当初予算額 (R6)		
3・2・1	地域で子どもを支えるネットワーク事業		2,200千円	2,200千円	2,200千円			

【総合計画との関連】

基本目的	▶Ⅲ_育てる幸せを感じ生涯にわたり互いに学び続ける家庭と文化を築くまち
施策目的	▶11_社会全体で健やかな子どもの成長を支え、子育ての喜びを感じられるまちになる
施策の方向	▶2_地域子育て支援の推進

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	子どもの貧困対策・虐待防止策として、地域における子どもの居場所の確保や地域の中で子どもたちを支える体制整備を進めていく。令和元（H31）年度より館林市社会福祉協議会に子どもに関わる相談と居場所づくりの立ち上げを担う「子どもの総合相談窓口事業」を委託している。
令和6年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
子どもの総合相談窓口事業委託	
①子どもに関わる相談を専用電話・メール・対面等で受け、解決できない場合は関係機関につなぐなど断らない窓口の役割を強化する。場合によっては、社協の【ふくしの総合相談窓口】とも連携し、子どもだけにとどまらない、その家庭の問題を総合的にアセスメントし必要な支援につなげ解決を図る。	
②子どもの居場所づくり支援事業	
子どもの居場所を立ち上げたい地域住民やボランティア団体に対して、必要な情報提供等を行い、市内の子どもの居場所の立ち上げにつなげる。	

【事業スケジュール】

(単位：千円)

事業 スケジュール	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	子どもの総合相談窓口事業委託	子どもの総合相談窓口事業委託	子どもの総合相談窓口事業委託
事業費	2,200	2,200	2,200
財源	国庫	1,100	1,100
	県費	550	550
	市債	0	0
	その他	0	0
	一般財源	550	550

【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
活動指標 子どもの居場所の数	2	目標値 実績値	2 2	2 2	3 3	3 3	4
	単位：						
		目標値 実績値					
		目標値 実績値					
		目標値 実績値					
		目標値 実績値					

【令和6年度事業】事業評価調査

【事業の実績】

令和6年度予算額	2,200千円	令和6年度決算額	2,200千円
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ年	子どもの居場所づくり支援事業（新規子どもの居場所立ち上げ） 令和4年度 0件 令和5年度 1件 令和6年度 0件		

【事業の評価】

【Check】 指標評価	A					
事業の 必要性	<input type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input checked="" type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の 有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の 効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	子どもの総合相談窓口事業を通じ、相談を受けた子どもがいる世帯に対し、行政をはじめとした適切な機関・支援につなぐことができた。また、子どもの居場所づくり支援としては、新規の居場所立ち上げは無かったものの相談を受ける実績はあった。今後も、居場所立ち上げ相談支援により、開設に向けて支援する体制整備は継続していく。					
課題	居場所づくりネットワーク会議等を活用し、現在活動している居場所同士の情報交換や人材確保等、必要な支援の検討を行う。また、新規居場所立ち上げ団体（個人）に対しても、支援の継続を行う。					
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> (一部廃止)					
コロナ禍の影響もあり、子どもの居場所を作る体制整備が進まない部分はあったが、今後も情報交換や相互支援を行えるよう事業を実施していく必要がある。						
令和8年度 事業計画	地域でこどもを支えるネットワーク事業（子どもの居場所づくり支援事業）					
予算規模 見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> ※前年度比較					
備考						

【令和6年度事業】実施計画書

整理番号	113	重要事業	○	総合戦略		担当部署	子育て支援課	子育て支援係
款・項・目		事業名		当初予算額 (R4)	当初予算額 (R5)	当初予算額 (R6)		
3・2・1	少子化対策事業（結婚新生活支援事業）		7,213 千円	11,215 千円	14,119 千円			

【総合計画との関連】

基本目的	▶III_育てる幸せを感じ生涯にわたり互いに学び続ける家庭と文化を築くまち
施策目的	▶11_社会全体で健やかな子どもの成長を支え、子育ての喜びを感じられるまちになる
施策の方向	▶2_地域子育て支援の推進

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	少子化対策事業【結婚支援生活支援事業】 本市においても、出生数が減少していることから、少子化が急加速で進んでおり課題となっている。 「結婚・出産・子育ての希望をかなえる」基本目標の「結婚を希望する人への支援」の取り組みの一つとして婚姻に伴う経済的負担軽減を減らし、結婚しやすい環境づくりを整備するもの。
	令和6年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

少子化対策事業（結婚新生活支援事業）
(概要) 新婚世帯に対し、結婚に伴う新生活のスタートアップに係るコストを支援する。
・補助対象：婚姻に伴う住宅取得費用又は、住宅賃借費用、引越費用、住宅リフォーム費用
・対象世帯：夫婦共に婚姻日における年齢が39歳以下かつ世帯所得500万円未満の新規に婚姻した世帯
・補助額：1世帯当たり上限30万円
夫婦ともに29歳以下の場合、1世帯当たり上限60万円

【事業スケジュール】

(単位：千円)

事業 スケジュール	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	結婚新生活支援事業 制度周知 相談 申請受付・審査 補助決定及び振込	結婚新生活支援事業 制度周知 相談 申請受付・審査 補助決定及び振込	結婚新生活支援事業 制度周知 相談 申請受付・審査 補助決定及び振込
事業費	14,119	14,119	14,119
財源	国庫 0	0	0
	県費 7,050	7,050	7,050
	市債 0	0	0
	その他 0	0	0
一般財源	7,069	7,069	7,069

【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
活動指標 結婚新生活支援事業申請件数	R3新規	目標値	10	19	29	38	48
	単位：件	実績値	18	25	28	33	
		目標値					
	単位：	実績値					
		目標値					
	単位：	実績値					
		目標値					
	単位：	実績値					

【令和6年度事業】事業評価調査

【事業の実績】

令和6年度予算額	14,119千円	令和6年度決算額	8,839千円
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ年	<p>結婚新生活支援事業申請件数・補助金額</p> <p>令和4年度 25件 5,004,000円 令和5年度 28件 7,421,000円 令和6年度 33件 8,822,000円</p>		

【事業の評価】

【Check】 指標評価	B					
事業の 必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の 有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の 効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	申請数は目標値に及ばなかったが、補助金申請時のアンケートにおいて、この制度に対する満足度が非常に高かった。					
課題	制度の周知を引き続き様々な手法でしていく必要がある。また、この事業は少子化対策事業であるため、府内関係各課との連携により進めていく必要がある。					
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 繼続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> (一部廃止)					
本事業は国の実施要領に基づいて事業を実施している。 引き続き新婚世帯に対し、結婚に伴う新生活のスタートアップに係るコストを支援する。 また、「こども誕生祝金支給事業」と抱き合わせの少子化対策事業として、事業を実施していく必要がある。						
令和8年度 事業計画	新婚世帯に対し、結婚に伴う新生活のスタートアップに係るコストを支援する。 ・補助対象：婚姻に伴う住宅取得費用又は、住宅賃借費用、引越費用、住宅リフォーム費用 ・対象世帯：夫婦共に婚姻日における年齢が39歳以下かつ世帯所得500万円未満の新規に婚姻した世帯 ・補助額：夫婦ともに29歳以下の場合 1世帯当たり上限60万円 上記以外の場合 1世帯当たり上限30万円					
予算規模 見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較					
備考						

【令和6年度事業】実施計画書

整理番号	114	重要事業	○	総合戦略		担当部署	子育て支援課	子育て支援係
款・項・目		事業名		当初予算額 (R4)	当初予算額 (R5)	当初予算額 (R6)		
3・2・1	少子化対策事業（こども誕生祝金支給事業）		12,113 千円	11,902 千円	10,121 千円			

【総合計画との関連】

基本目的	▶Ⅲ_育てる幸せを感じ生涯にわたり互いに学び続ける家庭と文化を築くまち
施策目的	▶11_社会全体で健やかな子どもの成長を支え、子育ての喜びを感じられるまちになる
施策の方向	▶2_地域子育て支援の推進

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	少子化対策事業【こども誕生祝金支給事業】 次代を担う子どもの誕生に祝意を示し、健やかな成長を願うとともに、子育て家庭を応援するため、お祝い金を支給する。
	令和6年度事業計画（主要な事業とその取組内容）
少子化対策事業（こども誕生祝金支給事業） (概要) 2段階のお祝い金とする事業	
①出生届後にその保護者を対象に新生児1人当たり1万円のぽんちゃんPay（ポイントで付与）を窓口即日交付。 →こどもが誕生したことを祝福する。	
②新生児が第3子以降の場合、申請内容を審査後、さらに10万円分のぽんちゃんPayを後日交付。 →少子化対策及び子育て家庭の負担軽減のため、第3子以降に手厚く給付する。	
○祝金：第1子（ぽんちゃんPay1万円分）、第2子（ぽんちゃんPay1万円分）、第3子以降（ぽんちゃんPay11万円分） ○積算：出生数は380人（令和6年度）と想定 第1子176人×1万円=176万円、第2子141人×1万円=141万円、第3子以降63人×11万円=693万円 祝金総額=1,010万円	

【事業スケジュール】

（単位：千円）

事業 スケジュール	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	こども誕生祝金支給事業 制度周知 申請受付・審査 補助決定及び給付	こども誕生祝金支給事業 制度周知 申請受付・審査 補助決定及び給付	こども誕生祝金支給事業 制度周知 申請受付・審査 補助決定及び給付
事業費	10,121	10,121	10,121
財源	国庫	0	0
	県費	0	0
	市債	0	0
	その他	0	0
	一般財源	10,121	10,121

【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
活動指標 こども誕生祝金給付件数（全出生数）	R4新規	目標値	-	400	380	380	380
	単位：件	実績値	-	335	294	259	
活動指標 こども誕生祝金給付件数（第三子以降）	R4新規	目標値	-	80	80	80	80
	単位：件	実績値	-	56	66	60	
		目標値					
	単位：	実績値					
		目標値					
	単位：	実績値					

【令和6年度事業】事業評価調査

【事業の実績】

令和6年度予算額	10,121千円	令和6年度決算額	9,208千円
【Do】事業実績(成果) ※過去3カ年			こども誕生日祝金支給件数・支給金額
令和4年度	合計 内訳	335人 第1子・第2子 第3子以降	8,950,000円 2,790,000円 6,160,000円
令和5年度	合計 内訳	360人 第1子・第2子 第3子以降	10,200,000円 2,940,000円 7,260,000円
令和6年度	合計 内訳	319人 第1子・第2子 第3子以降	9,190,000円 2,590,000円 6,600,000円

【事業の評価】

【Check】指標評価	C					
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	令和4年度に比べ、令和5年度の出生数が増えている。令和6年度は前年度に比べ出生数は減少し目標値よりも少なかったが、こども誕生日祝金の支給対象者からは、有難いという声をいただいている。					
課題	本事業を出生数の増加につなげるためには、妊娠・出産前の夫婦に本事業を知っていただく必要があるため、今後も引き続き様々な手法で周知を行っていく必要がある。					
【Action】今後の方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 (<input type="checkbox"/> 一部廃止)					
「結婚新生活支援事業」と抱き合わせの少子化対策事業として、事業を行っていく必要がある。令和7年度より、出生順にかかわらず一律の支給金額とする。						
令和8年度事業計画	出生届後にその保護者を対象に新生児1人当たり3万円のぽんちゃんPay(ポイントで付与)を窓口即日交付。こどもが誕生したことを祝福する。					
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較					
備考						

【令和6年度事業】実施計画書

整理番号	115	重要事業	総合戦略	担当部署	子育て支援課 こども相談係
款・項・目		事業名	当初予算額 (R4)	当初予算額 (R5)	当初予算額 (R6)
3・2・5		子ども家庭総合支援拠点事業	7,775千円	12,326千円	10,707 千円

【総合計画との関連】

基本目的	▶Ⅲ_育てる幸せを感じ生涯にわたり互いに学び続ける家庭と文化を築くまち
施策目的	▶11_社会全体で健やかな子どもの成長を支え、子育ての喜びを感じられるまちになる
施策の方向	▶2_地域子育て支援の推進

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	【子ども家庭総合支援拠点事業】 子どもとその家庭等を対象に、実情の把握、子ども等に関する相談全般から在宅支援を中心とした、より専門的な相談対応や必要な調査、訪問等による継続的な支援までをチームで実施するとともに、児童相談所等との総合調整体制を推進する。子どもとその家庭が、安心して気軽に相談できる場として、子育て支援課内に設置し、令和4年4月より事業開始。
	令和6年度事業計画（主要な事業とその取組内容） 子ども家庭総合支援拠点事業 「子ども家庭総合支援拠点」では、要保護児童対策地域協議会調整機関の役割も担っており、社会福祉士、保健師、教員等の有資格者が、子どもとその家庭に係る相談について、「子育て世代包括支援センター」や関係機関と連携し、必要な情報提供や支援につなげ、心身ともに健やかな子どもの成長とその家庭を支援している。 また、女性相談（DV相談含む）を子ども家庭総合支援拠点事業に統合し相談体制を充実させている。

【事業スケジュール】

(単位：千円)

		令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業スケジュール	子ども家庭総合支援拠点 家庭児童・女性相談事業	子ども家庭総合支援拠点 家庭児童・女性相談事業	子ども家庭総合支援拠点 家庭児童・女性相談事業	子ども家庭総合支援拠点 家庭児童・女性相談事業
事業費	10,707	10,707	10,707	10,707
財源	国庫	3,045	3,045	3,045
	県費	140	140	140
	市債	0	0	0
	その他	49	49	49
	一般財源	7,473	7,473	7,473

【関連する指標】

指標		現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
活動指標	家庭児童相談件数	860	目標値	907	930	953	977	1,000
		単位：件	実績値	1,569	2,603	2,989	3,387	
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

【令和6年度事業】事業評価調査

【事業の実績】

令和6年度予算額	11,727千円	令和6年度決算額	10,943千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	<p>①家庭児童相談件数 令和4年度 2,603件 令和5年度 2,989件 令和6年度 3,387件</p> <p>②要保護児童対策地域協議会【R6】 代表者会議 1回 実務者会議 6回 ケース検討会議 32回 研修会 1回</p> <p>③女性相談件数 令和5年度 110件 令和6年度 131件</p>			

【事業の評価】

【Check】 指標評価	A					
事業の 必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の 有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の 効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	<p>令和4年度より要保護児童対策地域協議会は、子ども家庭総合支援拠点事業の子どもを守る地域ネットワーク機能強化事業へ移行。要保護児童対策地域協議会調整機関の役割を子ども家庭総合支援拠点事業に統合し一体となって支援を行っていく体制となった。</p> <p>代表者会議1回、実務者会議6回、研修会1回開催し、個別ケース検討会議は32回実施。ケースの情報やリスク管理を関係機関と共有することで、ケースの重症化やリスクの見落としを防ぎ、また児童虐待の予防、早期発見につながり、児童虐待の防止策として効果的な対応が図れている。</p>					
課題	<p>相談件数は増加しており、児童虐待通報による24時間以内の安全確認や要保護児童等とその家庭への支援検討及び相談において、関係機関との連携を強化するとともに、支援担当者及び虐待等対応職員の資質と組織としての対応力を向上させることが必要。</p>					
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<p><input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 (<input type="checkbox"/> 一部廃止)</p> <p>令和4年度に子ども家庭総合支援拠点を設置し、子ども家庭総合支援拠点事業と要保護児童対策地域協議会調整機関を担う子どもを守る地域ネットワーク事業の2事業体制で実施しているが、令和7年度からは子ども家庭センターを設置し、児童福祉と母子保健の両機能の連携・協働を深め、妊産婦・子育て世帯・子どもへ切れ目ない支援を行っていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度に婦人相談、女性DV相談も統合した相談体制となり、令和5年度には、館林市配偶者暴力相談支援センターが設置された。 ・虐待対応、学校や児童相談所（市町村送致）等の関係機関との連絡調整及び支援体制を強化する。 ・令和7年度には、ヤングケアラーコーディネーターを配置し、ヤングケアラーの早期発見・把握、相談など支援策の推進、社会的認知度の向上に取り組む。また、特定妊婦等に対する支援の強化を図るため、一時的な住まいや食事の提供、養育支援等、支援が必要な妊産婦等が安心した生活を行うよう支援する妊産婦等生活援助事業を開始する。 					
令和8年度 事業計画	<p>令和4年度より子ども家庭総合支援拠点を設置し、家庭児童相談と婦人相談を統合。子どもとその家庭の実情の把握、子ども等に関する相談全般から在宅を中心とした訪問を実施するとともに、児童相談所等との連携調整体制を推進。（社会福祉士、保健師、教員等の有資格者を配置）。</p> <p>令和7年度に、児童福祉と母子保健の両機能の連携・協働を深め、妊産婦・子育て世帯・子どもへ切れ目ない支援を行っていく子ども家庭センターが設置され、令和8年度には新事業として子育て世帯訪問支援事業を実施予定。</p>					
予算規模 見込み	<p><input type="checkbox"/> 同規模 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小</p> <p>※前年度比較</p>					
備考						

【令和6年度事業】実施計画書

整理番号	116	重要事業	○	総合戦略	○	担当部署	こども課 幼保運営係・幼保支援係
款・項・目		事業名		当初予算額 (R4)	当初予算額 (R5)	当初予算額 (R6)	
3・2・1		地域子ども・子育て支援事業 (地域子育て支援拠点事業ほか)		46,379千円	46,971千円	48,352千円	

【総合計画との関連】

基本目的	▶III_育てる幸せを感じ生涯にわたり互いに学び続ける家庭と文化を築くまち
施策目的	▶11_社会全体で健やかな子どもの成長を支え、子育ての喜びを感じられるまちになる
施策の方向	▶2_地域子育て支援の推進

【事業の目的及び内容】

【Plan】事業目的	子ども・子育て支援新制度のもと、地域の実情に応じて市が策定した「館林市子ども・子育て支援事業計画」に従って事業を計画的に実施することで、教育・保育・子育て支援の充実を図る。
令和6年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
①地域子育て支援拠点事業【重要事業】	
・地域子育て支援拠点事業委託料 乳幼児及びその保護者が相互の交流を行う場所を開設し、子育てについての相談や情報の提供、助言その他の援助を行う。	
②延長保育事業	
・延長保育事業補助金 保護者の就労形態の多様化や通勤時間の増加などに対応するため、通常保育の時間を超えて保育需要への対応を図る。	
③病児・病後児保育事業	
・病児・病後児保育事業委託料 多様な保育需要に対応するために、集団保育が不可能な病児・病後児の保育を委託により実施する。	
④一時預かり事業（幼稚園型）	
・幼稚園型一時預かり事業委託料 家庭において保育を受けることが一時的に困難となった幼稚園在園児について、教育時間以降も預かり保育を行う。	
⑤実費徴収に係る補足給付事業	
・実費徴収補足給付補助金 保護者の世帯所得状況等を勘案し、各施設で実費徴収が可能とされている費用について助成する。	

【事業スケジュール】

事業スケジュール	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	①地域子育て支援拠点事業【重】 ・地域子育て支援拠点事業委託料 ②延長保育事業 ・延長保育事業補助金 ③病児・病後児保育事業 ・病児・病後児保育事業委託料 ④一時預かり事業（幼稚園型） ・幼稚園型一時預かり事業委託料 ⑤実費徴収に係る補足給付事業 ・実費徴収補足給付補助金	①地域子育て支援拠点事業【重】 ・地域子育て支援拠点事業委託料 ②延長保育事業 ・延長保育事業補助金 ③病児・病後児保育事業 ・病児・病後児保育事業委託料 ④一時預かり事業（幼稚園型） ・幼稚園型一時預かり事業委託料 ⑤実費徴収に係る補足給付事業 ・実費徴収補足給付補助金	①地域子育て支援拠点事業【重】 ・地域子育て支援拠点事業委託料 ②延長保育事業 ・延長保育事業補助金 ③病児・病後児保育事業 ・病児・病後児保育事業委託料 ④一時預かり事業（幼稚園型） ・幼稚園型一時預かり事業委託料 ⑤実費徴収に係る補足給付事業 ・実費徴収補足給付補助金
事業費	48,352	48,352	48,352
財源	国庫	16,116	16,116
	県費	16,116	16,116
財源	市債	0	0
	その他	1,268	1,268
	一般財源	14,852	14,852

【関連する指標】

総合計画指標	指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
総合計画指標	市内5か所(R5以降4か所)の地域子育て支援センターの利用登録率	79.4	目標値	81.3	82.2	83.1	84.1	85.0
		単位：%	実績値	66.4	70.3	67.6	71.5	
総合戦略KPI	病児・病後児保育事業の登録者数	227	目標値	286	315	344	374	403
		単位：人	実績値	336	166	189	192	
総合計画指標	【市民アンケート】子育て環境（保育施設、相談、交流の場など）の充実度の満足度	30.1	目標値	–	–	34.1	35.1	36.1
		単位：%	実績値	–	–	–	26.8	
		単位：	目標値					
			実績値					

【令和6年度事業】事業評価調査

【事業の実績】

令和6年度予算額	49,525千円	令和6年度決算額	48,830千円
<p>■市内4か所の地域子育て支援センターの利用登録率 ・令和6年度までの3か年平均 69.8% 内訳（令和4年度：70.3% 令和5年度：67.6% 令和6年度：71.5%）</p> <p>■病児・病後児保育事業の登録者数 ・令和6年度までの3か年累計 547人 内訳（令和4年度：166人 令和5年度：189人 令和6年度：192人）</p> <p>■延長保育事業 ・令和6年度までの3か年累計実績 4,758,000円 内訳（令和4年度：1,200,000円 令和5年度：1,210,000円 令和6年度：2,348,000円）</p> <p>■一時預かり事業（幼稚園型） ・令和6年度までの3か年累計実績 15,524,677円 内訳（令和4年度：3,757,020円 令和5年度：6,151,937円 令和6年度：5,615,720円）</p> <p>■実費徴収に係る補足給付事業 ・令和6年度までの3か年累計実績 0円 内訳（令和4年度：0円 令和5年度：0円 令和6年度：0円）</p>			

【事業の評価】

【Check】 指標評価	D					
事業の 必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の 有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の 効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	指標については、「地域子育て支援センターの利用登録率」及び「病児・病後児保育事業の登録者数」は目標に達しなかったが、「地域子育て支援センターの利用登録率」においては、全体として昨年度より数値が増加し、各支援センターの利用登録率、利用者数ともに増加している。一方、「病児・病後児保育事業の登録者」については、訪問を中心とした巡回支援の実施や、当日利用の再開等があり、前年度に比べ増加したと考える。					
課題	<p>■地域子育て支援センター 積極的に各支援センターの特色を生かした支援活動及び地域交流活動を行っていく必要がある。</p> <p>■病児・病後児保育事業 子どもの病児に必要とする保育事業であるため、事前に利用の見込みが把握できないが、保育環境整備のために不可欠な事業である。</p>					
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<p><input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> (一部廃止)</p> <p>■地域子育て支援センター 子育て中の方が孤立することがないよう、引き続き利用者同士がつながり合う場を提供とともに、寄り添った支援を行っていく。</p> <p>■病児・病後児保育事業 インターネットによる利用登録を活用し、病児保育が必要な方がスムーズに利用できるよう今後も努めていく。</p> <p>■延長保育事業 通常保育の時間を超えて預かりを行い、保育需要への対応を図っていく。</p> <p>■一時預かり事業（幼稚園型） 一時預かりを利用したい園児が在園する園と引き続き委託契約を行っていく。</p> <p>■実費徴収に係る補足給付 一定数の対象世帯が見込まれるため、今後も実施していく。</p>					
令和8年度 事業計画	<p>■地域子育て支援センター 地域子育て支援センター連絡会議で関係機関と連携を図る。支援センター室と園庭を開放する。講座やイベント、サークル活動を実施する。</p> <p>■病児・病後児保育事業 保護者の多様な働き方に対応するため、病児保育事業を継続的に実施する。</p> <p>■延長保育事業 保護者の就労形態の多様化に対応をするため、継続的に実施する。</p> <p>■一時預かり事業（幼稚園型） 一時的に家庭保育が困難となった幼稚園在園児について、教育時間以降も預かり保育を行う。</p> <p>■実費徴収に係る補足給付 対象世帯の把握に漏れがないように実施していく。</p>					
予算規模 見込み	<p><input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小</p> <p>※前年度比較</p>					
備考						

【令和6年度事業】実施計画書

整理番号	117	重要事業	○	総合戦略		担当部署	こども課 幼保支援係
款・項・目		事業名		当初予算額 (R4)	当初予算額 (R5)	当初予算額 (R6)	
3・2・1	地域子ども・子育て支援事業 (放課後児童健全育成事業) (放課後児童クラブ施設整備事業)		183,836 千円	184,200千円	178,136千円		

【総合計画との関連】

基本目的	▶Ⅲ_育てる幸せを感じ生涯にわたり互いに学び続ける家庭と文化を築くまち
施策目的	▶11.社会全体で健やかな子どもの成長を支え.子育ての喜びを感じられるまちになる
施策の方向	▶2.地域子育て支援の推進

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	子ども・子育て支援新制度のもと、地域の実情に応じて市が策定した「館林市子ども・子育て支援事業計画」に従って事業を計画的に実施することで、教育・保育・子育て支援の充実を図る。 (共働き・一人親の小学生の放課後(土曜日、春・夏・冬休み等の学校休業中は一日)の生活を継続的に保障することを通して、親の仕事と子育ての両立支援を保障すること、核家族化、ひとり親家庭及び共働き家庭の増加、祖父母の就労継続延長等により、留守家庭児童の放課後の居場所確保は年々利用ニーズが高まっており、全学年利用可能になったことから定員超過が問題となっており、質の向上とともに適正な施設整備を計画的に行う必要がある)
	令和6年度事業計画 (主要な事業とその取組内容)

①放課後児童健全育成事業【重要事業】
委託料 (子ども・子育て支援交付金交付要綱に基づき決定している:国1/3・県1/3・市1/3)
・小学校の子どもが過ごす生活の場として、おやつの提供や宿題の見守り、遊びや大人との会話の時間といった、家庭で当たり前のように設けているものを行う場とすることを目的としている。
・市内全小学校区に設置しており、現在は17クラブ21支援となる。市の放課後児童健全育成事業を社会福祉法人、NPO法人、運営委員会、保護者会に委託している。(1支援はおおむね40人程度)
・放課後児童クラブ支援員は群馬県等が開催する認定資格研修を修了し、1支援あたり2名以上配置しなければならない。その他、支援員の資格は有していないが、補助員と呼ばれる支援員も配置し、各種研修等を受講し放課後児童クラブの質の向上を図っている。
・開所時間は学童によって異なるが、18時~19時半まで開所し、土曜日や長期休暇中は早朝より開所して、保護者の就労を支援している。

②放課後児童クラブ施設整備事業【新規事業】
・第二小学校区児童クラブの児童の防犯及び安全確保を図るため、第二小学校の隣接地に施設を新設のうえ移転する。

【事業スケジュール】

(単位:千円)

事業 スケジュール	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	①放課後児童健全育成事業【重】 (172,251) ・全小学校区に設置済 17クラブ20支援 (公設民営12、民設民営5) ②放課後児童クラブ施設整備事業 【新】 (5,885) ・第二小学校区児童クラブ新設工事 ・第二小学校区児童クラブ新設工事地質調査業務委託	①放課後児童健全育成事業【重】 (172,251) ・全小学校区に設置済 17クラブ20支援 (公設民営12、民設民営5) ②放課後児童クラブ施設整備事業 【新】 (57,122) ・第二小学校区児童クラブ新設工事	①放課後児童健全育成事業【重】 (172,251) ・全小学校区に設置済 17クラブ20支援 (公設民営12、民設民営5)
事業費	178,136	229,373	172,251
財源	国庫 56,300	66,732	56,300
	県費 56,300	66,732	56,300
市債	0	0	0
その他	204	204	204
一般財源	65,332	95,705	59,447

【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
活動指標	放課後児童クラブ利用児童数	925	目標値	927	928	929	931
		単位:人	実績値	844	810	813	800
			目標値				
		単位:	実績値				
			目標値				
		単位:	実績値				
			目標値				
		単位:	実績値				

【令和6年度事業】事業評価調査

【事業の実績】

令和6年度予算額 261,733 千円	令和6年度決算額 243,466 千円
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ年	<ul style="list-style-type: none"> ・放課後児童クラブ利用児童数 令和4年度 810人 令和5年度 813人 令和6年度 800人 ・17クラブ21支援（公設民営12、民設民営5）

【事業の評価】

【Check】 指標評価	D
事業の必要性	<input type="checkbox"/> 高 政策の推進において不可欠な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 中 政策の推進に寄与している事業である <input type="checkbox"/> 低 目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高 成果が高水準にある <input checked="" type="checkbox"/> 中 適切な成果が得られている <input type="checkbox"/> 低 成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高 費用対効果が高水準にある <input checked="" type="checkbox"/> 中 適切な費用対効果が得られている <input type="checkbox"/> 低 費用対効果が低水準にある
評価根拠	全小学校区に学童が設置され、平日18時～19時半頃までの開所と、長期休暇中の早朝からの開所により、保護者の就労を支援している。
課題	第二小学校区放課後児童クラブ（風の子クラブ）の定員超過に伴う専用施設について改善を図ることが求められている。
【Action】 今後の方向性 ・ 内容	<input checked="" type="checkbox"/> 繼続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 (<input type="checkbox"/> 一部廃止)
	第二小学校区放課後児童クラブ（風の子クラブ）の専用施設として、旧南保育園跡地に学童施設の新設工事を進め、令和7年度中に完成する見込みである。 指導員等の資質向上のための研修を行い、施設関係は計画的に整備し、放課後児童健全育成事業の継続・円滑な実施を図る。
令和8年度事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・全小学校区に設置 17クラブ21支援 （公設民営12、民設民営5）
予算規模見込み	<input type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較
備考	

【令和6年度事業】実施計画書

整理番号	118	重要事業	○	総合戦略		担当部署	こども課 幼保運営係
款・項・目		事業名		当初予算額 (R4)	当初予算額 (R5)	当初予算額 (R6)	
3・2・2	子どものための教育・保育施設運営		872,348千円	893,789千円	896,562千円		

【総合計画との関連】

基本目的	▶Ⅲ_育てる幸せを感じ生涯にわたり互いに学び続ける家庭と文化を築くまち
施策目的	▶11_社会全体で健やかな子どもの成長を支え、子育ての喜びを感じられるまちになる
施策の方向	▶3_質の高い保育サービスの充実

【事業の目的及び内容】

【Plan】事業目的	児童福祉法第45条の最低基準を維持するために委託料及び施設型給付費を支弁するとともに、幼児教育・保育の無償化への対応や多子世帯における保護者の保育料等の負担軽減を図る。
令和6年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
①子どものための教育・保育施設運営 ・民間保育所保育委託料 ・施設型給付費 保育実施委託児童の入園後の保護について、児童福祉法第45条の最低基準を維持するために委託料及び施設型給付費を支弁する。	
②子育てのための施設等利用給付 ・施設等利用給付費 教育・保育給付の対象外である施設等の利用に対する負担金を給付する。	
③子どものための教育・保育施設運営保育園一般経費【重要事業】 ・第3子以降保育料・副食費無償化 特定教育・保育施設（子ども・子育て支援新制度に移行した保育園や認定こども園等）を利用する第3子以降の児童の保育料や副食費を無料化し、保護者の負担軽減の拡大を図る。 ※影響額：27,689千円（うち保育料：19,879千円、副食費：7,810千円）	

【事業スケジュール】

(単位：千円)

		令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業スケジュール	①子どものための教育・保育施設運営 ・民間保育所保育委託料 ・施設型給付費 ②子育てのための施設等利用給付 ・施設等利用給付費 ③子どものための教育・保育施設運営保育園一般経費【重】 ・第3子以降保育料・副食費無償化	①子どものための教育・保育施設運営 ・民間保育所保育委託料 ・施設型給付費 ②子育てのための施設等利用給付 ・施設等利用給付費 ③子どものための教育・保育施設運営保育園一般経費【重】 ・第3子以降保育料・副食費無償化	①子どものための教育・保育施設運営 ・民間保育所保育委託料 ・施設型給付費 ②子育てのための施設等利用給付 ・施設等利用給付費 ③子どものための教育・保育施設運営保育園一般経費【重】 ・第3子以降保育料・副食費無償化	①子どものための教育・保育施設運営 ・民間保育所保育委託料 ・施設型給付費 ②子育てのための施設等利用給付 ・施設等利用給付費 ③子どものための教育・保育施設運営保育園一般経費【重】 ・第3子以降保育料・副食費無償化
事業費	896,562	896,562	896,562	896,562
財源	国庫 県費 市債 その他 一般財源	401,971 199,336 0 25,806 269,449	401,971 199,336 0 25,806 269,449	401,971 199,336 0 25,806 269,449

【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
総合計画指標 【市民アンケート】子育て環境（保育施設、相談、交流の場など）の充実度の満足度	30.1 単位：%	目標値 実績値	- -	- -	34.1 -	35.1 26.8	36.1
		目標値 実績値					
		目標値 実績値					
		目標値 実績値					

【令和6年度事業】事業評価調査

【事業の実績】

令和6年度予算額	1,165,378千円	令和6年度決算額	1,162,034千円
<p>■民間保育所保育委託料 ・令和6年度までの3か年累計 1,391,741,680円 内訳（令和4年度 581,700,440円 令和5年度 371,502,450円 令和6年度 438,538,790円）</p> <p>■施設型給付費 ・令和6年度までの3か年累計 1,820,064,650円 内訳（令和4年度 407,810,237円 令和5年度 691,065,193円 令和6年度 721,189,220円）</p> <p>■施設等利用給付費 ※対象者（延） ・令和6年度までの3か年累計 786人 6,511,800円 内訳（令和4年度：164人 1,724,950円 令和5年度：362人 2,481,250円 令和6年度：260人 2,305,600円）</p> <p>■第3子以降保育料・副食費無償化 ※対象者（延） ・令和6年度までの3か年累計 2,722人 55,938,610円 内訳（令和4年度 956人 19,641,110円 令和5年度 974人 19,913,750円 令和6年度 792人 16,383,750円）</p>			

【事業の評価】

【Check】 指標評価	D					
事業の 必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の 有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の 効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	民間保育施設の運営費や人件費に充てられる民間保育所保育委託料や施設型給付費をスムーズかつ適切に支給することができた。また、第3子以降保育料・副食費無償化により、多くの多子世帯に支援を行うことができた。					
課題	民間保育施設の設備及び運営についての水準の向上に貢献できるよう委託料及び施設型給付費の支弁を行う。					
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> (一部廃止)					
引き続き、園児や保護者が安心して利用できるように委託料及び施設型給付費の支弁で民間保育施設のサポートを行う。						
令和8年度 事業計画	①子どものための教育・保育施設運営 保育実施委託児童の入園後の保護について、児童福祉法第45条の最低基準を維持するために委託料及び施設型給付費を支弁する。 ②子育てのための施設等利用給付 教育・保育給付の対象外である施設等の利用に対する負担金を給付する。 ③子どものための教育・保育施設運営保育園一般経費【重要事業】 特定教育・保育施設（子ども・子育て支援新制度に移行した保育園や認定こども園等）を利用する第3子以降の児童の保育料や副食費を無料化し、保護者の負担軽減の拡大を図る。 ※影響額：27,689千円（うち保育料：19,879千円、副食費：7,810千円）					
予算規模 見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> ※前年度比較					
備考						

【令和6年度事業】実施計画書

整理番号	119	重要事業	総合戦略	担当部署	こども課 幼保運営係
款・項・目		事業名	当初予算額 (R4)	当初予算額 (R5)	当初予算額 (R6)
3・2・2		保育充実事業	70,831千円	166,406千円	62,941千円

【総合計画との関連】

基本目的	▶III_育てる幸せを感じ生涯にわたり互いに学び続ける家庭と文化を築くまち
施策目的	▶11_社会全体で健やかな子どもの成長を支え、子育ての喜びを感じられるまちになる
施策の方向	▶3_質の高い保育サービスの充実

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	<ul style="list-style-type: none"> ・民間保育所が実施する各種事業に補助することで、安定的な事業運営を実現し、児童福祉の向上を図る。 ・民間保育所で実施する低年齢児保育、アレルギー児への対応に対して補助し、入所児童の処遇改善を図る。 ・社会福祉法人等が施設整備のために融資機関から借り入れた資金につき支払う利子を補給する。 ・民間保育所が行う施設整備に対して一部を補助することで、保育環境の充実を図る。
----------------	--

令和6年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

①保育充実促進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・保育研究事業や子育て支援活動事業の委託 ・民間保育所補助金の支給 <p>入所児童処遇改善費として運営費の一部を補助するとともに、乳児や障がい児の受入れに対して補助する。</p>
②保育所特別保育事業	<ul style="list-style-type: none"> ・低年齢児やアレルギー児への対応を円滑にするために、補助金を支出する。
③民間保育所施設整備補助金	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉法人等が施設整備のために融資機関から借り入れた資金について、支払う利子を補給する。

【事業スケジュール】

(単位：千円)

事業 スケジュール	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	①保育充実促進事業 ②保育所特別保育事業 ③民間保育所施設整備補助金	①保育充実促進事業 ②保育所特別保育事業 ③民間保育所施設整備補助金	①保育充実促進事業 ②保育所特別保育事業 ③民間保育所施設整備補助金
事業費	62,941	62,941	62,941
財源	国庫 50	50	50
	県費 8,798	8,798	8,798
財源	市債 0	0	0
	その他 0	0	0
一般財源	54,093	54,093	54,093

【関連する指標】

総合計画指標	【市民アンケート】子育て環境（保育施設、相談、交流の場など）の充実度の満足度	現状値 (R元年度) 単位：%	区分 目標値 実績値	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
		30.1	目標値 -	-		34.1	35.1	36.1
		単位：%	実績値 -	-		-	26.8	
			目標値 実績値					
			目標値 実績値					
			目標値 実績値					
			目標値 実績値					

【令和6年度事業】事業評価調査

【事業の実績】

令和6年度予算額	63,159千円	令和6年度決算額	59,206千円
<p>■館林市民民間保育所補助金 (障害児保育事業) ※対象者(延) ・令和6年度までの3か年累計 1,361人 内訳(令和4年度:247人 令和5年度:534人 令和6年度:580人)</p> <p>■民間保育所施設整備補助金 ・令和6年度までの累計 2園 内訳(令和4年度:1園 令和5年度:1園 令和6年度:0園)</p> <p>■保育充実促進費補助(低年齢児保育) ※対象者(延) ・令和6年度までの累計実績 3,947人 内訳(令和4年度:1,442人 令和5年度:1,237人 令和6年度:1,268人)</p>			

【事業の評価】

【Check】 指標評価	D					
事業の 必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の 有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の 効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	女性の社会進出による低年齢児の保育ニーズや、障害児保育の需要が高まっていることから、民間保育所を補助することで保育内容の充実と入所児童の待遇改善を図ることができた。					
課題	物価高騰に伴い保育施設の給食運営に関わる収支状況が悪化しており、新たな補助が求められている。					
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 (<input type="checkbox"/> 一部廃止)					
出生数は減少しているが低年齢児保育や発達障害児保育の需要は高まっているので、引き続き、補助を行うことでの保育内容の充実を図っていく。						
令和8年度 事業計画	<p>■館林市民民間保育所補助金 ・保育所運営費補助事業、保育所乳児受入支援事業、障害児保育事業</p> <p>■民間保育所施設整備補助金 ・館林市民民間社会福祉施設整備借入資金利子補助</p>					
予算規模 見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較					
備考						

【令和6年度事業】実施計画書

整理番号	120	重要事業	総合戦略	担当部署	こども課 幼保運営係・幼保支援係
款・項・目		事業名	当初予算額 (R4)	当初予算額 (R5)	当初予算額 (R6)
3・2・3		保育園運営	510,957千円	465,784千円	531,541千円

【総合計画との関連】

基本目的	▶Ⅲ_育てる幸せを感じ生涯にわたり互いに学び続ける家庭と文化を築くまち
施策目的	▶11_社会全体で健やかな子どもの成長を支え、子育ての喜びを感じられるまちになる
施策の方向	▶3_質の高い保育サービスの充実

【事業の目的及び内容】

【Plan】事業目的	子どもたちが健やかに育ち、人間形成の基礎が培われる就学前の乳幼児期に、より良い教育・保育の提供ができるよう充実した公立保育園の運営体制や施設の維持管理の推進を図る。
令和6年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
公立保育園7園・公立こども園1園の運営に伴う費用を支出する。 ・会計年度任用職員の任用に係る賃金 ・保育士等の質の向上のための研修費 ・給食材料費及び業務委託料 ・3歳以上児への主食（ごはん）提供 ・修繕等の施設維持管理費等 ・保育用品等の購入費	

【事業スケジュール】

(単位：千円)

		令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業スケジュール		保育園の運営に伴う必要な経費の支出	保育園の運営に伴う必要な経費の支出	保育園の運営に伴う必要な経費の支出
事業費		531,541	531,541	531,541
財源	国庫	0	0	0
	県費	4,618	4,618	4,618
	市債	0	0	0
	その他	83,101	83,101	83,101
	一般財源	443,822	443,822	443,822

【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
総合計画指標	【市民アンケート】子育て環境（保育施設、相談、交流の場など）の充実度の満足度	30.1 単位：%	目標値 実績値	- -	- -	34.1 26.8	35.1 26.8
			目標値				
		単位：	実績値				
			目標値				
		単位：	実績値				
			目標値				
		単位：	実績値				

【令和6年度事業】事業評価調査

【事業の実績】

令和6年度予算額	549,277 千円	令和6年度決算額	515,525 千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3ヵ 年	<p>■会計年度任用職員賃金 ・令和6年度までの累計実績 535,831,278円 内訳（令和4年度：179,118,596円 令和5年度：169,353,833円 令和6年度：187,358,849円）</p> <p>■研修参加負担金 ・令和6年度までの累計実績 1,374,142円 内訳（令和4年度：438,975円 令和5年度：500,323円 令和6年度：434,844円）</p> <p>■給食業務委託料 ・令和6年度までの累計実績 400,698,230円 令和4年度：業務委託料 75,834,000円 賄材料費 48,800,583円 令和5年度：業務委託料 82,031,400円 賄材料費 53,356,976円 令和6年度：業務委託料 84,097,200円 賄材料費 56,578,071円</p> <p>■修繕件数（令和6年度決算額 2,093千円） ・令和6年度までの累計実績 64件 内訳（令和4年度：15件 令和5年度：14件 令和6年度：35件）</p> <p>■工事件数（令和6年度決算額 1,443千円） ・令和6年度までの累計実績 19件 内訳（令和4年度：7件 令和5年度：5件 令和6年度：7件）</p> <p>■備品購入件数（令和6年度決算額 1,743千円） ・令和6年度までの累計実績 41件 内訳（令和4年度：13件 令和5年度：18件 令和6年度：10件）</p>			

【事業の評価】

【Check】 指標評価	D					
事業の 必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の 有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の 効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	令和6年度では実施できなかった施設整備もあったが、各園と情報共有し保育にとって必要なものを限られた予算の中で対応することが出来たため。					
課題	予算額の縮小。縮小した中でもよりよい保育園運営を行っていく。					
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<p>■ 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> (一部廃止)</p> <p>園児が安全に利用できるよう施設整備計画を進めること、保育士の確保、質の向上のための研修に積極的に参加し、引き続き保育内容の充実を図っていく。</p>					
令和8年度 事業計画	公立保育園7園及び公立こども園1園を運営するために必要な会計年度任用職員賃金や保育士の質の向上のための研修費、給食業務委託料、施設の修繕等の施設維持管理費等を支出する。					
予算規模 見込み	<p>■ 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小</p> <p>※前年度比較</p>					
備考						

【令和6年度事業】実施計画書

整理番号	121	重要事業		総合戦略	<th>担当部署</th> <td>こども課 幼保支援係</td>	担当部署	こども課 幼保支援係
款・項・目	事業名			当初予算額 (R4)	当初予算額 (R5)	当初予算額 (R6)	
3・2・3	保育園施設整備事業			17,563千円	105,808千円	28,265千円	

【総合計画との関連】

基本目的	▶Ⅲ_育てる幸せを感じ生涯にわたり互いに学び続ける家庭と文化を築くまち
施策目的	▶11_社会全体で健やかな子どもの成長を支え.子育ての喜びを感じられるまちになる
施策の方向	▶3_質の高い保育サービスの充実

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	保育需要への対応や子育て支援の拡充を図るために、その基盤となる公立保育園7園の保育施設を整備し、保育環境の維持向上を図る。
令和6年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
①渡瀬・成島保育園空調設備更新事業【新規事業】 ・渡瀬保育園GHP空調機更新工事 ・経年劣化による空調設備の不具合増加が見込まれることから、空調設備の更新を計画的に進めるもの ・令和6年度に渡瀬保育園、令和7年度に成島保育園の機器更新 ②保育園施設整備事業 ・各種設備の修繕 ・大規模な工事 ・調理器具等の備品の購入	

【事業スケジュール】

(単位 : 千円)

		令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業スケジュール		①渡瀬・成島保育園空調設備更新事業【新】 ・渡瀬保育園GHP空調機更新工事 (28,265) ②保育園施設整備事業 (0)	①渡瀬・成島保育園空調設備更新事業【新】 ・成島保育園EHP空調機更新工事【新】 (39,105) ③保育園施設整備事業 (7,473) ・修繕 ・工事 ・備品購入（調理器具）	③保育園施設整備事業 (7,473) ・修繕 ・工事 ・備品購入（調理器具）
事業費		28,265	46,578	7,473
財源	国庫	0	0	0
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	27,390	0	0
	一般財源	875	46,578	7,473

【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
総合計画指標	【市民アンケート】子育て環境（保育施設、相談、交流の場など）の充実度の満足度	30.1 単位 : %	目標値 実績値	- -	- -	34.1 26.8	35.1 36.1
			目標値				
		単位 :	実績値				
			目標値				
		単位 :	実績値				
			目標値				
		単位 :	実績値				

【令和6年度事業】事業評価調査

【事業の実績】

令和6年度予算額	32,874千円	令和6年度決算額	32,868千円
<p>【Do】事業実績（成果）※過去3カ年</p> <ul style="list-style-type: none"> ■修繕件数 <ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度までの累計実績 3件 内訳（令和4年度：3件 令和5年度：0件 令和6年度：0件） ■委託件数 <ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度までの累計実績 2件 内訳（令和4年度：2件 令和5年度：0件 令和6年度：0件） ■工事件数 <ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度までの累計実績 11件 内訳（令和4年度：3件 令和5年度：3件 令和6年度：5件） ■備品購入件数 <ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度までの累計実績 8件 内訳（令和4年度：3件 令和5年度：3件 令和6年度：2件） 			

【事業の評価】

【Check】指標評価	D					
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	全ての園において、施設・遊具・備品が経年劣化しているため、今後も修繕や工事、買い替えなどが必要となる。限られた予算の中で優先順位を考え保育業務に支障が出ないように予算を執行した。					
課題	全ての園の施設・遊具・備品が経年劣化しているため、年度途中における想定外の修繕や工事、備品購入等が発生するため、当初予算執行計画に変更が生じてしまう。					
【Action】今後の方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> (一部廃止)					
限られた予算の中で、優先順位を考えつつ、修繕や工事で対応すべきか、入替が必要なものか検討しながら施設整備を進めていかなければならない。またこれまでの施設整備計画の予定を再検討しつつ、物品等の耐用年数等を鑑みながら、臨機応変に予算執行をしていく必要がある。						
令和8年度事業計画	施設、遊具、備品の修繕、工事、購入					
予算規模見込み	<input type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> ※前年度比較					
備考						

【令和6年度事業】実施計画書

整理番号	122	重要事業	○	総合戦略		担当部署	こども課 幼保運営係・幼保支援係
款・項・目		事業名		当初予算額 (R4)	当初予算額 (R5)	当初予算額 (R6)	
3・2・3		地域子ども・子育て支援事業		21,656千円	17,256千円	21,121千円	

【総合計画との関連】

基本目的	▶Ⅲ_育てる幸せを感じ生涯にわたり互いに学び続ける家庭と文化を築くまち
施策目的	▶11_社会全体で健やかな子どもの成長を支え、子育ての喜びを感じられるまちになる
施策の方向	▶2_地域子育て支援の推進

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	子ども・子育て支援新制度のもと、地域の実情に応じて市が策定した「館林市子ども・子育て支援事業計画」に従って事業を計画的に実施することで、教育・保育・子育て支援の充実を図る。
令和6年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
①地域子育て支援拠点事業 ・美園保育園地域子育て支援センター運営費 乳幼児及びその保護者が相互の交流を行う場所を開設し、子育てについての相談や情報の提供、助言その他の援助を行う。	
②一時預かり事業 ・渡瀬保育園一時預かり事業運営費 ・成島保育園一時預かり事業運営費 家庭において保育を受けることが一時的に困難となった乳幼児について、昼間に公立保育園2園で一時的に預かり、必要な保育を行う。	

【事業スケジュール】

(単位：千円)

事業 スケジュール	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	①地域子育て支援拠点事業 ・美園保育園地域子育て支援センター運営費 (5,111、国1,499・県1499・他20) ②一時預かり事業 ・渡瀬保育園一時預かり事業運営費 ・成島保育園一時預かり事業運営費	①地域子育て支援拠点事業 ・美園保育園地域子育て支援センター運営費 (5,111、国1,499・県1499・他20) ②一時預かり事業 ・渡瀬保育園一時預かり事業運営費 ・成島保育園一時預かり事業運営費	①地域子育て支援拠点事業 ・美園保育園地域子育て支援センター運営費 (5,111、国1,499・県1499・他20) ②一時預かり事業 ・渡瀬保育園一時預かり事業運営費 ・成島保育園一時預かり事業運営費
事業費	21,121	21,121	21,121
国庫	3,659	3,659	3,659
県費	3,659	3,659	3,659
市債	0	0	0
その他	1,090	1,090	1,090
一般財源	12,713	12,713	12,713

【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
総合計画指標	市内5か所(R5以降4か所)の地域子育て支援センターの利用登録率	79.4 単位：%	目標値 実績値	81.3 66.4	82.2 70.3	83.1 67.6	84.1 71.5
総合計画指標	【市民アンケート】子育て環境（保育施設、相談、交流の場など）の充実度の満足度	30.1 単位：%	目標値 実績値	- -	- -	34.1 -	35.1 26.8
			目標値				
		単位：	実績値				
			目標値				
		単位：	実績値				

【令和6年度事業】事業評価調査

【事業の実績】

【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ年	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">令和6年度予算額</td><td style="width: 50%;">21,612 千円</td><td style="width: 50%;">令和6年度決算額</td><td style="width: 50%;">14,639 千円</td></tr> </table> <p>■市内4か所の地域子育て支援センターの利用登録率 ・令和6年度までの3か年平均 69.8% 内訳（令和4年度：70.3% 令和5年度：67.6% 令和6年度：71.5%）</p> <p>■一時預かり事業 ※対象者（延） ○渡瀬保育園 ・令和6年度までの3か年累計実績 1,737人 内訳（令和4年度：608人 令和5年度：478人 令和6年度：651人）</p> <p>○成島保育園 ・令和6年度までの3か年累計実績 1,717人 内訳（令和4年度：393人 令和5年度：637人 令和6年度：687人）</p>	令和6年度予算額	21,612 千円	令和6年度決算額	14,639 千円
令和6年度予算額	21,612 千円	令和6年度決算額	14,639 千円		

【事業の評価】

【Check】 指標評価	D
事業の必要性	<p><input checked="" type="checkbox"/> 高 政策の推進において不可欠な事業である</p> <p><input type="checkbox"/> 中 政策の推進に寄与している事業である</p> <p><input type="checkbox"/> 低 目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある</p>
事業の有効性	<p><input type="checkbox"/> 高 成果が高水準にある</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 中 適切な成果が得られている</p> <p><input type="checkbox"/> 低 成果が低水準にある</p>
事業の効率性	<p><input type="checkbox"/> 高 費用対効果が高水準にある</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 中 適切な費用対効果が得られている</p> <p><input type="checkbox"/> 低 費用対効果が低水準にある</p>
評価根拠	<p>指標について、「地域子育て支援センターの利用登録率」は目標に達しなかったが、全体として昨年度より数値が増加し、各支援センターの利用登録率、利用者数ともに増加している。</p>
課題	<p>■地域子育て支援センター 積極的に各支援センターの特色を生かした支援活動及び地域交流活動を行っていく必要がある。</p> <p>■一時預かり事業 実施園が民営化するため、円滑に事業引継ぎを行っていく必要がある。</p>
【Action】 今後の方向性・内容	<p><input checked="" type="checkbox"/> 繼続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 (<input type="checkbox"/> 一部廃止)</p> <p>■地域子育て支援センター 子育て中の方が孤立することがないよう、引き続き利用者同士がつながり合う場を提供するとともに、寄り添った支援を行っていく。</p> <p>■一時預かり事業 実施園が民営化するため、円滑な事業引き継ぎを行う。</p>
令和8年度事業計画	<p>■地域子育て支援センター 地域子育て支援センター連絡会議で関係機関と連携を図る。 支援センター室と園庭を開放する。 講座やイベント、サークル活動を実施する。</p> <p>■一時預かり事業 民間事業者によって、引き続き事業を実施する。</p>
予算規模見込み	<p><input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小</p> <p>※前年度比較</p>
備考	

【令和6年度事業】実施計画書

整理番号	123	重要事業	○	総合戦略		担当部署	こども課 幼保支援係
款・項・目		事業名		当初予算額 (R4)	当初予算額 (R5)	当初予算額 (R6)	
3・2・3		認定こども園化事業		55,200千円	25,729千円	943,854千円	

【総合計画との関連】

基本目的	▶III_育てる幸せを感じ生涯にわたり互いに学び続ける家庭と文化を築くまち
施策目的	▶12_自ら学ぶ意欲とたくましく生きる力を身につけた未来を担う子どもが育つまちになる
施策の方向	▶1_学習環境や生活環境の充実

【事業の目的及び内容】

【Plan】事業目的	少子化による園児の減少や共働き世帯の増加に対応するとともに子育て環境のさらなる充実を図るため、教育・保育施設としての認定こども園化を推進し、子どもに質の高い教育・保育を提供する。
令和6年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
認定こども園化事業【重要事業】	
<ul style="list-style-type: none"> ・南幼稚園解体工事 ・南こども園建築・外構工事 ・南こども園機械設備工事 ・南こども園遊具工事 ・南こども園電気設備工事 ・南こども園新築（増築）工事管理業務委託 ・南保育園解体工事設計業務委託（南こども園駐車場等外構設計業務含む） ・南保育園石綿含有調査業務委託 ・運搬業務委託 ・新園舎で使用する備品及び消耗品の購入 	

【事業スケジュール】

(単位：千円)

事業スケジュール	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	認定こども園化事業【重】 ・南幼稚園解体工事 ・南こども園建築工事（建築・外構・機械・遊具・電気） ・南こども園建築工事監理業務委託 ・南保育園解体工事等設計・調査業務委託 ・運搬業務委託 ・備品及び消耗品	認定こども園化事業【重】 ・南こども園外構工事（30,000） ※外構のみ起債充当（30,000×1/2×90%） ・南保育園解体工事（100,000） ※アスベスト調査結果により変動	なし
事業費	943,854	130,000	
財源	国庫 460,101	65,000	
	県費 0	0	
	市債 413,600	13,500	
	その他 18,000	0	
	一般財源 52,153	51,500	0

【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
		目標値					
		実績値					
		目標値					
		実績値					
		目標値					
		実績値					
		目標値					
		実績値					

【令和6年度事業】事業評価調査

【事業の実績】

令和6年度予算額	940,400千円	令和6年度決算額	918,213千円
<p>【事業実績（成果）※過去3カ年】</p> <p>【Do】</p> <ul style="list-style-type: none"> 【令和5年度 認定こども園化事業】 <ul style="list-style-type: none"> ・南こども園整備工事設計業務委託（建築・解体） ・南こども園整備工事設計業務委託に伴う石綿含有調査業務委託 ・南こども園整備工事設計業務委託に伴う地形測量及び地質調査業務委託 ・南こども園化に係る遊戯室消防用設備設置工事 【令和6年度 認定こども園化事業】 <ul style="list-style-type: none"> ・南こども園整備工事監理業務委託 ・旧南保育園解体工事ほか設計業務委託 ・旧南保育園解体工事ほか設計業務委託に伴う石綿含有調査業務委託 ・南幼稚園園舎解体工事 ・南こども園整備工事（建築・電気設備・機械設備） ・南こども園遊具設置工事 ・南こども園厨房機器購入 ・南こども園システムプール・家具・保育用品購入 			

【事業の評価】

【Check】指標評価	
事業の必要性	<p>■ 高 政策の推進において不可欠な事業である</p> <p>□ 中</p> <p>□ 低 政策の推進に寄与している事業である</p> <p>目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある</p>
事業の有効性	<p>□ 高 成果が高水準にある</p> <p>■ 中 適切な成果が得られている</p> <p>□ 低 成果が低水準にある</p>
事業の効率性	<p>□ 高 費用対効果が高水準にある</p> <p>■ 中 適切な費用対効果が得られている</p> <p>□ 低 費用対効果が低水準にある</p>
評価根拠	認定こども園化事業は市長公約であるとともに総合計画重要事業に位置付けられており、少子化等を背景とした多様な子育てニーズに応えるためには必要不可欠な事業である。また令和7年4月1日からの南こども園新園舎での開園に向けた整備工事の実施、その他交換保育体験や勉強会の実施など、ハード面の準備だけでなくソフト事業も実施した。
課題	認定こども園化整備には多くの経費が必要なため、引き続き国庫補助金等を活用しながら実施していく必要がある。また、こども園は厚生労働省管轄であった保育士と文部科学省管轄である幼稚園教諭という全く保育に対する考え方や教え方が異なる職員が一緒に働く場であるため、「こどものため」という大義名分のもと、歩み寄る気持ちを持ちつつ協力して同じ方向を向いて保育をしていくよう環境整備をする必要がある。
【Action】今後の方向性・内容	<p>■ 繼続 □ 拡大 □ 改善 □ 代替 □ 統合 □ 縮小 □ 休止 □ 廃止 (□ 一部廃止)</p> <p>「公立幼稚園・保育園 就学前の教育・保育のあり方に関する方針」や令和7年度実施計画に基づき、ハード面だけでなく、民営化などのソフト面も考慮した認定こども園化事業を推進していく。</p>
令和8年度事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・公立保育園・幼稚園（六郷・杉並）の認定こども園化整備に伴う設計委託 ・渡瀬保育園・成島保育園の民営化
予算規模見込み	<p>□ 同規模 □ 拡大 ■ 縮小</p> <p>※前年度比較</p>
備考	

【令和6年度事業】実施計画書

整理番号	124	重要事業		総合戦略		担当部署	こども課	児童センター
款・項・目		事業名		当初予算額 (R4)		当初予算額 (R5)	当初予算額 (R6)	
3・2・6		児童館運営		17,207 千円		18,192 千円	20,387 千円	

【総合計画との関連】

基本目的	▶III_育てる幸せを感じ生涯にわたり互いに学び続ける家庭と文化を築くまち
施策目的	▶11_社会全体で健やかな子どもの成長を支え.子育ての喜びを感じられるまちになる
施策の方向	▶2_地域子育て支援の推進

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	健全な様々な遊びを提供し、豊かな心を育む子どもを増やす。
令和6年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
①運営事業 ・施設維持管理（安心・安全な施設の維持管理）	
②活動事業 ・一般事業 乳幼児親子対象事業（親子の交流と子育て支援の実施） 小学生事業（児童の協調性や連帯感の育成及び体力の増進を図る） 中高生事業（中高生の健全な居場所づくり） その他一般事業（地域・世代間の交流） ・年度継続教室活動 乳幼児親子対象教室（親子の交流と子育て支援の実施） 小中学生対象教室（児童の協調性や連帯感の育成及び体力の増進を図る）	

【事業スケジュール】

(単位 : 千円)

		令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業スケジュール	①運営事業 ・施設維持管理 ②活動事業 ・一般事業 乳幼児親子対象事業 小学生事業 中高生事業 その他一般事業 ・年度継続教室活動 乳幼児親子対象教室 小中学生対象教室	①運営事業 ・施設維持管理 ②活動事業 ・一般事業 乳幼児親子対象事業 小学生事業 中高生事業 その他一般事業 ・年度継続教室活動 乳幼児親子対象教室 小中学生対象教室	①運営事業 ・施設維持管理 ②活動事業 ・一般事業 乳幼児親子対象事業 小学生事業 中高生事業 その他一般事業 ・年度継続教室活動 乳幼児親子対象教室 小中学生対象教室	①運営事業 ・施設維持管理 ②活動事業 ・一般事業 乳幼児親子対象事業 小学生事業 中高生事業 その他一般事業 ・年度継続教室活動 乳幼児親子対象教室 小中学生対象教室
事業費	20,387	20,387	20,387	20,387
財源	国庫	0	0	0
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	159	159	159
	一般財源	20,228	20,228	20,228

【関連する指標】

	指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
活動指標	総来館者数	85,506	目標値	86,337	86,753	87,169	87,584	88,000
		単位：人	実績値	21,534	36,648	51,369	62,459	
活動指標	一般事業参加者	9,795	目標値	9,863	9,898	9,932	9,966	10,000
		単位：人	実績値	3,474	5,937	10,565	10,484	
活動指標	乳幼児親子対象教室参加者	1,780	目標値	1,853	1,890	1,927	1,963	2,000
		単位：人	実績値	210	310	377	474	
活動指標	小中学生対象教室参加者	855	目標値	903	928	952	976	1,000
		単位：人	実績値	301	564	713	932	

【令和6年度事業】事業評価調査

【事業の実績】

令和6年度予算額	24,891千円	令和6年度決算額	24,171千円
<p>■運営事業 ○利用状況（総来館者数） ・令和6年度までの3か年累計実績 150,476人 内訳（令和4年度：36,648人 令和5年度：51,369人 令和6年度：62,459人）</p> <p>■活動事業 ○一般事業参加延人数 ・令和6年度までの3か年累計実績 26,986人 内訳（令和4年度：5,937人 令和5年度：10,565人 令和6年度：10,484人）</p> <p>○乳幼児親子対象教室参加延人数 ・令和6年度までの3か年累計実績 1,161人 内訳（令和4年度：310人 令和5年度：377人 令和6年度：474人）</p> <p>○小学生対象教室参加延人数 2,209人 ・令和6年度までの3か年累計実績 内訳（令和4年度：564人 令和5年度：713人 令和6年度：932人）</p>			

【事業の評価】

【Check】 指標評価	A
事業の 必要性	<input type="checkbox"/> 高 政策の推進において不可欠な事業である ■ 中 政策の推進に寄与している事業である <input type="checkbox"/> 低 目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の 有効性	<input type="checkbox"/> 高 成果が高水準にある ■ 中 適切な成果が得られている <input type="checkbox"/> 低 成果が低水準にある
事業の 効率性	<input type="checkbox"/> 高 費用対効果が高水準にある ■ 中 適切な費用対効果が得られている <input type="checkbox"/> 低 費用対効果が低水準にある
評価根拠	目標値は、未達成であるが、総来館者数は増加している。子どもの全体数減少も要因のひとつではないか。
課題	これまで児童館が果たしてきた機能・役割に加え、中・高校生世代への支援「居場所づくり」、及び、事業等だけでなく通常時の来館者数増が課題となっている。
【Action】 今後の 方向性 ・内容	■ 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 (<input type="checkbox"/> 一部廃止) 今後、児童館が地域における「子どもの居場所」として、その機能・役割を十分に発揮し、子どもや保護者に寄り添い、誰もが安全・安心して利用できる場所を目指す。
令和8年度 事業計画	①運営事業 ・施設維持管理（安心・安全な施設の維持管理） ②活動事業 ・一般事業 乳幼児親子対象事業（親子の交流と子育て支援の実施） 小学生事業（児童の協調性や連帯感の育成及び体力の増進を図る） 中高生事業（中高生の健全な居場所づくり） その他一般事業（地域・世代間の交流） ・年度継続教室活動 乳幼児親子対象教室（親子の交流と子育て支援の実施） 小中高校生対象教室（児童の協調性や連帯感の育成及び体力の増進を図る）
予算規模 見込み	■ 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較
備考	

【令和6年度事業】実施計画書

整理番号	125	重要事業		総合戦略		担当部署	こども課 幼保運営係・幼保支援係
款・項・目		事業名		当初予算額 (R4)	当初予算額 (R5)	当初予算額 (R6)	
10・4・1		幼稚園運営		118,054千円	158,388千円	155,950千円	

【総合計画との関連】

基本目的	▶III_育てる幸せを感じ生涯にわたり互いに学び続ける家庭と文化を築くまち
施策目的	▶12_自ら学ぶ意欲とたくましく生きる力を身につけた未来を担う子どもが育つまちになる
施策の方向	▶1_学習環境や生活環境の充実

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	子どもたちが健やかに育ち、人間形成の基礎が培われる就学前の乳幼児期に、より良い教育・保育の提供ができるよう充実した公立幼稚園及び認定こども園の運営体制の推進を図る。
令和6年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
公立幼稚園2園及び認定こども園2園の運営に伴う費用を支出する。 ・会計年度任用職員の任用に係る賃金 ・幼稚園教諭等の質の向上のための研修費 ・給食材料費 ・保育用品等の購入費	

【事業スケジュール】

(単位 : 千円)

事業 スケジュール	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	幼稚園及び認定こども園の運営に伴う必要な経費の支出	幼稚園及び認定こども園の運営に伴う必要な経費の支出	幼稚園及び認定こども園の運営に伴う必要な経費の支出
事業費	155,950	155,950	155,950
財源	国庫 2,645	2,645	2,645
	県費 1,847	1,847	1,847
市債	0	0	0
その他	16,980	16,980	16,980
一般財源	134,478	134,478	134,478

【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
活動指標 幼稚園への指導回数	15 単位 : 回	目標値 実績値	15 15	15 -	15 -	15 -	15 -
活動指標 園長会議の開催数	5 単位 : 回	目標値 実績値	5 5	5 24	5 17	5 24	5 -
		目標値 実績値					
		目標値 実績値					

【令和6年度事業】事業評価調書

【事業の実績】

令和6年度予算額	157,190千円	令和6年度決算額	144,478千円
<p>■会計年度任用職員賃金 ・令和6年度までの累計実績 137,067,038円 内訳（令和4年度：29,049,156円 令和5年度：54,471,847円 令和6年度：53,546,035円）</p> <p>■研修参加負担金 ・令和6年度までの累計実績 228,966円 内訳（令和4年度：74,460円 令和5年度：69,890円 令和6年度：84,616円）</p> <p>■給食業務委託料 ・令和6年度までの累計実績 65,817,416円 令和5年度：業務委託料 18,305,100円 賄材料費 10,067,053円 令和6年度：業務委託料 24,406,800円 賄材料費 13,038,463円</p> <p>■備品購入件数（令和6年度の決算額 691,680円） ・令和6年度までの累計実績 15件 内訳（令和4年度：8件 令和5年度：3件 令和6年度：4件）</p>			

【事業の評価】

【Check】 指標評価	A
事業の 必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 政策の推進において不可欠な事業である <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 政策の推進に寄与している事業である 目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の 有効性	<input type="checkbox"/> 高 成果が高水準にある <input checked="" type="checkbox"/> 中 適切な成果が得られている <input type="checkbox"/> 低 成果が低水準にある
事業の 効率性	<input type="checkbox"/> 高 費用対効果が高水準にある <input checked="" type="checkbox"/> 中 適切な費用対効果が得られている <input type="checkbox"/> 低 費用対効果が低水準にある
評価根拠	令和6年度では実施できなかった施設整備もあった。研修では会場での参加に加えて、Zoomも活用して積極的に参加し保育の質の向上に努めた。老朽化した調理器具等の買い替えを行った。
課題	予算額の縮小。縮小した中でもよりよい幼稚園及びこども園運営を行っていく。
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 (<input type="checkbox"/> 一部廃止) 園児が安全に利用できるよう施設整備計画を進めること、保育士・幼稚園教諭の確保、質の向上のための研修に積極的に参加し、引き続き保育内容の充実を図っていく。
令和8年度 事業計画	公立幼稚園2園、公立こども園2園を運営するために必要な会計年度任用職員賃金や質の向上のための研修費、給食業務委託料、施設の修繕及び備品等の施設維持管理費等を支出する。
予算規模 見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較
備考	

【令和6年度事業】実施計画書

整理番号	126	重要事業		総合戦略		担当部署	教育総務課 総括係
款・項・目		事業名		当初予算額 (R4)	当初予算額 (R5)	当初予算額 (R6)	
10・1・2		奨学資金貸付事業		93,994千円	73,531千円	71,876千円	

【総合計画との関連】

基本目的	▶III_育てる幸せを感じ生涯にわたり互いに学び続ける家庭と文化を築くまち
施策目的	▶12_自ら学ぶ意欲とたくましく生きる力を身につけた未来を担う子どもが育つまちになる
施策の方向	▶2_夢と希望の実現に向けた支援の充実

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	進学の意欲と能力を有する者で、経済的理由により進学することが困難な者に対し必要な資金を貸与し、有為の人材を育成する。
令和6年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
奨学資金貸付事業	
○内容：奨学資金の貸与	
○令和6年度貸与計画（対象・金額・人数） ・高等学校又は専修学校の高等課程に在学する者 月額9,000円以内（新規4人・継続0人） ・高等専門学校に在学する者 月額17,500円以内（新規1人・継続0人） ・専修学校の専門課程又は大学に在学する者 月額39,900円以内（新規57人・継続90人） ※新規には追加募集分を含む	
○貸与期間：在学する学校の正規の修業期間	

【事業スケジュール】

(単位：千円)

事業 スケジュール	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	奨学資金の貸与	奨学資金の貸与	奨学資金の貸与
	○新規分 62人 (高校2人、専修高等2人、 高専1人、専修専門5人、 大学52人) ○継続分 90人 (専修専門8人、大学82人)	○新規分 60人 (高校2人、専修高等2人、 高専1人、専修専門5人、 大学50人) ○継続分 100人 (専修専門10人、大学90人)	○新規分 60人 (高校2人、専修高等2人、 高専1人、専修専門5人、 大学50人) ○継続分 97人 (専修専門10人、大学87人)
事業費	71,876	74,856	72,778
財源	国庫	0	0
	県費	0	0
	市債	0	0
	その他	71,876	74,843
	一般財源	0	13

【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
目標値 実績値	目標値 実績値						
目標値 実績値	目標値 実績値						
目標値 実績値	目標値 実績値						
目標値 実績値	目標値 実績値						

【令和6年度事業】事業評価調査

【事業の実績】

令和6年度予算額	59,013千円	令和6年度決算額	58,262千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	<p>■貸与者数 ・令和4年度：141名（内訳 高校3名、専修学校専門課程15名、大学125名） ・令和5年度：129名（内訳 高校1名、専修学校専門課程15名、大学113名） ・令和6年度：152名（内訳 高校1名、専修学校専門課程14名、大学107名）</p> <p>■貸与額（決算額） ・令和4年度：67,259,700円 ・令和5年度：61,394,400円 ・令和6年度：57,683,700円</p>			

【事業の評価】

【Check】 指標評価						
事業の 必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の 有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の 効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	少子化の中でも、本市の奨学金貸与希望者数は、近隣市町と比較しても決して少なくない状況である。令和5年度からは早期に審査上の貸与の可否がわかる貸与候補者決定制度を開始するとともに、値上がりしている授業料に対応するため貸与額の増額に向けて条例を改正するなど、学ぶ意欲のある学生が経済的な心配をすることなく学ぶことのできる環境づくりを実施した。					
課題	一部の自治体で給付型奨学金を含めた就学支援が広がりを見せる中で、本市においても国や他市の状況を鑑みながら、奨学金を希望する学生にとってよりよい制度となるように内容を見直していく必要がある。また、奨学金の返済が滞っている人に対して催告を継続していくとともに、より適切な基金の運用方法についても検討していく必要がある。					
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 繼続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 一部廃止					
奨学金制度について、国や他市の状況を把握しながら、学生にとってよりよい制度となるよう検討を行っていく。しかし、公立高校の授業料の完全無償化に続き、私立高校の授業料が令和8年度から支援額が引き上げられるとともに所得制限が撤廃となる見込みから、高校の貸与については見直しを検討する必要がある。併せて滞納者への催告等も隨時実施していく。						
令和8年度 事業計画	<p>奨学資金の貸与</p> <p>○新規分 56人（高校1人、専修高等1人、高専1人、専修専門1人、大学50人） ○継続分 94人（高校1人、専修高等0人、高専0人、専修専門11人、大学82人）</p>					
予算規模 見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較					
備考						

【令和6年度事業】実施計画書

整理番号	127	重要事業		総合戦略		担当部署	教育総務課 施設整備係
款・項・目		事業名		当初予算額 (R4)	当初予算額 (R5)	当初予算額 (R6)	
10・2・1		小学校施設維持管理		67,107千円	57,569千円	59,951千円	

【総合計画との関連】

基本目的	▶III_育てる幸せを感じ生涯にわたり互いに学び続ける家庭と文化を築くまち
施策目的	▶12_自ら学ぶ意欲とたくましく生きる力を身につけた未来を担う子どもが育つまちになる
施策の方向	▶1_学習環境や生活環境の充実

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	施設の維持修繕工事、消防設備・自家用電気工作物・OA機器等の管理業務委託、プール設備・昇降機の点検管理委託、機械警備委託、害虫駆除委託等を行い、小学校施設を適切に維持管理する。
令和6年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
全校校舎・屋内運動場等設備改修工事・遊具改修工事	
一小放送設備改修工事	一小校庭西側バスケットゴール撤去工事
二小給食用昇降機改修工事	三小多目的カーペット交換工事
五小高鉄棒下砂場入替工事	六小ベランダ手摺改修工事
七小トランス交換工事	七小1階教室外側スロープ設置工事
七小黒板交換工事	八小職員室電話設備改修工事
九小C S事務室床張替工事	十小北側出入口門扉改修工事
施設保守管理業務委託	
機械警備委託	
給食用昇降機保守管理委託（四・七小除く9校）	浄化槽保守点検委託（四・五・七・九・十・ことば）
自家用電気工作物保守管理委託	プールろ過機関係設備保守点検委託
消防設備保守点検委託	遊具保守点検委託
一般廃棄物収集運搬委託	大型廃棄物処理委託
受水槽高架水槽清掃業務委託	校務システム・教育ネットワーク関係業務委託
樹木伐採・剪定業務委託	エアコン室内機清掃業務委託

【事業スケジュール】

(単位：千円)

事業 スケジュール	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	・維持修繕工事（全校） ・施設保守管理業務委託（全校）	・維持修繕工事（全校） ・施設保守管理業務委託（全校）	・維持修繕工事（全校） ・施設保守管理業務委託（全校）
事業費	59,951	59,951	59,951
財源	国庫	0	0
	県費	0	0
	市債	0	0
	その他	1	1
	一般財源	59,950	59,950

【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
目標値 実績値	目標値 実績値						
目標値 実績値	目標値 実績値						
目標値 実績値	目標値 実績値						
目標値 実績値	目標値 実績値						

【令和6年度事業】事業評価調査

【事業の実績】

令和6年度予算額	59,951 千円	令和6年度決算額	59,927 千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	<p>維持修繕工事 令和4年度：八小キュービクル改修他67件 令和5年度：九小給水管改修工事他73件 令和6年度：二小給食用昇降機改修他58件</p> <p>消防保守等管理業務委託 消防・自家用電気工作物・コンピュータ・プール設備・昇降機・機械警備他 令和4年度：57件 令和5年度：33件 令和6年度：42件</p>			

【事業の評価】

【Check】 指標評価						
事業の 必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の 有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の 効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	小学校の施設を教育の場として常に好ましい状態に維持するために施設の維持管理を行うことは重要である。また、施設管理を計画的に行うことにより長寿命化を図ることができる。					
課題	施設の老朽化に伴い、各学校から修繕等の要望が増加しているが、すべてに対応ができない。					
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 繼続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 (<input type="checkbox"/> 一部廃止)					
	施設の維持管理に努めるとともに、限られた予算を有効に活用できるよう、施設の老朽度や要望等を踏まえながら事業の優先順位を考慮の上事業を執行していく。					
令和8年度 事業計画	小学校11校の維持管理を行う。					
予算規模 見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較					
備考						

【令和6年度事業】実施計画書

整理番号	128	重要事業	○	総合戦略		担当部署	教育総務課 施設整備係
款・項・目		事業名		当初予算額 (R4)	当初予算額 (R5)	当初予算額 (R6)	
10・2・3		小学校施設整備事業		40,430千円	6,041千円	18,391千円	

【総合計画との関連】

基本目的	▶III_育てる幸せを感じ生涯にわたり互いに学び続ける家庭と文化を築くまち
施策目的	▶12_自ら学ぶ意欲とたくましく生きる力を身につけた未来を担う子どもが育つまちになる
施策の方向	▶1_学習環境や生活環境の充実

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	良好な教育環境を確保するため、老朽化した施設・設備の改修を行う。
令和6年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
小学校施設整備事業【重要事業】 ・三小トイレ改修工事 ・美園小トイレ改修工事 ・図書室空調設備更新工事（二三四五七小）	

【事業スケジュール】

(単位：千円)

事業 スケジュール	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	小学校施設整備事業【重】 ・三小トイレ改修工事 ・美小トイレ改修工事 ・図書室空調設備更新工事 (二三四五七)	小学校施設整備事業【重】 ・三小屋内運動場LED化工事 ・五小管理教室棟屋上防水改修工事 ・六小普通教室棟屋上防水改修工事 ・図書室空調設備改修工事 (一六八九美) ・一小トイレ改修工事設計業務委託	小学校施設整備事業【重】 ・一小トイレ改修工事 ・六小外壁改修工事
事業費	18,391	117,100	212,938
国庫	0	0	23,300
県費	0	0	0
市債	16,200	21,800	46,700
その他	0	0	0
一般財源	2,191	95,300	142,938

【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
活動指標 トイレの洋式化率	44.05	目標値	55.85	61.75	67.65	73.55	80
	単位：%	実績値	53.32	59.00	63.36	76.11	
		目標値					
	単位：	実績値					
		目標値					
	単位：	実績値					
		目標値					
	単位：	実績値					

【令和6年度事業】事業評価調査

【事業の実績】

令和6年度予算額	48,904千円	令和6年度決算額	17,559千円
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	令和4年度：二小屋上防水改修工事 特別教室空調設備設置工事（R3繰越事業） 八小トイレ改修工事（R3繰越事業） 令和5年度：九小トイレ改修工事（R4繰越事業） 八小外壁改修工事（R4繰越事業） 令和6年度：三小トイレ改修工事（R5繰越事業） 美園小トイレ改修工事（R5繰越事業）		

【事業の評価】

【Check】 指標評価	A					
事業の 必要性	■ 高 政策の推進において不可欠な事業である	□ 中	政策の推進に寄与している事業である	□ 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある	
事業の 有効性	■ 高 成果が高水準にある	□ 中	適切な成果が得られている	□ 低	成果が低水準にある	
事業の 効率性	■ 高 費用対効果が高水準にある	□ 中	適切な費用対効果が得られている	□ 低	費用対効果が低水準にある	
評価根拠	学校施設は児童・生徒が一日の大半を過ごす学習の場であり、生きる力を育むための教育環境として重要な施設であるとともに地域の防災拠点（避難場所）であることから、トイレの洋式化、施設の老朽化対策事業を今後も実施していく必要がある。					
課題	<ul style="list-style-type: none"> 施設の老朽化が進み、改修に必要な経費が増加している。 財政状況が厳しいため施設の状況に応じ優先順位を付けながら計画を見直す必要がある。 					
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 繼続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> (一部廃止)					
良好的な教育環境とするため、また避難施設としての機能を維持するため、トイレの洋式化、施設の老朽化対策事業を実施していく。						
令和8年度 事業計画	一小トイレ改修工事 屋内運動場照明LED化工事（1・4・6・7・8・美） 六小屋上防水改修工事 屋内運動場空調設備設計業務委託					
予算規模 見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小					
備考						

【令和6年度事業】実施計画書

整理番号	129	重要事業		総合戦略		担当部署	教育総務課 施設整備係
款・項・目		事業名		当初予算額 (R4)	当初予算額 (R5)	当初予算額 (R6)	
10・3・1		中学校施設維持管理		34,320千円	28,773千円	26,688千円	

【総合計画との関連】

基本目的	▶III_育てる幸せを感じ生涯にわたり互いに学び続ける家庭と文化を築くまち
施策目的	▶12_自ら学ぶ意欲とたくましく生きる力を身につけた未来を担う子どもが育つまちになる
施策の方向	▶1_学習環境や生活環境の充実

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	施設の維持修繕工事、消防設備・自家用電気工作物・OA機器等の管理業務委託、プール設備・昇降機の点検管理委託、機械警備委託、害虫駆除委託等を行い、中学校施設を適切に維持管理する。	
令和6年度事業計画（主要な事業とその取組内容）		
全校校舎・屋内運動場等設備改修工事	一中プール腰洗い場嵩上げ工事	二中高圧気中開閉器改修工事
	三中昇降口前通路舗装工事	三中教室北側窓カーテン設置工事
	四中校庭西側防球ネット張替工事	四中普通教室廊下側扇風機設置工事
	多中トランク交換工事	多中防球ネット張替工事
施設保守管理業務委託		
機械警備委託		
給食用昇降機保守管理委託	浄化槽保守点検委託（三中）	
自家用電気工作物保守管理委託	プールろ過機関係設備保守点検委託	
消防設備保守点検委託	一般廃棄物収集運搬委託	
大型廃棄物処理委託	受水槽高架水槽清掃業務委託	
校務システム・教育ネットワーク関係業務委託		
樹木伐採・剪定業務委託		

【事業スケジュール】

(単位：千円)

事業 スケジュール	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	・維持修繕工事（全校） ・施設保守管理業務委託（全校）	・維持修繕工事（全校） ・施設保守管理業務委託（全校）	・維持修繕工事（全校） ・施設保守管理業務委託（全校）
事業費	26,688	26,688	26,688
財源	国庫	0	0
	県費	0	0
	市債	0	0
	その他	121	121
	一般財源	26,567	26,567

【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
目標値 実績値	目標値 実績値						
目標値 実績値	目標値 実績値						
目標値 実績値	目標値 実績値						
目標値 実績値	目標値 実績値						

【令和6年度事業】事業評価調査

【事業の実績】

令和6年度予算額	26,688千円	令和6年度決算額	26,630千円	
<p>維持修繕工事 令和4年度：四中プール塗装工事他36件 令和5年度：三中高圧気中開閉器交換工事他29件 令和6年度：多中トランク交換工事他33件</p> <p>【Do】 事業実績（成果） ※過去3カ年</p> <p>施設保守管理業務委託 消防・自家用電気工作物・コンピュータ・プール設備・昇降機・機械警備他 令和4年度：38件 令和5年度：30件 令和6年度：25件</p>				

【事業の評価】

【Check】 指標評価						
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	中学校の施設を教育の場として常に好ましい状態に維持するために施設の維持管理を行うことは重要である。また、施設管理を計画的に行うことにより長寿命化を図ることができる。					
課題	施設の老朽化に伴い、各学校から修繕等の要望が増加しているが、すべてに対応ができない。					
【Action】 今後の方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 繼続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 (<input type="checkbox"/> 一部廃止)					
施設の維持管理に努めるとともに、限られた予算を有効に活用できるよう、施設の老朽度や要望等を踏まえながら優先順位を考慮の上事業を執行していく。						
令和8年度事業計画	中学校5校の維持管理を行う。					
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較					
備考						

【令和6年度事業】実施計画書

整理番号	130	重要事業	○	総合戦略		担当部署	教育総務課 施設整備係
款・項・目		事業名		当初予算額 (R4)	当初予算額 (R5)	当初予算額 (R6)	
10・3・3		中学校施設整備事業		83,900千円	30,439 千円	12,132千円	

【総合計画との関連】

基本目的	▶III_育てる幸せを感じ生涯にわたり互いに学び続ける家庭と文化を築くまち
施策目的	▶12_自ら学ぶ意欲とたくましく生きる力を身につけた未来を担う子どもが育つまちになる
施策の方向	▶1_学習環境や生活環境の充実

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	良好な教育環境を確保するため、老朽化した施設・設備の改修を行う。
令和6年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
中学校施設整備事業【重要事業】 ・三中図書室空調設備更新工事 ・多中プールろ過機更新工事	

【事業スケジュール】

(単位 : 千円)

	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業スケジュール	中学校施設整備事業【重】 ・図書室空調設備改修工事（三中） ・多中プールろ過機更新工事	中学校施設整備事業【重】 ・図書室空調設備改修工事（四中） ・多中プール塗装工事	中学校施設整備事業【重】 ・二中屋内運動場照明LED化工事 ・三中プール塗装工事 ・一中柔剣道場改修工事設計業務委託
事業費	12,132	10,208	18,559
国庫	0	0	2,640
県費	0	0	0
市債	2,300	2,300	0
その他	0	0	0
一般財源	9,832	7,908	15,919

【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
活動指標 トイレの洋式化率	70.34	目標値	73.56	75.17	76.78	78.39	80
	単位 : %	実績値	70.79	81.85	81.85	81.85	
		目標値					
	単位 :	実績値					
		目標値					
	単位 :	実績値					
		目標値					
	単位 :	実績値					

【令和6年度事業】事業評価調査

【事業の実績】

令和6年度予算額	47,265千円	令和6年度決算額	11,742千円	
【Do】事業実績(成果) ※過去3カ年 <p>令和4年度 三中管理特別教室棟外壁改修工事 特別教室空調設備改修工事（三四多） 二中職員室他5室空調設備等改修工事（R3繰越事業） 四中トイレ改修工事（R3繰越事業） 令和5年度 二中プール塗装工事 三中普通教室棟防水改修工事 令和6年度 三中図書室空調設備更新工事 多中プールろ過装置更新工事</p>				

【事業の評価】

【Check】指標評価	A					
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	学校施設は児童・生徒が一日の大半を過ごす学習の場であり、生きる力を育むための教育環境として重要な施設であるとともに地域の防災拠点（避難場所）であることから、施設の老朽化対策事業を今後も実施していく必要がある。					
課題	<ul style="list-style-type: none"> 施設の老朽化が進み、改修に必要な経費が増加している。 財政状況が厳しいため施設の状況に応じ優先順位を付けながら計画を見直す必要がある。 					
【Action】今後の方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止（ <input type="checkbox"/> 一部廃止）					
良好な教育環境とするため、また避難施設としての機能を維持するため、屋内運動場の空調設備設置事業、施設の老朽化対策事業を実施していく。						
令和8年度事業計画	屋内運動場空調設備設置工事					
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較					
備考						

【令和6年度事業】実施計画書

整理番号	131	重要事業		総合戦略		担当部署	こども課幼保支援係 教育総務課施設整備係
款・項・目	事業名			当初予算額 (R4)	当初予算額 (R5)	当初予算額 (R6)	
10・4・1	幼稚園施設維持管理 (幼稚園施設維持管理) (認定こども園施設維持管理)			11,877千円	7,125千円	9,689千円	

【総合計画との関連】

基本目的	▶III_育てる幸せを感じ生涯にわたり互いに学び続ける家庭と文化を築くまち
施策目的	▶12_自ら学ぶ意欲とたくましく生きる力を身につけた未来を担う子どもが育つまちになる
施策の方向	▶1_学習環境や生活環境の充実

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	子どもたちが健やかに育ち、人間形成の基礎が培われる就学前の乳幼児期に、より良い教育・保育の提供ができるよう充実した公立幼稚園及び認定こども園の運営体制や施設の維持管理の推進を図る。
令和6年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
①公立幼稚園2園の整備を実施する。 ・各種設備の修繕 ・施設維持管理のための委託業務等 ・施設整備工事	
②公立認定こども園2園の整備を実施する。 ・各種設備の修繕 ・施設維持管理のための委託業務等 ・施設整備工事	

【事業スケジュール】

(単位：千円)

		令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業 スケジュール		①幼稚園施設維持管理 ・修繕 (440) ・保守管理業務委託等 (3,852) ・工事 (1,600) ②認定こども園施設維持管理 ・保守管理業務委託等 (3,797)	①幼稚園施設維持管理 ・修繕 (440) ・保守管理業務委託等 (3,852) ・工事 (1,600) ②認定こども園施設維持管理 ・修繕 (150) ・保守管理業務委託等 (3,797) ・工事 (573)	①幼稚園施設維持管理 ・修繕 (440) ・保守管理業務委託等 (3,852) ・工事 (1,600) ②認定こども園施設維持管理 ・修繕 (150) ・保守管理業務委託等 (3,797) ・工事 (573)
事業費		9,689	10,412	10,412
財源	国庫	0	0	0
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	9,689	10,412	10,412

【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
		目標値					
		実績値					
		目標値					
		実績値					
		目標値					
		実績値					
		目標値					
		実績値					

【令和6年度事業】事業評価調査

【事業の実績】

令和6年度予算額	9,447千円	令和6年度決算額	8,194千円
<p>■委託件数 ・令和6年度までの累計実績 53件 内訳（令和4年度：15件 令和5年度：14件 令和6年度：24件）</p> <p>■工事件数 ・令和6年度までの累計実績 4件 内訳（令和4年度：1件 令和5年度：2件 令和6年度：1件）</p> <p>【Do】 事業実績（成果） ※過去3カ年</p>			

【事業の評価】

【Check】 指標評価						
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	幼稚園の施設を教育の場として常に好ましい状態に維持するために施設の維持管理を行うことは重要である。また、施設管理を計画的に行うことにより長寿命化を図ることができる。					
課題	施設の老朽化に伴い、各園から修繕等の要望が増加しているが、すべてに対応ができない。					
【Action】 今後の方向性 ・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> (一部廃止)					
施設の維持管理に努めるとともに、限られた予算を有効に活用できるよう、施設の老朽度や要望等を踏まえながら事業の優先順位を考慮の上、事業を執行していく。						
令和8年度事業計画	公立幼稚園2園、公立こども園2園の施設維持管理を行う。					
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較					
備考						

【令和6年度事業】実施計画書

整理番号	132	重要事業		総合戦略		担当部署	教育総務課 学校教育課	総括係 学事係
款・項・目	事業名			当初予算額 (R4)	当初予算額 (R5)	当初予算額 (R6)		
10・1・3	学校教育総務			14,383千円	11,674千円	20,403千円		

【総合計画との関連】

基本目的	▶III_育てる幸せを感じ生涯にわたり互いに学び続ける家庭と文化を築くまち
施策目的	▶12_自ら学ぶ意欲とたくましく生きる力を身につけた未来を担う子どもが育つまちになる
施策の方向	▶1_学習環境や生活環境の充実

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	学校教育運営に必要な事業（事務費等の経常的経費のほか、学校での諸問題対応、児童生徒の健やかな学校生活に繋げる講座開催、各種システムの運用、ICTの活用等）を行う。
----------------	---

令和6年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
①学校教育運営（経常）	
<ul style="list-style-type: none"> いじめ問題調査委員会の運営 いじめ対策に關し必要な助言を行う。法律や医療等の専門家5名で組織され、年3回程度実施（報酬あり）。 スクールロイヤーの配置【新規事業】 学校での諸問題に法的側面から助言を行う弁護士と契約する（2名・対象：小中学校16校及び教育委員会）。 ゲートキーパー講座の開催【新規事業】 友達など身近な人の心の異変に気付き、声をかけたり教職員等に情報を伝えるなど「ゲートキーパー」として支援できるよう講座を開催する（中学校5校）。 「ロイロノート・スクール」の活用 思考ツールや共有ファイルを活用しながら、児童生徒の情報活用能力を育成するとともに教職員の教材研究の負担軽減など業務改善を図る（対象学年を小学1・2年生に拡大）。 	
②学校教育運営	
<ul style="list-style-type: none"> 就学時健診の実施 小学校入学予定者の健康診断を行うことで、疾病の早期発見と早期治療による入学までの健康回復、知能検査結果による適切な教育の提供などを目指す。市内小学校11校で実施。 ICT活用支援業務委託 ICT機器の効果的な活用や児童生徒の能力に応じた学びを進めるとともに、教職員の能力向上や負担軽減のためのサポートを行う。 学校の小規模化に伴う諸課題に対応した基本方針の策定に向けて、市民意識の把握等を行うためのアンケート調査を実施する。 	

【事業スケジュール】

(単位：千円)

事業 スケジュール	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	①学校教育運営（経常） <ul style="list-style-type: none"> いじめ問題調査委員会の運営 スクールロイヤーの配置【新】 ゲートキーパー講座の開催【新】 「ロイロノート・スクール」の活用 ②学校教育運営 <ul style="list-style-type: none"> 就学時健診の実施 ICT活用支援業務委託 教育環境に関するアンケート調査【新】 	①学校教育運営（経常） <ul style="list-style-type: none"> いじめ問題調査委員会の運営 スクールロイヤーの配置 ゲートキーパー講座の開催 「ロイロノート・スクール」の活用 ②学校教育運営 <ul style="list-style-type: none"> 就学時健診の実施 ICT活用支援業務委託 	①学校教育運営（経常） <ul style="list-style-type: none"> いじめ問題調査委員会の運営 スクールロイヤーの配置 ゲートキーパー講座の開催 「ロイロノート・スクール」の活用 ②学校教育運営 <ul style="list-style-type: none"> 就学時健診の実施 ICT活用支援業務委託
事業費	20,403	14,500	14,500
財源	国庫	832	0
	県費	610	610
	市債	0	0
	その他	6,759	0
	一般財源	12,202	13,890

【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
総合計画 指標	学校における教育の情報化（統合型校務支援システム整備率）	100	目標値	100	100	100	100
		単位：%	実績値	100	100	100	100
総合計画 指標	学校における教育の情報化（教員のICT活用指導力）	82.9	目標値	88.6	91.5	94.3	97.2
		単位：%	実績値	84.9	84.8	93.9	90.7
活動指標	就学時健康診断の受診率	96.1	目標値	97.4	98.05	98.7	99.35
		単位：%	実績値	98.3	99.0	99.1	99.3

【令和6年度事業】事業評価調査

【事業の実績】

令和6年度予算額	28,008千円	令和6年度決算額	27,447千円	
館林市教育環境に関するアンケート調査 ・魅力ある学校づくりや将来を見据えた学校のあり方について検討するためアンケートを実施 【調査対象者】9,206人 市内公立学校に通う児童生徒及びその保護者、教職員（校長、教頭、教務主任）、未就学児保護者（年中、年長クラス）、18歳以上の市民（無作為抽出） 【調査期間】令和6年9月4日（水）～9月25日（水） 【調査方法】市民：郵送、その他の対象者：学校（園）経由 【回答方法】Web又は紙回答 【回答者数及び回答率】回答者数：5,045人 回答率：54.8%				

【Do】
事業実績
(成果)
※過去3カ
年

- いじめ問題調査委員会実施回数
令和4年度 7回
令和5年度 4回
令和6年度 3回
- 就学時健診の実施数
令和4年度 小学校11校（受診者517人/対象者522人）
令和5年度 小学校11校（受診者450人/対象者454人）
令和6年度 小学校11校（受診者424人/対象者427人）
- ICT活用支援業務委託
令和4年度 巡回校数 延べ237校・ICT支援員数 5人
令和5年度 巡回校数 延べ85校・ICT支援員数 4人
令和6年度 巡回校数 延べ85校・ICT支援員数 3人
- スクールロイヤー業務委託
令和6年度 相談回数12件・研修実施回数17回・授業実施回数1回

【事業の評価】

【Check】 指標評価	B				
事業の 必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 て不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の 有効性	<input type="checkbox"/> 高 成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中 適切な成果が得られている		<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の 効率性	<input type="checkbox"/> 高 費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中 適切な費用対効果が得られている		<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の小規模化に伴う諸課題に対応した基本方針の策定に向けてアンケート調査を実施したこと、本市を取り巻く教育環境の現状について、児童生徒やその保護者、教育関係者や市民の意識を把握することができた。 ・就学時健診では、次年度就学予定の子どもの健康状態や学習能力を把握することで、適切な学級編制や個別支援に資することができた。また、令和6年度からスタートしたスクールロイヤー業務委託では、学校が抱える様々な問題について弁護士より法的側面からのアドバイスを受けることで、早期の問題解決に繋げることができた。他にも同じく令和6年度よりゲートキーパー養成講座を実施することで、生徒が身近な人の悩み等に気づくための知識を得ることができた。 				
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校の児童生徒数が急速に減少している中、児童生徒のより良い教育環境を確保し、質の高い教育を維持継続するため、学校の適正規模及び適正配置に関しての重要な基礎資料として活用を図っていく必要がある。 ・多岐にわたるいじめ問題や学校運営に係る諸問題に対し、専門家からの継続的なアドバイスを受ける機会を確保する必要がある。 				
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<ul style="list-style-type: none"> ■ 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止（<input type="checkbox"/> 一部廃止） <p>・今後は、学校適正規模・適正配置推進事業へ移行し、館林市立学校適正規模・適正配置審議会の諮問・答申を経て基本方針を策定していく。基本方針（総論）策定後は、（仮称）学校適正規模・適正配置検討委員会を設置し、基本方針に基づき詳細（個別）計画の具体的な検討を行う。 ・児童生徒が安全安心な学校生活を送るための施策を引き続き推進するとともに、それを実現するための適切かつ安定した学校運営を目指していく。ICT活用支援業務委託は、一人一台端末導入から5年が経過し、各校で研修体制の充実等により教員の資質能力が向上したことで、支援については一定の役目を果たしたと捉える。</p>				
令和8年度 事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・学校適正規模・適正配置推進事業 <ul style="list-style-type: none"> -（仮称）学校適正規模・適正配置検討委員会の設置 -基本方針（総論）案に基づき、詳細（個別）計画の具体的な検討及び策定 ・いじめ問題調査委員会の適宜開催 ・校務支援システム、授業支援アプリ等ICTの効果的な活用 ・就学時健診の実施 ・スクールロイヤーの活用 ・ゲートキーパー養成講座の継続実施 				
予算規模 見込み	<input type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> ※前年度比較				
備考					

【令和6年度事業】実施計画書

整理番号	133	重要事業		総合戦略		担当部署	学校教育課 学事係
款・項・目		事業名		当初予算額 (R4)	当初予算額 (R5)	当初予算額 (R6)	
10・1・3		学校教育指導事業		3,191千円	4,181千円	4,287千円	

【総合計画との関連】

基本目的	▶III_育てる幸せを感じ生涯にわたり互いに学び続ける家庭と文化を築くまち
施策目的	▶12_自ら学ぶ意欲とたくましく生きる力を身につけた未来を担う子どもが育つまちになる
施策の方向	▶1_学習環境や生活環境の充実

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	社会の変化に主体的に対応できる心豊かでたくましい児童・生徒の育成や学校教育の課題解決を目指し、指導体制の充実を図る。
令和6年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
○学校教育指導事業	
<ul style="list-style-type: none"> ・日本語指導助手の配置 日本語学級に在籍する外国籍の児童生徒に対し、日本語教育を充実させるための教員を臨時に任用する（第十小学校、第三中学校等に3名配置）。 ・美術展及び書道展等の委託 ＜小中学校美術展＞ 小中学校長会主催で、児童生徒の造形作品を広く鑑賞する機会を設けるとともに、児童生徒の表現力や造形的な見方を伸長し、図工美術教育の充実を図る。 ＜小中学校書道展＞ 小中学校長会主催で、児童生徒が文字を正しく整えて書く書写能力と心構えを養うため、広く作品鑑賞の機会を設けるもの。 ＜小中学校読書感想文編集事業＞ 優れた読書感想文集を作成し、国語学習への活用や読書への興味関心を高める。 ・教職員研修会の実施 教職員の資質向上を目的に、テーマに合わせた講師を招聘し講演会を開催する（人権教育研修会と合同開催）。 	

【事業スケジュール】

(単位 : 千円)

事業 スケジュール	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	①学校教育指導事業 ・日本語指導助手の配置 ・美術展及び書道展等の委託 ・教職員研修会の実施	①学校教育指導事業 ・日本語指導助手の配置 ・美術展及び書道展等の委託 ・教職員研修会の実施	①学校教育指導事業 ・日本語指導助手の配置 ・美術展及び書道展等の委託 ・教職員研修会の実施
事業費	4,287	4,287	4,287
財源	国庫 0	0	0
	県費 0	0	0
	市債 0	0	0
	その他 0	0	0
	一般財源 4,287	4,287	4,287

【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
活動指標 指導主事による学校訪問の回数	145	目標値	145	145	145	145	145
	単位 : 回	実績値	148	129	148	158	
活動指標 日本語指導を必要とする児童生徒数	39	目標値	39	40	40	40	40
	単位 : 人	実績値	41	40	37	53	
		目標値					
		実績値					
		目標値					
		実績値					

【令和6年度事業】事業評価調書

【事業の実績】

令和6年度予算額	4,287千円	令和6年度決算額	3,983千円
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ年	<p>【日本語指導助手】 令和4年度 第十小学校と第三中学校に各1名配置 令和5～6年度 第八小学校と第十小学校、第三中学校に各1名配置</p> <p>【美術展・書道展】 令和4年度 共に市内展示施設で開催 令和5年度 共に市内展示施設で開催 令和6年度 <美術展>市役所市民ホール <書道展>市内ショッピングモールで実施</p> <p>【教職員研修会】 令和4年度 テーマ「地域とともにある学校づくり」 受講者数約400名 令和5年度 テーマ「児童生徒が主体的に学ぶ探究的な学習の充実」 受講者数約400名 令和6年度 テーマ「背景から考える不登校の理解と支援」 受講者数約400名</p>		

【事業の評価】

【Check】 指標評価	A					
事業の 必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の 有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の 効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	<ul style="list-style-type: none"> 児童生徒の育成や学校教育の課題解決のために指導体制の充実を図っている。 外国籍の児童生徒の増加に伴い、日本語指導が必要な子どもの人数も増加が見られる。 					
課題	外国籍児童生徒の増加により、日本語指導助手や日本語学級数が不足している。					
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> (一部廃止)					
令和8年度 事業計画	<ul style="list-style-type: none"> 日本語指導に関しては、近年の外国籍児童生徒への対応が増加傾向であることから、日本語指導助手の増員や日本語学級の新規開設などを考えていく必要がある。 					
予算規模 見込み	<input type="checkbox"/> 同規模 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較					
備考						

【令和6年度事業】実施計画書

整理番号	134	重要事業	○	総合戦略		担当部署	学校教育課 指導係
款・項・目		事業名		当初予算額 (R4)	当初予算額 (R5)	当初予算額 (R6)	
10・1・3		学力向上対策事業		14,227千円	19,080千円	15,413千円	

【総合計画との関連】

基本目的	▶III_育てる幸せを感じ生涯にわたり互いに学び続ける家庭と文化を築くまち
施策目的	▶12_自ら学ぶ意欲とたくましく生きる力を身につけた未来を担う子どもが育つまちになる
施策の方向	▶4_確かな学力と豊かな心を育む教育の推進

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	基礎学力の向上を目指し、教育方法の改善・充実を図る。また学力診断を通じて児童生徒の学力を把握し、実践指導に活かす。
令和6年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
<p>①児童生徒学力向上対策事業【重要事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学力診断の実施 学力診断を実施して児童生徒の学力を把握し、実践指導に生かす。 小学校(CRT) 3~6年(国語・算数) 小学校(CRT) 5~6年(社会・理科) 中学校(CRT) 1~2年(国語・社会・数学・理科・英語) 中学校(NRT) 1年(国語・社会・数学・理科・英語) 心理検査「hyper-QU」 小学校6年、中学校1~2年 心理検査を実施し、結果分析をもとに生徒理解や学級経営を充実させることで、学力の向上を図る。 ・オンライン学習「ミライシード(AIドリル)」の実施 個別最適な学びの一助として、小学校3年生以上を対象にオンライン学習アプリ「ミライシード(AIドリル)」を活用する。【新規事業】 	

【事業スケジュール】

(単位：千円)

事業 スケジュール	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	①児童生徒学力向上対策事業 【重】 ・学力診断の実施 ・心理検査「hyper-QU」の実施 ・オンライン学習「ミライシード(AIドリル)」の実施【新】	①児童生徒学力向上対策事業 【重】 ・学力診断の実施 ・心理検査「hyper-QU」の実施 ・オンライン学習「ミライシード(AIドリル)」の実施	①児童生徒学力向上対策事業 【重】 ・学力診断の実施 ・心理検査「hyper-QU」の実施 ・オンライン学習「ミライシード(AIドリル)」の実施
事業費	15,413	15,413	15,413
財源	国庫	0	0
	県費	0	0
	市債	0	0
	その他	7,735	0
	一般財源	7,678	15,413

【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
総合計画指標	標準学力テストで全国平均を上回る学校数(小学校)	11	目標値	11	11	11	11
		単位：校	実績値	7	4	4	7
総合計画指標	標準学力テストで全国平均を上回る学校数(中学校)	3	目標値	4	4	4	5
		単位：校	実績値	4	2	3	0
			目標値				
		単位：	実績値				
			目標値				
		単位：	実績値				

【令和6年度事業】事業評価調査

【事業の実績】

令和6年度予算額	15,413千円	令和6年度決算額	14,654千円
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	<p><CRT>令和4年度 小学3～6年生（3～4年：2教科、5～6年：4教科）延べ7,080人 中学1～2年生（5教科）延べ5,714人</p> <p>令和5年度 小学3～6年生（3～4年：2教科、5～6年：4教科）延べ6,695人 中学1～2年生（5教科）延べ5,752人</p> <p>令和6年度 小学3～6年生（3～4年：2教科、5～6年：4教科）延べ6,436人 中学1～2年生（5教科）延べ5,697人</p> <p><NRT>令和4年度 中学1年生（5教科）延べ2,894人</p> <p>令和5年度 中学1年生（5教科）延べ3,143人</p> <p>令和6年度 中学1年生（5教科）延べ2,787人</p> <p><hyper-QU>令和5年度 中学1年生626人</p> <p>令和6年度 小学6年生、中学1・2年生1,742人</p> <p><提案授業公開></p> <p>令和4年度 小学校社会（第八小）、中学校国語（第三中）※縮小開催</p> <p>令和5年度 小学校英語（第六小）、中学校理科（第四中）</p> <p>令和6年度 小学校国語（第三小）、中学校数学（第三中）</p>		

【事業の評価】

【Check】 指標評価	C					
事業の 必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の 有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の 効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	<p>指標については、標準学力テストで全国平均を上回る学校数が年度目標に比べ、小学校も中学校も下回っているが、小学校においては昨年度を上回った。また、市全体の結果を見ると、学年、教科によって全国平均を上回ったものもある。小中学校ともに、結果を基に児童生徒の実態を把握し、個に応じた支援や授業改善に生かすことができている。</p>					
課題	<p>標準学力テストの結果を分析し、学習指導要領に即した授業改善により、児童生徒の学力向上をさらに図る必要がある。</p> <p>令和6年度から導入したミライシードについて、児童生徒の個別最適な学習に向けてさらに効果的な活用を図り、児童生徒の学力向上につなげる必要がある。</p> <p>hyper-QUについては実施学年を拡大し、結果を分析して個に応じた支援や学級集団作りに活用することで、学力向上を支える児童生徒理解や学級経営の充実を図る必要がある。</p>					
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<p><input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> (一部廃止)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の学力向上と教師の授業改善を図るために、成果と課題について数値データに基づく客観的な評価を継続していく必要がある。 ・CRTを小学校3年生以上での実施から、小学校1年生からの実施とし、低学年からの適切な指導や個に応じた支援を行い、基礎・基本の定着を図る。 ・ミライシードを活用することで、個別最適な学びの実現や、AI型ドリルによる児童生徒のつまづきに応じた学習が図られるようにし、基礎・基本の確実な定着を図る。 ・hyper-QUを中学校1・2年生、小学校6年生から小学校5年生へと実施学年を拡大し、児童生徒の学級満足度や学校生活意欲等を分析することで、学力向上を支える児童生徒理解や学級経営の充実を図る。 					
令和8年度 事業計画	<p>①児童生徒学力向上対策事業 ・学力診断の実施 ・「ミライシード」の実施 ・学級集団アセスメント「hyper-QU」の実施</p> <p>②校内研修事業 ・校内研修の実施</p>					
予算規模 見込み	<p><input type="checkbox"/> 同規模 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小</p> <p>※前年度比較</p>					
備考						

【令和6年度事業】実施計画書

整理番号	135	重要事業	○	総合戦略		担当部署	学校教育課 指導係
款・項・目		事業名		当初予算額 (R4)	当初予算額 (R5)	当初予算額 (R6)	
10・1・3		英語教育推進事業		75,186千円	73,981千円	74,801千円	

【総合計画との関連】

基本目的	▶Ⅲ_育てる幸せを感じ生涯にわたり互いに学び続ける家庭と文化を築くまち
施策目的	▶12_自ら学ぶ意欲とたくましく生きる力を身につけた未来を担う子どもが育つまちになる
施策の方向	▶4_確かな学力と豊かな心を育む教育の推進

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	児童生徒の英語力や学習意欲の向上を図るとともに、国際化社会に対応するため英語指導助手を配置し、国際理解教育を推進する。
----------------	---

令和6年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

①英語教育推進事業【重要事業】

- ・館林版「英語村」の開催
ALTとの交流を豊かに体験できる機会を子ども達の身近な環境に設定し、英語でコミュニケーションを図る力を育成するため
に、4つの柱でプログラムを実施する。
- ・英語検定料補助金
館林市内在住または市内の小中学校に在籍し、英検3級以上を受検した児童生徒の保護者を対象に、検定料の半額を助成する。
ただし、4,000円を上限とし、申請は1人につき年度内に1回とする。
※3級以上に合格し、その年度内に同一の児童生徒が上位の級を受検する場合は、再度助成（最大2回まで）

②小学校英語指導助手配置事業

- ・ALT（直接任用）の配置
- ・ALT（派遣）の配置
1校1名配置し、小学校における英語活動・英語科の全授業で日本人教師とのチームティーチングを行うとともに、教材作成や日本人教師の指導力向上を図るための研修を行う。また、館林版英語村プロジェクトにおいて活用を図る。

③中学校英語指導助手配置事業

- ・ALT（JETプログラム）の配置
1校1名配置し、英語によるコミュニケーション力を育成するとともに、国際社会で活躍できる子どもの育成のために活用する。
また、館林版英語村プロジェクトにおいて活用を図る。

【事業スケジュール】

（単位：千円）

事業 スケジュール	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	①英語教育推進事業【重】 ・館林版「英語村」の開催 ・英語検定料補助金 ②小学校英語指導助手配置事業【重】 ・ALT（直接任用）の配置 ・ALT（派遣）の配置 ③中学校英語指導助手配置事業【重】 ・ALT（JETプログラム）の配置	①英語教育推進事業【重】 ・館林版「英語村」の開催 ・英語検定料補助金 ②小学校英語指導助手配置事業【重】 ・ALT（直接任用）の配置 ・ALT（派遣）の配置 ③中学校英語指導助手配置事業【重】 ・ALT（JETプログラム）の配置	①英語教育推進事業【重】 ・館林版「英語村」の開催 ・英語検定料補助金 ②小学校英語指導助手配置事業【重】 ・ALT（直接任用）の配置 ・ALT（派遣）の配置 ③中学校英語指導助手配置事業【重】 ・ALT（JETプログラム）の配置
事業費	74,801	74,801	74,801
国庫	0	0	0
県費	0	0	0
市債	0	0	0
その他	2,189	0	0
一般財源	72,612	74,801	74,801

【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
活動指標 ALTの配置校数（置籍校）	10	目標値	12	13	14	16	16
	単位：校	実績値	15	16	16	16	
活動指標 英語検定料補助金交付者数（市内学校）	0	目標値	100	150	200	250	300
	単位：人	実績値	245	359	345	301	
		目標値					
		実績値					
		目標値					
		実績値					

【令和6年度事業】事業評価調書

【事業の実績】

令和6年度予算額	73,275千円	令和6年度決算額	72,397千円
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ年	<p>英語教育推進事業【令和3年度より開始】</p> <p>(1) 館林版「英語村」として以下の4つの事業を行った。</p> <p>①夏休み英語イベント(小・中)：小学校では3日間延べ130名、中学校では1日で9名の参加があった。</p> <p>②授業時間以外での英語にふれる活動：全小中学校において、掲示物の作成や活動を行っている様子が見られた。</p> <p>③オンライン英会話：年間3回実施、延べ96名の参加があった。</p> <p>④All English Day：4～10名のALTが全小中学校を訪問し、子どもたちと英語でふれあう活動を実施した。</p> <p>(2) 英語検定料補助金</p> <p>館林市内在住または在学の児童生徒延べ301名の保護者に交付を行った。</p> <p>(3) 市内全校へのALTの配置</p> <p>全校配置を行うことにより、各校での英語にふれる環境整備を推進できた。また、授業における担当教員との打合せをしやすくなった。</p>		

【事業の評価】

【Check】 指標評価	A					
事業の 必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の 有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の 効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	<p>(1) 英語村事業では、参加者への各種アンケートで高評価が得られた。①夏休み英語イベントのアンケートにおいて、67名の回答数のうち「とても満足・やや満足」が97%であった。④All English Dayのアンケートでは、小中学生2791名の回答数のうち、「楽しかった、とても楽しかった」が97.0%であった。</p> <p>(2) 英語検定料補助金では、前年度に引き続き、300名以上の申請数の増加が見られた。</p>					
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・中学生に向けたイベントの参加者数が少なかった。単に「楽しい」というだけではなく「参加するとどのようなことが学べるか」ということについて、様々な方法で周知すべきであった。 ・オンライン英会話講座では、定員を満たすことが出来ず、周知や講座の魅力発信が不徹底であった。 					
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 繼続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> (一部廃止)					
<ul style="list-style-type: none"> ・英語のイベントを行う際、「何を学べるか、得られるか」を明確にし、それをチラシ等に掲載する。 ・早めに各校へチラシを配付し、周知期間を長くする。 ・チラシ配布だけではなく、スマートフォンアプリ「Home&School」を用いて、イベント内容を配信する。 ・各校英語主任に働きかけ、迷っている児童生徒に声をかけてもらえるよう依頼する。 						
令和8年度 事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・館林版「英語村」は3事業とする。（英語村活動・All English Day、夏休みイベント） ・英語検定料補助 ・市内全校へのALTの配置 					
予算規模 見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> ※前年度比較					
備考						

【令和6年度事業】実施計画書

整理番号	136	重要事業		総合戦略		担当部署	学校教育課 学事係
款・項・目		事業名		当初予算額 (R4)	当初予算額 (R5)	当初予算額 (R6)	
10・1・3		現職教育研究事業		575千円	555千円	615千円	

【総合計画との関連】

基本目的	▶III_育てる幸せを感じ生涯にわたり互いに学び続ける家庭と文化を築くまち
施策目的	▶12_自ら学ぶ意欲とたくましく生きる力を身につけた未来を担う子どもが育つまちになる
施策の方向	▶4_確かな学力と豊かな心を育む教育の推進

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	知・徳・体の調和の取れた、たくましく人間性豊かな児童生徒の育成を図るため、小・中学校長会へ研究事業を委託し、各領域に沿った研究実践を推進する。
令和6年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
○現職教育研究事業 ・小学校長会委託事業 教科研究事業（合同研修、理科、事務、新聞等）、体育実技研究事業の実施 ・中学校長会委託事業 教科等研究事業（教科研究、美術科研究、理科実験研究等）、体験学習・進路対策調査事業の実施	

【事業スケジュール】

(単位：千円)

		令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業スケジュール	①現職教育研究事業 ・小学校長会委託事業 ・中学校長会委託事業	①現職教育研究事業 ・小学校長会委託事業 ・中学校長会委託事業	①現職教育研究事業 ・小学校長会委託事業 ・中学校長会委託事業	
事業費	615	615	615	615
財源	国庫	0	0	0
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	615	615	615

【関連する指標】

指標		現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
活動指標	校長会委託事業の実施率	100 単位：%	目標値 実績値	100 87.5	100 87.5	100 87.5	100 100	100 100
			目標値 実績値					
			目標値 実績値					
			目標値 実績値					
			目標値 実績値					

【令和6年度事業】事業評価調書

【事業の実績】

令和6年度予算額	615千円	令和6年度決算額	615千円
<p>■委託の発注状況</p> <p>【令和4年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校長会への委託 2事業（教科研究、体育実技研究） ・中学校長会への委託 5事業（教科等研究、理科実験研究、技術・家庭科研究、体験学習、進路対策調査） <p>※美術科研究は感染防止の観点から中止</p> <p>【令和5年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校長会への委託 2事業（教科研究、体育実技研究） ・中学校長会への委託 6事業（教科等研究、美術科研究、理科実験研究、技術・家庭科研究、体験学習、進路対策調査） <p>【令和6年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校長会への委託 2事業（教科研究、体育実技研究） ・中学校長会への委託 6事業（教科等研究、美術科研究、理科実験研究、技術・家庭科研究、体験学習、進路対策調査） 			

【事業の評価】

【Check】 指標評価	A					
事業の 必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の 有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の 効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	教員の資質向上と授業運営の改善等を目指し、全事業で内容の吟味や効率的・効果的な手法を検討を進めたことで、十分な成果を得ることができた。					
課題	事業が細分化されており、委託としての発注事務が煩雑なため、委託業務を統合することも検討していく必要がある。					
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> (一部廃止)					
事務手続きを改善し、市の委託の方法に近づけていく。						
令和8年度 事業計画	小学校長会事業 2事業 中学校長会事業 6事業					
予算規模 見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較					
備考						

【令和6年度事業】実施計画書

整理番号	137	重要事業		総合戦略	<th>担当部署</th> <td>学校教育課 指導係</td>	担当部署	学校教育課 指導係
款・項・目	事業名			当初予算額 (R4)	当初予算額 (R5)	当初予算額 (R6)	
10・1・3	学校体育事業			1,044千円	1,756千円	1,287千円	

【総合計画との関連】

基本目的	▶III_育てる幸せを感じ生涯にわたり互いに学び続ける家庭と文化を築くまち
施策目的	▶12_自ら学ぶ意欲とたくましく生きる力を身につけた未来を担う子どもが育つまちになる
施策の方向	▶2_夢と希望の実現に向けた支援の充実

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	各小学校から選抜された児童が、走る・跳ぶ・投げる・泳ぐの各領域で自己記録の更新等を目指し、向上していくことを促進する。
令和6年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
<p>①学校体育事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市水泳記録会及び市陸上記録会の開催 水泳及び陸上記録会の賞品購入、記録証の作成、大会送迎用バスの手配。 ・県水泳記録会及び県陸上記録会への派遣 代表児童用ユニフォーム作成、大会送迎用バスの手配。 	

【事業スケジュール】

(単位：千円)

		令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業スケジュール	①学校体育事業 ・市水泳記録会及び市陸上記録会の開催 ・県水泳記録会及び県陸上記録会への派遣	①学校体育事業 ・市水泳記録会及び市陸上記録会の開催 ・県水泳記録会及び県陸上記録会への派遣	①学校体育事業 ・市水泳記録会及び市陸上記録会の開催 ・県水泳記録会及び県陸上記録会への派遣	
事業費	1,287	1,287	1,287	
財源	国庫	0	0	0
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	1,287	1,287	1,287

【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
総合計画指標 数	新体力テストで全国平均を上回る学校	男6・女5 単位：校	目標値 実績値	男8・女7 男6・女5	男8・女8 男5・女4	男9・女10 男7・女9	男10・女10 男6・女4
		男6・女5 単位：校	目標値 実績値				
		男6・女5 単位：校	目標値 実績値				
		男6・女5 単位：校	目標値 実績値				

【令和6年度事業】事業評価調査

【事業の実績】

令和6年度予算額	1,370千円	令和6年度決算額	1,368千円
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ年	<p>令和4年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市水泳記録会開催、県水泳記録会選手派遣 ・市陸上記録会開催、県陸上記録会選手派遣 <p>令和5年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市水泳記録会開催、県水泳記録会選手派遣 ・市陸上記録会開催、県陸上記録会選手派遣 <p>令和6年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市水泳記録会開催、県水泳記録会選手派遣 ・市陸上記録会開催、県陸上記録会選手派遣 		

【事業の評価】

【Check】 指標評価	C					
事業の 必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の 有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の 効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	陸上記録会をとおして、児童の基礎体力及び基礎技能の向上を目指し、館林市教育大綱施策目的である、「自ら学ぶ意欲とたくましく生きる力を身に付けた未来を担う子どもが育つまち」の実現を目指すために、今年度と同等の規模で継続する必要があると考える。					
課題	体力の低下傾向は否めない。運動機会の確保並びに体力の向上を図っていく必要がある。					
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> (一部廃止)					
基礎体力の低下の改善を図るために、児童が意欲をもって体を動かす機会を設定することが不可欠である。本事業は、児童が自己記録の更新を目指し、意欲的に体を動かす機会と言える。今後も、児童の体力向上を図るための機会として、本事業の継続は意義深いと考える。						
令和8年度 事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・市陸上記録会の開催 ・県陸上記録会への派遣 					
予算規模 見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較					
備考						

【令和6年度事業】実施計画書

整理番号	138	重要事業	総合戦略	担当部署	学校教育課 指導係
款・項・目		事業名	当初予算額 (R4)	当初予算額 (R5)	当初予算額 (R6)
10・1・3		人権教育推進事業	148千円	152千円	151千円

【総合計画との関連】

基本目的	▶III_育てる幸せを感じ生涯にわたり互いに学び続ける家庭と文化を築くまち
施策目的	▶12_自ら学ぶ意欲とたくましく生きる力を身につけた未来を担う子どもが育つまちになる
施策の方向	▶4_確かな学力と豊かな心を育む教育の推進

【事業の目的及び内容】

【Plan】事業目的	各教科・道徳・学級活動等の全教育活動を通した人権教育の推進及び人権に視点を当てた年間指導計画の改善と充実を図る。
令和6年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
<p>①学校人権教育の推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人権教育研修会の開催 群馬県が掲げる人権教育に関する重要課題について教職員の見識を高めるとともに、児童生徒への指導力向上を図る。 <対象>市立幼稚園・こども園、小中学校教職員、社会教育委員、人権擁護委員 等 ・人権週間ポスター等コンクールの開催 幼児児童生徒の人権への理解と意識の向上を図るため、人権教育に関する内容の作文、標語、ポスター（図画）の募集を行う。 <募集点数> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校（各校） 作文・標語・ポスター 各3点 ・小学校（各校） 作文・標語・ポスター（低学年は図画） 各3点 ・幼稚園・こども園（各園） 図画 3点 ※作品は市役所市民ホールに展示。応募者には参加賞を贈呈。 	

【事業スケジュール】

(単位 : 千円)

事業スケジュール	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	①学校人権教育の推進事業 ・人権教育研修会の開催 ・人権週間ポスター等コンクールの開催	①学校人権教育の推進事業 ・人権教育研修会の開催 ・人権週間ポスター等コンクールの開催	①学校人権教育の推進事業 ・人権教育研修会の開催 ・人権週間ポスター等コンクールの開催
事業費	151	151	151
財源	国庫	0	0
	県費	0	0
	市債	0	0
	その他	0	0
	一般財源	151	151

【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
活動指標 人権教育研修の参加率	100 単位 : %	目標値 実績値	100 100	100 100	100 100	100 100	100 100
		目標値 実績値					
		目標値 実績値					
		目標値 実績値					

【令和6年度事業】事業評価調査

【事業の実績】

令和6年度予算額	151千円	令和6年度決算額	134千円
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	<ul style="list-style-type: none"> ○学校人権教育推進委員会 全2回 ○人権擁護作品展の賞状・応募賞品の配付 ○教職員人権全体研修会の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度【⑤同和問題】 「同和問題から人権を考えよう」 講師：群馬県生活こども部生活こども課 人権啓発専門員 ・令和5年度【②子どもたち】 「LGBTQの子どもたちの声を聞くために」 講師：一般社団法人ハレルワ代表 ・令和6年度【②子どもたち】 「途上国・国際協力を通して子どもの人権を考える」 講師：独立行政法人国際協力機構 東京 八星 真里子 様 		

【事業の評価】

【Check】 指標評価	A					
事業の 必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の 効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	学校人権教育推進委員会や教職員人権全体研修会の開催を通して、14項目の重要課題についての教職員の見識を高めるとともに、教職員による幼児児童生徒への人権の指導力向上を図った。					
課題	様々な人権課題に対する教職員の見識の高め方、教職員の人権意識の高め方、幼児児童生徒への指導力向上を図る方策を検討する必要がある。					
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> (一部廃止)					
継続して教職員の人権意識を高め、人権教育に関わる資質能力の育成を図り、指導力向上を目指していく必要がある。また、人権教育における常時指導の重要性を意識できるよう啓発を行っていく。						
令和8年度 事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・人権教育研修会の開催 ・人権週間にに関する作品募集・展示 ・人権教育だよりの発行 					
予算規模 見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> ※前年度比較					
備考						

【令和6年度事業】実施計画書

整理番号	139	重要事業		総合戦略		担当部署	学校教育課 指導係
款・項・目		事業名		当初予算額 (R4)	当初予算額 (R5)	当初予算額 (R6)	
10・1・3		特別支援教育指導事業		576千円	576千円	573千円	

【総合計画との関連】

基本目的	▶III_育てる幸せを感じ生涯にわたり互いに学び続ける家庭と文化を築くまち
施策目的	▶12_自ら学ぶ意欲とたくましく生きる力を身につけた未来を担う子どもが育つまちになる
施策の方向	▶5_「自助」や「共助」の意識を育む教育の推進

【事業の目的及び内容】

【Plan】事業目的	児童生徒にとって望ましい学びの場を判断し、特別支援教育活動を推進するため、市教育支援委員会活動を実施する。
令和6年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
<p>①特別支援教育活動の推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育支援委員会の開催 小中学校在籍児童生徒の就学や支援に関わる判断を行う。年2回程度実施。委員数：20名（特別支援学級設置校長、養護教諭、家庭児童相談員、医師等で構成） ・特別支援教育啓発紙の作成 特別支援教育の啓発を図るため、館林市特別支援教育推進委員会啓発部において啓発紙「ちから」を作成し毎戸配布を行う。 	

【事業スケジュール】

(単位：千円)

事業スケジュール	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	①特別支援教育活動の推進事業 ・教育支援委員会の開催 ・特別支援教育啓発紙の作成	①特別支援教育活動の推進事業 ・教育支援委員会の開催 ・特別支援教育啓発紙の作成	①特別支援教育活動の推進事業 ・教育支援委員会の開催 ・特別支援教育啓発紙の作成
事業費	573	573	573
財源	国庫 0	0	0
	県費 0	0	0
	市債 0	0	0
	その他 0	0	0
一般財源	573	573	573

【関連する指標】

活動指標	指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
	特別支援教育及び教育支援等会議の実施数	10 単位：回	目標値 実績値	10 9	10 9	10 9	10 9	10 9
			目標値 実績値					
			目標値 実績値					
			目標値 実績値					
			目標値 実績値					

【令和6年度事業】事業評価調書

【事業の実績】

令和6年度予算額	573千円	令和6年度決算額	414千円
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ年	令和4年度 教育支援委員会3回、教育支援小委員会2回 開催 →令和4年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から規模を縮小して開催 令和5年度 教育支援委員会3回、教育支援小委員会2回 開催 令和6年度 教育支援委員会3回、教育支援小委員会2回 開催 令和4～6年度 特別支援教育啓発紙「ちから」の発行（毎戸配布）		

【事業の評価】

【Check】 指標評価	B				
事業の 必要性	■ 高	政策の推進において不可欠な事業である	□ 中	政策の推進に寄与している事業である	□ 低
事業の 有効性	■ 高	成果が高水準にある	□ 中	適切な成果が得られている	□ 低
事業の 効率性	■ 高	費用対効果が高水準にある	□ 中	適切な費用対効果が得られている	□ 低
評価根拠	個別の教育支援計画、指導計画の整備と活用を推進し、一人一人の教育的ニーズに応じた相談、支援を行った。				
課題	・教育支援を必要とする幼児・児童・生徒が増加している。 ・障害や特性の多様化に伴い、他課との連携が必要である。 ・課題に対応するため、新しい検査用紙等（WISC-4やS-M社会生活能力検査第三版等）や手引書を購入していく必要がある。				
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> (一部廃止)				
令和8年度 事業計画	教育的ニーズや幼児児童生徒の実態に応じた多様な学びの場の柔軟な検討を行うため、継続した取組が必要である。				
予算規模 見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較				
備考					

【令和6年度事業】実施計画書

整理番号	140	重要事業		総合戦略		担当部署	学校教育課 指導係
款・項・目		事業名		当初予算額 (R4)	当初予算額 (R5)	当初予算額 (R6)	
10・1・3		生き方教育推進事業		48千円	48千円	47千円	

【総合計画との関連】

基本目的	▶III_育てる幸せを感じ生涯にわたり互いに学び続ける家庭と文化を築くまち
施策目的	▶12_自ら学ぶ意欲とたくましく生きる力を身につけた未来を担う子どもが育つまちになる
施策の方向	▶2_夢と希望の実現に向けた支援の充実

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	人間としての生き方の自覚を深める進路指導のあり方について研究・実践を行う。
令和6年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
①生き方教育推進事業 ・生き方教育講演会の開催（各中学校） ・デジタル版キャリアパスポートの作成、全校へ配布	

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業スケジュール	①生き方教育推進事業 ・生き方教育講演会の開催（各中学校） ・デジタル版キャリアパスポートの作成、全校へ配布	①生き方教育推進事業 ・生き方教育講演会の開催（各中学校） ・デジタル版キャリアパスポートの作成、新1年生へ配布	①生き方教育推進事業 ・生き方教育講演会の開催（各中学校） ・デジタル版キャリアパスポートの作成、新1年生へ配布	
事業費	47	47	47	47
財源	国庫	0	0	0
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	47	47	47

【関連する指標】

活動指標	指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
	学校評価 進路・生き方に関する評価 項目の評価 A段階	7	目標値 単位：校	10	12	13	15	16
			実績値 単位：	10	10	8	10	
			目標値 単位：					
			実績値 単位：					
			目標値 単位：					
			実績値 単位：					

【令和6年度事業】事業評価調書

【事業の実績】

令和6年度予算額	47千円	令和6年度決算額	0千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ年	<p>【進路指針表（夢カード）の作成】 令和4年度 小学1年生519名 令和5～6年度 デジタル版へ移行させたため紙媒体での配布なし</p> <p>【進路案内の作成】 令和4年度 中学3年生634名 令和5年度 中学3年生641名 令和6年度 中学3年生606名</p>			

【事業の評価】

【Check】 指標評価	C					
事業の 必要性	<input type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input checked="" type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の 有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の 効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	学校評価アンケートの結果より、社会的・職業的自立に向け、基盤となる必要な能力や態度を育てる教育を推進することに課題が見られる。 職場体験学習を、市内中学校5校全校で実施することができた。					
課題	デジタル版キャリア・パスポートに移行し、使用感に慣れていないという声が多い。引き続き、研修会を実施していく。					
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 繼続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> (一部廃止)					
「デジタル版キャリア・パスポート」の使用方法について、キャリア担当者会議を通じ、その効果的な活用方法と意義を伝えていく。 職場体験学習は、令和7年度は市内中学校5校で実施予定である。各学校に情報提供を行っていく。						
令和8年度 事業計画	①「デジタル版キャリア・パスポート」の推進 ②キャリア教育担当者会議を年2回開催 ③職場体験学習の充実のための館林商工会議所や各種事業所との連携					
予算規模 見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較					
備考						

【令和6年度事業】実施計画書

整理番号	141	重要事業		総合戦略	<th>担当部署</th> <td>学校教育課 指導係</td>	担当部署	学校教育課 指導係
款・項・目	事業名			当初予算額 (R4)	当初予算額 (R5)	当初予算額 (R6)	
10・1・3	自然学習教室事業			1,205千円	1,260千円	1,163千円	

【総合計画との関連】

基本目的	▶III_育てる幸せを感じ生涯にわたり互いに学び続ける家庭と文化を築くまち
施策目的	▶12_自ら学ぶ意欲とたくましく生きる力を身につけた未来を担う子どもが育つまちになる
施策の方向	▶4_確かな学力と豊かな心を育む教育の推進

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	自然学習教室を実施し、貴重な自然の大切さや保護の意識を育むとともに、環境問題等への関心を高める。
令和6年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
<p>①自然学習教室事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・尾瀬ネイチャーラーニング事業の実施 <p>尾瀬の自然環境や観光資源の魅力を生かした学びと体験によるSTEAM教育を実践することを目的として、ガイドを伴った体験活動を行う。ガイド料とバス借上げ料を補助対象として、「ぐんま5つのゼロ宣言」を行っている本市では補助率2/3。</p>	

【事業スケジュール】

(単位 : 千円)

事業 スケジュール	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	①自然学習教室事業 ・尾瀬ネイチャーラーニング事業の実施	①自然学習教室事業 ・尾瀬ネイチャーラーニング事業の実施	①自然学習教室事業 ・尾瀬ネイチャーラーニング事業の実施
事業費	1,163	1,160	1,160
財源	国庫	0	0
	県費	775	775
	市債	0	0
	その他	0	0
	一般財源	388	385

【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
活動指標	尾瀬ネイチャーラーニング（尾瀬学校）の参加学校数	2	目標値	2	2	2	2
		単位 : 校	実績値	1	2	2	0
活動指標	足尾フィールドワークの参加者数	36	目標値	37	38	39	39
		単位 : 人	実績値	0	0	20	0
			目標値				
		単位 :	実績値				
			目標値				
		単位 :	実績値				

【令和6年度事業】事業評価調査

【事業の実績】

令和6年度予算額	0千円	令和6年度決算額	0千円
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ年	令和4年度 尾瀬ネイチャーラーニング（2校） 足尾フィールドワーク→新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 令和5年度 尾瀬ネイチャーラーニング（2校） 足尾フィールドワーク（市内小学生20名参加） 令和6年度 尾瀬ネイチャーラーニング→参加校なし 足尾フィールドワーク→生涯学習課へ移管		

【事業の評価】

【Check】 指標評価	D					
事業の 必要性	<input type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input checked="" type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の 有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input checked="" type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の 効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input checked="" type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	最近では日本遺産の里沼学習を通じて自然学習に取り組む学校が多く、身近な自然の中で学ぶ工夫をしている。					
課題	尾瀬以外で市内の学校が自然について学ぶことのできる方法を検討していきたい。					
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> (一部廃止)					
	尾瀬ネイチャーラーニングは、令和6年度の学校調査で直近での参加希望がなかったことから当面の間休止とする。					
令和8年度 事業計画	実施予定なし					
予算規模 見込み	<input type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較					
備考						

【令和6年度事業】実施計画書

整理番号	142	重要事業		総合戦略		担当部署	学校教育課 学事係
款・項・目		事業名		当初予算額 (R4)	当初予算額 (R5)	当初予算額 (R6)	
10・1・3		看護師設置事業		5,390千円	5,404千円	6,476千円	

【総合計画との関連】

基本目的	▶III_育てる幸せを感じ生涯にわたり互いに学び続ける家庭と文化を築くまち
施策目的	▶12_自ら学ぶ意欲とたくましく生きる力を身につけた未来を担う子どもが育つまちになる
施策の方向	▶1_学習環境や生活環境の充実

【事業の目的及び内容】

【Plan】事業目的	小中学校において、障がい等により医療行為を要する児童生徒が、安全安心に学校生活を送るため、日常生活の介助や教育活動上の支援を行う看護師を臨時に配置する。
令和6年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
○看護師設置事業 ・看護師の配置 小学校において、障がい等により医療行為を必要とする児童が安全安心な学校生活を送れるよう、教育活動上の支援を行う看護師を配置する（小学校1名予定）。	

【事業スケジュール】

(単位：千円)

		令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業スケジュール		①看護師設置事業 ・看護師の配置（1名）	①看護師設置事業 ・看護師の配置（1名）	①看護師設置事業 ・看護師の配置（1名）
事業費		6,476	6,476	6,476
財源	国庫	2,437	2,437	2,437
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	32	32	32
	一般財源	4,007	4,007	4,007

【関連する指標】

指標		現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
活動指標	医療的ケアの看護師の充足率	100	目標値	100	100	100	100	100
		単位：%	実績値	100	100	100	100	100
			目標値					
		単位：	実績値					
			目標値					
		単位：	実績値					
			目標値					
		単位：	実績値					

kikaku
令和7
載した
転記し

【令和6年度事業】事業評価調査

【事業の実績】

令和6年度予算額	6,006千円	令和6年度決算額	5,122千円
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ年	<p>■看護師の配置数 令和4年度 小学校 1校 1人 令和5年度 小学校 1校 1人 令和6年度 小学校 2校 2人 (年度途中で 1校 1人配置)</p>		

【事業の評価】

【Check】 指標評価	A
事業の 必要性	<p>■ 高 政策の推進において不可欠な事業である</p> <p>□ 中</p> <p>□ 低 政策の推進に寄与している事業である</p> <p>目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある</p>
事業の 有効性	<p>■ 高 成果が高水準にある</p> <p>□ 中 適切な成果が得られている</p> <p>□ 低 成果が低水準にある</p>
事業の 効率性	<p>■ 高 費用対効果が高水準にある</p> <p>□ 中 適切な費用対効果が得られている</p> <p>□ 低 費用対効果が低水準にある</p>
評価根拠	医療的ケアを必要とする児童に配置することで、該当の児童が疾病等に左右されず、他の児童たちと同じく安心して学校生活を送ることができた。
課題	医療的ケアの必要な児童生徒が急に転入学した場合に、看護師資格を有する人材の確保ができるか不透明である。
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<p>■ 繼続 □ 拡大 □ 改善 □ 代替 □ 統合 □ 縮小 □ 休止 □ 廃止 (□ 一部廃止)</p> <p>引き続き、医療的ケアを必要とする児童生徒に看護師の配置を行っていく。</p>
令和8年度 事業計画	小中学校に計2人配置
予算規模 見込み	<p>■ 同規模 □ 拡大 □ 縮小</p> <p>※前年度比較</p>
備考	

【令和6年度事業】実施計画書

整理番号	143	重要事業	○	総合戦略		担当部署	学校教育課 指導係
款・項・目		事業名		当初予算額 (R4)	当初予算額 (R5)	当初予算額 (R6)	
10・1・3		学校運営協議会事業		7,211千円	6,471千円	6,717千円	

【総合計画との関連】

基本目的	▶Ⅲ_育てる幸せを感じ生涯にわたり互いに学び続ける家庭と文化を築くまち
施策目的	▶12_自ら学ぶ意欲とたくましく生きる力を身につけた未来を担う子どもが育つまちになる
施策の方向	▶3_地域の教育力を生かした学校運営

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	地域の教育力を学校運営に活かしていくため、コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）を導入し、学校が地域住民や保護者と教育目標を共有し、組織的・継続的な連携を図れるようにする。
令和6年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
<p>①学校運営協議会事業【重要事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の教育力を生かした魅力ある学校づくりと運営 市内全校でのコミュニティ・スクール（学校運営協議会）導入により、学校運営の充実を図る。 ・CSディレクターの配置 学校運営協議会の運営や関係者との連絡調整を円滑に進めるため、CSディレクターを各校に配置する。 ・CSディレクター会議の実施 年3回程度（学期に1回）CSディレクター会議を実施し、各校の取組状況の共有と円滑なCS運営を図る。 	

【事業スケジュール】

(単位：千円)

		令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業スケジュール	①学校運営協議会事業 ・学校運営協議会（コミュニティ・スクール）の実施及び充実 ・CSディレクターの配置	①学校運営協議会事業 ・学校運営協議会（コミュニティ・スクール）の実施及び充実 ・CSディレクターの配置	①学校運営協議会事業 ・学校運営協議会（コミュニティ・スクール）の実施及び充実 ・CSディレクターの配置	
事業費	6,717	6,717	6,717	6,717
財源	国庫	0	0	0
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	29	29	29
	一般財源	6,688	6,688	6,688

【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
総合計画指標	小中学生の豊かな心の育成の達成度	5	目標値	9	10	12	14
		単位：校	実績値	6	6	6	13
活動指標	各校での学校運営協議会の実施（年間）	4	目標値	4	4	4	4
		単位：回	実績値	4	4	4	4
			目標値				
		単位：	実績値				
			目標値				
		単位：	実績値				

【令和6年度事業】事業評価調書

【事業の実績】

令和6年度予算額	6,349千円	令和6年度決算額	4,243千円
<p>【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ年</p> <p>令和4年度 市内全小中学校に学校運営協議会制度を導入し、全16校をコミュニティ・スクールとした。CSディレクターを4名配置し、各CSディレクターが4校を担当することで、コミュニティ・スクールの円滑な導入及び推進を図ることができた。</p> <p>令和5年度 市内小中全16校がコミュニティ・スクールになり2年目。CSディレクターを4名配置し、各CSディレクターが3~5校を担当することで、コミュニティ・スクールの円滑な導入及び推進を図ることができた。</p> <p>令和6年度 市内小中全16校がコミュニティ・スクールになり3年目。CSディレクターを4名配置し、各CSディレクターが3~5校を担当し、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進を図ることができた。課題としては、複数校を担当するCSディレクターの負担である。</p>			

【事業の評価】

【Check】 指標評価	C					
事業の 必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の 効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	市内小中全16校が学校運営協議会制度（コミュニティ・スクール）として、各校の実態に応じて学校運営協議会を実施することができた。学校運営協議会での熟議や熟議を基にした地域学校協働活動（学校地域合同防災訓練、学習支援、登下校の見守りなど）の実施や、「コミュニティ・スクールだより」、「学校通信」等で取組を発信することを通して、地域住民や保護者との連携を図ることができた。今後も、学校と地域で目標を共有し、特色ある活動を進めていく。					
課題	<p>「学校運営協議会制度（コミュニティ・スクール）」の目的が、「地域とともににある学校づくり」や「学校を核とした地域づくり」であることを、今後も地域へ啓発していく必要がある。その上で、「豊かな心の育成」に向け、児童生徒と地域の方々との温かな人間関係づくりをさらに推進し、自己有用感の向上や自他を大切にする心の育成に繋げていく。</p> <p>また、CSディレクターの任用・配置から、国が示す「地域学校協働活動推進員」の発掘に努める必要がある。</p>					
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 繼続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> (一部廃止)					
今後も、市内小中全16校が各校の実態に応じて熟議を行い、地域住民や保護者と「地域とともににある学校づくり」、「学校を核とした地域づくり」という目標を共有しながら、持続可能な取組を計画的・組織的に行っていく。						
令和8年度 事業計画	市内小中全16校において、学校運営協議会制度（コミュニティ・スクール）を継続する。そうした中、「地域とともにある学校づくり」、「学校を核とした地域づくり」という目標や各校の取組を、より一層地域へ啓発していく。					
予算規模 見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> ※前年度比較					
備考						

【令和6年度事業】実施計画書

整理番号	144	重要事業	総合戦略	担当部署	学校教育課 教育研究所
款・項・目		事業名	当初予算額 (R4)	当初予算額 (R5)	当初予算額 (R6)
10・1・4		研究所運営	9,280千円	11,452千円	12,689千円

【総合計画との関連】

基本目的	▶III_育てる幸せを感じ生涯にわたり互いに学び続ける家庭と文化を築くまち
施策目的	▶12_自ら学ぶ意欲とたくましく生きる力を身につけた未来を担う子どもが育つまちになる
施策の方向	▶4_確かな学力と豊かな心を育む教育の推進

【事業の目的及び内容】

【Plan】事業目的	本市の今日的な教育課題を解決するため、また教育センターとしての役割を果たすため、幼児から青少年までの教育相談をはじめ、教職員の研修、保護者への啓発を推進する。
令和6年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
<p>①研究所運営事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談員、事務員の雇用 研究所運営に必要な相談員・事務員、一般（相談員4人、事務員1人）計5人の雇用 ・教育研究事業 班別研究や教職員の研修（教育相談初級研修講座・特別支援教育研修講座）を行う。 ・教育相談事業 子ども相談室や教育支援センター「ふれあい学級」の運営を行う。 群馬県教育研究所連盟、群馬県市町村適応指導教室連絡協議会に加盟する。 	

【事業スケジュール】

(単位：千円)

		令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業スケジュール	①研究所運営事業 ・相談員・事務員の雇用 ・教育研究事業 ・教育相談事業	①研究所運営事業 ・相談員・事務員の雇用 ・教育研究事業 ・教育相談事業	①研究所運営事業 ・相談員・事務員の雇用 ・教育研究事業 ・教育相談事業	
事業費	12,689	12,689	12,689	12,689
財源	国庫	0	0	0
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	61	61	61
	一般財源	12,628	12,628	12,628

【関連する指標】

指標		現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
活動指標	研修における教職員等の満足度（4段階：-2～+2）	1.9	目標値	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9
		単位：	実績値	1.9	1.9	1.9	1.9	
活動指標	相談事業における相談件数	476	目標値	484	488	492	496	500
		単位：件	実績値	447	551	415	477	
		目標値						
		単位：	実績値					
		目標値						
		単位：	実績値					

【令和6年度事業】事業評価調査

【事業の実績】

令和6年度予算額	14,199千円	令和6年度決算額	14,052千円
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ年	令和4年度 月給制会計年度任用職員4名（相談員3名、事務員1名）、時給制会計年度任用職員（相談員）1名 (子ども相談室) 電話相談68件 来所相談360件 訪問相談118件 メール相談5件 適応指導教室 在籍児童生徒9名 令和5年度 月給制会計年度任用職員4名（相談員3名、事務員1名）、時給制会計年度任用職員（相談員）1名 (子ども相談室) 電話相談53件 来所相談308件 訪問相談53件 メール相談1件 適応指導教室 在籍児童生徒9名 令和6年度 月給制会計年度任用職員5名（相談員4名、事務員1名） (子ども相談室) 電話相談53件 来所相談343件 訪問相談79件 メール相談2件 教育支援センター「ふれあい学級」 在籍児童生徒9名		

【事業の評価】

【Check】 指標評価	B					
事業の 必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の 有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の 効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	相談事業の一つの来所相談における相談件数は、昨年度と比較し増加した。一つ一つの相談に丁寧に真剣に向き合ってきた積み重ねの成果である。また、訪問相談では、学校が抱えている教育相談に関する問題に相談員を派遣し、学校の要望に合わせた児童生徒支援を行った。 令和6年度より、不登校児童生徒や保護者にとって抵抗感を減らし、親しみやすいものにすることから、適応指導教室から「教育支援センターふれあい学級」へと名称を変更した。今年度も9名児童生徒が在籍し、児童生徒の意思に合わせた登所を受け入れ、社会的自立に向けて個に応じた支援を行うことができた。					
課題	不登校等に悩む児童生徒やその保護者が増加する中で、児童生徒理解をもとに、個に応じたきめ細やかな支援や相談環境の充実を図ることが必要となっている。また、不登校児童生徒の社会的自立に向けて、児童生徒の意思を丁寧に確認しつつ、どのような支援ができるのか、また、他関係機関との連携した支援も必要となってくる。併せて、不登校児童生徒の保護者支援や不登校対策等、研究所から学校に発信していくことも必要である。					
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> (一部廃止)					
<ul style="list-style-type: none"> ・不登校児童生徒等、複雑で多様な問題がますます増加することが想定される中、退職校長など長年の経験や専門性をもつ人材を所長職として任用していく。 ・不登校対策、支援に向けて、学校や職員のニーズに合わせた適切な支援ができるようにしていく。 						
令和8年度 事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・研究所運営に必要な相談員・事務員、一般（相談員4人、事務員1人）雇用 ・還元性のある班別研究や教職員の研修（教育相談初級研修講座・特別支援教育研修講座）の実施 ・相談者や児童生徒に寄り添った子ども相談室や教育支援センター「ふれあい学級」の運営 					
予算規模 見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較					
備考						

【令和6年度事業】実施計画書

整理番号	145	重要事業		総合戦略		担当部署	学校教育課 教育研究所
款・項・目		事業名		当初予算額 (R4)	当初予算額 (R5)	当初予算額 (R6)	
10・1・4		教育相談事業		655千円	655千円	644千円	

【総合計画との関連】

基本目的	▶III_育てる幸せを感じ生涯にわたり互いに学び続ける家庭と文化を築くまち
施策目的	▶12_自ら学ぶ意欲とたくましく生きる力を身につけた未来を担う子どもが育つまちになる
施策の方向	▶4_確かな学力と豊かな心を育む教育の推進

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	子どもの不登校や心の問題に関し、教育支援センターの運営やコンサルテーション、各種会議の実施、連携シートの活用など教育相談や館林市オンラインフリースクールの運営委託といった居場所づくり、学習の機会の提供等、不登校支援を行う。
----------------	---

令和6年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

①教育相談事業

- ・教育相談
教育支援センター「ふれあい学級」や子ども相談室の運営
学校教育相談（コンサルテーション） 不登校問題に関心がある保護者の集い「明日へのいっぽ」
学校不適応対策会議 館林市内勤務スクールカウンセラー連携会議
幼保こ小連携シート、小中連携シートの活用
- ・館林市オンラインフリースクール運営業務委託
オンラインフリースクール「風のがっこう」、保護者相談事業スピカ

【事業スケジュール】

(単位：千円)

事業 スケジュール	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	①教育相談事業 ・教育相談 ・館林市オンラインフリースクール運営業務委託	①教育相談事業 ・教育相談	①教育相談事業 ・教育相談
事業費	644	644	644
財源	国庫	0	0
	県費	0	0
	市債	0	0
	その他	0	0
	一般財源	644	644

【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
活動指標	適応指導や相談事業における保護者アンケートの満足度（4段階：-2～+2）	1.75	目標値	1.77	1.77	1.78	1.79
	単位：	実績値	1.67	1.77	1.77	1.77	1.8
活動指標	不登校問題に関心がある保護者の集い「明日へのいっぽ」の実施回数	3	目標値	3	3	3	3
	単位：回	実績値	2	3	3	3	3
		目標値					
		実績値					
		目標値					
		実績値					

【令和6年度事業】事業評価調書

【事業の実績】

令和6年度予算額	644千円	令和6年度決算額	570千円
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	令和4年度 適応指導教室 在籍児童生徒9名 (子ども相談室) 電話相談68件 来所相談360件 訪問相談118件 メール相談5件 学校教育相談(コンサルテーション) 小学校90件 中学校58件 不登校問題に关心がある保護者の集い 3回実施 15名参加 令和5年度 月給制会計年度任用職員4名(相談員3名、事務員1名)、時給制会計年度任用職員(相談員)1名 (子ども相談室) 電話相談53件 来所相談308件 訪問相談53件 メール相談1件 適応指導教室 在籍児童生徒9名 不登校問題に关心がある保護者の集い 3回実施 8名参加 令和6年度 月給制会計年度任用職員5名(相談員4名、事務員1名) (子ども相談室) 電話相談53件 来所相談343件 訪問相談79件 メール相談2件 教育支援センター「ふれあい学級」 在籍児童生徒9名 不登校問題に关心がある保護者の集い 3回実施 13名参加		

【事業の評価】

【Check】 指標評価	A					
事業の 必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の 有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の 効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	電話相談から来所相談につながったケースがあり、来所相談件数は増加している。また、不登校問題に关心がある保護者の集いの参加者も昨年度より増加している。不登校等の悩みを相談したり話したりできる場があるということは必要不可欠となってきている。					
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き学校と連携し、実態や実情に合わせた教育相談体制の充実を図る。 ・不登校問題に关心がある保護者の集い「明日へのいっぽ」へ、フリースクール等の関係者にも呼びかけ、活性化していく。 					
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 (<input type="checkbox"/> 一部廃止)					
コンサルテーションにより、学校との連携を図り、教育研究所として児童生徒、保護者のニーズに応じた相談支援を行っていく。 また、フリースクールなど、他機関と連携し、学びの場の提供を行っていく。						
令和8年度 事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・教育相談 教育支援センター「ふれあい学級」や子ども相談室の運営 学校教育相談(コンサルテーション) 不登校問題に关心がある保護者の集い「明日へのいっぽ」 					
予算規模 見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較					
備考						

【令和6年度事業】実施計画書

整理番号	146	重要事業	○	総合戦略		担当部署	学校教育課 教育研究所
款・項・目		事業名		当初予算額 (R4)	当初予算額 (R5)	当初予算額 (R6)	
10・1・4	「心の教室相談員」配置事業		4,748千円	9,239千円	11,868千円		

【総合計画との関連】

基本目的	▶Ⅲ_育てる幸せを感じ生涯にわたり互いに学び続ける家庭と文化を築くまち
施策目的	▶12_自ら学ぶ意欲とたくましく生きる力を身につけた未来を担う子どもが育つまちになる
施策の方向	▶4_確かな学力と豊かな心を育む教育の推進

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	中学生が抱える悩み等を気軽に話せる「心の教室相談員」を中学校に配置し、不登校支援を充実させる。また、小学校に「心の教室支援員」を巡回配置し、不登校、不適応児童の支援にあたる。
令和6年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
①「心の教室相談員」配置事業 ・中学校全校配置による学校相談室の機能の充実 心の教室相談員：原則として月～金曜日の勤務（一日5時間、年間243日） 生徒指導担当嘱託員（県費）の配置校以外の学校に配置する。 ・相談室訪問による機能の充実 研究所指導主事が市内中学校相談室を定期的に訪問し、実態把握をもとに、課題について指導助言していく。 ・学校相談員連絡協議会（年5回） 各中学校の学校相談員（生徒指導担当嘱託員・心の教室相談員・心の教室支援員）と研究所相談員が定期的に研修を行い、事例検討や情報交換、資質向上の講義を行う場として設営。	
②「心の教室支援員」の小学校巡回配置による不登校、不適応児童支援の充実 小学校に心の教室支援員を巡回配置し、以下の業務を行う。 ・別室登校、別室対応児童への自習学習等の学習支援や悩み等の相談に当たる ・教室で支援が必要な児童への学習等のサポート ・校長先生が必要とする教育活動の支援 等	

【事業スケジュール】

(単位：千円)

	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業スケジュール	①「心の教室相談員」配置事業 ・中学校全校配置による学校相談室の機能の充実 ・相談室訪問による機能の充実 ・学校相談員連絡協議会（年間5回） ②「心の教室支援員」の小学校巡回配置	①「心の教室相談員」配置事業 ・中学校全校配置による学校相談室の機能の充実 ・相談室訪問による機能の充実 ・学校相談員連絡協議会（年間5回） ②「心の教室支援員」の小学校巡回配置	①「心の教室相談員」配置事業 ・中学校全校配置による学校相談室の機能の充実 ・相談室訪問による機能の充実 ・学校相談員連絡協議会（年間5回） ②「心の教室支援員」の小学校巡回配置
事業費	11,868	11,868	11,868
財源	国庫 0	0	0
	県費 0	0	0
	市債 0	0	0
	その他 49	49	49
	一般財源 11,819	11,819	11,819

【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
活動指標 連絡会議等の実施回数	5 単位：回	目標値 実績値	5 3	5 5	5 5	5 5	5 5
		目標値 実績値					
		目標値 実績値					
		目標値 実績値					
		目標値 実績値					

【令和6年度事業】事業評価調査

【事業の実績】

令和6年度予算額	13,382千円	令和6年度決算額	13,245千円
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ年			令和4年度 心の教室相談員の中学校4校配置（※生徒指導担当嘱託員配置校は除く） ・学校相談員連絡協議会の実施（5回） ・相談件数 生徒2,763件 保護者235件 教員875件 計3,873件 令和5年度 心の教室相談員の中学校4校配置（※生徒指導担当嘱託員配置校は除く） ・学校相談員連絡協議会の実施（5回） ・相談件数 生徒3,947件 保護者827件 教員1,623件 計6,397件 令和6年度 心の教室相談員の中学校4校配置（※生徒指導担当嘱託員配置校は除く） ・学校相談員連絡協議会の実施（5回） ・相談件数 生徒4,104件 保護者218件 教員752件 計4,104件

【事業の評価】

【Check】 指標評価	A					
事業の 必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の 有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の 効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	各中学校において、相談室としての環境が整っており、また相談しやすい雰囲気の相談員というこもあり、相談室を利用する生徒は増加している。学校内の教育相談主任を始め、教育相談部会への参加など、連携した支援を行っていた。					
課題	相談室利用の生徒に対し、引き続き、さらなる学校全体による組織的な支援が求められる。					
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> (一部廃止)					
・相談室利用の生徒に対しての支援を継続し、居場所づくり支援を強化していく。 ・小学校の不登校児童に対して、小学校における別室対応の支援を充実させていく。						
令和8年度 事業計画	・継続して各中学校の心の教室相談員を配置する。（生徒指導担当嘱託員配置中学校以外） ・小学校の不登校支援として、心の教室支援員を増員していく。					
予算規模 見込み	<input type="checkbox"/> 同規模 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小					
※前年度比較						
備考						

【令和6年度事業】実施計画書

整理番号	147	重要事業		総合戦略		担当部署	学校教育課 教育研究所
款・項・目		事業名		当初予算額 (R4)	当初予算額 (R5)	当初予算額 (R6)	
10・1・4	スクールカウンセラー派遣事業		0千円	353千円	353千円		

【総合計画との関連】

基本目的	▶III_育てる幸せを感じ生涯にわたり互いに学び続ける家庭と文化を築くまち
施策目的	▶12_自ら学ぶ意欲とたくましく生きる力を身につけた未来を担う子どもが育つまちになる
施策の方向	▶2_夢と希望の実現に向けた支援の充実

【事業の目的及び内容】

【Plan】事業目的	群馬県で任用されているスクールカウンセラーとは別に、館林市でスクールカウンセラーを任用し、児童生徒や保護者、教職員への支援を行う。
令和6年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
<p>①館林市スクールカウンセラーの派遣 群馬県で任用されているスクールカウンセラーとは別に、館林市でスクールカウンセラーを任用し、「夏季休業等の長期休業中」や「県SC任用期間後の3月3週目以降」において業務を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒及び保護者に対する相談 ・教職員に対する相談 ・教職員研修における指導及び助言 ・その他、校長が必要と認める業務 	

【事業スケジュール】

(単位 : 千円)

		令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業スケジュール	①館林市スクールカウンセラーの派遣 (1名)	①館林市スクールカウンセラーの派遣 (1名)	①館林市スクールカウンセラーの派遣 (1名)	
事業費	353	353	353	353
財源	国庫	0	0	0
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	353	353	353

【関連する指標】

指標		現状値 (R5年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
活動指標	SC連携会議等の実施回数	1	目標値	-	-	1	1	1
		単位 : 回	実績値	-	-	1	1	
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

【令和6年度事業】事業評価調査

【事業の実績】

令和6年度予算額	353千円	令和6年度決算額	22千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ年	令和5年度【新規事業】 ・相談件数 生徒5件 保護者2件 教員22件 講演会1件 計30件 令和6年度 ・相談件数 生徒1件 保護者1件 計2件			

【事業の評価】

【Check】 指標評価	B					
事業の 必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の 有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の 効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	市内小中学校において、児童生徒の生徒指導上の諸問題に関して、児童生徒、その保護者が心にゆとりをもてるような相談環境を提供した。					
課題	<ul style="list-style-type: none"> 緊急対応等の業務だけでなく、常に連携体制を整えておく 不登校等との未然防止、早期発見、早期対応、組織的対応を図るために迅速に対応できるようにする。 					
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 繼続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 (<input type="checkbox"/> 一部廃止)					
令和8年度 事業計画	<ul style="list-style-type: none"> 相談時間を夕方の時間に設定した「夕焼け相談」の実施。(年10回) 不登校問題に关心がある保護者の集い「明日へのいっぽ」への参加(年3回) 					
予算規模 見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較					
備考						

【令和6年度事業】実施計画書

整理番号	148	重要事業		総合戦略		担当部署	学校教育課 学事係
款・項・目		事業名		当初予算額 (R4)	当初予算額 (R5)	当初予算額 (R6)	
10・2・1		小学校運営		6,972千円	7,664千円	6,720千円	

【総合計画との関連】

基本目的	▶III_育てる幸せを感じ生涯にわたり互いに学び続ける家庭と文化を築くまち
施策目的	▶12_自ら学ぶ意欲とたくましく生きる力を身につけた未来を担う子どもが育つまちになる
施策の方向	▶1_学習環境や生活環境の充実

【事業の目的及び内容】

【Plan】事業目的	小学校の運営を円滑に行うため、病休補助教員の配置や新入学児童への祝い品及び卒業記念品の購入、災害共済給付等の事業を行う。
令和6年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
<p>①小学校運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・病休補助教員の配置 小学校の教員が病気やけがで長期療養が必要となった場合に、補助教員を臨時に任用する。 ・卒業記念品の購入 6年生（卒業生）への卒業祝品として英語辞書を購入する。 ・日本スポーツ振興センター負担金 学校での事故等に対し、医療費や見舞金等の災害共済給付を行うための掛金。 歳入に保護者負担金あり。全児童加入。 	

【事業スケジュール】

(単位：千円)

		令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業スケジュール	①小学校運営 ・病休補助教員の配置 ・卒業記念品の購入 ・日本スポーツ振興センター負担金	①小学校運営 ・病休補助教員の配置 ・卒業記念品の購入 ・日本スポーツ振興センター負担金	①小学校運営 ・病休補助教員の配置 ・卒業記念品の購入 ・日本スポーツ振興センター負担金	
事業費	6,720	6,720	6,720	6,720
財源	国庫	0	0	0
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	1,120	0	0
	一般財源	5,600	6,720	6,720

【関連する指標】

指標		現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
活動指標	校長会議の開催数	12	目標値	11	11	11	11	11
		単位：回	実績値	11	12	11	11	
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

【令和6年度事業】事業評価調査

【事業の実績】

令和6年度予算額	6,720千円	令和6年度決算額	5,776千円
<p>■病休補助教員配置数 【令和4年度】 2人 【令和5年度】 0人 【令和6年度】 1人</p> <p>■卒業記念品購入数（卒業生数） 【令和4年度】 672個 【令和5年度】 597個 【令和6年度】 620個</p> <p>■日本スポーツ振興センター加入状況 【令和4年度】 3,486人（一般3,475人、要保護5人、途中加入6人） 【令和5年度】 3,353人（一般3,331人、要保護3人、途中加入19人） 【令和6年度】 3,218人（一般3,196人、要保護5人、途中加入17人）</p>			

【事業の評価】

【Check】 指標評価	A					
事業の 必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の 効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	校長会議を月1回程度開催することで、学校教育課と学校との連携や情報共有、学校への各種依頼などを円滑に行うことができた。また、本事業は小学校の運営に関する経常的経費であり、必要不可欠なものとなっている。					
課題	会計年度任用職員（病休補助教員）の任用は、教員の傷病休に伴うものであり緊急に必要となった場合に生じるため、予算執行の有無や支出額の算定が難しい。					
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> (一部廃止)					
小学校における経常的経費が多くを占めるため、今後も継続の必要がある。						
令和8年度 事業計画	<ul style="list-style-type: none"> 会計年度任用職員（病休補助教員）の必要に応じた任用 入学・卒業記念品の購入 日本スポーツ振興センター負担金等事務 					
予算規模 見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較					
備考						

【令和6年度事業】実施計画書

整理番号	149	重要事業		総合戦略		担当部署	学校教育課 学事係
款・項・目		事業名		当初予算額 (R4)	当初予算額 (R5)	当初予算額 (R6)	
10・2・1	児童・教職員健康管理対策事業		5,447千円	5,369千円	5,023千円		

【総合計画との関連】

基本目的	▶Ⅲ_育てる幸せを感じ生涯にわたり互いに学び続ける家庭と文化を築くまち
施策目的	▶12_自ら学ぶ意欲とたくましく生きる力を身につけた未来を担う子どもが育つまちになる
施策の方向	▶2_夢と希望の実現に向けた支援の充実

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	児童及び教職員の健康管理のため、各種検査・健診等を委託実施する。
令和6年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
①児童及び教職員健康管理対策事業 ・児童の健康管理事業 尿検査（全員）、心臓疾患X線検査（1年）、心臓検診（1・4年）、結核精密検査（該当者） ・教職員の健康管理事業 定期健康診断（人間ドック未受診者）、胃がん検診（35歳以上の希望者）、HBワクチン（劇症肝炎）接種、ストレスチェック（全員）	

【事業スケジュール】

(単位：千円)

		令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業スケジュール	①児童及び教職員健康管理対策事業 ・児童の健康管理事業 ・教職員の健康管理事業	①児童及び教職員健康管理対策事業 ・児童の健康管理事業 ・教職員の健康管理事業	①児童及び教職員健康管理対策事業 ・児童の健康管理事業 ・教職員の健康管理事業	
事業費	5,023	5,023	5,023	5,023
財源	国庫	0	0	0
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	5,023	5,023	5,023

【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
活動指標	児童への健康管理事業の充足率	100 単位：%	目標値 実績値	100 100	100 100	100 100	100 100
活動指標	教職員への健康管理事業の充足率	100 単位：%	目標値 実績値	100 100	100 100	100 100	100 100
			目標値				
		単位：	実績値				
			目標値				
		単位：	実績値				

【令和6年度事業】事業評価調査

【事業の実績】

令和6年度予算額	5,023千円	令和6年度決算額	4,656千円
<p>【Do】 事業実績（成果） ※過去3カ年</p> <p>＜児童＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度：尿検査（全学年）3,457人、心臓健診（1・4年）1,134人、胸部エックス線撮影（1年）467人、結核精密検査（該当者）4人 ・令和5年度：尿検査（全学年）3,314人、心臓健診（1・4年）1,071人、胸部エックス線撮影（1年）474人、結核精密検査（該当者）13人 ・令和6年度：尿検査（全学年）3,314人、心臓健診（1・4年）1,071人、胸部エックス線撮影（1年）474人、結核精密検査（該当者）13人 <p>＜教職員＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度：定期健診（人間ドック受診者以外）102人、胃がん検診（希望者）7人、B型肝炎ワクチン（養護教諭の希望者）1人、ストレスチェック（全員）255人 ・令和5年度：定期健診（人間ドック受診者以外）87人、胃がん検診（希望者）5人、B型肝炎ワクチン（養護教諭の希望者）1人、ストレスチェック（全員）252人 ・令和6年度：定期健診（人間ドック受診者以外）87人、胃がん検診（希望者）5人、B型肝炎ワクチン（養護教諭の希望者）1人、ストレスチェック（全員）252人 			

【事業の評価】

【Check】 指標評価	A					
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	児童の健康状態を定期的に把握することができ、健やかな学校生活を送るための一助となり得た。また教職員も、自身の健康状態を把握することができ、病気の早期発見・早期治療に努めることができた。					
課題	年間の学校行事等が早々に組まれている中で、検診の日程等を調整するのは非常に難しい。また、日本語の会話が難しい外国籍児童が検診等を受ける際の意思疎通の手段が課題となっている。					
【Action】 今後の方向性 ・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> (一部廃止)					
今後も引き続き児童や教職員の健康を維持するため、必要な検診等を実施していく。						
令和8年度事業計画	児童や教職員の健康管理に伴う各種検査の実施					
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> ※前年度比較					
備考						

【令和6年度事業】実施計画書

整理番号	150	重要事業	○	総合戦略		担当部署	学校教育課 学事係
款・項・目		事業名		当初予算額 (R4)	当初予算額 (R5)	当初予算額 (R6)	
10・2・1		教諭補助員設置事業		9,064千円	9,017千円	11,096千円	

【総合計画との関連】

基本目的	▶Ⅲ_育てる幸せを感じ生涯にわたり互いに学び続ける家庭と文化を築くまち
施策目的	▶12_自ら学ぶ意欲とたくましく生きる力を身につけた未来を担う子どもが育つまちになる
施策の方向	▶4_確かな学力と豊かな心を育む教育の推進

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	きめ細やかな学習指導や生活指導を行い、児童一人一人が確かな学力を身に付け、心身ともに健やかな学校生活を送れるようにする。
令和6年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
①教諭補助員設置事業【重要事業】 ・ 小学校への教諭補助員の配置 教諭補助員 3名	

【事業スケジュール】

(単位：千円)

事業 スケジュール	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	①教諭補助員設置事業 ・ 小学校への教諭補助員の配置	①教諭補助員設置事業 ・ 小学校への教諭補助員の配置	①教諭補助員設置事業 ・ 小学校への教諭補助員の配置
事業費	11,096	11,096	11,096
財源	国庫	0	0
	県費	0	0
	市債	0	0
	その他	57	57
	一般財源	11,039	11,039

【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
総合計画指標	標準学力テストで全国平均を上回る学校数	11 単位：校	目標値 実績値	11 7	11 4	11 4	11 7
		100 単位：%	目標値 実績値	100 100	100 100	100 100	100 100
活動指標	教諭補助員の充足率（人数）		目標値				
		単位：	実績値				
			目標値				
		単位：	実績値				

【令和6年度事業】事業評価調査

【事業の実績】

令和6年度予算額	11,970千円	令和6年度決算額	11,865千円	
令和4年度 令和5年度 令和6年度 【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	3名配置 3名配置 3名配置			

【事業の評価】

【Check】 指標評価	C					
事業の 必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の 効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	県費の教員に加えて配置することで、生徒へ一層の手厚いサポートや円滑な学校運営に資することができている。					
課題	他自治体も含めて人材不足が顕著であり、求人を行っても応募者は少ない。必要な時に人材が見つからないという状況が多々見られる。					
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> (一部廃止)					
	生徒への学習の保障、そしてよりよい学校運営を行っていくために、引き続き任用を継続していく。					
令和8年度 事業計画	必要な中学校へ配置（原則中学校1校につき1人）					
予算規模 見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較					
備考						

【令和6年度事業】実施計画書

整理番号	151	重要事業	○	総合戦略		担当部署	学校教育課 学事係
款・項・目		事業名		当初予算額 (R4)	当初予算額 (R5)	当初予算額 (R6)	
10・2・1	特別支援教育介助員設置事業		49,837千円	50,472千円	64,295千円		

【総合計画との関連】

基本目的	▶III_育てる幸せを感じ生涯にわたり互いに学び続ける家庭と文化を築くまち
施策目的	▶12_自ら学ぶ意欲とたくましく生きる力を身につけた未来を担う子どもが育つまちになる
施策の方向	▶1_学習環境や生活環境の充実

【事業の目的及び内容】

【Plan】事業目的	小学校において障がい等により配慮を要する児童が、安全安心な学校生活を送れるよう、日常生活の介助や教育活動上の支援を行うため臨時に配置する。
令和6年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
①特別支援教育介助員設置事業【重要事業】 ・小学校への特別支援教育介助員の配置 特別支援教育介助員26名	

【事業スケジュール】

(単位：千円)

事業スケジュール	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	①特別支援教育介助員設置事業 ・小学校への特別支援教育介助員の配置	①特別支援教育介助員設置事業 ・小学校への特別支援教育介助員の配置	①特別支援教育介助員設置事業 ・小学校への特別支援教育介助員の配置
事業費	64,295	64,295	64,295
財源	国庫 0	0	0
	県費 0	0	0
	市債 0	0	0
	その他 331	331	331
	一般財源 63,964	63,964	63,964

【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
総合計画指標	小中学生の豊かな心の育成の達成度	2	目標値	3	4	4	5
		単位：校	実績値	3	4	10	10
活動指標	特別支援教育介助員の充足率（人数）	100	目標値	100	100	100	100
		単位：%	実績値	100	100	100	100
			目標値				
		単位：	実績値				
			目標値				
		単位：	実績値				

【令和6年度事業】事業評価調査

【事業の実績】

令和6年度予算額	75,035千円	令和6年度決算額	71,762千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ年	令和4年度 令和5年度 令和6年度 25名配置 25名配置 26名配置			

【事業の評価】

【Check】 指標評価	A					
事業の 必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の 効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	各校で配慮を要する児童に配置することで、安全安心な学校生活を確保することができた。					
課題	発達障がい等の理由から特別な配慮を必要とする児童は多く、現状配置している人数でも不足している状況がある。					
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 (<input type="checkbox"/> 一部廃止)					
各校から出されている介助員配置要望は、現在配置している人数の2倍以上あり、どの学校も校内での支援に苦慮しているところである。学校だけでなく子どもを預ける保護者にとっても安心感を得られるよう事業の拡大（増員）が必要である。						
令和8年度 事業計画	特別な支援が必要な児童への介助員の配置					
予算規模 見込み	<input type="checkbox"/> 同規模 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較					
備考						

【令和6年度事業】実施計画書

整理番号	152	重要事業		総合戦略		担当部署	学校教育課 学事係
款・項・目		事業名		当初予算額 (R4)	当初予算額 (R5)	当初予算額 (R6)	
10・2・2		教育振興事業		4,506千円	1,118千円	44,896千円	

【総合計画との関連】

基本目的	▶III_育てる幸せを感じ生涯にわたり互いに学び続ける家庭と文化を築くまち
施策目的	▶12_自ら学ぶ意欲とたくましく生きる力を身につけた未来を担う子どもが育つまちになる
施策の方向	▶5_「自助」や「共助」の意識を育む教育の推進

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	指導用の教科書や副読本等を活用して教育の振興を図る。
令和6年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
○教育振興事業（一般経費） ・教師用教科書及び指導書の購入 採択替えに伴う教師用教科書及び指導書を購入する。 ・社会科副読本「のびゆく館林」三訂版作製に向けた編集業務の委託 校長会委託事業として「のびゆく館林」編集委員会へ編集作業（準備）の委託	

【事業スケジュール】

(単位 : 千円)

		令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業スケジュール	①教育振興事業（一般経費） ・採択替えに伴う教師用教科書及び指導書の購入 ・社会科副読本「のびゆく館林」編集業務委託	①教育振興事業（一般経費） ・教師用教科書及び指導書の購入 ・社会科副読本「のびゆく館林」編集業務委託及び三訂版作製委託	①教育振興事業（一般経費） ・教師用教科書及び指導書の購入	
事業費	44,896		5,050	1,000
財源	国庫	0	0	0
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	44,896	5,050	1,000

【関連する指標】

指標		現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
活動指標	教師用教科書及び指導書の配布率	100	目標値	100	100	100	100	100
		単位 : %	実績値	100	100	100	100	
活動指標	副読本の配布率	100	目標値	100	100	100	100	100
		単位 : %	実績値	100	100	100	100	
			目標値					
		単位 :	実績値					
			目標値					
		単位 :	実績値					

【令和6年度事業】事業評価調査

【事業の実績】

令和6年度予算額	44,096 千円	令和6年度決算額	44,061 千円
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ年	<p>【令和4年度】 教師用教科書及び指導書購入、社会科副読本「のびゆく館林」編集委託及び作製委託（小改訂） 【令和5年度】 教師用教科書及び指導書購入 【令和6年度】 採択替えに伴う教師用教科書及び指導書の購入</p>		

【事業の評価】

【Check】 指標評価	A					
事業の 必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の 効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	教職員が児童へ適切な指導を行うため、また児童の学習のために必要である。					
課題	教科書や指導書の給与・購入のための事務が煩雑である。また学習指導要領の改訂ごとに予算の支出が大きくなる。					
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> (一部廃止)					
学校での授業において必要不可欠であり、今後も継続していく必要がある。						
令和8年度 事業計画	教師用教科書及び指導書の購入					
予算規模 見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較					
備考						

【令和6年度事業】実施計画書

整理番号	153	重要事業	総合戦略	担当部署	学校教育課 学事係
款・項・目		事業名	当初予算額 (R4)	当初予算額 (R5)	当初予算額 (R6)
10・2・2		就学奨励（援助）事業	24,188千円	25,425千円	27,613千円

【総合計画との関連】

基本目的	▶Ⅲ_育てる幸せを感じ生涯にわたり互いに学び続ける家庭と文化を築くまち
施策目的	▶12_自ら学ぶ意欲とたくましく生きる力を身につけた未来を担う子どもが育つまちになる
施策の方向	▶2_夢と希望の実現に向けた支援の充実

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	経済的な理由により就学が困難な児童の保護者に対し、学校生活で必要な費用を援助する。
令和6年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
①児童の就学奨励事業 ※特別支援教育就学奨励費を含む	
・要保護及び準要保護児童援助費 <内容> 「学校教育法」の規定に基づき、経済的理由のため就学困難と認められる市内に在住する児童の保護者に対し、申請方式により、以下の品目を支給することで援助を行う。	
<支給品目> 学用品費、通学用品費、校外活動費、修学旅行費、給食費、新入学児童生徒学用品費、通学費、医療費、クラブ活動費、生徒会費、PTA会費、オンライン学習通信費	
・特別支援教育就学奨励費 <内容> 「特別支援学校への就学奨励に関する法律」の規定に基づき、障害のある児童生徒等への経済的負担を軽減するため、市内に在住する児童の保護者に対し、申請方式により、以下の品目を支給することで援助を行う。	
<支給品目> 学用品費、通学用品費、校外活動費、修学旅行費、給食費、新入学児童生徒学用品費、通学費、オンライン学習通信費	

【事業スケジュール】

(単位：千円)

事業 スケジュール	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	①児童の就学奨励事業 ・要保護及び準要保護児童援助費 ・特別支援教育就学奨励費	①児童の就学奨励事業 ・要保護及び準要保護児童援助費 ・特別支援教育就学奨励費	①児童の就学奨励事業 ・要保護及び準要保護児童援助費 ・特別支援教育就学奨励費
事業費	27,613	27,613	27,613
財源	国庫 0	2,686 0	2,686 0
	県費 0	0	0
	市債 0	0	0
	その他 0	0	0
一般財源	24,927	24,927	24,927

【関連する指標】

活動指標	指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
	小学生保護者に対する制度周知回数	2	目標値	2	2	2	2	2
		単位：	実績値	2	3	2	2	
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

【令和6年度事業】事業評価調査

【事業の実績】

令和6年度予算額	30,240千円	令和6年度決算額	22,495千円
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ年	<p>【要保護及び準要保護児童援助費】 令和4年度 対象者267名 約付額19,616,868円 令和5年度 対象者263名 約付額18,395,175円 令和6年度 対象者271名 約付額19,043,595円</p> <p>【特別支援就学奨励費】 令和4年度 対象者119名 約付額3,595,351円 令和5年度 対象者127名 約付額3,648,243円 令和6年度 対象者121名 約付額3,427,760円</p>		

【事業の評価】

【Check】 指標評価	A					
事業の 必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の 有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の 効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	経済的な理由により就学が厳しい世帯や特別支援学級に在籍する児童の世帯に給付を行うことで、児童の就学機会の確保に資することができた。					
課題	一定数の申請が見込まれるため、適切な処理をする必要がある。					
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 繼続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> (一部廃止)					
経済的に苦しい世帯や配慮を要する児童の世帯に対して、学習の保障と就学機会を確保するため、引き続き必要な世帯に支援を行っていく。						
令和8年度 事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・要保護・準要保護児童への就学援助費の支給 ・特別支援学級通学者への就学奨励費の支給 ・市外特別支援学校へ通学する児童への就学助成費の支給 					
予算規模 見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較					
備考						

【令和6年度事業】実施計画書

整理番号	154	重要事業		総合戦略		担当部署	学校教育課 学事係
款・項・目		事業名		当初予算額 (R4)	当初予算額 (R5)	当初予算額 (R6)	
10・2・2		被災児童就学奨励事業		103千円	117千円	117千円	

【総合計画との関連】

基本目的	▶Ⅲ_育てる幸せを感じ生涯にわたり互いに学び続ける家庭と文化を築くまち
施策目的	▶12_自ら学ぶ意欲とたくましく生きる力を身につけた未来を担う子どもが育つまちになる
施策の方向	▶2_夢と希望の実現に向けた支援の充実

【事業の目的及び内容】

【Plan】事業目的	東日本大震災により被災し、経済的理由から就学等が困難となった児童に対し、交付金として経費の全額(10/10)を支援する。
令和6年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
①被災児童就学援助事業 <内容> 東日本大震災により被災し、経済的理由から就学困難となった市内に在住する児童の保護者に対し、申請方式により、以下の品目を支給することで家庭の教育負担の軽減を行う。 <支給品目> 学用品費、通学用品費、校外活動費、修学旅行費、給食費、新入学児童生徒学用品費、通学費、医療費、クラブ活動費、生徒会費、PTA会費、オンライン学習通信費	

【事業スケジュール】

(単位：千円)

		令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業スケジュール		①被災児童就学援助事業 ・被災児童就学援助費	①被災児童就学援助事業 ・被災児童就学援助費	①被災児童就学援助事業 ・被災児童就学援助費
事業費		117	117	117
財源	国庫	117	117	117
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	0	0	0

【関連する指標】

指標		現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
活動指標	援助者に対する充足率	100 単位：%	目標値 実績値	100 -	100 -	100 -	100 -	100 -
			目標値 実績値					
			目標値 実績値					
			目標値 実績値					
			目標値 実績値					

【令和6年度事業】事業評価調査

【事業の実績】

令和6年度予算額	117千円	令和6年度決算額	0千円
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ年	<p>【被災児童就学援助費】 令和4年度 対象者0名 給付額0円 令和5年度 対象者0名 給付額0円 令和6年度 対象者0名 給付額0円 ※認定要件に該当する者がいなかった。</p>		

【事業の評価】

【Check】 指標評価						
事業の 必要性	<input type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input checked="" type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の 有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の 効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	震災や原発事故により館林市に避難している世帯に必要な就学支援を行うものである。令和4年度・5年度・6年度は申請なしだった。					
課題	避難者の転出入の時期や、現在市内に在住の避難者がいつ認定になるかといった不確定要素が多くある中で、結果的に予算執行されない状況。					
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> (一部廃止)					
令和8年度 事業計画	近年該当者がいないことから、事業休止とする。					
予算規模 見込み	<input type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小					
※前年度比較						
備考						

【令和6年度事業】実施計画書

整理番号	155	重要事業		総合戦略		担当部署	学校教育課 学事係
款・項・目		事業名		当初予算額 (R4)	当初予算額 (R5)	当初予算額 (R6)	
10・3・1		中学校運営		4,297千円	3,947千円	3,982千円	

【総合計画との関連】

基本目的	▶III_育てる幸せを感じ生涯にわたり互いに学び続ける家庭と文化を築くまち
施策目的	▶12_自ら学ぶ意欲とたくましく生きる力を身につけた未来を担う子どもが育つまちになる
施策の方向	▶1_学習環境や生活環境の充実

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	中学校の円滑な運営のため、病休補助教員の配置や卒業記念品の購入、災害共済給付等必要な事業を行う。
令和6年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
<p>①中学校運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・病休補助教員の配置 中学校の教員が病気やけがで長期の療養が必要となった場合に、補助教員を臨時的に任用する。 ・卒業記念品の購入 3年生（卒業生）へ卒業祝品として印鑑を購入する。 ・日本スポーツ振興センター負担金 学校での事故等に対し、医療費や見舞金等の災害共済給付を行うための掛金。歳入に保護者負担金あり。全生徒加入。 	

【事業スケジュール】

(単位：千円)

		令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業スケジュール	①中学校運営	<ul style="list-style-type: none"> ・病休補助教員の配置 ・卒業記念品の購入 ・日本スポーツ振興センター負担金 	<ul style="list-style-type: none"> ①中学校運営 ・病休補助教員の配置 ・卒業記念品の購入 ・日本スポーツ振興センター負担金 	<ul style="list-style-type: none"> ①中学校運営 ・病休補助教員の配置 ・卒業記念品の購入 ・日本スポーツ振興センター負担金
事業費		3,982	3,982	3,982
財源	国庫	0	0	0
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	613	613	613
	一般財源	3,369	3,369	3,369

【関連する指標】

指標		現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
活動指標	校長会議の開催数	12	目標値	11	11	11	11	11
		単位：回	実績値	11	12	11	11	
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

【令和6年度事業】事業評価調査

【事業の実績】

令和6年度予算額	3,982千円	令和6年度決算額	3,118千円
<p>■病休補助教員配置数 【令和4年度】 0人 【令和5年度】 1人 【令和6年度】 1人</p> <p>■卒業記念品購入数（卒業生数） 【令和4年度】 634個 【令和5年度】 641個 【令和6年度】 606個</p> <p>■日本スポーツ振興センター加入状況 【令和4年度】 1,873人（一般1,864人、要保護6人、途中加入3人） 【令和5年度】 1,890人（一般1,878人、要保護6人、途中加入6人） 【令和6年度】 1,831人（一般1,818人、要保護5人、途中加入8人）</p>			

【事業の評価】

【Check】 指標評価	A					
事業の 必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の 効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	校長会議を月1回程度開催することで、学校教育課と学校との連携や情報共有、学校への各種依頼などを円滑に行うことができた。また、本事業は中学校の運営に関する経常的経費であり、必要不可欠なものとなっている。					
課題	会計年度任用職員（病休補助教員）の任用は、教員の傷病休に伴うものであり緊急に必要となった場合に生じるため、予算執行の有無や支出額の算定が難しい。					
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> (一部廃止)					
中学校における経常的経費が多くを占めるため、今後も継続の必要がある。						
令和8年度 事業計画	<ul style="list-style-type: none"> 会計年度任用職員（病休補助教員）の必要に応じた任用 卒業記念品の購入 日本スポーツ振興センター負担金等事務 					
予算規模 見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較					
備考						

【令和6年度事業】実施計画書

整理番号	156	重要事業		総合戦略		担当部署	学校教育課 学事係
款・項・目		事業名		当初予算額 (R4)	当初予算額 (R5)	当初予算額 (R6)	
10・3・1	生徒・教職員健康管理対策事業		2,957千円	3,147千円	3,009千円		

【総合計画との関連】

基本目的	▶III_育てる幸せを感じ生涯にわたり互いに学び続ける家庭と文化を築くまち
施策目的	▶12_自ら学ぶ意欲とたくましく生きる力を身につけた未来を担う子どもが育つまちになる
施策の方向	▶2_夢と希望の実現に向けた支援の充実

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	生徒及び教職員の健康管理のため、各種検査・健診等を委託実施する。
令和6年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
①生徒及び教職員健康管理対策事業 ・生徒の健康管理事業 尿検査（全員）、心臓検診（1年）、貧血検査（2年）、結核精密検査（該当者） ・教職員の健康管理事業 定期健康診断（人間ドック未受診者）、胃がん検診（35歳以上の希望者）、HBワクチン（劇症肝炎）接種、ストレスチェック（全員）	

【事業スケジュール】

(単位：千円)

		令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業スケジュール	①生徒及び教職員健康管理対策事業 ・生徒の健康管理事業 ・教職員の健康管理事業	①生徒及び教職員健康管理対策事業 ・生徒の健康管理事業 ・教職員の健康管理事業	①生徒及び教職員健康管理対策事業 ・生徒の健康管理事業 ・教職員の健康管理事業	
事業費	3,009	3,009	3,009	
財源	国庫	0	0	0
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	3,009	3,009	3,009

【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
活動指標 生徒への健康管理事業の充足率	100	目標値	100	100	100	100	100
	単位：%	実績値	100	100	100	100	
活動指標 教職員への健康管理事業の充足率	100	目標値	100	100	100	100	100
	単位：%	実績値	100	100	100	100	
		目標値					
	単位：	実績値					
		目標値					
	単位：	実績値					

【令和6年度事業】事業評価調査

【事業の実績】

令和6年度予算額	3,009千円	令和6年度決算額	2,726千円
<p>【Do】 事業実績（成果） ※過去3カ年</p> <p><生徒></p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度：尿検査（全学年）1,819人、心臓健診（1年）599人、貧血検査（2年）567人、結核精密検査（該当者）2人 ・令和5年度：尿検査（全学年）1,826人、心臓健診（1年）637人、貧血検査（2年）530人、結核精密検査（該当者）9人 ・令和6年度：尿検査（全学年）1,756人、心臓健診（1年）582人、貧血検査（2年）584人、結核精密検査（該当者）9人 <p><教職員></p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度：定期健診（人間ドック受診者以外）46人、胃がん検診（希望者）1人、ストレスチェック（全員）141人 ・令和5年度：定期健診（人間ドック受診者以外）47人、胃がん検診（希望者）1人、B型肝炎ワクチン（養護教諭の希望者）1人、ストレスチェック（全員）145人 ・令和6年度：定期健診（人間ドック受診者以外）50人、胃がん検診（希望者）4人、ストレスチェック（全員）140人 			

【事業の評価】

【Check】 指標評価	A					
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	生徒の健康状態を定期的に把握することができ、健やかな学校生活を送るための一助となり得た。また教職員も、自身の健康状態を把握することができ、病気の早期発見・早期治療に努めることができた。					
課題	年間の学校行事等が早々に組まれている中で、検診の日程等を調整するのは非常に難しい。また、日本語の会話が難しい外国籍生徒が検診等を受ける際の意思疎通の手段が課題となっている。					
【Action】 今後の方向性 ・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> (一部廃止)					
今後も引き続き生徒や教職員の健康を維持するため、必要な検診等を実施していく。						
令和8年度事業計画	生徒や教職員の健康管理に伴う各種検査の実施					
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> ※前年度比較					
備考						

【令和6年度事業】実施計画書

整理番号	157	重要事業	○	総合戦略		担当部署	学校教育課 学事係
款・項・目		事業名		当初予算額 (R4)	当初予算額 (R5)	当初予算額 (R6)	
10・3・1	中学校学習等支援教諭補助員設置事業		15,200千円	15,432千円	18,402千円		

【総合計画との関連】

基本目的	▶III_育てる幸せを感じ生涯にわたり互いに学び続ける家庭と文化を築くまち
施策目的	▶12_自ら学ぶ意欲とたくましく生きる力を身につけた未来を担う子どもが育つまちになる
施策の方向	▶4_確かな学力と豊かな心を育む教育の推進

【事業の目的及び内容】

【Plan】事業目的	きめ細やかな学習指導や生活指導を行い、生徒一人一人が確かな学力を身に付け、心身ともに健やかな学校生活を送れるようにする。
令和6年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
①中学校学習等支援教諭補助員設置事業【重要事業】 ・中学校への教諭補助員の配置 教諭補助員 5名	

【事業スケジュール】

(単位：千円)

事業スケジュール	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	①中学校学習等支援教諭補助員設置事業 ・中学校への教諭補助員の配置	①中学校学習等支援教諭補助員設置事業 ・中学校への教諭補助員の配置	①中学校学習等支援教諭補助員設置事業 ・中学校への教諭補助員の配置
事業費	18,402	18,402	18,402
財源	国庫	0	0
	県費	0	0
	市債	0	0
	その他	95	95
	一般財源	18,307	18,307

【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
総合計画指標	標準学力テストで全国平均を上回る学校数	3	目標値	4	4	4	5
		単位：校	実績値	4	2	3	0
活動指標	教諭補助員の充足率（人数）	100	目標値	100	100	100	100
		単位：%	実績値	100	100	100	100
			目標値				
		単位：	実績値				
			目標値				
		単位：	実績値				

【令和6年度事業】事業評価調査

【事業の実績】

令和6年度予算額	19,553千円	令和6年度決算額	18,889千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ年	令和4年度 令和5年度 令和6年度 5名配置 5名配置 5名配置			

【事業の評価】

【Check】 指標評価	C					
事業の 必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の 効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	県費の教員に加えて配置することで、生徒へ一層の手厚いサポートや円滑な学校運営に資することができている。					
課題	他自治体も含めて人材不足が顕著であり、求人を行っても応募者は少ない。必要な時に人材が見つからないという状況が多々見られる。					
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> (一部廃止)					
生徒への学習の保障、そしてよりよい学校運営を行っていくために、引き続き任用を継続していく。						
令和8年度 事業計画	必要な中学校へ配置（原則中学校1校につき1人）					
予算規模 見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較					
備考						

【令和6年度事業】実施計画書

整理番号	158	重要事業	○	総合戦略		担当部署	学校教育課 学事係
款・項・目		事業名		当初予算額 (R4)	当初予算額 (R5)	当初予算額 (R6)	
10・3・1	特別支援教育介助員設置事業		10,116千円	10,280千円	12,254千円		

【総合計画との関連】

基本目的	▶III_育てる幸せを感じ生涯にわたり互いに学び続ける家庭と文化を築くまち
施策目的	▶12_自ら学ぶ意欲とたくましく生きる力を身につけた未来を担う子どもが育つまちになる
施策の方向	▶2_夢と希望の実現に向けた支援の充実

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	中学校において障がい等により配慮を要する生徒が、安全安心な学校生活を送れるよう、日常生活の介助や教育活動上の支援を行うため臨時に配置する。
令和6年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
①特別支援教育介助員設置事業【重要事業】 ・中学校への特別支援教育介助員の配置 特別支援教育介助員 5名	

【事業スケジュール】

(単位 : 千円)

		令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業 スケジュール	①特別支援教育介助員設置事業 【重】 ・中学校への特別支援教育介助員の配置	①特別支援教育介助員設置事業 【重】 ・中学校への特別支援教育介助員の配置	①特別支援教育介助員設置事業 【重】 ・中学校への特別支援教育介助員の配置	
事業費	12,254	12,254	12,254	12,254
財源	国庫	0	0	0
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	64	64	64
	一般財源	12,190	12,190	12,190

【関連する指標】

指標		現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
総合計画指標	小中学生の豊かな心の育成の達成度	2	目標値	3	4	4	5	5
		単位 : 校	実績値	3	2	5	5	
活動指標	特別支援教育介助員の充足率（人数）	100	目標値	100	100	100	100	100
		単位 : %	実績値	100	100	100	100	
			目標値					
		単位 :	実績値					
			目標値					
		単位 :	実績値					

【令和6年度事業】事業評価調査

【事業の実績】

令和6年度予算額	13,159千円	令和6年度決算額	12,565千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ年	令和4年度 5名 令和5年度 5名 令和6年度 5名			

【事業の評価】

【Check】 指標評価	A					
事業の 必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の 効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	各校で配慮を要する生徒に配置することで、安全安心な学校生活を確保することができた。					
課題	発達障がい等の理由から特別な配慮を必要とする生徒は多く、現状配置している人数でも不足している状況がある。					
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 (<input type="checkbox"/> 一部廃止)					
令和8年度 事業計画	各校から出されている介助員配置要望は、現在配置している人数の2倍程度あり、どの学校も校内での支援に苦慮しているところである。学校だけでなく子どもを預ける保護者にとっても安心感を得られるよう事業の拡大（増員）が必要である。					
予算規模 見込み	<input type="checkbox"/> 同規模 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小					
備考						

【令和6年度事業】実施計画書

整理番号	159	重要事業	総合戦略	担当部署	学校教育課 学事係
款・項・目		事業名	当初予算額 (R4)	当初予算額 (R5)	当初予算額 (R6)
10・3・2		教育振興事業	1,200千円	1,000千円	900千円

【総合計画との関連】

基本目的	▶III_育てる幸せを感じ生涯にわたり互いに学び続ける家庭と文化を築くまち
施策目的	▶12_自ら学ぶ意欲とたくましく生きる力を身につけた未来を担う子どもが育つまちになる
施策の方向	▶5_「自助」や「共助」の意識を育む教育の推進

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	指導用の教科書等を活用して教育の振興を図る。
令和6年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
①教育振興事業 ・教師用教科書及び指導書の購入 教師用教科書及び指導書を購入する。	

【事業スケジュール】

(単位 : 千円)

		令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業スケジュール	①教育振興事業 ・教師用教科書及び指導書の購入	①教育振興事業 ・教師用教科書及び指導書の購入 ※採択替え	①教育振興事業 ・教師用教科書及び指導書の購入	
事業費	900	20,000	20,000	900
財源	国庫	0	0	0
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	900	20,000	900

【関連する指標】

指標		現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
活動指標	教師用教科書及び指導書の配付率	100	目標値	100	100	100	100	100
		単位 : %	実績値	100	100	100	100	
活動指標	副読本の配付率	100	目標値	100	100	100	100	100
		単位 : %	実績値	100	0	0	0	
			目標値					
		単位 :	実績値					
			目標値					
		単位 :	実績値					

【令和6年度事業】事業評価調査

【事業の実績】

令和6年度予算額	180千円	令和6年度決算額	149千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ年	【令和4年度】 教師用教科書及び指導書購入 【令和5年度】 教師用教科書及び指導書購入 【令和6年度】 教師用教科書及び指導書購入			

【事業の評価】

【Check】 指標評価	C					
事業の 必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の 効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	教職員が生徒へ適切な指導を行うため必要である。					
課題	<ul style="list-style-type: none"> 教科書や指導書の給与・購入に関する事務が煩雑。 教科書改訂時ごとに予算額が大きくなる。 					
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> (一部廃止)					
学校の授業において必要不可欠なものであり、今後も継続していく必要がある。						
令和8年度 事業計画	<ul style="list-style-type: none"> 教師用教科書及び指導書の購入 					
予算規模 見込み	<input type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較					
備考						

【令和6年度事業】実施計画書

整理番号	160	重要事業	○	総合戦略		担当部署	学校教育課 指導係
款・項・目		事業名		当初予算額 (R4)	当初予算額 (R5)	当初予算額 (R6)	
10・3・2		部活動振興事業		5,962千円	6,886千円	6,962千円	

【総合計画との関連】

基本目的	▶III_育てる幸せを感じ生涯にわたり互いに学び続ける家庭と文化を築くまち
施策目的	▶12_自ら学ぶ意欲とたくましく生きる力を身につけた未来を担う子どもが育つまちになる
施策の方向	▶2_夢と希望の実現に向けた支援の充実

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	中学校における生徒の健全育成や体力向上のため、民間指導者を派遣し部活動の充実を図る。また休日の部活動における地域移行を推進する。
令和6年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
①部活動の振興	
・部活動指導員及び部活動外部指導者の配置	部活動を安全安心に実施することに加え、教職員の負担軽減のため部活動指導員及び部活動外部指導者を配置する。
○部活動指導員 5名（必要校）	
○部活動外部指導者 5校・計15名	
・吹奏楽の部活動に関する事業	
吹奏楽講習会の開催や県内大会等への派遣（東部大会、県大会）	
②地域部活動推進事業【重要事業】	
・部活動の地域移行に係る協議会の開催 3回	
・地域クラブ活動の先行的な実施による実践研究 10部活動	

【事業スケジュール】

(単位：千円)

	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業スケジュール	①部活動の振興 ・部活動指導員及び部活動外部指導者の配置 ・吹奏楽の部活動に関する事業 ②地域部活動推進事業【重】 ・地域クラブ活動の先行的な実施による実践研究 10活動	①部活動の振興 ・部活動指導員及び部活動外部指導者の配置 ・吹奏楽の部活動に関する事業 ②地域部活動推進事業【重】 ・地域クラブ活動の先行的な実施による実践研究 21部活動	①部活動の振興 ・部活動指導員及び部活動外部指導者の配置 ・吹奏楽の部活動に関する事業 ②地域部活動推進事業【重】
事業費	6,962	6,962	7,000
財源	国庫 580 県費 580 市債 0 その他 0 一般財源 5,802	580 580 0 0 5,802	580 580 0 0 5,840

【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
総合計画指標 新体力テストで全国平均を上回る学校数（中学校）	男3・女2 単位：校	目標値 実績値	男4・女3 男2・女3	男4・女4 男2・女3	男4・女4 男2・女3	男5・女5 男4・女1	男5・女5
		目標値 実績値					
		目標値 実績値					
		目標値 実績値					

【令和6年度事業】事業評価調査

【事業の実績】

令和6年度予算額	5,089千円	令和6年度決算額	3,803千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ年	【部活動外部指導者数】 令和3年度 17名 令和4年度 6名 令和5年度 10名 令和6年度 7名 【吹奏楽部の実績】 令和3年度 東部地区大会、県大会 令和4年度 東部地区大会、県大会 令和5年度 東部地区大会、県大会 令和6年度 東部地区大会、県大会			

【事業の評価】

【Check】 指標評価	C					
事業の 必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の 有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の 効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	<ul style="list-style-type: none"> 民間指導者の派遣による部活動の充実から、生徒の健全育成や体力向上が図られている。併せて、安全な部活動運営も図られている。 部活動地域移行では、市教委主催で地域クラブ活動を行ったが、中学生を受け入れる団体が見つかっていない。 					
課題	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の健全育成や体力向上についての指導を担う、適切な人材の確保が困難である。 中学生の部活動の受皿となる団体が見つかっていない。 					
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> (一部廃止)					
令和8年度 事業計画	<ul style="list-style-type: none"> 部活動指導員の配置及び部活動外部指導者の派遣 吹奏楽コンクールへの生徒の派遣 部活動の地域移行の実証実験として、「館林市地域クラブ活動」を継続・拡大する。 					
予算規模 見込み	<input type="checkbox"/> 同規模 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較					
備考						

【令和6年度事業】実施計画書

整理番号	161	重要事業	総合戦略	担当部署	学校教育課 学事係
款・項・目		事業名	当初予算額 (R4)	当初予算額 (R5)	当初予算額 (R6)
10・3・2		就学奨励（援助）事業	29,805千円	28,937千円	28,756千円

【総合計画との関連】

基本目的	▶Ⅲ_育てる幸せを感じ生涯にわたり互いに学び続ける家庭と文化を築くまち
施策目的	▶12_自ら学ぶ意欲とたくましく生きる力を身につけた未来を担う子どもが育つまちになる
施策の方向	▶2_夢と希望の実現に向けた支援の充実

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	経済的な理由により就学が困難な生徒の保護者に対し、学校生活で必要な費用を援助する。
令和6年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
①生徒の就学奨励事業 ※特別支援教育就学奨励費を含む	
・要保護及び準要保護生徒援助費 <内容> 「学校教育法」の規定に基づき、経済的理由のため就学困難と認められる市内に在住する生徒の保護者に対し、申請方式により、以下の品目を支給することで援助を行う。 <支給品目> 学用品費、通学用品費、校外活動費、修学旅行費、給食費、新入学児童生徒学用品費、通学費、医療費、クラブ活動費、生徒会費、PTA会費、オンライン学習通信費	
・特別支援教育就学奨励費 <内容> 「特別支援学校への就学奨励に関する法律」の規定に基づき、障害のある児童生徒等への経済的負担を軽減するため、市内に在住する生徒の保護者に対し、申請方式により、以下の品目を支給することで援助を行う。 <支給品目> 学用品費、通学用品費、校外活動費、修学旅行費、給食費、新入学児童生徒学用品費、通学費、オンライン学習通信費	

	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業スケジュール	①生徒の就学奨励事業 ・要保護及び準要保護生徒援助費 ・特別支援教育就学奨励費	①生徒の就学奨励事業 ・要保護及び準要保護生徒援助費 ・特別支援教育就学奨励費	①生徒の就学奨励事業 ・要保護及び準要保護生徒援助費 ・特別支援教育就学奨励費
事業費	28,756	28,756	28,756
財源	国庫 1,658	1,658	1,658
	県費 0	0	0
	市債 0	0	0
	その他 0	0	0
	一般財源 27,098	27,098	27,098

【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
活動指標 中学生保護者に対する制度周知回数	2 単位： 実績値	目標値 実績値	2 2	2 2	2 2	2 2	2 2
		目標値 実績値					
		目標値 実績値					
		目標値 実績値					

【令和6年度事業】事業評価調査

【事業の実績】

令和6年度予算額	30,514千円	令和6年度決算額	24,908千円
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ年	<p>【要保護及び準要保護生徒援助費】 令和4年度 対象者170名 納付額23,474,270円 令和5年度 対象者171名 納付額22,000,612円 令和6年度 対象者185名 納付額23,477,996円</p> <p>【特別支援教育就学奨励費】 令和4年度 対象者38名 納付額1,926,944円 令和5年度 対象者37名 納付額1,819,556円 令和6年度 対象者33名 納付額1,429,804円</p>		

【事業の評価】

【Check】 指標評価	A					
事業の 必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の 有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の 効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	経済的な理由により就学が厳しい世帯や特別支援学級に在籍する生徒の世帯に給付を行うことで、生徒の就学機会の確保に資することができた。					
課題	一定数の申請が見込まれるため、適切な処理をする必要がある。					
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 繼続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> (一部廃止)					
経済的に苦しい世帯や配慮を要する生徒の世帯に対して、学習の保障と就学機会を確保するため、引き続き必要な世帯に支援を行っていく。						
令和8年度 事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・要保護・準要保護生徒への就学援助費の支給 ・特別支援学級通学者への就学奨励費の支給 ・市外特別支援学校へ通学する生徒への就学助成費の支給 					
予算規模 見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較					
備考						

【令和6年度事業】実施計画書

整理番号	162	重要事業		総合戦略		担当部署	学校教育課 学事係
款・項・目		事業名		当初予算額 (R4)	当初予算額 (R5)	当初予算額 (R6)	
10・3・2		被災生徒就学援助事業		211千円	225千円	228千円	

【総合計画との関連】

基本目的	▶Ⅲ_育てる幸せを感じ生涯にわたり互いに学び続ける家庭と文化を築くまち
施策目的	▶12_自ら学ぶ意欲とたくましく生きる力を身につけた未来を担う子どもが育つまちになる
施策の方向	▶2_夢と希望の実現に向けた支援の充実

【事業の目的及び内容】

【Plan】事業目的	東日本大震災により被災し、経済的理由から就学等が困難となった生徒に対し、交付金として経費の全額(10/10)を支援する。
令和6年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
①被災児童生徒援助事業 <内容> 東日本大震災により被災し、経済的理由から就学困難となった市内に在住する生徒の保護者に対し、申請方式により、以下の品目を支給することで家庭の教育負担の軽減を行う。 <支給品目> 学用品費、通学用品費、校外活動費、修学旅行費、給食費、新入学児童生徒学用品費、通学費、医療費、クラブ活動費、生徒会費、PTA会費、オンライン学習通信費	

【事業スケジュール】

(単位：千円)

		令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業スケジュール		①被災生徒就学援助事業 ・被災生徒就学援助費	①被災生徒就学援助事業 ・被災生徒就学援助費	①被災生徒就学援助事業 ・被災生徒就学援助費
事業費		228	228	228
財源	国庫	228	228	228
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	0	0	0

【関連する指標】

指標		現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
活動指標	援助者に対する充足率	100 単位：%	目標値 実績値	100 -	100 -	100 -	100 -	100 -
			目標値 実績値					
			目標値 実績値					
			目標値 実績値					
			目標値 実績値					

【令和6年度事業】事業評価調査

【事業の実績】

令和6年度予算額	228千円	令和6年度決算額	0千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ年	<p>【被災生徒就学援助費】 令和4年度 対象者0名 給付額0円 令和5年度 対象者0名 給付額0円 令和6年度 対象者0名 給付額0円 ※認定要件に該当する者がいなかった。</p>			

【事業の評価】

【Check】 指標評価	
事業の 必要性	<input type="checkbox"/> 高 政策の推進において不可欠な事業である <input type="checkbox"/> 中 政策の推進に寄与している事業である <input checked="" type="checkbox"/> 低 目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の 有効性	<input type="checkbox"/> 高 成果が高水準にある <input checked="" type="checkbox"/> 中 適切な成果が得られている <input type="checkbox"/> 低 成果が低水準にある
事業の 効率性	<input type="checkbox"/> 高 費用対効果が高水準にある <input checked="" type="checkbox"/> 中 適切な費用対効果が得られている <input type="checkbox"/> 低 費用対効果が低水準にある
評価根拠	東日本大震災や原発事故により館林市に避難している世帯に必要な就学支援を行うものだが、令和4年度・5年度・6年度は申請なしだった。
課題	避難者の転出入の時期や、現在市内に在住の避難者がいつ認定になるかといった不確定要素が多くある中で、結果的に予算執行されない状況もあり得る。
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 (<input type="checkbox"/> 一部廃止)
令和8年度 事業計画	近年該当者がいないことから、事業休止とする。
予算規模 見込み	<input type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較
備考	

【令和6年度事業】実施計画書

整理番号	163	重要事業	総合戦略	担当部署	学校教育課 指導係
款・項・目		事業名	当初予算額 (R4)	当初予算額 (R5)	当初予算額 (R6)
10・6・1		保健体育総務費	6,447千円	11,875千円	6,130千円

【総合計画との関連】

基本目的	▶III_育てる幸せを感じ生涯にわたり互いに学び続ける家庭と文化を築くまち
施策目的	▶12_自ら学ぶ意欲とたくましく生きる力を身につけた未来を担う子どもが育つまちになる
施策の方向	▶2_夢と希望の実現に向けた支援の充実

【事業の目的及び内容】

【Plan】事業目的	中学生にスポーツ実践の機会を与え、技能の向上とスポーツ精神の高揚を図り、心身ともに健全な中学生を育成するとともに、生徒相互の親睦とスポーツの振興を図る。
令和6年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
学校体育スポーツ指導事業 ・中学校体育連盟交付金 中学校5校で組織され、各種大会の運営経費や県大会等への選手派遣に係る経費などを対象とし、交付要綱に基づき予算の範囲内で交付する。	

【事業スケジュール】

(単位 : 千円)

		令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業スケジュール		学校体育スポーツ指導事業 ・中学校体育連盟交付金	学校体育スポーツ指導事業 ・中学校体育連盟交付金	学校体育スポーツ指導事業 ・中学校体育連盟交付金
事業費		6,130	6,130	6,130
財源	国庫	0	0	0
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	6,130	6,130	6,130

【関連する指標】

指標		現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
活動指標	中体連主催大会の開催数	3	目標値	3	3	3	3	3
		単位 : 回	実績値	2	3	3	2	
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

【令和6年度事業】事業評価調査

【事業の実績】

令和6年度予算額	6,130千円	令和6年度決算額	5,526千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ年	<中体連> 令和3年度 交付金5,643,000円 令和4年度 交付金5,846,163円 令和5年度 交付金5,656,649円 令和6年度 交付金5,263,881円			

【事業の評価】

【Check】 指標評価	C					
事業の 必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の 有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の 効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	体育やスポーツの振興、生徒に実践する機会の提供などにより、技能向上やスポーツ精神の高揚を図るために必要である。					
課題	中体連の大会等が例年どおりに実施された場合、バス賃借料が予算の中で大きなウエイトを占めることになり、結果的に予算を補正する必要が生じる。					
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 (<input type="checkbox"/> 一部廃止)					
	中学生にスポーツ実践の機会を与え、技能の向上とスポーツ精神の高揚を図り、心身ともに健全な中学生を育成するとともに、生徒相互の親睦とスポーツの振興を図るために継続が必要な事業である。					
令和8年度 事業計画	<ul style="list-style-type: none"> 市中体連への交付金交付 県中体連大会出場に伴う参加費の負担 					
予算規模 見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較					
備考						

【令和6年度事業】実施計画書

整理番号	164	重要事業		総合戦略		担当部署	学校教育課 指導係
款・項・目		事業名		当初予算額 (R4)	当初予算額 (R5)	当初予算額 (R6)	
10・6・1		体育・スポーツの振興		180千円	180千円	400千円	

【総合計画との関連】

基本目的	▶III_育てる幸せを感じ生涯にわたり互いに学び続ける家庭と文化を築くまち
施策目的	▶12_自ら学ぶ意欲とたくましく生きる力を身につけた未来を担う子どもが育つまちになる
施策の方向	▶2_夢と希望の実現に向けた支援の充実

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	県大会を勝ち抜いた選手に広くスポーツの実践の機会を与えるとともに、保護者の負担軽減を図る。
令和6年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
全国・関東・体育事業派遣 ・中学生ブロック大会参加補助金 関東大会や全国大会へ参加する中学生の経費（交通費、宿泊費等）のうち、県中体連派遣費助成金を差し引いた2/3を市が補助する。	

【事業スケジュール】

(単位：千円)

事業 スケジュール	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	全国・関東・体育事業派遣 ・中学生ブロック大会参加補助金	全国・関東・体育事業派遣 ・中学生ブロック大会参加補助金	全国・関東・体育事業派遣 ・中学生ブロック大会参加補助金
事業費	400	400	400
財源	国庫 0	0	0
	県費 0	0	0
	市債 0	0	0
	その他 0	0	0
	一般財源 400	400	400

【関連する指標】

活動指標	指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
	学校別関東大会・全国大会等への出場 総競技数	11 単位：競技	目標値 実績値	12 7	13 3	14 4	14 4	15
			目標値 実績値					
			目標値 実績値					
			目標値 実績値					
			目標値 実績値					

【令和6年度事業】事業評価調査

【事業の実績】

令和6年度予算額	656千円	令和6年度決算額	656千円
<p>【Do】 事業実績（成果） ※過去3カ年</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度 水泳・陸上・柔道・体操・ソフトテニス 26名 225,000円 ・令和4年度 陸上・水泳 11名 165,300円 ・令和5年度 陸上・水泳・体操・柔道 19名 403,100円 ・令和6年度 陸上・水泳・柔道・バスケットボール 29名 656,000円 			

【事業の評価】

【Check】 指標評価	D					
事業の 必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の 有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の 効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	<p>県大会を勝ち抜き上位の大会へと進んだ生徒に一層のスポーツ実践の機会を与え、保護者の負担軽減を図る必要がある。 ※令和3年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響で開催された大会が少なかった。</p>					
課題	<p>コロナ禍を除けば、年度ごとに上位大会に参加する種目や選手数、開催地が異なり、物価高騰もあり、予算不足になることから補正予算で対応している。</p>					
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> (一部廃止)					
<p>コロナ禍を除き、過去の実績で毎年補正増しているため、事業の拡大が必要である。</p>						
令和8年度 事業計画	<p>水泳、陸上等 30名程度 400,000円</p>					
予算規模 見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較					
備考						

【令和6年度事業】実施計画書

整理番号	165	重要事業	○	総合戦略		担当部署	向井千秋記念子ども科学館 事業係
款・項・目		事業名		当初予算額 (R4)	当初予算額 (R5)	当初予算額 (R6)	
10・5・10	向井千秋記念子ども科学館ROCKET事業		1,308千円	1,127千円	1,012千円		

【総合計画との関連】

基本目的	▶III_育てる幸せを感じ生涯にわたり互いに学び続ける家庭と文化を築くまち
施策目的	▶12_自ら学ぶ意欲とたくましく生きる力を身につけた未来を担う子どもが育つまちになる
施策目的	▶14_生涯にわたって学び続けることができ生きがいと活力に満ちたまちになる
施策の方向	▶1_学習環境や生活環境の充実
施策の方向	▶2_夢と希望の実現に向けた支援の充実
施策の方向	▶4_確かな学力と豊かな心を育む教育の推進

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	東京大学先端科学技術研究センター事務局「異才発掘プロジェクトROCKET」（現在「LEARN」に移行）と連携して 行ってきたこれまでの実践を活かしながら、個性が豊かななど本人の内面的な理由により、現状の環境に馴染めず に悩んでいる子どもたち（小・中学生）に個性にあった学び（活動）の場を提供し、子どもたちが自立して生き ていく力を養う。
令和6年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
向井千秋記念子ども科学館ROCKET事業【重要事業】	
○ROCKETの学びを活かした「里沼（SATO-NUMA）プログラム」の実施（6回）	
○ROCKETの学びを活かした「個別支援プロジェクト」（タブレット等を活用した学習支援）（通年）	
○学校（相談室）と連携を密にしたROCKET Labの実施（17回）	

【事業スケジュール】

(単位 : 千円)

事業 スケジュール	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	向井千秋記念子ども科学館ROCKET事業【重】 ○里沼（SATO-NUMA）プログラム ○個別支援プロジェクト ○ROCKET Lab	向井千秋記念子ども科学館ROCKET事業【重】 ○里沼（SATO-NUMA）プログラム ○個別支援プロジェクト ○ROCKET Lab	向井千秋記念子ども科学館ROCKET事業【重】 ○里沼（SATO-NUMA）プログラム ○個別支援プロジェクト ○ROCKET Lab
事業費	1,012	1,012	1,012
財源	国庫 0	0	0
	県費 0	0	0
	市債 0	0	0
	その他 0	0	0
一般財源	1,012	1,012	1,012

【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
総合計画指標	向井千秋記念子ども科学館利用者数(入館者)	目標値	63,875	64,406	64,937	65,469	66,000
		実績値	36,583	52,773	59,826	65,458	
総合計画指標	向井千秋記念子ども科学館利用者数(観覧者)	目標値	25,006	26,003	26,335	26,668	27,000
		実績値	16,291	24,983	28,445	29,470	
		目標値					
		実績値					
		目標値					
		実績値					

【令和6年度事業】事業評価調査

【事業の実績】

令和6年度予算額	1,012千円	令和6年度決算額	796千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3ヵ年	・茂林寺沼プログラム ・多々良沼プログラム ・百年小麦プログラム ・ICT等を活用した学習支援 ・ROCKET Lab ・トップランナートーク in館林	R4: 43人 (3回) R4: — R4: 39人 (3回) R4: 73人 R4: 171人 (17回) R4: 132人 (動画配信)	R5: 31人 (3回) R5: — R5: 40人 (3回) R5: 76人 R5: 151人 (17回) R5: — (オンライン配信)	R6: — R6: 43人 (3回) R6: 36人 (3回) R6: 76人 R6: 195人 (17回) R6: —

【事業の評価】

【Check】 指標評価	A				
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 ■ 高 政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 ■ 高 成果が高水準にある	<input type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高 □ 高 費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中 ■ 中 適切な費用対効果が得られている		<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	<p>ROCKET Labにおいては、活動後のアンケートの回答で「ROCKETの仲間や大人たちと話ができるようになってきた」、「自分のできることが見つかった」などが多かったことから、事業目的である「自己肯定感や自己有用感を高める」ことがおおむね達成できたと考えられる。また、保護者・学校のアンケート結果は、全員が「意義がある」と回答しており、特に、子どもの変容について、「(参加者が)自分のできることが見つけられた」「学校の先生と話をする機会や登校日数などが増えた」、「いろいろな人のコミュニケーションがとれるようになってきた」等の意見が挙げられた。保護者からは子どもの居場所としての安心感を得られているとの意見も多かった。</p> <p>「里沼 (SATO-NUMA) プログラム」においては、昨年度までの「茂林寺沼プログラム」から「多々良沼プログラム」に変更して探究学習を実施した。地域資源や地元企業、市長部局の各課、地元高校との連携を図ることができ、地域との関わりを通して子どもが学ぶプログラムを設定することができた。</p>				
課題	<p>現在、不登校で悩んでいる児童生徒や保護者が多く存在することから、安心できる居場所としてROCKET Labについて更なる周知徹底を図る必要がある。校長会議や各学校への案内通知、心の教室相談員の研修などでの周知や、学校相談室の利用時間帯に合わせた事業の実施などを再度検討したい。</p> <p>里沼プログラムにおいては、里沼に関わる人々を講師として活用できる余地があり、地元の高等学校や地域団体との連携を深めていく必要がある。また、クラブ生はリピーターが多く、5年度まで里沼コースに参加した生徒が高校生になり、学生ボランティアとして運営に協力してくれている現状もある。このように、継続的に参加するクラブ生を育てていくことで、子どもたち同士の協働的な学びが図られ、子どもたち自身で本市の魅力を育していく姿が実現されることが理想である。</p>				
	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> (一部廃止)				
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<ul style="list-style-type: none"> ROCKET Labは、学校等になじめない子どもたちにとって安心できる居場所として重要性が高まっていることや成果が上がっていることから、今後も継続する。 科学クラブ「里沼コース」は、7年度はクラブ生が10名に減少した。そのうち5名はリピーターで、新規加入のクラブ員は年々減少傾向が見られる。今年度で事業開始から5年が経過するため、本事業の振り返りを行うとともに、各小中学校での「里沼学習」も定着してきていることから、今後の科学クラブ「里沼コース」のあり方、事業の進め方を検討したい。 				
令和8年度 事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ○里沼 (SATO-NUMA) プログラム ○ROCKET Lab 				
予算規模 見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> ※前年度比較				
備考					

【令和6年度事業】実施計画書

整理番号	166	重要事業	○	総合戦略		担当部署	学校給食センター 給食係
款・項・目		事業名		当初予算額 (R4)	当初予算額 (R5)	当初予算額 (R6)	
10・6・3		給食センター運営		335,080 千円	329,245 千円	350,464 千円	

【総合計画との関連】

基本目的	▶III_育てる幸せを感じ生涯にわたり互いに学び続ける家庭と文化を築くまち
施策目的	▶12_自ら学ぶ意欲とたくましく生きる力を身につけた未来を担う子どもが育つまちになる
施策の方向	▶6_教育活動における食育の充実

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	・児童生徒に対し、安全安心で栄養バランスのとれた給食を安定的に提供するとともに、食生活や生活環境の変化に伴い、学校給食の目的が「食生活の改善」から「食育の推進」を重視したものとなったことを受け、児童・生徒や保護者の食育への理解を深めるため、栄養教諭等による食に関する指導の一層の充実を図り、次世代を担う親子への望ましい食習慣づくりを推進する。 ・また、学校給食は食育の生きた教材であり、食育推進に取り組む環境を整備するため、子育て世代が抱えている経済的負担の軽減を図る。
----------------	--

令和6年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

給食センター運営事業【重要事業】
①食育の推進
・学校、家庭及び学校給食センターの連携により、学校訪問による各教科等の中での食育の推進 (栄養、食事マナー、食文化・伝統、食材流通の経路と労働への感謝、運動との関わり等)
・施設見学、調理実習等を通した保護者（家庭）への食育の推進
・食育ブログ等による食育の推進及び学校給食の情報提供
・学校給食の啓発イベントの開催
・給食残菜のリサイクル（飼料化）の実施
②アレルギー対応食の提供及び品目拡大の準備
・対象者：医師の診断・指示により、家庭でも除去を行っている児童生徒
・除去品目：卵、※令和6年度から卵・乳の両方除去実施
・提供開始：令和3年4月～
・アレルギー対応食の献立：通常食と同様の献立（対応品目の除去食）
③学校給食費の徴収管理
・学校と情報共有しながら学校給食費の適正賦課及び徴収
・学校給食費の無償化（第3子以降、中学校3年生【新規事業】）

【事業スケジュール】

（単位：千円）

	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業スケジュール	・学校における食育の実施 ・学校給食センターを活用した食育の実施 ・様々な媒体を活用した食育情報の提供 ・学校給食の啓発 ・給食残菜リサイクルの実施 ・食物アレルギー対応 ・学校給食費の無償化【新】	・学校における食育の実施 ・学校給食センターを活用した食育の実施 ・様々な媒体を活用した食育情報の提供 ・学校給食の啓発 ・給食残菜リサイクルの実施 ・食物アレルギー対応 ・学校給食費の無償化	・学校における食育の実施 ・学校給食センターを活用した食育の実施 ・様々な媒体を活用した食育情報の提供 ・学校給食の啓発 ・給食残菜リサイクルの実施 ・食物アレルギー対応 ・学校給食費の無償化
事業費	350,464	350,464	350,464
国庫	0	0	0
県費	0	0	0
市債	0	0	0
その他	294,389	294,389	294,389
一般財源	56,075	56,075	56,075

【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
活動指標	学校訪問の訪問率	100 目標値 単位：%	100 実績値 43.3	100 19.9	100 100.0	100 100.0	100 100
活動指標	施設見学回数	21 目標値 単位：回	24 実績値 21	26 21	27 20	29 21	30 21
活動指標	地場産農作物使用率（使用農作物全体に占める地場産の割合：重量）	38.9 目標値 単位：%	39.3 実績値 38.9	39.4 38.1	39.6 38.5	39.8 42.8	40.0 42.8

【令和6年度事業】事業評価調書

【事業の実績】

令和6年度予算額	353,683千円	令和6年度決算額	335,937千円
<p>■学校訪問の訪問率 ・令和6年度実績 100% 内訳（令和4年度：19.9%、令和5年度：100%、令和6年度：100%） ※R4年度は新型コロナウイルス感染症感染拡大のため、学校訪問未実施期間あり</p> <p>■施設見学回数 ・令和6年度実績 21回 内訳（令和4年度：21回、令和5年度：20回、令和6年度：21回）</p> <p>■地場産農作物使用率 ・令和6年度実績 42.8% 内訳（令和4年度：38.1%、令和5年度：38.5%、令和6年度：42.8%）</p>			

【事業の評価】

【Check】 指標評価	A					
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	指標の「学校訪問の訪問率」については、昨年度より100%を達成することができているが、「施設見学回数」については、横ばいであった。一方、「地場産農作物使用率」が、42.8%と目標値を上回る結果となった。					
課題	物価高騰の中、限られた予算内で高品質の食材を調達し、栄養価の高い食事を提供することは常に大きな課題である。また、食育の推進やアレルギー対応食の提供において、通常食の提供に影響を及ぼさないためにも、栄養士のさらなる配置が必要である。					
【Action】 今後の方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> (一部廃止)					
学校給食センターにおける調理及び施設の維持管理運営に関しては、SPC（特別目的会社）が行うこととなっているが、献立の作成、使用食材の発注及び検収、学校給食費実費徴収金の徴収管理、各学校への訪問を通じた食育への働きかけ等、学校給食の根幹をなす部分については引き続き市が実施するとともに、安心安全な給食を今後も提供していかなければならない。						
令和8年度事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校に対する食育活動の実施 ・通常食及び食物アレルギー対応食の提供 ・学校給食実費徴収金の徴収管理 ・第3子以降、中学3年生学校給食費無料化及び給食費負担軽減事業の継続 					
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較					
備考						

【令和6年度事業】実施計画書

整理番号	167	重要事業	総合戦略	担当部署	学校給食センター 納入係
款・項・目		事業名	当初予算額 (R4)	当初予算額 (R5)	当初予算額 (R6)
10・6・3	給食センターPF1運営事業	414,613 千円	414,765 千円	423,499 千円	

【総合計画との関連】

基本目的	▶III_育てる幸せを感じ生涯にわたり互いに学び続ける家庭と文化を築くまち
施策目的	▶12_自ら学ぶ意欲とたくましく生きる力を身につけた未来を担う子どもが育つまちになる
施策の方向	▶6_教育活動における食育の充実

【事業の目的及び内容】

【Plan】事業目的	平成30年度2学期より施設の供用を開始したPF1法に基づき整備された学校給食センターにおいて、令和15年8月までの15年間当該施設の維持管理、調理業務等の運営をSPCに業務委託し、安全安心な給食を安定的に提供する。
令和6年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
①市が提示した要求水準書の履行確認のためのモニタリング ・SPCによるセルフモニタリング報告書の確認 ・日常における維持管理業務及び運営業務のモニタリング ・PF1事業協議会の開催	
②SPCが提示した提案書の履行確認のためのモニタリング ・SPCによるセルフモニタリング報告書の確認 ・日常における維持管理業務及び運営業務のモニタリング ・PF1事業協議会の開催	
③SPCの財務モニタリング ・年度明けに提出されたSPCの財務諸表のモニタリング及び市ホームページへのモニタリング結果の公表	

【事業スケジュール】

(単位 : 千円)

事業スケジュール	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	・市の要求水準書のモニタリング ・SPCの提案書のモニタリング ・PF1事業協議会の開催 ・SPCの財務モニタリング及びのモニタリング結果の公表	・市の要求水準書のモニタリング ・SPCの提案書のモニタリング ・PF1事業協議会の開催 ・SPCの財務モニタリング及びのモニタリング結果の公表	・市の要求水準書のモニタリング ・SPCの提案書のモニタリング ・PF1事業協議会の開催 ・SPCの財務モニタリング及びのモニタリング結果の公表
事業費	423,499	423,499	423,499
財源	国庫 0	0	0
	県費 0	0	0
	市債 0	0	0
	その他 0	0	0
一般財源	423,499	423,499	423,499

【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
		目標値					
		実績値					
		目標値					
		実績値					
		目標値					
		実績値					

【令和6年度事業】事業評価調書

【事業の実績】

令和6年度予算額	423,499千円	令和6年度決算額	422,257千円
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ年	<p>■ H30年度～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・維持管理業務・運営業務・事業契約・財務書類に係るモニタリングの実施 ・ＳＰＣによる施設の適正な維持管理、保守点検及び不具合箇所の修繕及びセルフモニタリングの実施 		

【事業の評価】

【Check】 指標評価	
事業の必要性	<p>■ 高 政策の推進において不可欠な事業である</p> <p>□ 中</p> <p>□ 低 政策の推進に寄与している事業である</p> <p>目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある</p>
事業の有効性	<p>□ 高 成果が高水準にある</p> <p>■ 中 適切な成果が得られている</p> <p>□ 低 成果が低水準にある</p>
事業の効率性	<p>□ 高 費用対効果が高水準にある</p> <p>■ 中 適切な費用対効果が得られている</p> <p>□ 低 費用対効果が低水準にある</p>
評価根拠	本事業は、安全安心な給食を継続的に提供するために不可欠であり、その実現に向け市側におけるモニタリングは適正に実施されていると考える。
課題	安全安心な給食の継続的な提供を脅かす要因を排除するため、引き続きモニタリングを強化していく必要がある。
【Action】 今後の方向性・内容	<p>■ 継続 □ 拡大 □ 改善 □ 代替 □ 統合 □ 縮小 □ 休止 □ 廃止 (□ 一部廃止)</p> <p>安全安心な給食の継続的な提供のため、モニタリングを適正に実施していく。</p>
令和8年度事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・市が提示した要求水準書の履行確認のためのモニタリング ・ＳＰＣが提示した提案書の履行確認のためのモニタリング ・ＳＰＣの財務モニタリング
予算規模見込み	<p>■ 同規模 □ 拡大 □ 縮小</p> <p>※前年度比較</p>
備考	

【令和6年度事業】実施計画書

整理番号	168	重要事業		総合戦略		担当部署	生涯学習課 青少年係
款・項・目		事業名		当初予算額 (R4)	当初予算額 (R5)	当初予算額 (R6)	
2・1・7		国際・都市間交流事業		245千円	2,859千円	249千円	

【総合計画との関連】

基本目的	▶Ⅲ_育てる幸せを感じ生涯にわたり互いに学び続ける家庭と文化を築くまち
施策目的	▶13_心身ともに健全な子どもが育つ家庭や地域の教育力が高いまちになる
施策の方向	▶2_子どもの健全育成を促進する学びの機会の提供

【事業の目的及び内容】

【Plan】事業目的	小学生・中学生を対象に、異なる地域の文化や歴史、風土を学ぶ貴重な体験機会として、友好都市である沖縄県名護市と交流を行う。
令和6年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
<ul style="list-style-type: none"> ・青少年健全育成4団体（PTA、青少推、補導員会、市子連）が連携して実施する。 ・互いの市へ隔年で訪問し、令和6年度は名護市児童生徒を受け入れ、交流会を実施する予定。 	

【事業スケジュール】

(単位：千円)

		令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業スケジュール	名護市より受入れ	名護市へ訪問	名護市より受入れ	
	①事前研修 ②事業実施	①事前研修 ②事業実施 ③事後研修	①事前研修 ②事業実施	
事業費	249	29,000	260	
財源	国庫	0	0	0
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	249	29,000	260

【関連する指標】

指標		現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
活動指標	名護市館林市児童交流事業参加人数	53(H30)	目標値	50	50	50	50	50
		単位：人	実績値	0	26	42	32	
			目標値					
		単位：	実績値					
			目標値					
		単位：	実績値					
			目標値					
		単位：	実績値					

【令和6年度事業】事業評価調査

【事業の実績】

令和6年度予算額	249千円	令和6年度決算額	158千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ年	<p>●名護市館林市児童交流事業</p> <p>平成29年度（名護市へ訪問） : 33名参加（児童のみ、館林市19名・名護市14名）</p> <p>平成30年度（館林市へ来訪） : 53名参加（児童のみ、館林市29名・名護市24名）</p> <p>令和元年度（名護市へ訪問） : 台風接近のため、中止</p> <p>令和2年度（リモートにて実施） : 32名参加（児童のみ、館林市20名・名護市12名）</p> <p>令和3年度（名護市へ訪問） : コロナウイルス感染拡大防止のため、中止</p> <p>令和4年度（館林市へ来訪） : 26名参加（児童のみ、館林市10名・名護市16名）</p> <p>令和5年度（名護市へ訪問） : 42名参加（児童のみ、館林市20名・名護市22名）</p> <p>令和6年度（館林市へ来訪） : 32名参加（児童のみ、館林市13名・名護市19名）</p> <p>※隔年で訪問、隔年で来訪</p>			

【事業の評価】

【Check】 指標評価	C					
事業の 必要性	<input type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input checked="" type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の 有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の 効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input checked="" type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	小学生・中学生が異なる地域の文化、歴史及び風土を学び、またはその体験の機会を得ることができる事業である。友好都市である沖縄県名護市においては、風土や文化の特色が強く、青少年への良好な学習効果が期待できる。一方、費用面においては名護市への訪問時に遠方がゆえ、約340万円の費用を要する。					
課題	青少年の学習意欲の向上が期待できる一方、訪問時には多額の費用を要する。また、事業実施においては、感染症の拡大状況や台風等の天候に左右されるため、中止になる可能性がある。 2泊3日のスケジュールのため、引率の女性スタッフの確保不能。					
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input checked="" type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 一部廃止					
友好都市との交流事業であり、本事業においては青少年を対象としているが、遠方がゆえに参加児童・生徒並びに引率者の負担も大きく、継続することが困難な事業のため、他の交流事業との統合の検討をする。						
令和8年度 事業計画	<p>青少年健全育成四団体（市P連、青少推、補導員会、市子連）が連携して実施する。 互いの市へ隔年で訪問し、令和8年度は名護市が館林市を訪問する予定。</p> <p>※参考（令和7年度はリモート交流）</p>					
予算規模 見込み	<input type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較					
備考	※令和8年度は名護市が館林市を訪問予定年度のため予算額減					

【令和6年度事業】実施計画書

整理番号	169	重要事業		総合戦略	<th>担当部署</th> <td>生涯学習課生涯学習係</td>	担当部署	生涯学習課生涯学習係
款・項・目	事業名			当初予算額 (R4)	当初予算額 (R5)	当初予算額 (R6)	
10・5・2	社会教育活動促進事業（学級講座）			691千円	503千円	503千円	

【総合計画との関連】

基本目的	▶Ⅲ_育てる幸せを感じ生涯にわたり互いに学び続ける家庭と文化を築くまち
施策目的	▶13_心身ともに健全な子どもが育つ家庭や地域の教育力が高いまちになる
施策の方向	▶1_家庭の教育力回復を図る取組

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	市民の学習ニーズやライフステージに応じた各種学級講座等をとおして、生涯にわたる学習の継続と家庭教育への支援を進め、家庭の教育力の向上に努める。 たてばやしふるさとアカデミアの作成、小学校家庭教育学級合同講演会、小学校新入学期子育て講座、中学校思春期子育て講座、すくすくサポート隊、家庭教育相談などを開催。
	令和6年度事業計画（主要な事業とその取組内容） ・たてばやしふるさとアカデミアの作成 各種学級講座の参加者と担当者による年間事業を評価するためにたてばやしふるさとアカデミアを作成する。 ・小学校家庭教育学級合同講演会 各公民館・各小学校で実施している家庭教育学級生を一堂に会し、より深い学習機会と交流の場として開催する。 ・小学校新入学期子育て講座・中学校思春期子育て講座 小中学校入学前に実施される入学説明会の際に、家庭教育指導員又はスクールカウンセラーによる子育て講座を開催する。 ・すくすくサポート隊 児童館等が近くにない公民館にて、ボランティアのサポート隊員による子育て支援の場をつくる。 ・家庭教育相談 家庭教育指導員による子育て相談の機会をつくる。

事業スケジュール	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	生涯学習研究集会（たてばやしふるさとアカデミア作成） 小学校家庭教育学級合同講演会 小学校新入学期子育て講座 中学校思春期子育て講座 すくすくサポート隊 家庭教育相談	生涯学習研究集会（たてばやしふるさとアカデミア作成） 小学校家庭教育学級合同講演会 小学校新入学期子育て講座 中学校思春期子育て講座 すくすくサポート隊 家庭教育相談	生涯学習研究集会（たてばやしふるさとアカデミア作成） 小学校家庭教育学級合同講演会 小学校新入学期子育て講座 中学校思春期子育て講座 すくすくサポート隊 家庭教育相談
事業費	503	503	503
財源	国庫 0	0	0
	県費 0	0	0
	市債 0	0	0
	その他 0	0	0
一般財源	503	503	503

【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
活動指標 生涯学習事業実績延べ回数	751	目標値 単位：回	740	735	730	725	720
		実績値 単位：回	759	1,173	1,113	1,107	
活動指標 すくすくサポート隊開設回数	86	目標値 単位：回	87	88	88	89	90
		実績値 単位：回	67	89	90	86	
		目標値 単位：					
		実績値 単位：					

【令和6年度事業】事業評価調査

【事業の実績】

令和6年度予算額	503千円	令和6年度決算額	393千円	
<p>【Do】 事業実績（成果） ※過去3カ年</p> <p>生涯学習研究集会 令和4年度：書面開催 令和5年度：書面開催 令和6年度：書面開催 小学校新入学期子育て講座 令和4年度：520人 令和5年度：445人 令和6年度：426人 小学校家庭教育学級合同講演会 令和4年度：79人 令和5年度：41人 令和6年度：48人 すくすくサポート隊 令和4年度：延べ710人参加 令和5年度：延べ500人参加 令和6年度：延べ399人参加</p>				

【事業の評価】

【Check】 指標評価	A					
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	<p>研究集会は各年代に応じた学習機会の発表を設けることができた。その学習成果は冊子としてまとめられ、学習内容が精査されているほか、次年度の学習計画を立てる際の参考書となっており、学習方法が研究されている。また、新入学期子育てセミナーを全ての小学校で実施することができ、DVDや資料等を作成し学習機会を提供できた。すくすくサポート隊は、参加者が保育園等に通うようになったことや、他の相談機関への利用などから参加者が減少した。</p>					
課題	<p>各種講座等については、学習課題に対してニーズのある学習内容との配分を研究する必要がある。また、5公民館で行われているすくすくサポート隊では、サポート隊員の高齢化が進み、サポート隊員となる協力者の増員と新たな参加者層への周知啓発が課題である。</p>					
【Action】 今後の方向性・内容	<p><input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> (一部廃止)</p> <p>研究集会は、引き続き書面開催により学習内容の研究を行う。また、子どもの年齢に応じた家庭の教育力向上を目指し、親子関係のあり方、子どもたちを取り巻く家庭環境、社会環境等についての情報交換や学習する機会を維持し続けることが必要不可欠なため、子育て世代を支援するための相談の場や学びの機会を充実させていく。</p>					
令和8年度事業計画	<p>生涯学習研究集会 小学校新入学期子育て講座 中学校思春期子育て講座 東洋大学オープン講座 すくすくサポート隊</p>					
予算規模見込み	<p><input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小</p> <p>※前年度比較</p>					
備考						

【令和6年度事業】実施計画書

整理番号	170	重要事業	○	総合戦略		担当部署	生涯学習課 青少年係
款・項・目		事業名		当初予算額 (R4)	当初予算額 (R5)	当初予算額 (R6)	
10・5・3		青少年健全育成事業		2,048千円	2,256千円	2,354千円	

【総合計画との関連】

基本目的	▶III_育てる幸せを感じ生涯にわたり互いに学び続ける家庭と文化を築くまち
施策目的	▶13_心身ともに健全な子どもが育つ家庭や地域の教育力が高いまちになる
施策の方向	▶2_子どもの健全育成を促進する学びの機会の提供

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	地域と学校の連携による子どもへの体験・交流活動の場や機会の提供、並びに青少年育成指導者の養成や青少年育成団体への活動支援を行い、地域に根ざした自主的な青少年健全育成活動を広める。
	令和6年度事業計画（主要な事業とその取組内容）
<p>①放課後子ども教室【重要事業】 放課後等に子どもたちが安全・安心に活動できる場所を設け、地域と学校が連携・協働して学習や様々な体験・交流活動の機会を定期的・継続的に提供する。</p> <p>②青少年指導者養成講座 子ども会等の青少年団体活動を指導援助できる地域指導者を養成する。</p> <p>③小学生インリーダー研修会 自然体験や交流活動を行い、地域の子どもの中心として活躍できるリーダーの育成を図る。</p> <p>④地域学校協働活動支援（旧：通学合宿） 共同生活や地域での体験活動を通じて、人とのふれあいやありがたさを実感し、生きる力を育む。</p>	

【事業スケジュール】

(単位：千円)

		令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業スケジュール		①放課後子ども教室【重】 ・新規開設 1 地区 <未定> ・継続予定 4 地区 ②青少年指導者養成講座開催 (年1回) ③小学生インリーダー研修会開催 (年1回) ④地域学校協働活動支援（旧：通学合宿） (3地区)	①放課後子ども教室【重】 ・新規開設 1 地区 <未定> ・継続予定 5 地区 ②青少年指導者養成講座開催 (年1回) ③小学生インリーダー研修会開催 (年1回) ④地域学校協働活動支援（旧：通学合宿） (3地区)	①放課後子ども教室【重】 ・新規開設 1 地区 <未定> ・継続予定 6 地区 ②青少年指導者養成講座開催 (年1回) ③小学生インリーダー研修会開催 (年1回) ④地域学校協働活動支援（旧：通学合宿） (3地区)
事業費		2,354	2,400	2,400
財源	国庫	0	0	0
	県費	552	560	560
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	1,802	1,840	1,840

【関連する指標】

指標		現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
総合計画指標	放課後子ども教室開設数（重） 単位：箇所	1	目標値	2	3	4	5	6
			実績値	2	3	4	4	
活動指標	青少年指導者養成講座参加人数 単位：人	25	目標値	25	25	25	25	25
			実績値	0	0	0	8	
活動指標	小学生インリーダー研修会参加人数 単位：人	19 (R2)	目標値	20	20	20	20	20
			実績値	0	0	0	0	
活動指標	地域学校協働活動参加人数(旧：通学合宿) 単位：人	58	目標値	60	60	60	60	60
			実績値	0	0	0	31	

【令和6年度事業】事業評価調査

【事業の実績】

令和6年度予算額	2,354千円	令和6年度決算額	1,495千円
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	<ul style="list-style-type: none"> ●少年の主張館林市大会 令和元年度：294名参加 令和2年度：中止 令和3年度：60名参加 令和4年度：119名参加 令和5年度：315名参加 令和6年度：259名参加 ●小学生インリーダー研修会 令和2年度：19名参加 令和3年度～5年度：中止 令和6年度：中止 ●地域学校協働活動(通学合宿) 令和元年度：58名参加 令和2年度～5年度：中止 令和6年度：31名参加 	<ul style="list-style-type: none"> ●青少年育成運動推進大会 令和元年度：218名参加 令和2年度：70名参加 令和3年度：158名参加 令和4年度：130名参加 令和5年度：137名参加 令和6年度：126名参加 ●青少年指導者養成講座 令和2年度：23名参加 令和3年度～5年度：中止 令和6年度：8名参加 ●放課後子ども教室開設（市教育委員会） 令和3年度：1箇所開設 児童26名 令和4年度：2箇所開設 児童31名 令和5年度：3箇所開設 児童53名 令和6年度：3箇所開設 児童63名 	

【事業の評価】

【Check】 指標評価	D					
事業の 必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の 有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の 効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	<p>「地域の中での子育て」を推進するためにも、担い手となる青少年育成団体の支援や指導者養成は今後も必要なため、政策の推進において不可欠な事業と言える。</p> <p>「放課後子ども教室」を実施することで、地域住民の参画のもと子どもたちに交流の場や体験及び学習の機会を提供すると同時に、地域力向上が期待できるため、適切な効果が得られている。</p>					
課題	<p>キャンプ等の宿泊を伴う事業は密になりやすく、多人数での食事を行うため、感染症を不安視する保護者の理解を得ることが困難。また、インフルエンザの大流行もあり、社会全体としてコロナ前の生活スタイルに戻る意識は薄く、従来の事業にとらわれない形での事業再編が求められている。</p> <p>保護者や児童・生徒の意向を把握したうえで、可能な範囲内で事業を継続する必要がある。</p>					
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 (<input type="checkbox"/> 一部廃止)					
<p>既存の事業の見直しを行い、実施可能な事業を継続させつつ、重要事業である「放課後子ども教室」を拡充し、子どもたちの様々な交流、体験や学習の機会を提供し、あわせて地域力の向上を目指す。</p>						
令和8年度 事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・青少年指導者養成講座開催（年1回） ・少年の主張館林市大会開催（年1回） ・地域学校協働活動の支援 ・青少年育成運動推進大会（年1回） ・放課後子ども教室の継続及び未実施地区への周知 ・足尾環境と植樹の開催（年1回） 					
予算規模 見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較					
備考						

【令和6年度事業】実施計画書

整理番号	171	重要事業		総合戦略		担当部署	生涯学習課 青少年係
款・項・目		事業名		当初予算額 (R4)	当初予算額 (R5)	当初予算額 (R6)	
10・5・3		青少年問題対策事業		1,076千円	1,196千円	1,262千円	

【総合計画との関連】

基本目的	▶III_育てる幸せを感じ生涯にわたり互いに学び続ける家庭と文化を築くまち
施策目的	▶13_心身ともに健全な子どもが育つ家庭や地域の教育力が高いまちになる
施策の方向	▶2_子どもの健全育成を促進する学びの機会の提供

【事業の目的及び内容】

【Plan】事業目的	地域全体で、青少年の安全確保と非行防止活動や有害となる社会環境対策を行えるよう、青少年育成団体への活動奨励や支援を行うとともに、子ども自身の悩みや保護者の子育て上の悩みに対応した相談体制を確保する。
令和6年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
①青少年育成推進委員の活動支援 青少年健全育成及び非行防止対策を推進するため、青少年対策の推進者としての活動を促進する。	
②子ども安全協力の家 登下校中の児童・生徒が、身に危険を感じたときや急病などで困ったときに、地域で子どもを手助けし安全を守る。	
③中学校訪問 学校との連携を深めて地域活動を充実させるため、中学校との情報交換会を実施する。	
④青少年カウンセリング講座 家庭教育や青少年団体指導等におけるカウンセリングに関する基本的な理論や技法を習得する。	

【事業スケジュール】

(単位 : 千円)

事業スケジュール	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	①青少年育成推進委員の活動支援 (通年) ②子ども安全協力の家 (通年) ③中学校訪問実施 (年1回、5校) ④青少年カウンセリング講座開催 (年5回)	①青少年育成推進委員の活動支援 (通年) ②子ども安全協力の家 (通年) ③中学校訪問実施 (年1回、5校) ④青少年カウンセリング講座開催 (年5回)	①青少年育成推進委員の活動支援 (通年) ②子ども安全協力の家 (通年) ③中学校訪問実施 (年1回、5校) ④青少年カウンセリング講座開催 (年5回)
事業費	1,262	1,262	1,262
財源	国庫 0	0	0
	県費 214	214	214
	市債 0	0	0
	その他 0	0	0
一般財源	1,048	1,048	1,048

【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
活動指標 子ども安全協力の家件数	407 単位 : 件	目標値 実績値	404 376	403 378	402 371	401 373	400
活動指標 中学校訪問数	5 単位 : 校	目標値 実績値	5 4	5 5	5 5	5 5	5
活動指標 青少年カウンセリング講座参加者数	32 単位 : 人	目標値 実績値	31 15	31 31	31 33	30 18	30
		目標値 実績値					
		目標値 実績値					

【令和6年度事業】事業評価調査

【事業の実績】

令和6年度予算額	1,262千円	令和6年度決算額	1,127千円
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	<ul style="list-style-type: none"> ●青少年育成推進員委嘱者数 令和元年度：143名 令和2年度：143名 令和3年度：143名 令和4年度：143名 令和5年度：141名 令和6年度：140名 ●中学校訪問情報交換会の開催 令和元年度：5校実施 令和2年度：1校実施 令和3年度：4校実施 令和4年度：5校実施 令和5年度：5校実施 令和6年度：5校実施 	<ul style="list-style-type: none"> ●青少年カウンセリング講座 令和元年度：32名参加 令和2年度：15名参加 令和3年度：15名参加 令和4年度：31名参加 令和5年度：33名参加 令和6年度：18名参加 ●子ども安全協力の家協力戸数 令和元年度：407戸 令和2年度：376戸 令和3年度：376戸 令和4年度：378戸 令和5年度：371戸 令和6年度：373戸 	

【事業の評価】

【Check】 指標評価	B					
事業の 必要性	<input type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input checked="" type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の 有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の 効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	青少年育成推進員や青少年センター補導員、地域の青少年対策委員会等の地道な活動により、青少年が犯罪者や被害者となるような深刻な事件を発生させないための抑止力効果があるため、今後も事業は継続すべきである。また、「青少年カウンセリング講座」を継続開催することで青少年の「よき相談者・理解者」に成り得る人材育成に寄与している。					
課題	会社員などの定年延長など、社会情勢の変化により、青少推をはじめとする地域で活躍していただける人材の確保が年々難しくなっている。					
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> (一部廃止)					
	地域全体で、青少年の安全確保と非行防止活動を行うため、青少年育成団体への活動奨励や支援を継続する。また、子ども自身の悩みや保護者の子育て上の悩みに対応できる相談体制を築くため講座等を継続して行う。					
令和8年度 事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・市青少推、地域青少年対策委員会の活動支援（通年） ・中学校訪問情報交換会開催（年1回、中学校5校） ・子ども安全協力の家事業（通年） ・青少年カウンセリング講座開催（年5回） ・少年の日・家庭の日の普及啓発 ・スマホ・インターネット問題の講座開催（年1回） 					
予算規模 見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較					
備考						

【令和6年度事業】実施計画書

整理番号	172	重要事業		総合戦略		担当部署	生涯学習課 青少年係
款・項・目		事業名		当初予算額 (R4)	当初予算額 (R5)	当初予算額 (R6)	
10・5・3		青少年センター運営		6,692千円	6,781千円	7,824千円	

【総合計画との関連】

基本目的	▶III_育てる幸せを感じ生涯にわたり互いに学び続ける家庭と文化を築くまち
施策目的	▶13_心身ともに健全な子どもが育つ家庭や地域の教育力が高いまちになる
施策の方向	▶2_子どもの健全育成を促進する学びの機会の提供

【事業の目的及び内容】

【Plan】事業目的	青少年の非行を防止し健全な育成を図るため、青少年センターを設置し、青少年補導、青少年相談、青少年情報提供、青少年の健全育成及び非行防止に必要な事業を行う。
令和6年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
①補導員補導活動 青少年の問題行動の早期発見、早期指導及び子どもの安全確保のため、補導員による効果的な指導活動を推進する。 ②青色回転灯防犯パトロール実施者研修 実施者が適正かつ的確なパトロールのあり方を学ぶことによって、指導者の資質向上を図る。 ③子ども相談室 子どもの日常生活で発生する様々な悩み事や、保護者の悩み事の相談窓口として、市民の要望に応えていく。	

【事業スケジュール】

(単位：千円)

		令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業スケジュール		①補導員補導活動（通年） 定例巡回補導、協力店補導、下校時補導、列車内補導、小学校区特別補導 ②青色回転灯防犯パトロール実施者研修実施（2回） ③子ども相談室（通年） 電話相談	①補導員補導活動（通年） 定例巡回補導、協力店補導、下校時補導、列車内補導、小学校区特別補導 ②青色回転灯防犯パトロール実施者研修実施（2回） ③子ども相談室（通年） 電話相談	①補導員補導活動（通年） 定例巡回補導、協力店補導、下校時補導、列車内補導、小学校区特別補導 ②青色回転灯防犯パトロール実施者研修実施（2回） ③子ども相談室（通年） 電話相談
事業費		7,824	7,900	7,900
財源	国庫	0	0	0
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	26	26	26
	一般財源	7,798	7,874	7,874

【関連する指標】

指標		現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
活動指標	補導員補導活動延べ従事者数	656	目標値	671	678	685	693	700
		単位：人	実績値	475	670	546	352	
活動指標	青色回転灯防犯パトロール実施者研修開催数	2	目標値	2	2	2	2	2
		単位：回	実績値	2	2	2	2	
活動指標	相談員による電話・Eメール相談応答率	100	目標値	100	100	100	100	100
		単位：%	実績値	100	100	100	100	
		単位：	目標値					
		実績値						

【令和6年度事業】事業評価調査

【事業の実績】

令和6年度予算額	8,209千円	令和6年度決算額	7,582千円
<p>【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年</p> <ul style="list-style-type: none"> ●青少年センター補導員委嘱者数 令和元年度：100名 令和2年度：98名 令和3年度：96名 令和4年度：96名 令和5年度：96名 令和6年度：96名 ●補導員補導活動延べ従事者数 令和元年度：656名 令和2年度：300名 令和3年度：475名 令和4年度：670名 令和5年度：546名 令和6年度：352名 	<ul style="list-style-type: none"> ●少年の日・家庭の日 ポスター等応募点数 令和元年度：303点 令和2年度：209点 令和3年度：239点（絵画51点、標語188点） 令和4年度：129点（絵画23点、標語106点） 令和5年度：118点（絵画25点、標語93点） 令和6年度：104点（絵画24点、標語80点） ●青色回転灯防犯パトロール実施者研修開催 令和元年度：2回開催 令和2年度：2回開催 令和3年度：2回開催 令和4年度：2回開催 令和5年度：2回開催 令和6年度：2回開催 		

【事業の評価】

【Check】 指標評価	B					
事業の 必要性	<input type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input checked="" type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の 有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の 効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	補導員による「声かけ」補導活動は、地域の大人の見守りであり、青少年の非行防止には有効と言える。また、困った時に相談できる場所があることも、青少年の非行防止や健全育成に不可欠なため、適切な効果が得られている。補導員会の活動や青少年相談活動を支える青少年センター運営事業は継続すべきである。					
課題	補導員の担い手の確保や、青少年センターの指導員や相談員等の確保等、活動や業務に適した人材確保が困難になりつつある。					
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> (一部廃止)					
青少年の非行を防止し健全な育成を図るための機能を有する「青少年センター」の業務を継続し、青少年補導や青少年相談等の各種事業を行う。						
令和8年度 事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・青少年補導員の指導及び活動支援 ・定例補導防犯パトロール実施（通年） ・特別補導等実施（全小学校区で春、夏、冬）、健全育成協力店巡回、下校時補導、列車内補導等 ・子ども相談室の運営（通年） 					
予算規模 見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較					
備考						

【令和6年度事業】実施計画書

整理番号	173	重要事業	総合戦略	担当部署	生涯学習課 青少年係
款・項・目		事業名	当初予算額 (R4)	当初予算額 (R5)	当初予算額 (R6)
10・5・3		二十歳のつどい事業	1,591千円	1,591千円	1,274千円

【総合計画との関連】

基本目的	▶III_育てる幸せを感じ生涯にわたり互いに学び続ける家庭と文化を築くまち
施策目的	▶13_心身ともに健全な子どもが育つ家庭や地域の教育力が高いまちになる
施策の方向	▶2_子どもの健全育成を促進する学びの機会の提供

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	二十歳の節目を祝福する式典を行うことにより、自覚と責任、社会貢献を考える機会とする。
令和6年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
①式典の開催 民法の一部改正に伴い、令和4年4月1日から成年年齢が20歳から18歳に引き下げられ、「成人式」を令和4年度（令和5年）開催より「二十歳のつどい」と改称し、引き続き20歳となる人を対象に開催する。 新型コロナウイルス感染症の拡大防止策として密を避けるため、令和2年度から令和4年度は2部制で開催し、来場できない対象者向けにオンライン配信、入場できない保護者向けにパブリックビューイング会場を設置するなどの対応を行ってきた。 令和5年度以降においては、通常開催（一斉開催）とする。	
②実行委員会支援 式典の進行、アトラクションなどの企画運営を行う実行委員を募集し、活動を支援する。	

【事業スケジュール】

(単位：千円)

		令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業スケジュール		①式典準備（7月～） ②実行委員会開催（9月～） ③式典開催（1月）	①式典準備（7月～） ②実行委員会開催（9月～） ③式典開催（1月）	①式典準備（7月～） ②実行委員会開催（9月～） ③式典開催（1月）
事業費		1,274	1,280	1,280
財源	国庫	0	0	0
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	1,274	1,280	1,280

【関連する指標】

指標		現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
活動指標	式典出席率	80.2	目標値	80	80	80	80	80
		単位：%	実績値	74.8	74.0	75.3	77.7	
活動指標	実行委員数	6	目標値	6	7	7	8	8
		単位：人	実績値	9	14	7	6	
		目標値						
		実績値						
		目標値						
		実績値						

【令和6年度事業】事業評価調査

【事業の実績】

令和6年度予算額	1,274千円	令和6年度決算額	1,135千円	
<p>●二十歳のつどい（旧称：成人式）出席率 (出席者/対象者) 令和元年度：80.2% (578/721) 令和2年度：71.4% (584/818) 令和3年度：74.8% (573/766) 令和4年度：74.0% (553/747) 令和5年度：75.3% (563/748) 令和6年度：77.7% (544/700)</p> <p>●二十歳のつどい実行委員数 令和元年度：6名 令和2年度：5名 令和3年度：9名 令和4年度：14名 令和5年度：7名 令和6年度：6名</p>				

【事業の評価】

【Check】 指標評価	B					
事業の 必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の 有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の 効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	市をあげての成人となったことを祝う式典であり、成人としての自覚と責任、社会貢献を促す節目にもなるため、適切な効果が得られる。					
課題	近隣に大学や短大等が無くなったこともあり、高校卒業後、市内在住の20歳の若者が少なく、二十歳のつどい実行委員として活動できる人材が激減している。社会の動向に合わせた実施体制を整える必要がある。					
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> (一部廃止)					
令和7年（令和6年度）開催は高校生に実行委員として参加していただいた。今後も若人の力や発想を取り入れ、二十歳を迎えた同世代が一同に会する祝いの場として実施する。						
令和8年度 事業計画	<ul style="list-style-type: none"> 民法の一部改正に伴い、令和4年4月1日から成年年齢が20歳から18歳に引き下げられ、「成人式」を「二十歳のつどい」に改称し、引き続き20歳となる人を対象に開催する。 二十歳のつどい（旧称：成人式）の開催 二十歳のつどい実行委員会委員募集及び活動（8月～） 					
予算規模 見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較					
備考						

【令和6年度事業】実施計画書

整理番号	174	重要事業	○	総合戦略		担当部署	生涯学習課	生涯学習係
款・項・目		事業名		当初予算額 (R4)	当初予算額 (R5)	当初予算額 (R6)		
10・5・4		公民館学級講座開設事業		2,916千円	2,996千円	2,968千円		

【総合計画との関連】

基本目的	▶Ⅲ_育てる幸せを感じ生涯にわたり互いに学び続ける家庭と文化を築くまち
施策目的	▶14_生涯にわたって学び続けることができ、生きがいと活力に満ちたまちになる
施策の方向	▶3_課題解決型の学習活動の促進と人材の育成・活用

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	社会の課題に対応した多種多様な学級講座を学習者のライフステージに応じて提供することによって、地域づくりの担い手となる人材を育成し、学習成果を地域に還元される仕組みをつくることによって、人材を活用していく。
令和6年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
<ul style="list-style-type: none"> ・少年少女教室 各公民館担当となる小学校エリアを主軸において小学生を対象とし、主に体験学習を通して仲間づくり・居場所づくりの場とする。 ・小学校家庭教育学級 各公民館が担当する小学校に通う保護者を対象に、家庭教育の向上を目指す講座を開設し、家庭教育の支援や仲間づくりの場とする。 ・女性セミナー 各公民館が担当となる地域住民の特に女性を対象とした学級講座を開設し、地域課題の解決や仲間づくりの場とする。 ・高齢者教室 各公民館が担当となる地域住民の特に高齢者を対象とした学級講座を開設し、健康づくりや生きがいづくり、仲間づくりの場とする。 	

【事業スケジュール】

(単位 : 千円)

事業 スケジュール	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	少年少女教室の開催 小学校家庭教育学級の開催 女性セミナーの開催 高齢者教室の開催 デジタルリテラシー向上講座の開催 各種学級講座の開催	少年少女教室の開催 小学校家庭教育学級の開催 女性セミナーの開催 高齢者教室の開催 デジタルリテラシー向上講座の開催 各種学級講座の開催	少年少女教室の開催 小学校家庭教育学級の開催 女性セミナーの開催 高齢者教室の開催 デジタルリテラシー向上講座の開催 各種学級講座の開催
事業費	2,968	2,968	2,968
財源	国庫 0	0	0
	県費 0	0	0
	市債 0	0	0
	その他 0	0	0
一般財源	2,968	2,968	2,968

【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
活動指標	学級講座数 95	目標値 単位 : 学級	97	97	98	99	100
		実績値	86	139	134	158	
		目標値 単位 :					
		実績値					
		目標値 単位 :					
		実績値					
		目標値 単位 :					
		実績値					

【令和6年度事業】事業評価調査

【事業の実績】

令和6年度予算額	4,252千円	令和6年度決算額	3,412千円
<p>【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年</p> <p>少年少女教室 令和4年度：延べ1,846人参加 令和5年度：延べ2,028人参加 令和6年度：延べ2,080人参加</p> <p>小学校家庭教育学級 令和4年度：延べ 976人参加 令和5年度：延べ 995人参加 令和6年度：延べ 974人参加</p> <p>女性セミナー 令和4年度：延べ1,835人参加 令和5年度：延べ1,826人参加 令和6年度：延べ1,732人参加</p> <p>高齢者教室 令和4年度：延べ3,160人参加 令和5年度：延べ3,203人参加 令和6年度：延べ3,283人参加</p>			

【事業の評価】

【Check】 指標評価	A					
事業の 必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の 有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の 効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	<p>小学校家庭教育学級は、子育て中の心配事や疑問点について学級生同士が情報交換し、仲間づくりをすることによりその悩みや課題を解決する糸口となっている。その他学級講座等では、仲間との生涯学習を通した学びが、地域社会の中でまちづくりや生きがいの一助となっている。</p>					
課題	<p>公民館だより、市のホームページ等で学級講座の募集を図っているが、各学級講座とも、学級生の確保が難しくなかなか人数が集まらない。</p>					
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<p><input checked="" type="checkbox"/> 繼続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 (<input type="checkbox"/> 一部廃止)</p> <p>地域が抱える課題や社会ニーズに対応する現代的課題を捉えた学習機会を提供できるよう、次代を見据えた学習内容を研究し充実させる。</p>					
令和8年度 事業計画	<p>小学校家庭教育学級 少年少女教室 女性セミナー 高齢者教室 各公民館自主事業（オープン参加）</p>					
予算規模 見込み	<p><input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小</p> <p>※前年度比較</p>					
備考						

【令和6年度事業】実施計画書

整理番号	175	重要事業		総合戦略		担当部署	生涯学習課	生涯学習係
款・項・目	事業名			当初予算額 (R4)	当初予算額 (R5)	当初予算額 (R6)		
10・5・1	社会教育総務			5,964千円	5,939千円	6,899千円		

【総合計画との関連】

基本目的	▶III_育てる幸せを感じ生涯にわたり互いに学び続ける家庭と文化を築くまち
施策目的	▶14_生涯にわたって学び続けることができ、生きがいと活力に満ちたまちになる
施策の方向	▶1_生涯学習理念の普及啓発

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	社会教育委員会議において、本市の社会教育に関する事業を精査し、新たな課題の洗いだしや事業の推進を図るほか、社会教育団体への財政支援をとおして、各団体がまちづくりの中核を担えるよう支援をする。
令和6年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
<ul style="list-style-type: none"> ・社会教育委員会議 社会教育委員会議の開催・研修会の参加への啓発を行う。 ・社会教育功労者表彰 館林市教育委員会の表彰規定により、社会教育功労者の表彰式の開催する。 ・社会教育主事資格取得 社会教育主事資格取得講習へ派遣する。 ・社会教育団体補助 社会教育4団体への事務局として支援・協力及び補助金の交付を行う。 	

【事業スケジュール】

(単位：千円)

		令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業 スケジュール	社会教育委員会議	社会教育委員会議	社会教育委員会議	社会教育委員会議
	社会教育功労者表彰	社会教育功労者表彰	社会教育功労者表彰	社会教育功労者表彰
	社会教育主事資格取得	社会教育主事資格取得	社会教育主事資格取得	社会教育主事資格取得
	社会教育団体補助・支援	社会教育団体補助・支援	社会教育団体補助・支援	社会教育団体補助・支援
事業費		6,899	6,899	6,899
財源	国庫	0	0	0
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	6,899	6,899	6,899

【関連する指標】

指標		現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
活動指標	社会教育委員会議の開催数	2	目標値	2	2	2	2	2
		単位：回	実績値	1	3	2	3	
活動指標	社会教育団体補助団体数	4	目標値	4	4	4	4	4
		単位：団体	実績値	4	4	4	4	
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

【令和6年度事業】事業評価調査

【事業の実績】

令和6年度予算額	7,542千円	令和6年度決算額	7,440千円
<p>【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ年</p> <p>社会教育委員会議 令和4年度：3回延べ25人 令和5年度：2回延べ22人 令和6年度：3回延べ34人</p> <p>社会教育功労者表彰 令和4年度：被表彰者個人9・団体1 令和5年度：被表彰者個人10・団体2 令和6年度：被表彰者個人10・団体0</p> <p>社会教育主事資格取得講習 令和4年度：2人 令和5年度：2人 令和6年度：1人</p> <p>社会教育団体補助 館林市婦人会連絡協議会：180,000円 館林市小中学校PTA連合会：200,000円 館林ユネスコ協会：30,000円 生涯学習館林市民の会：180,000円</p>			

【事業の評価】

【Check】 指標評価	A					
事業の 必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の 有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の 効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	本市の社会教育の取組の指針となる「社会教育推進計画（令和5年～7年度）」に沿い、社会教育に関する諸計画を定めるための社会教育委員会議を開催した。社会教育功労者表彰式では、他の見本となる被表彰者への感謝と努力をたたえる場となり、社会教育分野の活動者の励みとなっている。また、社会教育団体の活動を支援することによって、各種団体の活動が多様な社会活動のつながりと学習意欲を高め、生涯学習社会を牽引している。					
課題	社会教育活動団体においては、感染症に起因する会員の意欲の低下や会員数の減少は下げ止まっている状態ではあるものの、活動の継続に影響を及ぼしており、社会参加や学習意欲の回復が課題となっている。					
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 繼続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> (一部廃止)					
社会教育委員のほか社会教育関係機関と、館林市第6次総合計画等に基づく「社会教育推進計画（令和5年～7年度）」の施策を実施する。 社会教育団体の活動を支援することは、まちづくりの中核を担う指導者や活動に直結しているため、今後も組織活性化のため育成指導に努める。						
令和8年度 事業計画	社会教育委員会議等の実施 社会教育功労者表彰式の開催 社会教育主事資格取得講習への派遣 社会教育団体補助					
予算規模 見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較					
備考						

【令和6年度事業】実施計画書

整理番号	176	重要事業	○	総合戦略		担当部署	生涯学習課	生涯学習係
款・項・目		事業名		当初予算額 (R4)	当初予算額 (R5)	当初予算額 (R6)		
10・5・1		人権教育促進事業		1,432千円	1,558千円	1,587千円		

【総合計画との関連】

基本目的	▶III_育てる幸せを感じ生涯にわたり互いに学び続ける家庭と文化を築くまち
施策目的	▶14_生涯にわたって学び続けることができ、生きがいと活力に満ちたまちになる
施策の方向	▶3_課題解決型の学習活動の促進と人材の育成・活用

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	全ての人々が幸せになれるよう、人権問題解決のため、各種学級講座の開設や団体への指導等、正しい知識の習得のため、あらゆる機会を通じて学習機会の充実を図り、自らの差別意識の気づきを促進させ、人権教育を推進する。
令和6年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
<ul style="list-style-type: none"> ・館林市人権教育推進会議 館林市人権教育推進会議の開催及び館林市人権教育推進計画策定する。 ・田北東・野辺集会所運営委員会 各運営委員会の開催及び館林市人権教育推進計画の説明及び各運営委員会方針の策定する。 ・田北東・野辺集会所事業 各運営委員会主催による地域住民の参加の各種事業の開催及び人権教育啓発の機会とする。 ・社会人権教育指導者養成講座 市職員、教職員、人権に関する各委員、企業人権担当者等を対象に開催し、人権教育に関する学びの場と啓発の機会とする。 	

【事業スケジュール】

(単位 : 千円)

事業 スケジュール	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	館林市人権教育推進計画策定 集会所運営委員会 集会所事業 館林市人権教育推進会議 社会人権教育指導者養成講座	館林市人権教育推進計画策定 集会所運営委員会 集会所事業 館林市人権教育推進会議 社会人権教育指導者養成講座	館林市人権教育推進計画策定 集会所運営委員会 集会所事業 館林市人権教育推進会議 社会人権教育指導者養成講座
事業費	1,587	1,587	1,587
財源	国庫 0	0	0
	県費 90	90	90
	市債 0	0	0
	その他 0	0	0
一般財源	1,497	1,497	1,497

【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
活動指標 社会人権指導者養成講座の開催	3 単位 : 回	目標値 実績値	3 3	3 3	3 3	3 3	3 3
活動指標 集会所事業の開催	14 単位 : 事業	目標値 実績値	14 20	14 25	13 25	13 24	12 24
活動指標 館林市人権教育推進会議の開催	2 単位 : 回	目標値 実績値	1 1	1 1	1 1	1 1	1 1
		目標値 実績値					

【令和6年度事業】事業評価調査

【事業の実績】

令和6年度予算額	1,587千円	令和6年度決算額	1,410千円
<p>【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ年</p> <p>人権教育指導者養成講座 令和4年度：延べ86人 令和5年度：延べ98人 令和6年度：延べ108人</p> <p>人権教育推進会議 令和4年度：1回 令和5年度：1回 令和6年度：1回</p> <p>田北東・野辺集会所運営委員会 令和4年度：各1回 令和5年度：各1回 令和6年度：各1回</p>			

【事業の評価】

【Check】 指標評価	A					
事業の 必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の 有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の 効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	<p>人権教育指導者養成講座、人権教育推進会議、集会所運営委員会議や集会所事業のほか、群馬県・東部教育事務所・部落解放同盟等主催による研修会や講演会に各種関係委員や関係機関へ参加を促し、人権問題を啓発した。学ぶ機会を多く設けることにより、多くの人に差別意識への気づきの機会となり、あらゆる差別や偏見を解消するため主体的に行動できる市民の育成を図ることができた。</p>					
課題	<p>人権課題を解決するため、会議や講座を開催し、差別に対する教育・啓発を積極的に進めているが、学んだ方の指導者や啓発協力者としての学びの成果への仕組みづくりが課題である。</p>					
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<p><input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 (<input type="checkbox"/> 一部廃止)</p> <p>地域及び関係各課、機関と連携を図りながら、あらゆる人権を守るための様々な取組を充実させ、一人一人の人権を尊重した考え方や行動をとることができる社会の実現を目指すために、人権教育指導者養成講座、人権教育推進会議、集会所運営委員会議や集会所事業を継続していく。</p>					
令和8年度 事業計画	<p>人権教育指導者養成講座 人権教育推進会議 集会所事業</p>					
予算規模 見込み	<p><input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較</p>					
備考						

【令和6年度事業】実施計画書

整理番号	177	重要事業		総合戦略		担当部署	生涯学習課	生涯学習係
款・項・目	事業名			当初予算額 (R4)	当初予算額 (R5)	当初予算額 (R6)		
10・5・1	生涯学習推進事業			1,267千円	1,267千円	1,261千円		

【総合計画との関連】

基本目的	▶III_育てる幸せを感じ生涯にわたり互いに学び続ける家庭と文化を築くまち
施策目的	▶14_生涯にわたって学び続けることができ、生きがいと活力に満ちたまちになる
施策の方向	▶1_生涯学習理念の普及啓発

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	生涯学習社会の実現のため、学ぶよろこびや豊かな心を育むまちを目指し、生涯学習意欲の喚起や生涯学習需要にこたえるため、生涯学習情報紙「まなびい」・ふるさとづくり市民フェスティバルを開催し、個人の学びを夢や希望、生きがいを膨らませる成果の場とすることを目的とする。
令和6年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
<ul style="list-style-type: none"> ・ふるさとづくり市民フェスティバル 生涯学習活動をしている個人や団体を対象に多くの人の参加を促し、実行委員会体制で学習したことの成果発表の場、市民交流の場として開催する。 ・生涯学習情報紙「まなびい」 市民の誰もが、生涯のうちのいつでもどこでも学ぶ機会が得られるよう、学習情報紙を発行し提供する。また学習者が講師となって学びの社会還元ができる体制づくりを構築する。 ・ふるさとづくり出前講座 広く市民の学習機会に、本市が発信したい情報をメニューとして掲げ、提供、啓発の機会とする。 	

【事業スケジュール】

(単位 : 千円)

事業 スケジュール	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	ふるさとづくり市民フェスティバル 生涯学習情報紙「まなびい」の発行 ふるさとづくり出前講座	ふるさとづくり市民フェスティバル 生涯学習情報紙「まなびい」の発行 ふるさとづくり出前講座	ふるさとづくり市民フェスティバル 生涯学習情報紙「まなびい」の発行 ふるさとづくり出前講座
事業費	1,261	1,261	1,261
財源	国庫 0	0	0
	県費 0	0	0
	市債 0	0	0
	その他 0	0	0
一般財源	1,261	1,261	1,261

【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
活動指標 ふるさとづくり出前講座の回数	198 単位 : 回	目標値 実績値	198 95	199 150	199 188	200 151	200
		目標値 実績値					
		目標値 実績値					
		目標値 実績値					

【令和6年度事業】事業評価調書

【事業の実績】

令和6年度予算額	1,261千円	令和6年度決算額	1,216千円
<p>ふるさとづくり市民フェスティバル 令和4年度：延べ4,064人参加 令和5年度：延べ5,400人参加 令和6年度：延べ7,540人参加</p> <p>生涯学習情報紙「まなびい」・ふるさとづくり出前講座 令和4年度：150回延べ4,308人 令和5年度：188回延べ7,689人 令和6年度：151回延べ5,928人</p> <p>【Do】 事業実績（成果） ※過去3カ年</p>			

【事業の評価】

【Check】 指標評価	C					
事業の 必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の 有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の 効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	<p>ふるさとづくり市民フェスティバルは、新たな分野での参加者を獲得し、来場者と参加者が交流することによる生涯学習の循環を促すことができた。生涯学習情報紙「まなびい」は、学習機会など講座の開設を適時様々な媒体を介し情報提供を行い、市民が学習情報を入手し易くなるよう努めた。ふるさとづくり出前講座においては、講座回数は目標値には届いていないものの、公民館や地域で行われる様々な学習機会に地域や生活の課題解決に役立つ講座を提供することができた。この講座は、市民の学ぶ意欲に応えると同時に、市の伝えたい情報を学びにつなぐ場となっている。</p>					
課題	<p>「ふるさとづくり市民フェスティバル」は、学習成果の発表の場を継続開催できるように研究する必要がある。生涯学習情報紙「まなびい」の発行をはじめとする学習情報提供体制の充実においては、新規に学習したいという方へのアプローチを強め、学びたいときに学びたい情報を発信する工夫と内容の充実が必要である。出前講座は、メニューの充実と周知先を広める必要がある。</p>					
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<p><input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> (一部廃止)</p> <p>学習成果を社会に還元し、互いに高め合う機会をつくるために、発表の場である「ふるさとづくり市民フェスティバル」の開催を継続できるよう、委員や参加団体と協議・検討していく。また、学習情報の一方的な提供だけではなく、潜在的学習要求を顕在化させ、実際の学習や活動につながるように多様な学習者それぞれに適した情報発信と学習相談体制について検討し、充実させていく。更に、次代を見据えた学習内容を研究し充実させるほか、出前講座においても、講座内容の魅力化やメニューの充実を関係各課等へ働きかけていく。</p>					
令和8年度 事業計画	<p>ふるさとづくり市民フェスティバル 生涯学習情報紙「まなびい」 ふるさとづくり出前講座 両毛広域生涯学習ネットワーク推進</p>					
予算規模 見込み	<p><input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> ※前年度比較</p>					
備考						

【令和6年度事業】実施計画書

整理番号	178	重要事業		総合戦略	<th>担当部署</th> <td>生涯学習課生涯学習係</td>	担当部署	生涯学習課生涯学習係
款・項・目	事業名			当初予算額 (R4)	当初予算額 (R5)	当初予算額 (R6)	
10・5・2	社会教育活動促進事業（市民大学講座）			3,000千円	3,000千円	3,000千円	

【総合計画との関連】

基本目的	▶III_育てる幸せを感じ生涯にわたり互いに学び続ける家庭と文化を築くまち
施策目的	▶14_生涯にわたって学び続けることができ、生きがいと活力に満ちたまちになる
施策の方向	▶4_多様化する学習ニーズへの対応と個性に応じた学びの場の創出

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	「市民大学講座」を開催し、各分野で活躍している方々を講師として招き、その経験や知識を通して、現代社会における様々な必要課題への市民の学習意欲を高めることを目的としている。全5回開催。
令和6年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
市民大学講座の開催 現代的課題や学習ニーズを捉え、高度な学習機会、市民の学習意欲を高めるために、年5回講座の開催を市民大学実行委員会に委託する。	

【事業スケジュール】

(単位：千円)

事業 スケジュール	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	市民大学講座の開催	市民大学講座の開催	市民大学講座の開催
事業費	3,000	3,000	3,000
財源	国庫 0	0	0
	県費 0	0	0
	市債 0	0	0
	その他 1,500	1,500	1,500
	一般財源 1,500	1,500	1,500

【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
活動指標	参加者延べ人数 単位：人	目標値	1,894	1,763	1,697	1,631	1,566
		実績値		0	2,350	1,977	1,454
		目標値					
		実績値					
		目標値					
		実績値					
		目標値					
		実績値					

【令和6年度事業】事業評価調査

【事業の実績】

令和6年度予算額	3,000 千円	令和6年度決算額	3,000 千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ年	市民大学講座 令和4年度：延べ2,350人参加 令和5年度：延べ1,977人参加 令和6年度：延べ1,454人参加			

【事業の評価】

【Check】 指標評価	B					
事業の 必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の 有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の 効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	各分野で活躍している著名人を招き、市民が主体的に企画・運営し提供した講座が、学ぶ楽しさや知る喜びを感じ、豊かな人生を過ごすために充実した内容であることにより、地域課題や生活課題の解決に向けた、個人の気づきやきっかけとなり、人づくりの一助となっている。					
課題	市民大学講座の開催にあたっては、市民が実行委員会を組織し、計画・立案・講師選定等を主体的に行って いる。今後、事業を継続するにあたり、実行委員の高齢化の解消や、若年層の受講生が参画することが必要とされる。					
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 (<input type="checkbox"/> 一部廃止)					
「生きるということ」をテーマに各分野で活躍している著名人を招き開催し、毎年申込者に対する当日出席者の割合は高い数字を示している。今後も、市民の学習ニーズや社会問題を的確にとらえた講座を開催し、参加者の知的欲求を満たす教育活動を推進していく。						
令和8年度 事業計画	市民大学講座（全5回）					
予算規模 見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較					
備考						

【令和6年度事業】実施計画書

整理番号	179	重要事業	○	総合戦略		担当部署	生涯学習課生涯学習係
款・項・目		事業名		当初予算額 (R4)	当初予算額 (R5)	当初予算額 (R6)	
10・5・4		公民館運営		147,804千円	160,653千円	180,048千円	

【総合計画との関連】

基本目的	▶Ⅲ_育てる幸せを感じ生涯にわたり互いに学び続ける家庭と文化を築くまち
施策目的	▶14_生涯にわたって学び続けることができ、生きがいと活力に満ちたまちになる
施策の方向	▶5_生涯学習・社会教育施設の適正な維持更新と機能充実

【事業の目的及び内容】

【Plan】事業目的	公民館の運営、維持管理、計画的な更新を実施することによって、公民館を核とした持続可能な地域づくりを推進する。
令和6年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
<ul style="list-style-type: none"> ・公民館活動推進委員会 各公民館において、公民館活動推進委員会を開催し、公民館の運営方針の決定や地域活動の情報交換の場とする。 ・公民館改修工事 赤羽公民館壁面改修工事（南・東・北面） 赤羽公民館和室（1階・2階）空調設備改修工事 六郷公民館屋外ドレン排水管改修工事 公民館事務室等照明設備LED化工事 	

【事業スケジュール】

(単位：千円)

事業スケジュール	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	公民館活動推進委員会 公民館管理運営 適正な維持更新（修繕・工事） 機能充実（備品購入）	公民館活動推進委員会 公民館管理運営 適正な維持更新（修繕・工事） 機能充実（備品購入）	公民館活動推進委員会 公民館管理運営 適正な維持更新（修繕・工事） 機能充実（備品購入）
事業費	180,048	148,848	148,848
財源	国庫 0	0	0
	県費 0	0	0
	市債 31,200	0	0
	その他 2,872	2,377	2,377
	一般財源 145,976	146,471	146,471

【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
活動指標 公民館活動推進委員会議の開催	22 単位：回	目標値 実績値	22 24	22 29	22 29	22 27	22
		目標値 実績値					
		目標値 実績値					
		目標値 実績値					
		目標値 実績値					

【令和6年度事業】事業評価調書

【事業の実績】

令和6年度予算額	193,416千円	令和6年度決算額	183,689千円
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ年	<p>主な工事</p> <p>令和2年度：28,365,700円（赤羽公民館講堂空調改修工事ほか） 15,466,220円（コロナ対策工事：トイレ自動水栓化、Wi-Fi設置工事ほか） 令和3年度：27,284,400円（城沼公民館1階ホール等空調設備改修工事ほか） 令和4年度：28,963,000円（六郷公民館エレベーター改修工事ほか） 令和5年度：24,993,738円（赤羽公民館外壁改修工事（西面）ほか） 令和6年度：35,057,000円（赤羽公民館外壁改修工事（東・南・北面）ほか）</p>		

【事業の評価】

【Check】 指標評価	A					
事業の 必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の 有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の 効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	地域コミュニティの拠点として公民館が運営されており、住民の教養の向上、健康の管理、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進が図られている。					
課題	市内11公民館のうち、建築後30年を経過した施設が大半を占める中、利用者の健康や災害時の避難所を担う重要な施設として、利用者の利便性・快適性の確保を考慮した施設管理の推進と機能の充実が必要である。					
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> (一部廃止)					
市内11館の運営に適正な人員を配置しながら、人づくりや地域づくりを担う拠点として、社会情勢等の変化を踏まえ、公民館に求められる役割や機能について、検証していく。 また、地域コミュニティの拠点である公民館は、避難所としての役割もあるため、利用者が安心して安全に利用できるように、「館林市公共施設等総合管理計画」に沿った適正な施設管理の推進と機能の充実に努めていく。						
令和8年度 事業計画	エレベーター更新工事、六郷公民館外壁等改修工事（東側・南側・中庭外壁）、公民館LED工事					
予算規模 見込み	<input type="checkbox"/> 同規模 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較					
備考						

【令和6年度事業】実施計画書

整理番号	180	重要事業	○	総合戦略		担当部署	生涯学習課	生涯学習係
款・項・目		事業名		当初予算額 (R4)	当初予算額 (R5)	当初予算額 (R6)		
10・5・4		公民館学級講座開設事業		2,916千円	2,996千円	2,968千円		

【総合計画との関連】

基本目的	▶Ⅲ_育てる幸せを感じ生涯にわたり互いに学び続ける家庭と文化を築くまち
施策目的	▶14_生涯にわたって学び続けることができ、生きがいと活力に満ちたまちになる
施策の方向	▶3_課題解決型の学習活動の促進と人材の育成・活用

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	社会の課題に対応した多種多様な学級講座を学習者のライフステージに応じて提供することによって、地域づくりの担い手となる人材を育成し、学習成果を地域に還元される仕組みをつくることによって、人材を活用していく。
令和6年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
<ul style="list-style-type: none"> ・少年少女教室 各公民館担当となる小学校エリアを主軸において小学生を対象とし、主に体験学習を通して仲間づくり・居場所づくりの場とする。 ・小学校家庭教育学級 各公民館が担当する小学校に通う保護者を対象に、家庭教育の向上を目指す講座を開設し、家庭教育の支援や仲間づくりの場とする。 ・女性セミナー 各公民館が担当となる地域住民の特に女性を対象とした学級講座を開設し、地域課題の解決や仲間づくりの場とする。 ・高齢者教室 各公民館が担当となる地域住民の特に高齢者を対象とした学級講座を開設し、健康づくりや生きがいづくり、仲間づくりの場とする。 	

【事業スケジュール】

(単位 : 千円)

事業 スケジュール	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	少年少女教室の開催 小学校家庭教育学級の開催 女性セミナーの開催 高齢者教室の開催 デジタルリテラシー向上講座の開催 各種学級講座の開催	少年少女教室の開催 小学校家庭教育学級の開催 女性セミナーの開催 高齢者教室の開催 デジタルリテラシー向上講座の開催 各種学級講座の開催	少年少女教室の開催 小学校家庭教育学級の開催 女性セミナーの開催 高齢者教室の開催 デジタルリテラシー向上講座の開催 各種学級講座の開催
事業費	2,968	2,968	2,968
財源	国庫 0	0	0
	県費 0	0	0
	市債 0	0	0
	その他 0	0	0
一般財源	2,968	2,968	2,968

【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
活動指標	学級講座数 95	目標値 単位 : 学級	97	97	98	99	100
		実績値	86	139	134	158	
		目標値 単位 :					
		実績値					
		目標値 単位 :					
		実績値					
		目標値 単位 :					
		実績値					

【令和6年度事業】事業評価調査

【事業の実績】

令和6年度予算額	4,252千円	令和6年度決算額	3,412千円
<p>【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年</p> <p>少年少女教室 令和4年度：延べ1,846人参加 令和5年度：延べ2,028人参加 令和6年度：延べ2,080人参加</p> <p>小学校家庭教育学級 令和4年度：延べ 976人参加 令和5年度：延べ 995人参加 令和6年度：延べ 974人参加</p> <p>女性セミナー 令和4年度：延べ1,835人参加 令和5年度：延べ1,826人参加 令和6年度：延べ1,732人参加</p> <p>高齢者教室 令和4年度：延べ3,160人参加 令和5年度：延べ3,203人参加 令和6年度：延べ3,283人参加</p>			

【事業の評価】

【Check】 指標評価	A					
事業の 必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の 有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の 効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	小学校家庭教育学級は、子育て中の心配事や疑問点について学級生同士が情報交換し、仲間づくりをすることによりその悩みや課題を解決する糸口となっている。その他学級講座等では、仲間との生涯学習を通した学びが、地域社会の中でまちづくりや生きがいの一助となっている。					
課題	公民館だより、市のホームページ等で学級講座の募集を図っているが、各学級講座とも、学級生の確保が難しくなかなか人数が集まらない。					
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> (一部廃止)					
地域が抱える課題や社会ニーズに対応する現代的課題を捉えた学習機会を提供できるよう、次代を見据えた学習内容を研究し充実させる。						
令和8年度 事業計画	小学校家庭教育学級 少年少女教室 女性セミナー 高齢者教室 各公民館自主事業（オープン参加）					
予算規模 見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較					
備考						

【令和6年度事業】実施計画書

整理番号	181	重要事業	総合戦略	担当部署	生涯学習課生涯学習係
款・項・目		事業名	当初予算額 (R4)	当初予算額 (R5)	当初予算額 (R6)
10・5・4		ふれあい稲作体験事業	520千円	520千円	650千円

【総合計画との関連】

基本目的	▶Ⅲ_育てる幸せを感じ生涯にわたり互いに学び続ける家庭と文化を築くまち
施策目的	▶14_生涯にわたって学び続けることができ、生きがいと活力に満ちたまちになる
施策の方向	▶4_多様化する学習ニーズへの対応と個性に応じた学びの場の創出

【事業の目的及び内容】

【Plan】事業目的	農家の米作りに対する工夫や努力、更に食文化や自然について、田植えや稲刈り等米作りの体験を通して学びながら、世代間交流や地域とのつながりをつくる。
令和6年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
<p>・稲作体験事業 事前学習、生育観察、田植え・稲刈り体験、かかし作り、収穫祭、野菜作りをとおして、農業を学ぶ機会のほか、親子や住民の交流の場とする。 令和5年度まで4館（中部・大島・赤羽・三野谷・分福）で実施していたが、令和6年度から1館（赤羽）を新たに開設し、全5館で実施する。</p>	

【事業スケジュール】

(単位：千円)

		令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業スケジュール	5公民館開催 中部公民館 大島公民館 赤羽公民館【新規開設】 三野谷公民館 分福公民館	5公民館開催 中部公民館 大島公民館 赤羽公民館 三野谷公民館 分福公民館	5公民館開催 中部公民館 大島公民館 赤羽公民館 三野谷公民館 分福公民館	
事業費	650	650	650	650
財源	国庫 県費 市債 その他 一般財源	0 0 0 0 650	0 0 0 0 650	0 0 0 0 650

【関連する指標】

指標		現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
活動指標	参加者延べ人数	1,318	目標値	1,279	1,259	1,240	1,220	1,200
		単位：人	実績値	1,189	1,185	1,375	1,561	
			目標値					
		単位：	実績値					
			目標値					
		単位：	実績値					
			目標値					
		単位：	実績値					

【令和6年度事業】事業評価調査

【事業の実績】

令和6年度予算額	650千円	令和6年度決算額	650千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ年	4学級 令和4年度：延べ1,185人 令和5年度：延べ1,375人 5学級 令和6年度：延べ1,561人			

【事業の評価】

【Check】 指標評価	A					
事業の 必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の 有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の 効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	地域ボランティア指導者のもと、田起こしから田植え、稲刈り、脱穀等一連の作業について米作りの事前学習や、米作りの実際の体験を通して、農業を理解することができた。また、収穫祭を実施し、自分で収穫した米を食べるということは、食べ物を育てる大変さを実感すると同時に充実感を学ぶことのできる貴重な体験学習であるため。					
課題	農業体験には、地域の指導者・協力者が必要不可欠であるが、今後、高齢化による指導者不足が予測されるため、新たな運営について研究していく必要がある。					
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 (<input type="checkbox"/> 一部廃止)					
	体験を通じて、子どもたちが農業や食物、地域について学ぶ機会を提供すること、地域の人たちが協力して作業することによって世代間交流を深めることを目的として今後も事業を継続する。					
令和8年度 事業計画	中部公民館「わんぱく米つくり隊」 大島公民館「おおしまむら★米作りにチャレンジ!!」 三野谷公民館「七小ふれあい稲作体験事業」 分福公民館「分福ふれあい稲作体験教室こめこめクラブ」 赤羽公民館「赤羽ふれあい稲作体験事業」					
予算規模 見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較					
備考						

【令和6年度事業】実施計画書

整理番号	182	重要事業	総合戦略	担当部署	向井千秋記念子ども科学館 事業係
款・項・目		事業名	当初予算額 (R4)	当初予算額 (R5)	当初予算額 (R6)
10・5・10		向井千秋記念子ども科学館運営	84,161千円	91,606千円	89,883千円

【総合計画との関連】

基本目的	▶Ⅲ_育てる幸せを感じ生涯にわたり互いに学び続ける家庭と文化を築くまち
施策目的	▶14_生涯にわたって学び続けることができ、生きがいと活力に満ちたまちになる
施策の方向	▶1_生涯学習理念の普及啓発
施策の方向	▶2_生涯学習情報提供・相談体制の充実
施策の方向	▶3_課題解決型の学習活動の促進と人材の育成・活用
施策の方向	▶4_多様化する学習ニーズへの対応と個性に応じた学びの場の創出
施策の方向	▶5_生涯学習・社会教育施設の適正な維持更新と機能充実

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	・設備・展示物等の維持管理に努め、適切な施設運営を図る。 ・展示事業、プラネタリウムの投影、各種講座等を実施し、青少年の科学に関する知識の普及及び啓発を図り、自主性と豊かな創造性を育てる。 ・新型コロナウイルス感染症予防対策に努め、安全安心な利用を確保する。
	令和6年度事業計画（主要な事業とその取組内容）
○常設展示（通年）	
○プラネタリウム投影（通年）	
○新札対応券売機の導入【新規事業】	
○各種講座	
<ul style="list-style-type: none"> ・夜間天体観望会（年12回） ・サイエンスショー（年24回） ・科学講座（年10回） ・親子いきもの探検隊（年8回） ・公開天文台（年12回） ・理科工作教室（年8回） ・科学クラブ（年10回） ・プログラミング関連講座（年11回）他 	

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業スケジュール	○常設展示（通年） ○プラネタリウム投影（通年） ○新札対応券売機の導入【新規】 ○各種講座 ・夜間天体観望会（年12回） ・サイエンスショー（年24回） ・科学講座（年10回） ・親子いきもの探検隊（年8回） ・公開天文台（年12回） ・理科工作教室（年8回） ・科学クラブ（年10回） ・親子いきもの探検隊（年8回） ・プログラミング関連講座（年11回）他	○常設展示（通年） ○プラネタリウム投影（通年） ○宇宙体験教室 ○各種講座 ・夜間天体観望会（年12回） ・サイエンスショー（年24回） ・科学講座（年10回） ・親子いきもの探検隊（年8回） ・プログラミング関連講座（年11回）他	○常設展示（通年） ○プラネタリウム投影（通年） ○宇宙体験教室 ○各種講座 ・夜間天体観望会（年12回） ・サイエンスショー（年24回） ・科学講座（年10回） ・親子いきもの探検隊（年8回） ・プログラミング関連講座（年11回）他	○常設展示（通年） ○プラネタリウム投影（通年） ○宇宙体験教室 ○各種講座 ・夜間天体観望会（年12回） ・サイエンスショー（年24回） ・科学講座（年10回） ・親子いきもの探検隊（年8回） ・プログラミング関連講座（年11回）他
事業費	89,883	94,200	105,500	
財源	国庫	0	0	0
	県費	76	76	76
	市債	0	0	0
	その他	14,153	14,153	14,153
	一般財源	75,654	79,971	91,271

【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
総合計画指標	向井千秋記念子ども科学館利用者数（入館者）	62,812	目標値	63,875	64,406	64,937	65,469
		単位：人	実績値	36,583	52,773	59,826	65,458
総合計画指標	向井千秋記念子ども科学館利用者数（観覧者）	25,006	目標値	25,671	26,003	26,335	26,668
		単位：人	実績値	16,291	24,983	28,445	29,470
		目標値					
		実績値					
		目標値					
		実績値					

【令和6年度事業】事業評価調書

【事業の実績】

令和6年度予算額	91,565 千円	令和6年度決算額	85,423 千円			
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	○入館者数	R4: 52,773人	R5: 59,826人	R6: 65,458人		
	○プラネタリウム観覧者数	R4: 24,983人	R5: 28,445人	R6: 29,470人		
	○使用料収入	R4: 12,803,570円	R5: 13,853,430円	R6: 13,636,770円		
	○各種講座					
	・夜間天体観望会	R4: 10回 451人	R5: 11回 568人	R6: 12回 744人		
	・公開天文台	R4: 8回 357人	R5: 10回 738人	R6: 8回 254人		
	・サイエンスショー	R4: 24回 736人	R5: 24回 938人	R6: 24回 1,487人		
	・理科工作教室	R4: 9回 802人	R5: 10回 868人	R6: 9回 884人		
	・科学講座	R4: 10回 103人	R5: 10回 157人	R6: 10回 159人		
	・科学クラブ	R4: 50回 899人	R5: 50回 918人	R6: 50回 977人		
○親子いきもの探検隊						
○ロボットファクトリー						
○ドローン講座						
○プログラミング講座						
○新札対応券売機の導入（令和6年度）						

【事業の評価】

【Check】 指標評価	A					
事業の 必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の 効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	入館者数は前年度より5,632人（9.4%）増、プラネタリウム観覧者は1,025人（3.6%）増となったが、9月の冷房の故障に伴い約1か月間入館料を免除したため、使用料収入は減額となった。しかし、プラネタリウムは観覧者数も収入も前年度よりさらに増加した。入館者のプラネタリウム観覧率（観覧者数/入館者数）は45.0%であった。これは令和5年度から導入した「プラネタリウム観覧券付き入館券」の効果や、人気のある番組を選定し投影できたことが理由と思われる。					
課題	令和7年度に国の第2世代交付金を受けて、デジタルプラネタリウム機器の更新を実施する。最新のデジタルプラネタリウムの導入により、番組の装填（据付）や館独自の番組制作も行えるようになることから、当館の特色を生かし幅広い年代に向けた番組を制作し、プラネタリウム観覧者の増加につなげることが課題である。また、各世代が興味や関心がある内容を取り入れるなどして講座等のソフト事業の充実や展示物のリニューアルが必要である。					
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 （ <input type="checkbox"/> 一部廃止）					
今まで子どもを対象とした事業に重点を置いてきたが、今後は子どもを含む幅広い世代を対象として、楽しみながら科学への興味関心を高めることができるように、事業の充実や再編に取り組むことで、地域資源としての科学館のさらなる有効活用を図る。						
令和8年度 事業計画	○常設展示（通年） ○プラネタリウム投影（通年） ○各種講座 <ul style="list-style-type: none"> ・夜間天体観望会（年12回（特別天体観望会含む）） ・サイエンスショー（年24回） ・科学講座（年10回） ・プログラミング関連講座（年11回） ・公開天文台（年12回） ・理科工作教室（年8回） ・科学クラブ（各コース年9回） ・大人の科学講座（年5回程度） 他 					
予算規模 見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小					
※前年度比較						
備考						

【令和6年度事業】実施計画書

整理番号	183	重要事業		総合戦略		担当部署	向井千秋記念子ども科学館 事業係
款・項・目		事業名		当初予算額 (R4)	当初予算額 (R5)	当初予算額 (R6)	
10・5・10	向井千秋記念子ども科学館施設整備事業		7,304千円	135,448千円	99,713千円		

【総合計画との関連】

基本目的	▶III_育てる幸せを感じ生涯にわたり互いに学び続ける家庭と文化を築くまち
施策目的	▶14_生涯にわたって学び続けることができ、生きがいと活力に満ちたまちになる
施策の方向	▶5_生涯学習・社会教育施設の適正な維持更新と機能充実

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	適切な維持管理に努め、安全・安心な利用の確保と施設の長寿命化を図る。
令和6年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
○外壁等補修工事 建物とその周辺の安全性を高め、長期にわたり利用が可能な状態を保つため、壁面の浮きや剥離の修繕、雨漏りを防止するための処置といった、老朽箇所や不具合箇所の対応を前年度から来年度まで3か年かけて行う。	

【事業スケジュール】

(単位 : 千円)

事業 スケジュール	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	○外壁等補修工事	○外壁等補修工事 ○防火シャッター改修工事 ○空調設備更新工事設計委託	○空調設備更新工事
事業費	99,713	75,000	53,000
財源	国庫	0	0
	県費	0	0
	市債	89,700	57,000
	その他	0	0
	一般財源	10,013	18,000

【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
総合計画指標	向井千秋記念子ども科学館利用者数 (入館者)	62,812	目標値	63,875	64,406	64,937	65,469
		単位 : 人	実績値	36,583	52,773	59,826	65,458
総合計画指標	向井千秋記念子ども科学館利用者数 (観覧者)	25,006	目標値	25,671	26,003	26,335	26,668
		単位 : 人	実績値	16,291	24,983	28,445	29,470
			目標値				
		単位 :	実績値				
			目標値				
		単位 :	実績値				

【令和6年度事業】事業評価調査

【事業の実績】

令和6年度予算額	99,713千円	令和6年度決算額	65,273千円
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	<p>R4</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西棟外壁調査業務委託 825,000円 ・外壁外補修設計業務委託 1,463,000円 ・自動火災報知設備及び非常放送設備更新工事 3,960,000円 <p>R5</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外壁等補修工事（北棟） 97,262,000円 <p>R6</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外壁等補修工事（西棟） 57,816,000円 ・冷却塔補修工事 2,970,000円 ・空調機更新工事（プラネコンピュータ室） 4,125,000円 ・空調機警報装置設置工事（プラネコンピュータ室） 361,900円 		

【事業の評価】

【Check】 指標評価	A					
事業の 必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の 有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の 効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	施設の長寿命化と外壁タイルの落下による事故を防止するため、令和5年度から3か年計画で、外壁や屋上防水の補修工事を実施中。前年度の北棟の補修工事に引き続き、6年度は西棟の補修工事を実施した。また、前年度より故障していたプラネタリウムコンピュータ室の空調機の更新工事を行うほか、9月に突然故障した冷却塔の補修工事を実施した。					
課題	令和7年度は、建物3階の屋上の防水シートの更新や、プラネタリウムドーム外側の老朽化した工作物の撤去などを行うが、過去2年間と同様、休館せずに来館者の安全を確保しつつ実施する必要がある。3か年にわたる外壁等補修工事は令和7年度を以って終了するが、館内には開館以来一度も更新が行われていない機器や設備がある。昨年9月には冷却塔の故障により冷房が1か月間停止したが、団体予約が多い時期であったので、様々な熱中症対策を講じた上で入館料を無料にして開館を継続した。現在も雨漏りや突然の空調不具合が発生していることから、計画的な補修や更新を行うための予算の確保が課題である。					
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> (一部廃止)					
令和8年度 事業計画	適切な維持管理に努め、安全安心な施設利用の確保と施設の長寿命化を図っていく。開館から35年間使用している空調設備は、すでに耐用年数を過ぎているためトラブルが多く発生し、保守点検のたびに抜本的な更新・改修を勧められている。特に夏冬の最も空調が必要な時期に故障すると、大きな損害に発展してしまうことからも、令和8年度から更新・改修のための設計や工事を実施したい。また、照明器具も令和9年度の蛍光灯製造禁止に伴い、照明器具の更新、LED化を急ぎたい。					
予算規模 見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> ※前年度比較					
備考						

【令和6年度事業】実施計画書

整理番号	184	重要事業		総合戦略		担当部署	向井千秋記念子ども科学館 事業係
款・項・目		事業名		当初予算額 (R4)	当初予算額 (R5)	当初予算額 (R6)	
10・5・10	向井千秋記念子ども科学館特別企画事業		345千円	146千円	1,720千円		

【総合計画との関連】

基本目的	▶III_育てる幸せを感じ生涯にわたり互いに学び続ける家庭と文化を築くまち
施策目的	▶14_生涯にわたって学び続けることができ、生きがいと活力に満ちたまちになる
施策の方向	▶1_生涯学習理念の普及啓発

【事業の目的及び内容】

【Plan】事業目的	市制施行70周年記念及び向井千秋宇宙飛行士飛行30周年の企画等を通して、宇宙や自然への興味関心を高めるとともに、プラネタリウムでの星座解説やヒーリングイベントを実施し、プラネタリウムの活用を図る。
令和6年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
○市制施行70周年記念及び向井千秋宇宙飛行士飛行30周年記念事業【新規事業】 ・宇宙体験教室他	
○プラネタリウムヒーリング	
○全国科学館連携協議会巡回展 ・日本の宇宙科学の歴史 ・マンガdeひもとく生命科学のいま	
○国立科学博物館巡回展等 ・ノーベル賞を受賞した日本の科学者 ・恐竜の化石	
○記念講演会	

【事業スケジュール】

(単位：千円)

事業スケジュール	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	○プラネタリウムヒーリング ○全国科学館連携協議会巡回展等 ○記念講演会 ○市制施行70周年記念及び向井千秋宇宙飛行士飛行30周年記念事業【新】	○プラネタリウムヒーリング ○全国科学館連携協議会巡回展 ○講演会	○プラネタリウムヒーリング ○全国科学館連携協議会巡回展 ○講演会
事業費	1,720	250	250
財源	国庫 0	0	0
	県費 0	0	0
	市債 0	0	0
	その他 1,450	0	0
	一般財源 270	250	250

【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
総合計画指標	向井千秋記念子ども科学館利用者数(入館者)	62,812 単位：人	目標値 実績値	63,875 36,583	64,406 52,773	64,937 59,826	65,469 65,458
総合計画指標	向井千秋記念子ども科学館利用者数(観覧者)	25,006 単位：人	目標値 実績値	25,671 16,291	26,003 24,983	26,335 28,445	26,668 29,470
			目標値 実績値				
			目標値 実績値				

【令和6年度事業】事業評価調査

【事業の実績】

令和6年度予算額	1,720千円	令和6年度決算額	1,641千円
企画展	R4:34,270人 (4回)	R5:14,088人 (2回)	R6:34,489人 (5回、うち1回はR5事業)
巡回展	R4:13,844人 (2回)	R5:26,700人 (4回)	R6:16,118人 (3回)
講演会	R4: —	R5: 29人 (1回)	R6: 543人 (5回)
クイズラリー	R4: 1,182人 (1回)	R5: 1,332人 (1回)	R6: 980人 (1回)
プラネタリウムヒーリング	R4: 152人 (1回)	R5: 162人 (1回)	R6: 177人 (1回)
俳句募集	R4: 238句	R5: 600句	R6: 322句
宇宙体験教室 *	R4: —	R5: 45人 (2回)	R6: 19人 (2回)
<p>* R5年度は「教育普及事業」として夏休み期間に実施。 * R6年度は「特別企画事業」として「向井千秋宇宙飛行士飛行30周年記念事業」で実施した。</p>			
<p>【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ年</p> <p>令和6年度のみ実施した記念事業</p> <p>○市制施行70周年・向井千秋宇宙飛行士飛行30周年記念事業「里沼から宇宙へ」 7月7日開催 当日入館者数 1,520人 (向井氏講演270人、木村真一氏講演50人)</p> <p>○市制施行70周年記念・「化石の日」記念「恐竜フェスタ」 真鍋真氏講演会 10月12日 161人 化石ミニ展示 10月11日～13日 1,185人</p> <p>○常設展示物「ISS（国際宇宙ステーション）ドッキングシミュレーター」の制作</p>			

【事業の評価】

【Check】 指標評価	A
事業の 必要性	<input type="checkbox"/> 高 政策の推進において不可欠な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 中 政策の推進に寄与している事業である <input type="checkbox"/> 低 目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の 有効性	<input type="checkbox"/> 高 成果が高水準にある <input checked="" type="checkbox"/> 中 適切な成果が得られている <input type="checkbox"/> 低 成果が低水準にある
事業の 効率性	<input type="checkbox"/> 高 費用対効果が高水準にある <input checked="" type="checkbox"/> 中 適切な費用対効果が得られている <input type="checkbox"/> 低 費用対効果が低水準にある
評価根拠	令和6年度は市制施行70周年、向井千秋宇宙飛行士飛行30周年の節目に当たることから、7月の「里沼から宇宙へ」、10月の「恐竜フェスタ」など、記念事業として8つの展示会（企画展4・巡回展3・ミニ展示1）、5回の講演会を開催した。特に「里沼から宇宙へ」では、向井名誉館長による講演のほか、東京理科大学教授による講演、東京理科大学等の学生たちの指導による「宇宙体験教室」を開催した。また、10月の「恐竜フェスタ」では、国立科学博物館副館長・真鍋真氏の講演会や国立科学博物館から借用した化石のミニ展示会を開催し、全国各地から親子連れが参加した。 11月開催のプラネタリウムヒーリングは、古典文学に描かれた天体をテーマに実施したところ、文学に関心のある大人の観覧者が多く参加し、幅広い利用者に宇宙への興味・関心を持ってもらう機会とすることことができた。
課題	これからも幅広い年代の利用者を獲得するために、展示物の更新、見せ方の工夫、デジタルプラネタリウムを活かした番組の選択や制作、話題性や適時性のある講演や企画展を開催することが必要である。
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 繼続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 (<input type="checkbox"/> 一部廃止)
令和8年度 事業計画	企画展・巡回展 プラネタリウム特別投影（ヒーリング等） JAXA等と連携した講演会等
予算規模 見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較
備考	

【令和6年度事業】実施計画書

整理番号	185	重要事業	○	総合戦略		担当部署	向井千秋記念子ども科学館 事業係
款・項・目		事業名		当初予算額 (R4)	当初予算額 (R5)	当初予算額 (R6)	
10・5・10	向井千秋記念子ども科学館ROCKET事業		1,308千円	1,127千円	1,012千円		

【総合計画との関連】

基本目的	▶III_育てる幸せを感じ生涯にわたり互いに学び続ける家庭と文化を築くまち
施策目的	▶12_自ら学ぶ意欲とたくましく生きる力を身につけた未来を担う子どもが育つまちになる
施策目的	▶14_生涯にわたって学び続けることができ生きがいと活力に満ちたまちになる
施策の方向	▶1_学習環境や生活環境の充実
施策の方向	▶2_夢と希望の実現に向けた支援の充実
施策の方向	▶4_確かな学力と豊かな心を育む教育の推進

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	東京大学先端科学技術研究センター事務局「異才発掘プロジェクトROCKET」（現在「LEARN」に移行）と連携して 行ってきたこれまでの実践を活かしながら、個性が豊かななど本人の内面的な理由により、現状の環境に馴染めず に悩んでいる子どもたち（小・中学生）に個性にあった学び（活動）の場を提供し、子どもたちが自立して生き ていく力を養う。
	令和6年度事業計画（主要な事業とその取組内容） 向井千秋記念子ども科学館ROCKET事業【重要事業】 ○ROCKETの学びを活かした「里沼（SATO-NUMA）プログラム」の実施（6回） ○ROCKETの学びを活かした「個別支援プロジェクト」（タブレット等を活用した学習支援）（通年） ○学校（相談室）と連携を密にしたROCKET Labの実施（17回）

【事業スケジュール】

(単位 : 千円)

事業 スケジュール	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	向井千秋記念子ども科学館ROCKET事業【重】 ○里沼（SATO-NUMA）プログラム ○個別支援プロジェクト ○ROCKET Lab	向井千秋記念子ども科学館ROCKET事業【重】 ○里沼（SATO-NUMA）プログラム ○個別支援プロジェクト ○ROCKET Lab	向井千秋記念子ども科学館ROCKET事業【重】 ○里沼（SATO-NUMA）プログラム ○個別支援プロジェクト ○ROCKET Lab
事業費	1,012	1,012	1,012
財源	国庫 0	0	0
	県費 0	0	0
	市債 0	0	0
	その他 0	0	0
一般財源	1,012	1,012	1,012

【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
総合計画指標	向井千秋記念子ども科学館利用者数(入館者)	目標値	62,812	63,875	64,406	64,937	65,469
		実績値	単位 : 人	36,583	52,773	59,826	65,458
総合計画指標	向井千秋記念子ども科学館利用者数(観覧者)	目標値	25,006	25,671	26,003	26,335	26,668
		実績値	単位 : 人	16,291	24,983	28,445	29,470
		目標値					
		実績値					
		目標値					
		実績値					

【令和6年度事業】事業評価調査

【事業の実績】

令和6年度予算額	1,012千円	令和6年度決算額	796千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3ヵ年	・茂林寺沼プログラム ・多々良沼プログラム ・百年小麦プログラム ・ICT等を活用した学習支援 ・ROCKET Lab ・トップランナートーク in館林	R4: 43人 (3回) R4: — R4: 39人 (3回) R4: 73人 R4: 171人 (17回) R4: 132人 (動画配信)	R5: 31人 (3回) R5: — R5: 40人 (3回) R5: 76人 R5: 151人 (17回) R5: — (オンライン配信)	R6: — R6: 43人 (3回) R6: 36人 (3回) R6: 76人 R6: 195人 (17回) R6: —

【事業の評価】

【Check】 指標評価	A				
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 ■ 高 政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 ■ 高 成果が高水準にある	<input type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高 □ 高 費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中 ■ 中 適切な費用対効果が得られている		<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	<p>ROCKET Labにおいては、活動後のアンケートの回答で「ROCKETの仲間や大人たちと話ができるようになってきた」、「自分のできることが見つかった」などが多かったことから、事業目的である「自己肯定感や自己有用感を高める」ことがおおむね達成できたと考えられる。また、保護者・学校のアンケート結果は、全員が「意義がある」と回答しており、特に、子どもの変容について、「(参加者が)自分のできることが見つけられた」「学校の先生と話をする機会や登校日数などが増えた」、「いろいろな人のコミュニケーションがとれるようになってきた」等の意見が挙げられた。保護者からは子どもの居場所としての安心感を得られているとの意見も多かった。</p> <p>「里沼(SATO-NUMA)プログラム」においては、昨年度までの「茂林寺沼プログラム」から「多々良沼プログラム」に変更して探究学習を実施した。地域資源や地元企業、市長部局の各課、地元高校との連携を図ることができ、地域との関わりを通して子どもが学ぶプログラムを設定することができた。</p>				
課題	<p>現在、不登校で悩んでいる児童生徒や保護者が多く存在することから、安心できる居場所としてROCKET Labについて更なる周知徹底を図る必要がある。校長会議や各学校への案内通知、心の教室相談員の研修などでの周知や、学校相談室の利用時間帯に合わせた事業の実施などを再度検討したい。</p> <p>里沼プログラムにおいては、里沼に関わる人々を講師として活用できる余地があり、地元の高等学校や地域団体との連携を深めていく必要がある。また、クラブ生はリピーターが多く、5年度まで里沼コースに参加した生徒が高校生になり、学生ボランティアとして運営に協力してくれている現状もある。このように、継続的に参加するクラブ生を育てていくことで、子どもたち同士の協働的な学びが図られ、子どもたち自身で本市の魅力を育していく姿が実現されることが理想である。</p>				
	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> (一部廃止)				
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<ul style="list-style-type: none"> ROCKET Labは、学校等になじめない子どもたちにとって安心できる居場所として重要性が高まっていることや成果が上がっていることから、今後も継続する。 科学クラブ「里沼コース」は、7年度はクラブ生が10名に減少した。そのうち5名はリピーターで、新規加入のクラブ員は年々減少傾向が見られる。今年度で事業開始から5年が経過するため、本事業の振り返りを行うとともに、各小中学校での「里沼学習」も定着してきていることから、今後の科学クラブ「里沼コース」のあり方、事業の進め方を検討したい。 				
令和8年度 事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ○里沼(SATO-NUMA)プログラム ○ROCKET Lab 				
予算規模 見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> ※前年度比較				
備考					

【令和6年度事業】実施計画書

整理番号	186	重要事業	総合戦略	担当部署	図書館 奉仕係
款・項・目		事業名	当初予算額 (R4)	当初予算額 (R5)	当初予算額 (R6)
10・5・5		図書館運営	40,920 千円	94,574 千円	41,466 千円

【総合計画との関連】

基本目的	▶III_育てる幸せを感じ生涯にわたり互いに学び続ける家庭と文化を築くまち
施策目的	▶14_生涯にわたって学び続けることができ、生きがいと活力に満ちたまちになる
施策の方向	▶1_生涯学習理念の普及啓発
施策の方向	▶2_生涯学習情報提供・相談体制の充実
施策の方向	▶3_課題解決型の学習活動の促進と人材の育成・活用
施策の方向	▶4_多様化する学習ニーズへの対応と個性に応じた学びの場の創出
施策の方向	▶5_生涯学習・社会教育施設の適正な維持更新と機能充実

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	生涯学習推進の拠点の一つとして、図書館サービスの充実を図り、住民の学習意欲に応えるような諸事業を実施するとともに、円滑な図書館運営のため、電算システムの運用や、老朽化した施設設備の維持管理等を実施する。
令和6年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
①図書館サービス	
<ul style="list-style-type: none"> ・図書及び視聴覚資料の貸出業務、図書案内等の情報提供、リクエストサービス等の提供、在宅高齢者等への配本、貸出文庫の実施など、充実した図書館サービスを行う。 ・施設の修繕や備品更新等により適切な施設管理を行う。 ・ボランティアや学習グループを支援する。 	
②行事の推進	
<ul style="list-style-type: none"> ・各種行事の開催により住民の学習意欲に応える。 ・ブックスタートをはじめとする子どもが本に親しむ機会を設けることにより、子ども読書活動の推進を図る。 	
③図書館情報推進	
<ul style="list-style-type: none"> ・電算システムの運用を行い、業務の円滑化を図る。 	

【事業スケジュール】

(単位：千円)

事業 スケジュール	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	図書館の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・図書館奉仕・調査相談・相互貸借 ・図書館協議会 ・ボランティアとの協働 ・施設設備の維持管理 図書館行事推進事業 <ul style="list-style-type: none"> ・ブックスタート ・子どもの読書活動の推進 ・各種イベントの開催 図書館情報事業 <ul style="list-style-type: none"> ・図書館システムの運用 	図書館の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・図書館奉仕・調査相談・相互貸借 ・図書館協議会 ・ボランティアとの協働 ・施設設備の維持管理 図書館行事推進事業 <ul style="list-style-type: none"> ・ブックスタート ・子どもの読書活動の推進 ・各種イベントの開催 図書館情報事業 <ul style="list-style-type: none"> ・図書館システムの運用 	図書館の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・図書館奉仕・調査相談・相互貸借 ・図書館協議会 ・ボランティアとの協働 ・施設設備の維持管理 図書館行事推進事業 <ul style="list-style-type: none"> ・ブックスタート ・子どもの読書活動の推進 ・各種イベントの開催 図書館情報事業 <ul style="list-style-type: none"> ・図書館システムの運用
事業費	41,466	41,466	41,466
財源	国庫	0	0
	県費	0	0
	市債	0	0
	その他	625	185
	一般財源	40,841	41,281

【関連する指標】

総合計画指標	指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
	図書館資料の延べ貸出点数	227,537	目標値	227,858	228,019	228,179	228,340	228,500
		単位：点	実績値	215,510	214,987	218,356	219,869	
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

【令和6年度事業】事業評価調査

【事業の実績】

令和6年度予算額	43,910千円	令和6年度決算額	42,035千円
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	<ul style="list-style-type: none"> ・開館日数 令和4年度 279日 令和5年度 289日 令和6年度 281日 ・本館貸出し点数 令和4年度 200,792点 令和5年度 202,245点 令和6年度 201,765点 ・レファレンス件数 令和4年度 2,783件 令和5年度 2,182件 令和6年度 2,082件 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用登録者数 令和4年度 63,900人 令和5年度 64,538人 令和6年度 65,191人 ・全館貸出点数 令和4年度 214,987点 令和5年度 218,356点 令和6年度 219,869点 ・集会行事参加人数 令和4年度 2,678人 令和5年度 2,332人 令和6年度 2,572人 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者数 令和4年度 46,769人 令和5年度 47,205人 令和6年度 47,146人

【事業の評価】

【Check】 指標評価	D					
事業の 必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の 有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の 効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	令和6年度は燻蒸による休館日があったため、貸出点数、利用人数とも前年より減っているが、1日あたりの利用では、令和5年度では700冊・163人、令和6年度は718冊・168人と、貸出点数、利用人数とも増加した。また、スマホ利用券の運用を開始することで、利用者へのサービスの充実を図ることができた。市制施行70周年記念として様々な事業を行うことができ、集会行事の参加人数も増加した。					
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・読書離れが進む年代への読書活動の推進 ・多様化する利用者の要求に応えるサービス水準の維持 ・デジタル化への対応 ・施設の維持管理 					
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> (一部廃止)					
「第四次子ども読書活動推進計画」を推進していく。 適切な施設の維持管理につとめ、安全安心な利用の確保と施設の長寿命化を図っていく。						
令和8年度 事業計画	<p>図書館の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書館奉仕・調査相談・相互貸借 ・図書館協議会 ・ボランティアとの協働 ・施設設備の維持管理 ・空調設備更新工事 <p>図書館行事推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ブックスタート ・子どもの読書活動の推進 ・各種イベントの開催 <p>図書館情報事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書館システムの運用 ・電子図書等の導入 					
予算規模 見込み	<input type="checkbox"/> 同規模 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較					
備考						

【令和6年度事業】実施計画書

整理番号	187	重要事業	総合戦略	担当部署	図書館 奉仕係
款・項・目		事業名	当初予算額 (R4)	当初予算額 (R5)	当初予算額 (R6)
10・5・5	図書館資料整理事業	13,604 千円	12,485 千円	13,847 千円	

【総合計画との関連】

基本目的	▶Ⅲ_育てる幸せを感じ生涯にわたり互いに学び続ける家庭と文化を築くまち
施策目的	▶14_生涯にわたって学び続けることができ、生きがいと活力に満ちたまちになる
施策の方向	▶2_生涯学習情報提供・相談体制の充実

【事業の目的及び内容】

【Plan】事業目的	住民の多様な学習ニーズに対応できるよう、蔵書の充実を図る。また、郷土資料の適切な保存管理を行い、郷土の文化を後世に伝える。
令和6年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
①図書館資料整理活用事業 ・図書資料等や法規追録・定期刊行物の購入を行う。 ・郷土資料の収集や所蔵している貴重な郷土資料の修繕により、本市文化を後世に伝える。 ・古文書等の保存のため、書庫内の燻蒸を行う。	

【事業スケジュール】

(単位 : 千円)

		令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業スケジュール	図書館資料整理活用事業 ・図書資料等購入 ・法規追録・定期刊行物（新聞・雑誌・官報）の購入 ・郷土資料合本製本 ・貴重図書修繕 ・貴重資料の燻蒸	図書館資料整理活用事業 ・図書資料等購入 ・法規追録・定期刊行物（新聞・雑誌・官報）の購入 ・郷土資料合本製本 ・貴重図書修繕	図書館資料整理活用事業 ・図書資料等購入 ・法規追録・定期刊行物（新聞・雑誌・官報）の購入 ・郷土資料合本製本 ・貴重図書修繕 ・貴重資料の燻蒸	図書館資料整理活用事業 ・図書資料等購入 ・法規追録・定期刊行物（新聞・雑誌・官報）の購入 ・郷土資料合本製本 ・貴重図書修繕 ・貴重資料の燻蒸
事業費	13,847	12,485	13,847	
財源	国庫	0	0	0
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	13,847	12,485	13,847

【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度					
			R3	R4	R5	R6	R7	
総合計画指標	図書館資料の延べ貸出点数	227,537	目標値	227,858	228,019	228,179	228,340	228,500
		単位 : 点	実績値	215,510	214,987	218,356	219,869	
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

【令和6年度事業】事業評価調査

【事業の実績】

令和6年度予算額	13,342千円	令和6年度決算額	12,871千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ年	<ul style="list-style-type: none"> 図書受入れ冊数 令和4年度 6,376冊 令和5年度 6,151冊 令和6年度 5,909冊 新聞・雑誌購入点数 令和4年度 91点 令和5年度 90点 令和6年度 87点 郷土資料製本 令和4年度 31冊 令和5年度 26冊 令和6年度 28冊 郷土資料のデジタル化（令和2年度より） 令和4年度 10点 令和5年度 11点 令和6年度 9点 			

【事業の評価】

【Check】 指標評価	D					
事業の 必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の 有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の 効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	隔年で実施している書庫内の燻蒸を実施し、貴重資料の保存を図った。また、図書の購入や郷土資料のデジタル化も行い、資料の充実を図った。特に市制施行70周年記念「読み聞かせ団体推し本IN公民館」の実施に伴い団体貸出用の図書が充実した。 図書館の基本である蔵書の充実は、不可欠な事業である。					
課題	<ul style="list-style-type: none"> 利用者の様々なニーズに対応できるよう蔵書の充実に努める 郷土資料の収集整理保存及びその活用 新聞・雑誌の価格高騰による、安定収集に向けた予算の配分 					
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> (一部廃止)					
図書館の基本である蔵書の充実に努めるとともに、除籍等も計画的に実施し、利用しやすい環境を整えていく。また、郷土資料の利用促進のため、群馬県立図書館と連携した資料のデジタル化を進めていく。						
令和8年度 事業計画	<ul style="list-style-type: none"> 図書資料等購入 法規追録・定期刊行物（新聞・雑誌・官報）の購入 郷土資料合本製本 貴重図書修繕 群馬県立図書館と連携した郷土資料のデジタル化 書庫内燻蒸 					
予算規模 見込み	<input type="checkbox"/> 同規模 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較					
備考						

【令和6年度事業】実施計画書

整理番号	188	重要事業	総合戦略	担当部署	図書館 奉仕係
款・項・目		事業名	当初予算額 (R4)	当初予算額 (R5)	当初予算額 (R6)
10・5・5		視聴覚教育振興事業	1,931 千円	1,930 千円	1,929 千円

【総合計画との関連】

基本目的	▶III_育てる幸せを感じ生涯にわたり互いに学び続ける家庭と文化を築くまち
施策目的	▶14_生涯にわたって学び続けることができ、生きがいと活力に満ちたまちになる
施策の方向	▶2_生涯学習情報提供・相談体制の充実

【事業の目的及び内容】

【Plan】事業目的	CDやDVD等の視聴覚資料の充実に努めるとともに、その活用を図る。また、視聴覚教育振興事業のため所蔵している16ミリフィルムや機材の活用を図る。
令和6年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
①視聴覚教育振興事業 ・視聴覚資料の購入、修繕を行い、貸出や映画会等の開催により活用を図る。	

【事業スケジュール】

(単位：千円)

		令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業スケジュール	視聴覚教育振興事業 ・視聴覚資料の購入 ・視聴覚資料の修繕 ・映画会等の開催	視聴覚教育振興事業 ・視聴覚資料の購入 ・視聴覚資料の修繕 ・映画会等の開催	視聴覚教育振興事業 ・視聴覚資料の購入 ・視聴覚資料の修繕 ・映画会等の開催	
事業費	1,929	1,929	1,929	1,929
財源	国庫 県費 市債 その他 一般財源	0 0 0 0 1,929	0 0 0 0 1,929	0 0 0 0 1,929

【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
総合計画指標	図書館資料の延べ貸出点数 単位：点	目標値 実績値	227,537 215,510	227,858 214,987	228,019 218,356	228,179 219,869	228,340 228,500
		目標値 実績値					
		目標値 実績値					
		目標値 実績値					
		目標値 実績値					

【令和6年度事業】事業評価調査

【事業の実績】

令和6年度予算額	1,929千円	令和6年度決算額	1,886千円																														
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	<ul style="list-style-type: none"> ・ 視聴覚資料所蔵数 <table> <tr> <td>令和4年度</td> <td>13,400点</td> <td>・ 視聴覚資料利用点数</td> <td>令和4年度</td> <td>18,905点</td> </tr> <tr> <td>令和5年度</td> <td>13,570点</td> <td></td> <td>令和5年度</td> <td>19,209点</td> </tr> <tr> <td>令和6年度</td> <td>13,607点</td> <td></td> <td>令和6年度</td> <td>18,774点</td> </tr> </table> ・ 映画会参加人数 <table> <tr> <td>令和4年度</td> <td>69回</td> <td>・ 781人</td> </tr> <tr> <td>令和5年度</td> <td>61回</td> <td>・ 1,009人</td> </tr> <tr> <td>令和6年度</td> <td>54回</td> <td>・ 1,075人</td> </tr> </table> ・ 団体貸出用視聴覚機材等利用点数 <table> <tr> <td>令和4年度</td> <td>87点</td> </tr> <tr> <td>令和5年度</td> <td>76点</td> </tr> <tr> <td>令和6年度</td> <td>94点</td> </tr> </table> 	令和4年度	13,400点	・ 視聴覚資料利用点数	令和4年度	18,905点	令和5年度	13,570点		令和5年度	19,209点	令和6年度	13,607点		令和6年度	18,774点	令和4年度	69回	・ 781人	令和5年度	61回	・ 1,009人	令和6年度	54回	・ 1,075人	令和4年度	87点	令和5年度	76点	令和6年度	94点		
令和4年度	13,400点	・ 視聴覚資料利用点数	令和4年度	18,905点																													
令和5年度	13,570点		令和5年度	19,209点																													
令和6年度	13,607点		令和6年度	18,774点																													
令和4年度	69回	・ 781人																															
令和5年度	61回	・ 1,009人																															
令和6年度	54回	・ 1,075人																															
令和4年度	87点																																
令和5年度	76点																																
令和6年度	94点																																

【事業の評価】

【Check】 指標評価	D					
事業の 必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の 有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の 効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	視聴覚資料（CD、DVD等）の個人利用は、昨年度より減少となったが、団体への視聴覚資料の貸出は増加した。映画会の参加者数も増加し、参加者からは好評で、適切な成果が得られている。また、市制施行70周年記念上映会に伴い、16ミリフィルムのDVD化を行うことで、視聴覚資料の長期保存を図ることができた。					
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者のニーズに合った資料の購入 ・ 16ミリ映写機等、視聴覚機材の維持管理 					
【Action】 今後の 方向性 ・ 内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> (一部廃止)					
図書館の基本である資料の充実に努めるとともに、利用しやすい環境を整えていく。また、団体貸出用の視聴覚機材・視聴覚教材の管理も適切に行っていく。						
令和8年度 事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ 視聴覚資料の購入 ・ 視聴覚資料の修繕 ・ 映画会等の開催 					
予算規模 見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較					
備考						

【令和6年度事業】実施計画書

整理番号	189	重要事業	○	総合戦略		担当部署	文化振興課市史編さんセンター
款・項・目		事業名		当初予算額 (R4)	当初予算額 (R5)	当初予算額 (R6)	
2・1・1		市史編さん事業		21,404 千円	22,577 千円	25,098 千円	

【総合計画との関連】

基本目的	▶Ⅲ_育てる幸せを感じ生涯にわたり互いに学び続ける家庭と文化を築くまち
施策目的	▶15_地域の歴史や伝統・芸術や文化に誇りをもち・魅力ある文化を育み・心豊かに暮らせるまちになる
施策の方向	▶3_郷土の歴史文化を学ぶ機会の充実

【事業の目的及び内容】

【Plan】事業目的	先人たちが伝え残してきた伝統的な文化遺産やその足跡を知り、市民が郷土に愛着と誇りを持ってまちづくりを行うことができるよう、次世代へ残る『館林市史』を刊行する。
令和6年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
1. 市史の刊行 ①事業概要：『館林市史』16巻ならびに別巻等を刊行し、市民の郷土学習の基礎資料とする。 ②事業内容： 別巻『館林の寺社建造物（寺社の文化財Ⅱ）』の刊行 市制施行70周年記念館林市史別巻『館林歴史人物事典』の配付・刊行（令和5年度印刷済）	
2. 市史資料の調査・研究 ①事業概要：市内の古文書・寺社・歴史的建造物等を調査し、市史の基礎資料とする。 ②事業内容： (1)寺社建築調査 (2)仏像調査 (3)近代建築調査	
3. 市史資料の普及・啓発 ①事業概要：市史を活用した講座等を開催し、市民への普及・啓発を図る。 ②事業内容： (1)発刊20周年記念シンポジウムの開催	

【事業スケジュール】

(単位：千円)

事業スケジュール	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	1. 市史の刊行 ○別巻「館林の寺社建造物（寺社の文化財Ⅱ）」の刊行 ○市制施行70周年記念誌の配布 2. 市史資料の調査・研究 3. 市史資料の普及・啓発 ○市史発刊20周年記念シンポジウム開催	1. 市史の刊行 ○別巻「館林の仏像（寺社の文化財Ⅲ）」の刊行 ○教材版「ぽんちゃんと学ぼう 館林の歴史」増刷（3か年分） 2. 市史資料の調査・研究 3. 市史資料の普及・啓発 4. 市史資料の保存・活用 5. 市史体制の移行 ※体制検討中	1. 市史報告書等の刊行 ○「館林市史研究おはらき」「里沼研究紀要」「里沼双書」等の刊行 2. 市史資料の調査・研究 ○「館林ことば」等未調査事項の調査・研究、市史掲載内容追跡調査・研究 3. 市史資料の普及・啓発 4. 市史資料の保存・活用 ※体制検討中
事業費	25,098	26,000	20,000
財源	国庫 0	0	0
	県費 0	0	0
	市債 0	0	0
	その他 3,491	0	0
	一般財源 21,607	26,000	20,000

【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
活動指標 『館林市史』及び付属資料の刊行	75	目標値	84.0	88.0	92.6	96.0	100
	単位：%	実績値	84.0	88	92.6	92.6	
活動指標 市史編さんのための資料収集・調査	42	目標値	40	40	40	40	40
	単位：件	実績値	41	50	45	50	
活動指標 『館林市史』普及のための講座実施	27	目標値	15	15	15	15	15
	単位：件	実績値	12	30	20	20	
		目標値					
		実績値					

【令和6年度事業】事業評価調査

【事業の実績】

令和6年度予算額	26,363千円	令和6年度決算額	21,654千円
<p>【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ年</p> <ul style="list-style-type: none"> 市史の刊行 令和4年度：3,080千円(館林市史別巻「館林の絵馬」) 令和5年度：3,680千円(市制施行70周年記念館林市史別巻「館林歴史人物事典」) 令和6年度：391千円(館林市史発刊20周年記念シンポジウム報告書) 【令和7年度へ繰越】3,749千円(館林市史別巻「館林の寺社建築」) 筆耕料・委託料(原稿執筆・資料調査等) 令和4年度：1,536千円 令和5年度：1,924千円 令和6年度：1,806千円 【補正】 令和6年度：1,265千円(会計年度任用職員報酬・手当・社会保険料)※人事課管理分 			

【事業の評価】

【Check】 指標評価	A					
事業の 必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	市史編さん事業は平成13年度に市史編さん委員会(市長が会長)が発足し、基本計画を策定して『館林市史』全16巻ならびに別巻等の刊行が明記されている。『館林市史』は市民の共有財産である歴史・文化遺産を次世代へ残すとともに、館林のまちづくりを行うための政策を導く基本となるものである。特に、今後推進する文化財保存活用地域計画および日本遺産推進事業においてはその成果を引き続き大いに活用していくことが予想される。					
課題	平成13年度に発足した市史編さん事業は、令和6年度までに市史の16巻や別巻等を刊行してきた。令和7年度に別巻の刊行もひと段落する予定だが、20年以上に渡る調査・研究により蓄積された市史の成果や資料の保存・公開・活用が課題となる。また、それに伴う資料館・文学館業務との連携、継続すべき未指定文化財調査、成果物の管理など、編さん事業終了後に行うべき業務は多く残る見込である。事務局体制を編さん委員会などで検討し、適切な市史編さん事業の継承が求められる。					
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input checked="" type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 (<input type="checkbox"/> 一部廃止)					
20年にわたる市史編さん事業のなかで蓄積された歴史資料の管理・活用体制を整え、将来的に公開し、市内外に向けて市史の成果を公的に活用できるようにする。そのために、資料館・文学館と一体となっての調査研究、展示公開業務を継続的に行えるようにする。 各種講座機会を増やし、学校教育等との連携も強め、調査研究などにも市民参加の場を作っていくことで市史の内容を広く普及・継承する。 それらにより館林市の歴史や文化に多くの市民が誇りをもてるようにし、シビックプライドを醸成することで、将来への歴史や文化の継承を図る。						
令和8年度 事業計画	【市史講座・講演会の開催と学校連携】 【資料館と連携した展示活動】 【収集資料・調査資料の整理・保存・公開】 【市史資料調査】 【市史編さん成果物の管理】 【地域別文化財調査】 【調査報告書・研究書・目録等の刊行】					
予算規模 見込み	<input type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較					
備考	後継体制は検討・調整中					

【令和6年度事業】実施計画書

整理番号	190	重要事業	○	総合戦略	○	担当部署	文化振興課	日本遺産推進係
款・項・目		事業名		当初予算額 (R4)		当初予算額 (R5)		当初予算額 (R6)
2・1・1		日本遺産推進事業		17,286千円		19,563千円		19,691千円

【総合計画との関連】

基本目的	▶Ⅲ_育てる幸せを感じ生涯にわたり互いに学び続ける家庭と文化を築くまち
	▶IV_都市と自然が調和し人と産業が躍動する魅力あるまち
施策目的	▶15_地域の歴史や伝統・芸術や文化に誇りをもち・魅力ある文化を育み・心豊かに暮らせるまちになる
	▶21_多くの人から愛される活力と魅力あふれるまちになる
施策の方向	▶6_日本遺産を活用した地域の魅力発信や環境整備
	▶1_観光資源の創出と活用

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	本市に存在する文化・歴史と観光・産業等を融合させ、令和元年度文化庁日本遺産に認定された「里沼(SATO-NUMA)」を地域活性化や外国人インバウンド等の向上につなげる。さらに、「里沼」ストーリーと地域に点在する構成文化財のもつ価値・意義を市民に伝えることにより、シビックプライド醸成による地域活性化、観光・インバウンド増加による経済効果を目的とする。			
	令和6年度事業計画（主要な事業とその取組内容）			
①日本遺産推進事業【重要事業】				
事業概要：「日本遺産」認定後の推進組織の運営及び、地域活性化計画に位置付けられた各種事業の展開を推進する。歴史や文化財と、本市に存在する観光や産業などを融合させ、郷土愛(シビックプライド)の醸成による地域振興や国内外からの来訪者による交流人口、定住者を含めた関係人口の増加を目指す。				
事業内容：				
(1)「里沼」の調査・研究・普及・啓発 →(A)調査・研究事業の実施 (B)普及・啓発事業の実施 (C)先進地事例の視察、外部研修会等への参加 (D)展示会・PRイベント等の開催				
(2)「里沼」来訪者数の把握(推計) →(A)茂林寺沼・城沼・近藤沼・蛇沼来訪者のカウント・推計の実施				
(3)里沼シティプロモーション →(A)群馬ダイヤモンドペガサス連携事業 (B)インターネットを活用した情報発信				
②「里沼」体感！ワークショップ事業				
事業概要：「里沼」を活かしたワークショップを具体的に展開し、本市の魅力向上やコト消費の充実につなげる。				
事業内容：				
(1)「里沼」題材の各種ワークショップの開催 →(A)地域プレイヤーと連携したワークショップ実施 (2)里沼カヌー・カヤック講座の開講 →(A)(B)里沼カヌー・カヤック講座・体験会実施 (C)城沼水面利用ルール策定・届出制度運用				
(3)体験型プログラム創出を目的とした調査・検討 →(A)新ワークショッププログラム創出のための検討				
③日本遺産推進協議会等支援事業				
事業概要：日本遺産推進事業に同じ				
事業内容：				
(1)館林市「日本遺産」推進協議会事務局 →(A)館林市「日本遺産」推進協議会の運営 (B)協議会事業の執行 (C)スマバーション連絡協議会の運営 (D)推進協議会補助金・貸付金の管理				
(2)経済部局と連携した協議会事業の実施 →(A)日本遺産及び「里沼」ロゴ許認可事務 (B)庁内タスクフォース会議への参加と関係課調整				

【事業スケジュール】

(単位：千円)

事業 スケジュール	令和6年度		令和7年度		令和8年度	
	①日本遺産推進事業【重】 ②「里沼」体感！ワークショップ事業 ③日本遺産推進協議会等支援事業	①日本遺産推進事業【重】 ②「里沼」体感！ワークショップ事業 ③日本遺産推進協議会等支援事業	①日本遺産推進事業【重】 ②「里沼」体感！ワークショップ事業 ③日本遺産推進協議会等支援事業	①日本遺産推進事業【重】 ②「里沼」体感！ワークショップ事業 ③日本遺産推進協議会等支援事業	①日本遺産推進事業【重】 ②「里沼」体感！ワークショップ事業 ③日本遺産推進協議会等支援事業	①日本遺産推進事業【重】 ②「里沼」体感！ワークショップ事業 ③日本遺産推進協議会等支援事業
事業費	19,691		20,000		20,000	
財源	国庫	0		0		0
	県費	0		0		0
	市債	0		0		0
	その他	10,568		0		0
	一般財源	9,123		20,000		20,000

【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
活動指標	小・中学生における日本遺産「里沼」の認知度	0	目標値	63.0	66.0	68.0	70.0
		単位：%	実績値	61.6	87.3	91.9	92.2
活動指標	日本遺産「里沼」関連で開発された商品・サービス数	0	目標値	20	25	28	30
		単位：件	実績値	34	38	52	59
活動指標	日本遺産への協力件数(市民・ガイド団体+民間事業者等)	8	目標値	25	30	32	33
		単位：件	実績値	735	765	816	861
活動指標	観光客入込み数	150	目標値	189	196	200	200
		単位：万人	実績値	50	105	304	301

【令和6年度事業】事業評価調査

【事業の実績】

令和6年度予算額	19,691千円	令和6年度決算額	19,270千円
<p>【Do】事業実績(成果)※過去3カ年</p> <p>【令和4年度】当該年度より国庫補助がなくなり、市補助金により日本遺産推進協議会を運営した。市単事業及び推進協議会事業を中心に人材育成、普及啓発、調査研究、情報発信、活用整備の各分野での事業を展開し、各種事業によるシビックプライド醸成などを行うほか、「AR里沼」スタンプラリーや近県の日本遺産認定地3か所の取り組み事例を紹介する「里沼セミナー」を開催した。里沼セミナーでは、プレイヤーの発掘や活動支援、事業推進のための予算(推進協議会の原資等)の確保についての事例を学ぶことができ、参加者からも好評を得た。</p> <p>【令和5年度】ランドナビゲーターの発掘・育成のための「里沼」ステップアップ講座、茂林寺沼のヨシを使った新たなワークショップの構築、茂林寺沼湿原の保護保全を目的に活動する大泉高校・関東学園大学との事業連携によるヨシストロー作製・里沼きくらげ栽培・カキツバタソーダ販売等のPRや、館林女子高・関東学園附属高校の生徒による田山花袋作品朗読発表会を行ったほか、「両毛3市日本遺産こどもサミット」では、各市で活躍するこどもたち活動や取組内容を紹介いただくことで未来を担うこどもたちの交流の機会を創出。新たな取り組みとして、市内小・中学校には「里沼」献立を提供。その結果、市内小・中学生における「里沼」の認知度は91.85%を記録した。</p> <p>【令和6年度】市内小・中学校総合学習等との連携を図り、座学+フィールドワークをセットにした授業を実施し、座学を踏まえた現地散策により地域特色の理解度を高めるカリキュラムを構築した。また、日本遺産「里沼」の構成文化財である「館林紬」の伝統が消えかける今、地元有志の手により新たに合同会社紬・組が設立され、令和6年度の両毛3市日本遺産交流事業「織物サミットin桐生」ではまた、館林紬のワークショップや商品販売、新たにパンフレットを作成するなど、館林紬の普及啓発を行った。</p>			

【事業の評価】

【Check】指標評価	A
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 政策の推進において不可欠な事業である <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 政策の推進に寄与している事業である 目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 成果が高水準にある <input type="checkbox"/> 中 適切な成果が得られている <input type="checkbox"/> 低 成果が低水準にある
事業の効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 費用対効果が高水準にある <input type="checkbox"/> 中 適切な費用対効果が得られている <input type="checkbox"/> 低 費用対効果が低水準にある
評価根拠	日本遺産推進事業は、第6次総合計画において重要事業に位置しており、日本遺産「里沼」認定を通して、本市の文化・歴史を観光・産業と結びつけることで、地域振興へと繋げることができる。また、地元住民が自分たちの地域の魅力を再認識することで、地域活性化や魅力あるまちづくりへの気運の醸成を図ることができる。
課題	(1)地域活性化を進めるにあたり、事業推進に適した体制づくり・人材確保が必要。 (2)各種事業展開に向けた府内連携。 (3)地域で活躍するプレイヤーの発掘・選定・活動支援。 (4)地域住民が館林市の魅力を再認識できるような機会(普及活動・連携事業)の提供。 (5)円滑に事業推進できるための予算(推進協議会の原資等)及び人員確保。
【Action】今後の方向性・内容	<p><input checked="" type="checkbox"/> 繼続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 (<input type="checkbox"/> 一部廃止)</p> <p>■文化庁は、令和3年度に日本遺産再審査制度を導入し、認定6年経過後に認定継続の審査が行われ、ストーリー浸透や各種事業展開の継続性、事業推進体制の「自走」など、地域活性化の度合いを検証し、取組みが不十分な場合は「認定取消し」措置が行われる。</p> <p>■本市では、(A)活動者の「自走」(=組織運営や事業実施自体はプレイヤーを統括できる人材が担っている状態)と、(B)資金面での「自走」(=推進体制が将来的に法人化し、独立採算(一部行政からの資金援助)での組織運営、事業実施ができている状態)に区分すると、(A)の成果が現れつつある状況。</p> <p>今後の方向性としては、(A)活動者の「自走」を実現し、段階的に(B)資金面での「自走」への移行に向けた検討に着手したい。</p> <p>■本市においては、日本遺産「里沼」に対して①シビックプライド醸成、②ブランディングを主眼として取り組んできたが、収益化が難しく且つ地道な普及活動が鍵を握る。</p> <p>①については、引き続き館林市が主体となって普及啓発や人材育成、調査研究分野における下支えを行う必要がある。一方で②は、民間事業者や民間活動者の巻き込みが重要であることから、民間の動きと密接に連動させ、日本遺産「里沼」の推進を図っていくことが重要。</p>
令和8年度事業計画	■地域活性化計画に位置付けた10事業(令和4年度~6年度)→7事業区分(令和7年度~)を引き続き実施しながら、活動指標に掲げた5つの目標達成に向けて取り組んでいく。
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較
備考	

【令和6年度事業】実施計画書

整理番号	191	重要事業	○	総合戦略		担当部署	文化振興課 文化財係
款・項・目		事業名		当初予算額 (R4)	当初予算額 (R5)	当初予算額 (R6)	
10・5・6		文化財保護管理		33,865千円	18,730千円	29,760千円	

【総合計画との関連】

基本目的	▶Ⅲ_育てる幸せを感じ生涯にわたり互いに学び続ける家庭と文化を築くまち
施策目的	▶15_地域の歴史や伝統・芸術や文化に誇りをもち・魅力ある文化を育み・心豊かに暮らせるまちになる
施策の方向	▶5_文化財の保護・継承環境の整備

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	先人の残した文化遺産を後世に伝えるため、文化財の保存活用や文化財管理施設の管理を適切に行う。
令和6年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
<p>①文化財保護管理【重要事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化財の適切な保存と活用 <ul style="list-style-type: none"> 適切な保存管理(施設維持管理・樹木伐採等委託など) 文化財説明板等の改修工事 ・文化財保存活用地域計画の作成及び認定申請 <ul style="list-style-type: none"> 文化財保存活用地域計画協議会での素案の検討 文化財の継承のための制度や支援 まちづくりへの活用などの検討 <p>②茂林寺沼及び低地湿原保護管理【重要事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規井戸掘削工事【新規事業】 ・湿原の保護保全(葦刈等) ・モニタリング調査 ・自然学習会での普及活動 ・住民・活動者等と連携した保護・活用事業 	

【事業スケジュール】

(単位 : 千円)

事業 スケジュール	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	①文化財保護管理【重】 <ul style="list-style-type: none"> ・文化財の適切な保存と活用 ・地域計画の作成及び認定申請 ②茂林寺沼湿原保護管理【重】 <ul style="list-style-type: none"> ・新規井戸掘削工事【新】 ・湿原の保護保全(葦刈等) ・モニタリング調査 ・自然学習会での普及活動 ・住民・活動者等と連携した保護・活用事業 	①文化財保護管理【重】 <ul style="list-style-type: none"> ・文化財の適切な保存と活用 ・地域計画の具体的事業展開【新】 ・各文化財の個別保存活用計画策定【新】 ・田山花袋旧居屋根改修工事【新】 ・旧二業見番改修検討【新】 ・災害時対応・レスキュー体制検討【新】 ②茂林寺沼湿原保護管理【重】 <ul style="list-style-type: none"> ・湿原の保護保全(葦刈等) ・水質浄化装置設置工事【新】 ・モニタリング調査 ・自然学習会での普及活動 ・住民・活動者等と連携した保護・活用事業 	①文化財保護管理【重】 <ul style="list-style-type: none"> ・文化財の適切な保存と活用 ・地域計画の具体的事業展開 ・各文化財の個別保存活用計画策定 ・館林城土壘・土橋門等改修【新】 ・旧二業見番基本設計【新規】 ・災害時対応・レスキュー体制整備【新】 ②茂林寺沼湿原保護管理【重】 <ul style="list-style-type: none"> ・湿原の保護保全(葦刈等) ・既設井戸ポンプ等改修【新】 ・モニタリング調査 ・自然学習会での普及活動 ・住民・活動者等と連携した保護・活用事業
事業費	29,760	40,000	60,000
財源	国庫 303	0	0
	県費 495	495	495
	市債 9,800	0	0
	その他 1	1	1
	一般財源 19,161	39,504	59,504

【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
総合計画指標	文化活動の充実度に満足している市民の割合	30.5 単位 : %	目標値 実績値	- -	- -	34.5 28.4	35.5 0.3
総合計画指標	歴史文化施設における市民一人当たりの年間利用回数	0.3 単位 : 回	目標値 実績値	0.3 0.21	0.3 0.324	0.3 0.668	0.3 0.402
活動指標	文化財巡査における標柱・説明板等の異状発見の割合	30 単位 : %	目標値 実績値	30 50	30 50	30 83.3	30 100
		目標値 実績値					
		単位 :					

【令和6年度事業】事業評価調査

【事業の実績】

令和6年度予算額	29,760千円	令和6年度決算額	28,737千円
<p>【Do】事業実績(成果)※過去3カ年</p> <p>1 文化財保護管理【重】 (1)文化財保護審議会の運営【令和4年度=1回、5年度=1回、6年度=2回】 (2)文化財の維持管理(館林城跡・本丸土壘等の樹木剪定・除草)【令和4年度=年2回、5・6年度=年5回】 (3)文化財標柱及び説明板の維持管理・更新【令和4年度=4基、5・6年度=5基】 (4)指定文化財等の補修工事 - 「旧館林藩士住宅」屋根葺替工事、外壁等改修工事【令和4年度】 - 「田山花袋旧居」雨漏り修繕、「田山花袋旧居跡」トイレ撤去工事・物置設置、館林城跡土橋門及び「旧上毛モスリン」LED照明点検【令和5年度】 - 日向義民地蔵建屋改修工事【令和6年度】 (5)文化財保存活用地域計画の作成【令和2~6年度】 - 令和6年12月20日文化庁認定【令和6年度】</p> <p>2 茂林寺沼湿原保全のための各種事業 (1)茂林寺沼湿原保護保全専門委員会の運営【令和4年度=2回、5年度=2回、6年度=1回】 - 専門家や研究者に新委員委嘱 (2)茂林寺沼湿原の維持管理【令和4~6年度】 - 環境保全関連 水位測定、清掃活動・外来種駆除、カキツバタ栽培、見本園整備、モニタリング調査 - 施設等保全関連 新規井戸掘削工事、木道改修工事、ヨシ刈委託(夏季・冬季)、除草・雑木伐採委託、井戸洗浄業務委託、既設井戸配水管点検委託、地域活動者へのアダプト委託(有償ボランティア) - 普及啓発関連 自然学習会(植物・昆虫)の実施(年3回)、市民協働調査(地元住民・大泉高校・福祉作業所・地域活動者等参加)</p>			

【事業の評価】

【Check】指標評価	A					
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	本市の文化財や歴史文化資源を保護する事業は高コストながらも、地域住民のシビックプライド醸成にとって不可欠である。またそれらの事業が各種メディア等で取り上げられることにより、本市のPRや魅力度向上につながるとともに、地域住民には文化財愛護意識や郷土愛が着実に培われている。日本遺産「里沼」認定後は、相乗効果もあり本市の歴史文化の魅力や、それぞれの文化財に対する関心も高まっている。 令和6年度は特に、茂林寺沼湿原の保護・保全で大きな動きがあった。まず水量不足を克服するために新規井戸の掘削を行った。また、年々膨大化する除草・ヨシ刈コスト削減に向けて、地域活動者へのアダプト委託(有償ボランティア)を導入した。さらには、令和7年度に環境省が募集する「良好な水環境保全・活用モデル事業」への「茂林寺沼湿原保全・活用100年プロジェクト」の採択に向けて、具体的なプランを作成・提出した。(令和7年4月25日採択)					
課題	日本遺産「里沼」構成文化財である旧二業見番組合事務所保存改修、旧上毛モスリン再塗装、館林城土橋門再塗装・土壘保護などの工事を順次進める必要がある。また、茂林寺沼湿原に関しては水量低下、水質悪化の問題が生じており、湿原維持に向けてグリーンインフラの観点での茂林寺川からの再導水に向けた協議、水質浄化手法の検討、アダプト制度をはじめとする民間活力を活用した維持管理コスト低減などを拡大することが急務である。					
【Action】今後の方向性・内容	<input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 (<input type="checkbox"/> 一部廃止)					
①令和6年度に文化庁認定を受けた「館林市文化財保存活用地域計画」の地域住民への周知、 令和7年度以降に計画に位置付けた具体的な事業・重点プロジェクトの展開を図る。 ②個別文化財の保存活用方針と中・長期的整備計画の作成(カルテ化) ③日本遺産関連補助メニューを活用した構成文化財改修工事(旧二業見番・モスリン・館林城土橋門・土壘)の実施 ④環境省モデル事業における茂林寺沼湿原における水質改善・水位上昇を目的とした具体的な取組の実施						
令和8年度事業計画	①文化財保護管理【重】 - 文化財の適切な保存と活用 - 地域計画の具体的な事業展開【新規】 - 各文化財の個別保存活用計画策定【新規】 - 旧二業見番改修検討【新規】 - 災害時対応・レスキュー体制検討【新規】 ②茂林寺沼湿原保護管理【重】 - 湿原の保護保全(草刈等) - モニタリング調査 - 自然学習会での普及活動 - 住民・活動者等と連携した保護・活用事業 - 環境省「良好な水環境保全・活用モデル事業」(2年目)【新規】					
予算規模見込み	<input type="checkbox"/> 同規模 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較					
備考						

【令和6年度事業】実施計画書

整理番号	192	重要事業	総合戦略	担当部署	文化振興課 文化財係
款・項・目		事業名	当初予算額 (R4)	当初予算額 (R5)	当初予算額 (R6)
10・5・6		資料館運営	10,460千円	9,578千円	12,702千円

【総合計画との関連】

基本目的	▶Ⅲ_育てる幸せを感じ生涯にわたり互いに学び続ける家庭と文化を築くまち
施策目的	▶15_地域の歴史や伝統・芸術や文化に誇りをもち・魅力ある文化を育み・心豊かに暮らせるまちになる
施策の方向	▶3_郷土の歴史文化を学ぶ機会の充実

【事業の目的及び内容】

【Plan】事業目的	市民が館林の歴史や文化に誇りを持てるよう、郷土資料の収集保管、調査研究、展示・普及活動を行い、学びの充実を図る。
令和6年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
<p>①資料館運営事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設管理 <ul style="list-style-type: none"> 第一資料館、第二資料館の維持管理 収蔵資料の保存や来場者の利用に適した施設や設備の整備 施設再整備及び複合化の方向性検討【新規事業】 資料収集・調査研究 <ul style="list-style-type: none"> 寄贈や購入による資料の受入及び整理 収蔵資料の調査と研究を進め、その価値を把握する。 資料保存管理 <ul style="list-style-type: none"> 収蔵資料の適切な管理や修繕の実施 第一資料館燻蒸(隔年) 展示普及活動(展示以外) <ul style="list-style-type: none"> 展示の解説案内や出前講座の実施 学校教育や生涯学習事業との連携や普及活動を通じた、市民の学びの充実 館林ミュージアムネットワーク(TMN)による連携事業の展開【新規事業】 	

【事業スケジュール】

(単位 : 千円)

事業スケジュール	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	①資料館運営事業 <ul style="list-style-type: none"> 施設管理 <ul style="list-style-type: none"> 第一・第二資料館の日常管理 第二資料館樹木剪定 施設設備修繕 施設再整備・複合化検討【新】 資料収集・調査研究 <ul style="list-style-type: none"> 資料購入 資料保存管理 <ul style="list-style-type: none"> 資料修繕 第一資料館燻蒸(隔年) 展示普及活動(展示以外) <ul style="list-style-type: none"> 館林ミュージアムネットワークによる連携事業の展開【新】 	①資料館運営事業 <ul style="list-style-type: none"> 施設管理 <ul style="list-style-type: none"> 第一・第二資料館の日常管理 第二資料館樹木剪定 施設設備修繕 第一防犯カメラ設置工事【新】 第一空調設備改修調査委託【新】 資料収集 <ul style="list-style-type: none"> 資料購入 資料保存管理 <ul style="list-style-type: none"> 資料修繕 展示普及活動(展示以外) <ul style="list-style-type: none"> 館林ミュージアムネットワークによる連携事業の展開 	①資料館運営事業 <ul style="list-style-type: none"> 施設管理 <ul style="list-style-type: none"> 第一・第二資料館の日常管理 第二資料館樹木剪定 第一空調設備改修工事【新】 資料収集 <ul style="list-style-type: none"> 資料購入 資料保存管理 <ul style="list-style-type: none"> 資料修繕 第一資料館燻蒸(隔年) 展示普及活動(展示以外) <ul style="list-style-type: none"> 館林ミュージアムネットワークによる連携事業の展開
事業費	12,702	18,800	43,000
国庫	0	0	0
県費	0	0	0
市債	0	0	0
その他	80	55	55
一般財源	12,622	18,745	42,945

【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
総合計画指標	文化活動の充実度に満足している市民の割合	30.5 単位 : %	目標値 実績値	- -	- -	34.5 28.4	35.5 0.3
総合計画指標	歴史文化施設における市民一人当たりの年間利用回数	0.3 単位 : 回	目標値 実績値	0.3 0.21	0.3 0.324	0.3 0.668	0.3 0.402
			目標値 実績値				
			目標値 実績値				

【令和6年度事業】事業評価調査

【事業の実績】

令和6年度予算額	15,709千円	令和6年度決算額	14,238千円
<p>【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ年</p> <p>0 施設利用者数 ・令和4年度：第一資料館=7,684人、第二資料館=9,097人 令和5年度：第一資料館=30,365人、第二資料館=10,855人 令和6年度：第一資料館=8,753人、第二資料館=12,470人</p> <p>1 施設管理 (1)日常管理 清掃・機械警備 [令和4～6年度] (2)施設維持管理 第二資料館の樹木剪定、屋根雨樋清掃 [令和4～6年度]</p> <p>2 資料収集 (1)資料収集 郷土資料の購入 [令和4年度=2点、5年度=2点、6年度=1点]</p> <p>3 資料保存管理 (1)資料保存管理 収蔵資料の修復 [令和4年度=1点、5年度=無し、6年度=1点] 第一資料館燻蒸 [隔年実施：令和4・6年度]</p>			

【事業の評価】

【Check】 指標評価	B					
事業の 必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の 有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の 効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	資料館には、館林の歴史文化を象徴する1万点以上の資料が収集・保管されており、その中には、最後の館林城主・秋元家の旧蔵資料(秋元家コレクション)や、館林城に関する資料なども多数含まれている。今後もこれらを適切に保管するとともに、公開・活用しながら後世に引継いでいく責務がある。令和元年度途中から新型コロナウイルスの影響により施設利用者数が激減したが、令和3年度以降では着実に挽回できている。令和6年度は、第一資料館で特別展「近世館林藩主7-17」、企画展「没後80年、よみがえる石井清夫」を開催し新聞・TV等のメディアで取り上げられたことで、関東圏のみならず全国から見学者が訪れた。また、第二資料館では社会実験として「トライアルカフェ」を実施し、将来的な収益化に向けての検討を行ったほか、市内にある民間ミュージアムとの連携を図るため「館林ミュージアムネットワーク」周遊マップも作成・配布した。					
課題	第一資料館は、1978年開館から50年以上が経過し、施設老朽化と収蔵庫不足の解消、来館者利便性の向上とバリアフリー化が喫緊の課題である。第一資料館は施設本体・展示設備の老朽化だけでなく、1・2階の収蔵庫が既にキャパシティをオーバー且つ適切な温湿度管理を行う空調設備もなく、資料保全が不能に陥っている。また発掘調査出土品や民具などは資料保存庫(旧保健所・旧職業訓練校)で保管しているが、建物の老朽化等で適切な管理ができていない。市史編さん事業によって本市ゆかりの資料の掘り起しが行われたことにより資料寄贈・寄託の要望も急増しているが、収蔵庫がないため温湿度管理や防犯に優れた収蔵庫の確保が急務である。さらには第一資料館は2階展示室へのエレベーターがなく、第二資料館も敷地内は砂利敷きのため車イス・ベビーカー乗入れが困難であり、旧上毛モスリン2階展示室へのエレベーターもなくユニバーサル化が実現できていない。第二資料館も年間を通じて多くの来館者を得ているが、樹木管理や外壁補修の必要性も生じているなど、来館者の安全確保も新たな課題となっている。					
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<input type="checkbox"/> 繼続 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 (<input type="checkbox"/> 一部廃止)					
①ソフト事業(展示・普及活動)の充実により、資料館を通じてシビックプライド醸成や学習機会強化に取り組む。 ②資料所有者・研究者・関係機関等との連携強化を図り、収蔵資料の調査研究の深化と館の存在度を高める。 ③施設・設備の大規模改修、収蔵庫の確保・整備について検討を進める。 (公共施設集約・合理化の観点から、資料館・文学館・関連施設を含めた再編((仮称)総合博物館建設)を含めて) ④市内にある公立・民間見学施設同士の情報交換・事業連携を強化する。						
令和8年度 事業計画	①資料館運営事業 - 施設管理 第一・第二資料館の日常管理 第二資料館樹木剪定 施設設備修繕 - 資料収集 資料購入 - 資料保存管理 資料修繕 - 展示普及活動(展示以外) 館林ミュージアムネットワークによる連携事業の展開					
予算規模 見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較					
備考						

【令和6年度事業】実施計画書

整理番号	193	重要事業	総合戦略	担当部署	文化振興課 文化財係
款・項・目		事業名	当初予算額 (R4)	当初予算額 (R5)	当初予算額 (R6)
10・5・6		文化財調査事業	3,797千円	3,797千円	3,961千円

【総合計画との関連】

基本目的	▶III_育てる幸せを感じ生涯にわたり互いに学び続ける家庭と文化を築くまち
施策目的	▶15_地域の歴史や伝統・芸術や文化に誇りをもち・魅力ある文化を育み・心豊かに暮らせるまちになる
施策の方向	▶5_文化財の保護・継承環境の整備

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	文化財を後世に伝えるため、調査と研究を進め、その価値を把握し、記録する。
令和6年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
①文化財調査 ・市内遺跡発掘調査(国庫補助事業) 埋蔵文化財包蔵地に該当する各種開発行為に先行して、緊急発掘調査を実施する。 遺構等の図面や写真による記録保存、出土遺物の整理、発掘調査報告書の刊行	
②歴史的遺産保存調査 ・市内に残る歴史的遺産に関する調査を実施	
③3市町共同「内陸古砂丘」調査に向けた準備・調整【新規事業】 ・3市町(館林市・邑楽町・千代田町)で内陸古砂丘共同調査を行い、国登録文化財(天然記念物)登録を図る。	

【事業スケジュール】

(単位 : 千円)

		令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業スケジュール		①文化財調査 市内遺跡発掘調査(国庫補助事業) ②歴史的遺産保存調査 ③3市町共同「内陸古砂丘」調査に向けた準備・調整【新】	①文化財調査 市内遺跡発掘調査(国庫補助事業) 遺跡台帳のG I Sシステム化【新】 ②歴史的遺産保存調査 地域寺社関連物調査ワークショップ事業【新】 ③3市町共同「内陸古砂丘」調査【新】	①文化財調査 市内遺跡発掘調査(国庫補助事業) ②歴史的遺産保存調査 地域寺社関連物調査ワークショップ事業 ③「内陸古砂丘」国登録事務【新】
事業費		3,961	8,000	4,000
財源	国庫	1,000	3,500	1,000
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	10	10	10
	一般財源	2,951	4,490	2,990

【関連する指標】

指標		現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
活動指標	発掘調査の件数	8	目標値	8	8	7	7	6
		単位 : 地点	実績値	5	4	4	3	
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

【令和6年度事業】事業評価調査

【事業の実績】

令和6年度予算額	3,961千円	令和6年度決算額	3,286千円
<p>【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ年</p> <p>1 文化財調査 (1)埋蔵文化財発掘調査(国庫補助事業) ・文化財保護法93条届出処理〔令和4年度：128件、5年度：90件、6年度：79件〕 ・埋蔵文化財包蔵地における各種開発行為に先立つ緊急発掘調査(試掘確認調査)の実施 〔令和4年度：4遺跡、5年度：4遺跡、6年度：3遺跡〕 (2)遺物整理作業・発掘調査報告書刊行 ・遺物整理作業〔通年・隨時〕 ・発掘調査報告書刊行〔令和4～6年度：1冊〕</p> <p>2 歴史的遺産保存調査 (1)市内に残る歴史的遺産関連調査の実施 ・多々良沼遺跡採取土壌に関する分析調査〔令和5年度〕 ・石井清夫絵画資料調査委託業務〔令和6年度〕 ・正田醤油引き込み線(トロッコ軌道)測量調査〔令和6年度〕 ・秋元家関連資料、田山花袋関連資料の価値付け調査〔令和6年度〕</p>			

【事業の評価】

【Check】 指標評価	C					
事業の 必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の 有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	埋蔵文化財調査は文化財保護法等で規定されている事業であり、事業実施が義務付けられている。よって事業継続によって適切な文化財の保護を図ることが重要である。また、未指定文化財調査を積極的に実施し、適切な価値づけを行うことにより、本市の歴史文化資源の適切な保存・活用を図る必要がある。特に埋蔵文化財においては、調査に要するコストがある一方で、歳入として国庫補助金(文化財保存事業費補助金：総事業費の1/2：100万円)と県支出金(埋蔵文化財の発掘に関する届出等の事務委託金：約40万円)を受けており、費用対効果は高い。					
課題	県・市(ほ場整備課)による野辺町圃場整備実施に伴い、令和8～10年度の3か年間、埋蔵文化財の本調査を行う必要がある。文化財保護法上、現場における調査監督は各自治体の文化財部局職員が執り行う制限があることから、埋蔵文化財発掘調査スキルを有する職員の確保(人員確保・人材育成)が重要である。また、遺跡台帳のG I Sシステム化は高コストのため進展がない。よって、今後の市役所全庁のシステム標準化のタイミングを見計らい関係部署等と協議・調整を進める必要がある。					
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 繼続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 (<input type="checkbox"/> 一部廃止)					
①埋蔵文化財発掘調査、未指定文化財調査の実施を継続し、文化財保護行政の最低限のレベルを維持する。 ②文化庁認定の「館林市文化財保存活用地域計画」に位置付けられた調査事業の着実な実施・展開を図る。 ③各種調査結果・未指定文化財リストをベースとした、新指定及び登録文化財候補物件の選定を進める。 ④多々良沼東岸の「内陸古砂丘」の3市町(本市・千代田町・邑楽町)合同による学術調査に向けて協議を進める。						
令和8年度 事業計画	①文化財調査 市内遺跡発掘調査(国庫補助事業) 遺跡台帳のG I Sシステム化【新】 ②歴史的遺産保存調査 地域寺社関連物調査ワークショップ事業【新】 ③3市町共同「内陸古砂丘」調査に向けた協議【新】					
予算規模 見込み	<input type="checkbox"/> 同規模 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較					
備考	※③調査は令和9年度以降で実施検討〔総事業費3,000,000円(見込) * 国庫補助率1/2 裏負担分を3市町で均等配分〕					

【令和6年度事業】実施計画書

整理番号	194	重要事業		総合戦略	<th>担当部署</th> <td>文化振興課 文化財係</td>	担当部署	文化振興課 文化財係
款・項・目	事業名			当初予算額 (R4)	当初予算額 (R5)	当初予算額 (R6)	
10・5・6	文化財普及事業			1,320千円	1,620千円	2,402千円	

【総合計画との関連】

基本目的	▶III_育てる幸せを感じ生涯にわたり互いに学び続ける家庭と文化を築くまち
施策目的	▶15_地域の歴史や伝統.芸術や文化に誇りをもち.魅力ある文化を育み.心豊かに暮らせるまちになる
施策の方向	▶3_郷土の歴史文化を学ぶ機会の充実

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	誰もが本市の文化財やその価値について知り理解できるよう、市民が文化財に親しむ機会の充実を図る。
令和6年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
①文化財教室等の開催 ・講座やワークショップ、見学会等の開催 ・講演会やシンポジウム、セミナーの開催	
②文化財普及図書の刊行 ・普及図書『秋元家の歴史と文化』増刷【新規事業】	
③[資料館]特別展等の開催 ・1/27(土)~4/21(日) 特別展「幸福は愛より始まる 一彫刻家・藤野天光一」 ・4/27(土)~9/1(日) 「新収蔵資料展」 ・10月上旬~12月上旬 市制70周年記念特別展「近世館林藩主展」(仮) ・12月下旬~3月下旬 企画展「石井清夫絵画作品」(仮) ・2月上旬~3/2(日) 収蔵資料展「秋元家の雛人形」	

【事業スケジュール】

(単位 : 千円)

事業 スケジュール	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	①文化財教室等の開催 ・講座やワークショップ、見学会等の開催 ・講演会やシンポジウム、セミナーの開催 ②文化財普及図書の刊行 ・『秋元家の歴史と文化』増刷【新】 ③[資料館]特別展等の開催 ・特別展 ・収蔵資料展	①文化財教室等の開催 ・講座やワークショップ、見学会等の開催 ・講演会やシンポジウム、セミナーの開催 ・文化財一斉公開事業(準備)【新】 ・地域ストーリー普及促進事業【新】 ②文化財普及図書の刊行 ・「《歴史の小径》を歩く」増刷【新】 ③[資料館]特別展等の開催 ・特別展 ・収蔵資料展	①文化財教室等の開催 ・講座やワークショップ、見学会等の開催 ・講演会やシンポジウム、セミナーの開催 ・文化財一斉公開事業(実施)【新】 ・地域ストーリー普及促進事業 ②文化財普及図書の刊行 ・「徳川綱吉ゆかりまち歩きマップ」増刷【新】 ③[資料館]特別展の開催 ・特別展 ・収蔵資料展
事業費	2,402	1,800	1,700
財源	国庫 0	0	0
	県費 0	0	0
	市債 0	0	0
	その他 500	500	500
一般財源	1,902	1,300	1,200

【関連する指標】

活動指標	指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
活動指標	特別展等の見学者の満足度（来館者へのアンケート結果より）	50	目標値	50	50	50	50	50
	単位 : %	実績値		93	96.5	96.5	93.9	
活動指標	市民による文化財活用イベント（文化財ルネサンス事業）の実施回数	14	目標値	14	14	14	14	14
	単位 : 回	実績値		13	11	17	15	
活動指標	講座等の受講者の満足度（参加者へのアンケート結果より）	50	目標値	50	50	50	50	50
	単位 : %	実績値		80	90.9	88	88.3	
総合計画指標	文化活動の充実度に満足している市民の割合	30.5	目標値	-	-	34.5	35.5	36.5
	単位 : %	実績値		-	-	-	28.4	

【令和6年度事業】事業評価調査

【事業の実績】

令和6年度予算額	2,393千円	令和6年度決算額	2,284千円
<p>【Do】事業実績(成果)※過去3カ年</p> <p>1 文化財教室等の開催 ・〔令和4年度〕 第一資料館特別展関連講座 ①古文書解読講座 参加者37人、②「日光脇往還を歩こう」参加者14人 田山花袋記念文学館講座 ①書簡解読ワークショップ「藤村の手紙を読もう!」(6回) 受講者合計17人 ②講演会「恋愛学で読みとく田山花袋『蒲団』」参加者200人 ・〔令和5年度〕 第一資料館特別連関連事業 館林市の魅力発見クイズラリー「藤野天光の屋外彫刻を見つけよう!」 参加者58人 ・〔令和6年度〕 「里沼モンスタークードラリー」(5/18(土)第二資料館) 参加者145人 新指定文化財(刀剣)お披露目式(11/3(日)第一資料館) 参加者18人 文化財普及映画「ものがたりの予感」関係者試写会(2/28(金)文化会館小ホール) 参加者50人</p> <p>2 普及図書の刊行 ・〔令和4年度〕資料館特別展図録「徳川ゆかりの地一日光脇往還をゆくー」、館林市立資料館年報13 ・〔令和5年度〕刊行なし ・〔令和6年度〕資料館特別展図録「秋元家の歴史と文化」(増刷)</p> <p>3 資料館特別展の開催(主なもの) ・〔令和4年度〕収蔵資料展「モノが語る古墳時代」来場者1,608人 特別展「徳川ゆかりの道一日光脇往還をゆくー」来場者1,854人 ・〔令和5年度〕収蔵資料展「いくさと備え」来館者2,481人 日本遺産パネル展「関東地域の「日本遺産」大集結!」来場者23,900人 特別展「幸福は愛より始まる—彫刻家・藤野天光—」来場者人5,342 ・〔令和6年度〕市制施行70周年記念事業 特別展「近世館林藩主7-17」 来場者2,031人 市制施行70周年記念事業 企画展「没後80年、よみがえる石井清夫」 来場者数1,522人</p>			

【事業の評価】

【Check】指標評価	A
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 政策の推進において不可欠な事業である <input type="checkbox"/> 中 政策の推進に寄与している事業である <input type="checkbox"/> 低 目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高 成果が高水準にある <input checked="" type="checkbox"/> 中 適切な成果が得られている <input type="checkbox"/> 低 成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高 費用対効果が高水準にある <input checked="" type="checkbox"/> 中 適切な費用対効果が得られている <input type="checkbox"/> 低 費用対効果が低水準にある
評価根拠	第6次総合計画でも「施策の方向」の中で「郷土の歴史文化を学ぶ機会の充実」として位置付けられている。毎年文化財教室(講座・ワークショップ等)や普及図書刊行、資料館特別展など各種事業を実施しており、一定の参加者・来場者を獲得できている。よって今後も当該事業を積極的に展開し、市民の学びを支援していくことが重要である。特に令和6年度で開催した特別展「近世館林藩主7-17」で、初代藩主家の榊原家、最後の藩主家の秋元家以外にもスポットを当てたことで、首都圏だけでなく全国から来館者があった。また企画展「石井清夫」も、無名の画家だが、本市の美術界にとって重要な役割を果たした故・石井清夫の作品調査から修復、遺族への聞き取り等を丁寧に行うことでも話題となり、新聞やテレビでも取り上げられるなど、資料館の存在意義を示すものとなった。
課題	日頃の文化財調査・研究の成果等を広く公表・周知することで大きな効果を生み出す可能性がある。例えば、令和3年度に文化振興課で実施した多々良沼遺跡のカナクソ調査は、その成果を周知したことを契機として、令和6年度に群馬県主催「ぐんま次世代映像クリエイターコンペ」で、同調査の様子を描いた短編映画「ものがたりの予感」(鯨岡弘識監督)が最優秀賞を受賞するなど、異分野において本市文化財を普及・PRする好機となった。したがって、今後も文化財や資料館資料の調査を展示や講座に適切につなげるなど、より多くの人に本市の文化財の価値を知っていただく機会を設けるよう努めていく。
【Action】今後の方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 繼続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 (<input type="checkbox"/> 一部廃止) 市内小・中学校では総合的な学習の時間やコミュニティスクール等により、歴史・文化や日本遺産「里沼」と関連した地域性豊かな学習プログラムが導入されている。学習対象としては歴史・文化財が採用されやすいことから、文化振興課としても学校教育との連携を強化していくことが重要である。また公民館講座との連携だけでなく、文化財を活用した「文化財ルネッサンス事業」への支援等を通じて、引き続きシビックプライド醸成を図っていく。 さらに、地域住民や民間事業者・活動者が文化財の保存・活用に参画することの意義を積極的に周知する一方で、これらの方々が各種文化財愛護・普及活動に気軽に参画できるシステムの構築を進め、歴史文化を活かしたまちづくりやのひとづくりに取組んでいく。
令和8年度事業計画	①文化財教室等の開催 ・講座やワークショップ、見学会等の開催 ・講演会やシンポジウム、セミナーの開催 ・文化財一斉公開事業(準備)【新】 ・地域ストーリー普及促進事業【新】 ②文化財普及図書の刊行 ・「《歴史の小径》を歩く」・「榊原康政マップ」増刷【新】 ③[資料館]特別展等の開催 ・特別展 ・収蔵資料展
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較
備考	

【令和6年度事業】実施計画書

整理番号	195	重要事業	総合戦略	担当部署	文化振興課 芸術文化係
款・項・目		事業名	当初予算額 (R4)	当初予算額 (R5)	当初予算額 (R6)
10・5・6		芸術文化活動の推進	12,252千円	12,252千円	12,409千円

【総合計画との関連】

基本目的	▶III_育てる幸せを感じ生涯にわたり互いに学び続ける家庭と文化を築くまち
施策目的	▶15_地域の歴史や伝統.芸術や文化に誇りをもち.魅力ある文化を育み.心豊かに暮らせるまちになる
施策の方向	▶2_芸術文化活動の推進

【事業の目的及び内容】

【Plan】事業目的	優れた芸術を鑑賞する機会を充実させるとともに、芸術文化活動の場の提供や新たな芸術文化創造の支援に努める。
令和6年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
<p>①芸術文化活動への支援と芸術鑑賞機会の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・芸術文化活動の支援 情操を養い、心や生活にゆとりと潤いを生むために、芸術文化活動の機会を提供するとともに市民の参加と主体による団体活動を支援する。 ・芸術鑑賞事業の実施 文化や芸術に対する教養を高め、感受性を育むために、子どもから高齢者までを対象とした優れた芸術を鑑賞する機会を設ける。 <p>②芸術文化に触れ合う機会の充実と担い手の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伝統文化の振興 郷土芸能等の体験や発表を通じ、伝統文化の振興を行う。 	

【事業スケジュール】

(単位：千円)

		令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業スケジュール	①芸術文化活動への支援と芸術鑑賞機会の充実	①芸術文化活動への支援と芸術鑑賞機会の充実	①芸術文化活動への支援と芸術鑑賞機会の充実	①芸術文化活動への支援と芸術鑑賞機会の充実
	<ul style="list-style-type: none"> ・芸術文化活動の支援 ①芸術文化祭 14事業、写真公募展、緑のコンサート、ピアノフェスティバルの開催 ②館林市文化協会、館林市少年少女合唱団の支援・芸術鑑賞事業の実施 ③小中学校芸術鑑賞教室の実施 ④自主事業の実施 <p>②芸術文化に触れ合う機会の充実と担い手の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伝統文化の振興 ①伝統文化教室の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・芸術文化活動の支援 ①芸術文化祭 14事業、写真公募展、緑のコンサート、ピアノフェスティバルの開催 ②館林市文化協会、館林市少年少女合唱団の支援・芸術鑑賞事業の実施 ③小中学校芸術鑑賞教室の実施 ④自主事業の実施 <p>②芸術文化に触れ合う機会の充実と担い手の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伝統文化の振興 ①伝統文化教室の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・芸術文化活動の支援 ①芸術文化祭 14事業、写真公募展、緑のコンサート、ピアノフェスティバルの開催 ②館林市文化協会、館林市少年少女合唱団の支援・芸術鑑賞事業の実施 ③小中学校芸術鑑賞教室の実施 ④自主事業の実施 <p>②芸術文化に触れ合う機会の充実と担い手の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伝統文化の振興 ①伝統文化教室の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・芸術文化活動の支援 ①芸術文化祭 14事業、写真公募展、緑のコンサート、ピアノフェスティバルの開催 ②館林市文化協会、館林市少年少女合唱団の支援・芸術鑑賞事業の実施 ③小中学校芸術鑑賞教室の実施 ④自主事業の実施 <p>②芸術文化に触れ合う機会の充実と担い手の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伝統文化の振興 ①伝統文化教室の開催
事業費	12,409		12,061	12,409
財源	国庫	0	0	0
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	12,409	12,061	12,409

【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
		目標値					
		実績値					
		目標値					
		実績値					

【令和6年度事業】事業評価調査

【事業の実績】

令和6年度予算額	12,409千円	令和6年度決算額	11,195千円
<p>■芸術文化活動の支援 【市芸術文化祭】 ・令和4年度 開催事業数：13事業、参加者：5,493人 その他、写真公募展、緑のコンサート、ピアノフェスティバルを実施 ・令和5年度 開催事業数：14事業、参加者：5,930人 その他、写真公募展、緑のコンサート、ピアノフェスティバル、伝統文化教室を実施 ・令和6年度 開催事業数：14事業、参加者：5,953人 【文化団体育成等】 ・令和4年度 少年少女合唱団団員数 12人 文化協会加盟団体数 58団体 927人 ・令和5年度 少年少女合唱団団員数 15人 文化協会加盟団体数 57団体 918人 ・令和6年度 少年少女合唱団団員数 15人 文化協会加盟団体数 55団体 883人 ■芸術鑑賞事業の実施 【小中学校芸術鑑賞教室】 ・令和4年度 小学生総参加者：2,399人、中学生は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 ・令和5年度 小学生総参加者：2,100人、中学生総参加者：1,090人 ・令和6年度 小学生・特別支援学校総参加者：2,293人、中学生総参加者：1,076人</p>			

【事業の評価】

【Check】 指標評価						
事業の 必要性	<input type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input checked="" type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の 有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の 効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	市芸術文化祭の実施や館林市少年少女合唱団、館林市文化協会等の活動を支援することで、市民の文化活動の裾野を広げ、文化の向上を図ることが必要である。					
課題	館林市芸術文化祭の活動主体となっている館林市文化協会の加盟団体とその会員数が高齢化などにより減少傾向となっている。また、館林市少年少女合唱団においても、余暇の多様化によるものか、団員数が伸び悩んでいる。					
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> (一部廃止)					
情操を養い、心や生活にゆとりと潤いを生むために、芸術文化活動の機会を提供するとともに市民の参加と主体による団体活動の充実を図るため、練習や成果発表の場を確保するなど活動環境の維持・整備とともに団体加盟人数の増加への支援を行う。						
令和8年度 事業計画	<p>■芸術文化活動の支援 ・芸術文化祭 14事業、写真公募展、緑のコンサート、ピアノフェスティバルの開催 ・館林市文化協会、館林市少年少女合唱団の支援 ■芸術鑑賞事業の実施 ・小中学校芸術鑑賞教室の実施 ・自主事業の実施 ■伝統文化の振興 ・伝統文化教室の開催</p>					
予算規模 見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較					
備考						

【令和6年度事業】実施計画書

整理番号	196	重要事業	総合戦略	担当部署	文化振興課 芸術文化係
款・項・目		事業名	当初予算額 (R4)	当初予算額 (R5)	当初予算額 (R6)
10・5・6		彫刻のまちづくり事業	1,161千円	1,161 千円	1,271千円

【総合計画との関連】

基本目的	▶III_育てる幸せを感じ生涯にわたり互いに学び続ける家庭と文化を築くまち
施策目的	▶15_地域の歴史や伝統.芸術や文化に誇りをもち.魅力ある文化を育み.心豊かに暮らせるまちになる
施策の方向	▶2_芸術文化活動の推進

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	彫刻を生かしたまちづくりを進め、彫刻に対する市民意識の高揚を図る。
令和6年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
①彫刻のまちづくり事業 各種事業の実施により、郷土の自然や歴史と調和した豊かな芸術文化環境の創造に努める。 ・普及事業（彫刻教室、彫刻講座等）の開催 ・彫刻の小径作品等の補修の実施 ・彫刻家・藤野天光作品の保存管理及び展示	

【事業スケジュール】

(単位 : 千円)

		令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業スケジュール	①彫刻のまちづくり事業 ・普及事業の開催 彫刻教室、彫刻講座等の開催 ・彫刻の小径作品等の補修の実施 計画的な補修の実施 ・彫刻作品の保存管理、展示	①彫刻のまちづくり事業 ・普及事業の開催 彫刻教室、彫刻講座等の開催 ・彫刻の小径作品等の補修の実施 計画的な補修の実施 ・彫刻作品の保存管理、展示	①彫刻のまちづくり事業 ・普及事業の開催 彫刻教室、彫刻講座等の開催 ・彫刻の小径作品等の補修の実施 計画的な補修の実施 ・彫刻作品の保存管理、展示	
事業費	1,271	1,221	1,221	1,271
財源	国庫	0	0	0
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	1,271	1,221	1,271

【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
		目標値					
		単位 :	実績値				
		目標値					
		単位 :	実績値				
		目標値					
		単位 :	実績値				
		目標値					
		単位 :	実績値				

【令和6年度事業】事業評価調査

【事業の実績】

令和6年度予算額	1,271千円	令和6年度決算額	1,204千円
<p>■彫刻教室、彫刻講座等の実施 【彫刻教室】 ・令和4年度 開催回数：5回 参加者：延60人 ・令和5年度 開催回数：5回 参加者：延60人 ・令和6年度 開催回数：5回 参加者：延75人</p> <p>【彫刻講座（彫刻清掃体験）】 ・令和4年度 参加者：13人 ・令和5年度 参加者：13人 ・令和6年度 参加者：9人</p> <p>■彫刻の小径作品等の補修の実施 【彫刻作品の補修】 ・令和4年度 補修点数：6点 ・令和5年度 補修点数：7点 ・令和6年度 補修点数：9点</p> <p>【藤野天光作品の小学校への展示】 ・令和5年度 1校（第一小学校） ・令和6年度 1校（第四小学校）</p>			

【事業の評価】

【Check】 指標評価	
事業の 必要性	<input type="checkbox"/> 高 政策の推進において不可欠な事業である ■ 中 政策の推進に寄与している事業である <input type="checkbox"/> 低 目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の 有効性	<input type="checkbox"/> 高 成果が高水準にある ■ 中 適切な成果が得られている <input type="checkbox"/> 低 成果が低水準にある
事業の 効率性	<input type="checkbox"/> 高 費用対効果が高水準にある ■ 中 適切な費用対効果が得られている <input type="checkbox"/> 低 費用対効果が低水準にある
評価根拠	「彫刻教室」や「彫刻講座」を実施し、彫刻の制作や鑑賞、清掃体験を通じ、彫刻に対する意識の高揚を図るとともに作品の補修や小学校への藤野天光作品の展示など鑑賞環境の整備を図っていくことが必要である。
課題	彫刻講座の参加者数が伸び悩んでいること、また、藤野天光の作品の石膏原型が市内の倉庫に保管されているが、空調設備はなく、一定の温度や湿度の管理ができにくい状態であるため、適正な保管ができる環境整備が課題である。
【Action】 今後の 方向性 ・内容	■ 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止（ <input type="checkbox"/> 一部廃止）
	藤野天光の石膏原型の保管について、専門家より、保存方法や活用等の助言を受ける。また、彫刻作品の補修等を行いながら、彫刻教室や彫刻講座などの普及事業の充実を図る。
令和8年度 事業計画	■彫刻教室、彫刻講座等の実施 ・企画立案、実施、評価、改善 ■彫刻の小径作品等の補修の実施 ・計画的な補修の実施 ・藤野天光作品の小学校への展示
予算規模 見込み	<input type="checkbox"/> 同規模 ■ 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較
備考	小学校に作品展示をするにあたり、材料費高騰のため拡大予定。 彫刻教室を2期に分けて開催するにあたり、謝礼費を拡大予定。

【令和6年度事業】実施計画書

整理番号	197	重要事業	○	総合戦略		担当部署	文化振興課 芸術文化係
款・項・目		事業名		当初予算額 (R4)	当初予算額 (R5)	当初予算額 (R6)	
10・5・7		文化会館運営		102,479千円	162,425千円	99,616千円	

【総合計画との関連】

基本目的	▶III_育てる幸せを感じ生涯にわたり互いに学び続ける家庭と文化を築くまち
施策目的	▶15_地域の歴史や伝統.芸術や文化に誇りをもち.魅力ある文化を育み.心豊かに暮らせるまちになる
施策の方向	▶1_芸術文化活動の拠点施設の充実

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	芸術活動や文化活動の拠点となる施設の充実を図る。
令和6年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
①文化会館運営事業 ・施設運営及び維持管理 施設の日常管理 利用者の使用に適した施設及び設備の整備、改修	
②文化会館施設整備事業【重要事業】 ・舞台機器設備改修工事【新規事業】 ・水道量水器交換工事【新規事業】	

【事業スケジュール】

(単位 : 千円)

事業 スケジュール	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	①文化会館運営事業【重】 ・施設の運営、維持管理業務 ②文化会館施設整備事業 ・舞台機器設備改修工事【新】 ・水道量水器交換工事【新】	①文化会館運営事業【重】 ・施設の運営、維持管理業務 ②文化会館施設整備事業 ・非常用発電機更新工事実施設計業務委託 ・楽屋空調改修工事 ・監視モニター設備改修工事 ・受水槽改修工事	①文化会館運営事業【重】 ・施設の運営、維持管理業務 ②文化会館施設整備事業 ・非常用発電機改修工事 ・非常電灯用変圧器更新工事 ・楽屋空調改修工事
事業費	99,616	207,525	207,525
財源	国庫 0	0	0
	県費 0	0	0
市債	8,400	107,200	107,200
その他	17,530	16,518	16,518
一般財源	73,686	83,807	83,807

【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
総合計画指標	芸術文化施設における市民1人当たり年間利用回数	2.5 単位 : 回	目標値 実績値	2.5 1.4	2.5 1.56	2.5 1.49	2.5 1.37
			目標値				
		単位 :	実績値				
			目標値				
		単位 :	実績値				
			目標値				
		単位 :	実績値				

【令和6年度事業】事業評価調査

【事業の実績】

令和6年度予算額	102,912千円	令和6年度決算額	88,655千円
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ年	<p>■芸術文化施設利用状況（年間） (文化会館) (芸術ホール) (合計)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度 利用者数 25,607人 26,680人 52,287人 ・令和4年度 利用者数 79,281人 36,451人 115,732人 (R4.4.1現在 住民人口74,652人) ・令和5年度 利用者数 75,272人 34,658人 109,930人 (R5.4.1現在 住民人口74,234人) ・令和6年度 利用者数 66,049人 35,208人 101,257人 (R6.4.1現在 住民人口73,867人) 		

【事業の評価】

【Check】 指標評価	C					
事業の 必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の 有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の 効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	よりよい芸術文化活動を推進するため、維持管理に努め、安全安心な施設利用の確保と施設の長寿命化を図っていく必要がある。					
課題	昭和49年の開館から51年が経過し、施設及び設備の老朽化が進んでいる。それに伴う設備の故障・不具合等も増えており、貸館業務に影響するものも出ている。今後もバリアフリーを考慮し、安全安心に配慮した施設整備を計画的に進め、老朽化対策を行っていくことが課題である。					
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 繼続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 (<input type="checkbox"/> 一部廃止)					
文化施設が支障なく利用されるよう、点検を適時行い、適正かつ「館林市公共施設等総合管理計画」に沿った施設の補修や改修を行い、機能の充実と適切な維持管理の推進を行う。						
令和8年度 事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ■文化会館の貸館業務、定期的な維持管理、計画的な整備の実施 ■文化会館施設整備事業【重要事業】 <ul style="list-style-type: none"> ・受水槽更新工事【新規】※概算 45,760千円 ・大ホール舞台機構設備改修工事【新規】※概算 25,080千円 ・吸収冷温水機改修工事設計業務委託【新規】※概算 3,300千円 ・文化会館非常用発電機更新工事【新規】※概算 47,410千円 ・大ホール調光特性発生器改修工事【新規】※概算 2,805千円 ・文化会館直流電源盤【新規】※概算 8,800千円 ・文化会館非常用蓄電池更新工事【新規】※概算 4,180千円 					
予算規模 見込み	<input type="checkbox"/> 同規模 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較					
備考						

【令和6年度事業】実施計画書

整理番号	198	重要事業		総合戦略		担当部署	文化振興課 芸術文化係
款・項・目		事業名		当初予算額 (R4)	当初予算額 (R5)	当初予算額 (R6)	
10・5・8		三の丸芸術ホール運営		41,693千円	42,762千円	46,106千円	

【総合計画との関連】

基本目的	▶III_育てる幸せを感じ生涯にわたり互いに学び続ける家庭と文化を築くまち
施策目的	▶15_地域の歴史や伝統.芸術や文化に誇りをもち.魅力ある文化を育み.心豊かに暮らせるまちになる
施策の方向	▶1_芸術文化活動の拠点施設の充実

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	芸術活動や文化活動の拠点となる施設の充実を図る。
令和6年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
①三の丸芸術ホール運営事業 ・施設運営及び維持管理 施設の日常管理 利用者の使用に適した施設及び設備の整備、改修	
②三の丸芸術ホール施設整備事業 ・南東側屋根雨漏り対策工事【新規事業】 ・舞台機器設備改修工事【新規事業】	

【事業スケジュール】

(単位 : 千円)

		令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業スケジュール		①三の丸芸術ホール運営事業 施設の運営、維持管理業務 ②三の丸芸術ホール施設整備事業 ・南東側屋根雨漏り対策工事【新】 ・舞台機器設備改修工事【新】	①三の丸芸術ホール運営事業 施設の運営、維持管理業務 ②三の丸芸術ホール施設整備事業 ・舞台照明設備改修工事 ・展示室建具改修工事 ・プロセニアムスピーカー更新工事	①三の丸芸術ホール運営事業 施設の運営、維持管理業務 ②三の丸芸術ホール施設整備事業 ・正面玄関改修工事 ・3点吊りマイク更新工事 ・防犯カメラ設置工事
事業費		46,106	46,106	46,106
財源	国庫	0	0	0
	県費	0	0	0
	市債	2,000	0	0
	その他	9,100	9,100	9,100
	一般財源	35,006	37,006	37,006

【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
総合計画指標	芸術文化施設における市民1人当たり年間利用回数	2.5 単位 : 回	目標値 実績値	2.5 1.4	2.5 1.56	2.5 1.49	2.5 1.37
			目標値				
		単位 :	実績値				
			目標値				
		単位 :	実績値				
			目標値				
		単位 :	実績値				

【令和6年度事業】事業評価調査

【事業の実績】

令和6年度予算額	46,106千円	令和6年度決算額	40,967千円
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ年	<p>■芸術文化施設利用状況（年間） (文化会館) (芸術ホール) (合計)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度 利用者数 25,607人 26,680人 52,287人 ・令和4年度 利用者数 79,281人 36,451人 115,732人 (R4.4.1現在 住民人口74,652人) ・令和5年度 利用者数 75,272人 34,658人 109,930人 (R5.4.1現在 住民人口74,234人) ・令和6年度 利用者数 66,049人 35,208人 101,257人 (R6.4.1現在 住民人口73,867人) 		

【事業の評価】

【Check】 指標評価	C					
事業の 必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の 有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の 効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	よりよい芸術文化活動を推進するため、文化会館と併せ、維持管理に努め、安全安心な施設利用の確保と施設の長寿命化を図っていく必要がある。					
課題	昭和61年の開館から39年が経過し、施設や設備の老朽化が進んでいる。舞台機構設備改修工事や舞台照明装置など改修が必要な設備が多い。今後もバリアフリーを考慮し、安全安心に配慮した施設整備を計画的に進め、老朽化対策を行っていくことが課題である。					
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 繼続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 (<input type="checkbox"/> 一部廃止)					
文化施設が支障なく利用されるよう、点検を適時行い、適正かつ「館林市公共施設等総合管理計画」に沿った施設の補修や改修を行い、機能の充実と適切な維持管理の推進を行う。						
令和8年度 事業計画	<p>■三の丸芸術ホールの貸館業務、定期的な維持管理、計画的な整備の実施 ■三の丸芸術ホール施設整備事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・南側屋根雨漏り対策工事【新規】※概算2,310千円 ・展示室建具改修工事【新規】※概算2,992千円 ・3点吊りマイク更新工事【新規】※概算32,931千円 ・プロセニアムスピーカー更新工事【新規】※概算12,320千円 					
予算規模 見込み	<input type="checkbox"/> 同規模 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較					
備考						

【令和6年度事業】実施計画書

整理番号	199	重要事業	総合戦略	担当部署	文化振興課 文化財係
款・項・目		事業名	当初予算額 (R4)	当初予算額 (R5)	当初予算額 (R6)
10・5・9	田山花袋記念文学館運営	7,573千円	9,565千円	10,832千円	

【総合計画との関連】

基本目的	▶III_育てる幸せを感じ生涯にわたり互いに学び続ける家庭と文化を築くまち
施策目的	▶15_地域の歴史や伝統・芸術や文化に誇りをもち・魅力ある文化を育み・心豊かに暮らせるまちになる
施策の方向	▶3_郷土の歴史文化を学ぶ機会の充実

【事業の目的及び内容】

【Plan】事業目的	市民が館林の歴史や文化に誇りを持てるよう、郷土の文豪田山花袋に関する資料の収集保管・調査研究・普及活動を通して、学びの充実を図る。
令和6年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
①田山花袋記念文学館運営 ・施設管理 施設の日常管理 収蔵資料の保存や来場者の利用に適した施設や設備の整備、改修(樹木剪定) 施設再整備及び複合化の方向性検討【新規事業】 ・資料収集・調査研究 寄贈や購入による田山花袋資料の収集、分類、整理 ・資料保存管理 収蔵資料の適切な管理や修繕を実施し後世に伝える。 煙蒸(隔年実施)、資料の修繕 ・普及活動(展示以外) 展示の解説案内や出前講座などの実施 市制70周年記念日記解説事業(準備)	

【事業スケジュール】

(単位 : 千円)

事業スケジュール	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	①田山花袋記念文学館運営 ・施設管理 施設の日常管理 施設再整備・複合化検討【新】 ・資料収集 資料購入 ・資料保存管理 煙蒸(隔年) 資料修繕 ・普及活動(展示以外) 展示解説や出前講座実施 日記解説事業(準備)	①田山花袋記念文学館運営 ・施設管理 施設の日常管理 展示ケース照明改修(LED化) 屋根改修工事【新】 池撤去工事【新】 ・資料収集 資料購入 ・資料保存管理 資料修繕 ・普及活動(展示以外) 展示解説や出前講座実施 日記解説事業(刊行)【新】	①田山花袋記念文学館運営 ・施設管理 施設の日常管理 常設展示室展示改修工事【新】 ・資料収集 資料購入 ・資料保存管理 煙蒸(隔年) 資料修繕 ・普及活動(展示以外) 展示解説や出前講座実施 日記解説事業
事業費	10,832	20,000	25,000
財源	国庫 0	0	0
	県費 0	0	0
	市債 0	0	0
	その他 668	656	656
	一般財源 10,164	19,344	24,344

【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
総合計画指標	文化活動の充実度に満足している市民の割合	30.5 単位 : %	目標値 実績値	- -	- -	34.5 28.4	35.5 0.3
総合計画指標	歴史文化施設における市民一人当たりの年間利用回数	0.3 単位 : 回	目標値 実績値	0.3 0.21	0.3 0.324	0.3 0.668	0.3 0.402
			目標値 実績値				
			目標値 実績値				

【令和6年度事業】事業評価調査

【事業の実績】

令和6年度予算額	11,151 千円	令和6年度決算額	9,358 千円
<p>【実施事業】</p> <p>(1) 資料調査研究 研究紀要34～36号の刊行【令和4～6年度】 (2) 資料収集 花袋関係資料の購入、田山家からの寄贈資料の受入 (3) 資料保存管理 収蔵資料の修繕(掛軸仕立替)、収納箱等の作成 収蔵庫及び展示室の燻蒸(隔年実施)【令和4・6年度】 資料カード用キャビネット購入【令和6年度】 (4) 施設改修 館内テラス内タイル修繕【令和4年度】 消火設備改修工事・女子トイレ天井及び陸屋根ドレン修繕【令和5年度】 企画展示室遮光シート貼り【令和6年度】</p> <p>【入館者数】 令和4年度：2,918人 令和5年度：3,021人 令和6年度：3,677人</p>			

【事業の評価】

【Check】 指標評価	B				
事業の 必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の 有効性	<input type="checkbox"/> 高 成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中 適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある	
事業の 効率性	<input type="checkbox"/> 高 費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中 適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある	
評価根拠	田山花袋記念文学館は、花袋関連資料に関する収蔵・保管機能、展示・公開機能の2つを有する国内唯一の博物館である。一般来館者以外にも専門家や研究者、メディア等からも問合せも多く、田山花袋研究における世界の中心地でもある。約35年間に多岐にわたる展示会を開催してきた。令和6年度は特別展「蒲団」、企画展「蒲団2」、第9回新収蔵資料展「大正五年ふたつの旅」を開催した。趣向を凝らした展示内容が好評で展示解説会でもリピーターが増加していることから、引き続き本市の文化創造の拠点としての、魅力ある事業を展開していく必要がある。				
課題	開館から約35年が経過し資料収集・保存・展示のための施設老朽化が激しく、応急的な改修・修繕で凌いでいる。、来館者満足度を高めるためスタッフ配備や日常清掃等にコストがかかっている他、全館LED化工事やトイレ洋式化工事等の必要となっている。運営コスト高に対して、この20年間で入館者数は約3分の1に減少しており、館運営を支えるための収入は少ない。入館者数減少に歯止めをかけるため、趣向を凝らした企画展や、花袋とゆかりのある作家を顕彰する国内の文学館・博物館との共同企画、小・中・高校との連携事業等を積極的に進める必要がある。また、令和元年度に文化庁日本遺産に認定された本市のストーリー「里沼(SATO-NUMA)」においても、「田山花袋関連資料(田山花袋記念文学館)」が構成文化財のひとつとして位置づけられていることから、日本遺産事業を連動しながら日本遺産ブランドを活かした全国的なPRにも取り組むことが課題である。				
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 繼続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> (一部廃止) <p>①ソフト事業(展示・普及活動)の充実により、文学館を通じてシビックプライド醸成や学習機会強化に取り組む。 ②資料所有者・研究者・機関等との連携強化を図り、収蔵資料の調査研究の深化と館の存在度を高める。 ③施設・設備の大規模改修、収蔵庫の確保・整備について検討を進める。 (公共施設集約・合理化の観点から、文学館・資料館を含めた再編(仮称)総合博物館建設)を含めて) ④市内にある公立・民間見学施設同士の情報交換・事業連携を強化する。 ⑤文学館の収益向上を目指し、官民連携により入館者増加の仕掛けづくりや賑わい創出の強化を図る。</p>				
令和8年度 事業計画	①田山花袋記念文学館運営 - 施設管理 施設の日常管理 全館照明LED化【新】 池撤去工事【新】 - 資料収集 資料購入 - 資料保存管理 資料修繕 - 普及活動(展示以外) 展示解説や出前講座実施 日記解読事業(刊行)【新】				
予算規模 見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> ※前年度比較				
備考					

【令和6年度事業】実施計画書

整理番号	200	重要事業		総合戦略		担当部署	文化振興課 文化財係
款・項・目		事業名		当初予算額 (R4)	当初予算額 (R5)	当初予算額 (R6)	
10・5・9		特別展の開催		943千円	943千円	1,191千円	

【総合計画との関連】

基本目的	▶Ⅲ_育てる幸せを感じ生涯にわたり互いに学び続ける家庭と文化を築くまち
施策目的	▶15_地域の歴史や伝統.芸術や文化に誇りをもち.魅力ある文化を育み.心豊かに暮らせるまちになる
施策の方向	▶3_郷土の歴史文化を学ぶ機会の充実

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	展示を通して郷土の文豪・田山花袋を普及し、市民の学びの充実を図る。
令和6年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
①特別展等の開催 ・3/2(土)～5/26(日) 収蔵資料展「花袋先生の愛用品」 ・6月中旬～9月上旬 「新収蔵資料展」 ・10月上旬～12月上旬 市制70周年記念特別展「蒲団」 ・12月下旬～3月下旬 企画展 ②花袋作品朗読プロジェクト【新規事業】 ・第2期朗読プロジェクト活動	

【事業スケジュール】

(単位：千円)

事業 スケジュール	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	①特別展等の開催 ②花袋作品朗読プロジェクト【新】	①特別展等の開催 ②花袋作品朗読プロジェクト(最終年)	①特別展等の開催 ②花袋作品普及事業【新】 ・エッセイ集刊行
事業費	1,191	1,500	1,200
財源	国庫	0	0
	県費	0	0
	市債	0	0
	その他	0	0
	一般財源	1,191	1,500

【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
総合計画指標	文化活動の充実度に満足している市民の割合	30.5	目標値	−	−	34.5	35.5
		単位：%	実績値	−	−	28.4	
総合計画指標	歴史文化施設における市民一人当たりの年間利用回数	0.3	目標値	0.3	0.3	0.3	0.3
		単位：回	実績値	0.21	0.324	0.668	0.402
活動指標	見学者アンケートによる特別展等の満足度	50	目標値	50	50	50	50
		単位：%	実績値	83	87.5	88.6	84.7
			目標値				
		単位：	実績値				

【令和6年度事業】事業評価調査

【事業の実績】

令和6年度予算額	1,191 千円	令和6年度決算額	1,067 千円
<p>【事業実績（成果）※過去3カ年】</p> <p>〔令和4年度〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・島崎藤村生誕150年記念企画展「藤村からの手紙」来場者 第2部=578人 ・島崎藤村生誕150年記念企画展「藤村からの手紙」来場者 第3部=385人 ・特別展「花袋大解剖—みんなが気になる花袋のアレコレー」来場者709人 ・収蔵資料展「文士たちが見た花袋」来場者1,289人 ・書簡解説ワークショップ「藤村の手紙を読もう！」参加者17人 ・講演会「恋愛学で読みとく田山花袋『蒲団』」200人 <p>〔令和5年度〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消火設備改修工事に伴う企画展示室閉鎖のため、特別展開催無し ・収蔵資料展「花袋先生の愛用品展」来場者1,253人 ・田山花袋作品朗読プロジェクト(全5回=11/19(日)、12/17(日)、1/21(日)、2/25(日)、3/10(日)) 参加者数(館林女子高放送部2人、関東学園附属高校演劇部2人) 延13人 ・田山花袋作品朗読プロジェクト「発表会」(3/10(日)) 参加者数50人 ・「花袋カード」(全6種類)作成・配布 <p>〔令和6年度〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・収蔵資料展「花袋先生の愛用品」 来場者1,164人 ・第8回新収蔵資料展 来場者664人 ・市制施行70周年記念事業 特別展「蒲団の世界」 来場者568人 ・第9回新収蔵資料展「大正五年二つの旅～信州高遠・奥州棚倉～」 来場者431人 ・企画展「追補 蒲団の世界—若き恋人たち—」来場者362人 ・「里沼モンスタークードラリー」(5/18(土)) 参加者数175人 ・田山花袋作品朗読プロジェクト (全7回=9/29(日)、11/10(日)、12/8(日)、12/15(日)、1/12(日)、2/16(日)、3/16(日)) 参加者数(館林女子高放送部3人、関東学園附属高等学校演劇部2人、太田高校文芸部3人) 延52人 ・田山花袋作品朗読プロジェクト「発表会」(3/16(日)) 参加者数156人 			

【事業の評価】

【Check】 指標評価	A					
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業で	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	<p>リピーターや新たな入館者を獲得するために、田山花袋とその作品等についてさまざまな切り口で紹介した特別展や企画展及び収蔵資料展を継続的に開催できている。特別展「蒲団の世界」では、田山花袋の代表作『蒲団』に焦点を当てた展示を行い、同年度内で関連した企画展を行うことで、特別展来館者のリピーターを獲得することができた。また、収蔵資料展「大正五年ふたつの旅」では、実際に学芸員が作品の舞台を訪れ紹介した新手法の展示を行い、好評を博した。展示解説会や講座・ワークショップも企画・実施し、メディアで取り上げられることも多く、本市出身の文豪・田山花袋の顕彰・普及の効果は高く、ここ数年はコアなリピーター層も獲得できている。昨年度からスタートした田山花袋作品朗読プロジェクトでは、地元の高校生がフィールドワーク等を行いながら作品の内容を深め、朗読練習などを繰り返してその成果を発表したこと、参加者に大きな感動を呼び、若い世代やこれまで文学館に関わりの無かった層にも新たな花袋ファンを獲得できたことは、令和6年度事業の大きな成果である。</p>					
課題	<p>田山花袋やその作品を深めた展示会、展示解説会、関連イベント等を実施し、全国各地から多くの来館者を得ることができた。引き続き展示企画や資料調査、さらなる情報発信などに重点を置くとともに、魅力のある展示を担うためのスタッフ養成に取り組んでいく。</p> <p>若い層の集客を目指した「田山花袋作品朗読プロジェクト」は一定の成果を得た。今後は市内や近隣の高校生とのつながりを強化しながら、市内小・中学校等での出張朗説会や田山花袋体感ツアーの造成など新たな展開を模索し、田山花袋への興味・関心を高める取組を進めていくことが課題である。</p>					
【Action】 今後の方向性・内容	<p><input checked="" type="checkbox"/> 繼続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 (<input type="checkbox"/> 一部廃止)</p> <p>(1)田山花袋関連資料を収集・保管、公開・展示する唯一の館としての強みを活かした魅力ある事業を展開する (2)中・長期的な展示計画を作成するとともに、企画や資料調査を担う学芸員などのスタッフ育成を図る (3)花袋普及プロジェクト(高校生による花袋ツアー造成)に取組み、若い世代における花袋への興味・関心を高める</p>					
令和8年度事業計画	<p>①特別展等の開催 ②花袋普及プロジェクト【新】</p>					
予算規模見込み	<p><input type="checkbox"/> 同規模 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較</p>					
備考						

【令和6年度事業】実施計画書

整理番号	201	重要事業	○	総合戦略		担当部署	スポーツ振興課 管理係
款・項・目		事業名		当初予算額 (R4)	当初予算額 (R5)	当初予算額 (R6)	
8・5・3		公園競技施設管理運営		155,464千円	516,405千円	345,351千円	

【総合計画との関連】

基本目的	▶Ⅲ_育てる幸せを感じ生涯にわたり互いに学び続ける家庭と文化を築くまち
施策目的	▶16_スポーツを生活に取り入れ.誰もがスポーツを楽しめるまちになる
施策の方向	▶4_スポーツ施設の適正管理

【事業の目的及び内容】

【Plan】事業目的	公園競技施設（体育館（ダノン城沼アリーナ）、陸上競技場、野球場、庭球場、多目的広場、市民プール、グラウンドゴルフ場、弓道場、高根運動場、東山運動広場）の整備及び管理運営を図る。
令和6年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
<p>①公園競技施設管理運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公園競技施設の維持管理 多くの市民や競技者がスポーツ施設を安全かつ安心に利用できるよう、施設の点検及び整備に努めるとともに、設備の充実を図る。 ・屋外施設の維持補修（グラウンド内の芝刈り、整地等） ・各種スポーツ用具、備品の購入及び維持管理 <p>②公園競技施設の整備【重要事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公園競技施設の整備 各施設の設備（空調、電気、給排水、照明等）に関する保守点検及び維持補修を行う。 ・ダノン城沼アリーナエレベーター設置工事設計業務委託【新規事業】 ・ダノン城沼アリーナLED照明設備改修工事設計業務委託【新規事業】 	

【事業スケジュール】

(単位：千円)

	令和6年度	令和7年度	令和8年度	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
事業スケジュール	①公園競技施設管理運営 各競技施設の維持管理 ②公園競技施設の整備【重】 ・ダノン城沼アリーナ空調設備等改修工事 ・ダノン城沼アリーナ空調設備等改修工事監理業務委託 ・ダノン城沼アリーナ南側外壁改修工事 ・ダノン城沼アリーナLED照明設備改修工事設計業務委託【新】 ・ダノン城沼アリーナエレベーター設置工事設計業務委託【新】	①公園競技施設管理運営 ②公園競技施設の整備【重】 ・ダノン城沼アリーナ外壁改修工事（北面） ・ダノン城沼アリーナLED照明設備改修工事 ・ダノン城沼アリーナエレベーター設置工事	①公園競技施設管理運営 ②公園競技施設の整備【重】 ・ダノン城沼アリーナ外壁改修工事（西面） ・運動場内監視カメラ改修工事					
事業費	345,351		302,161				48,844	
国庫	0		0				0	
県費	2,470		27,590				0	
市債	239,400		257,900				32,000	
その他	13,368		0				0	
一般財源	90,113		16,671				16,844	

【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度					
			R3	R4	R5	R6	R7	
総合計画指標	スポーツ実施率（週1回以上）【総合戦略KPIを兼ねる】	31.3	目標値	37.5	40.7	43.8	46.9	60.0
		単位：%	実績値	49.6	60.4	54.9	60.6	
総合計画指標	スポーツ施設に関する満足度	45.3	目標値	46.9	47.6	48.4	49.2	60.0
		単位：%	実績値	42.6	39.7	38.6	46.8	
		目標値						
		実績値						
		目標値						
		実績値						

【令和6年度事業】事業評価調書

【事業の実績】

令和6年度予算額	345,351千円	令和6年度決算額	332,198千円
<p>【Do】 事業実績 (成果) ※過去3ヵ年</p> <p>主な内容</p> <p>〔令和4年度〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各施設、設備の保守管理業務委託 ・ダノン城沼アリーナ空調設備改修工事設計業務委託 ・ダノン城沼アリーナ東側外壁改修工事 ・城沼野球場高圧受電設備更新工事 ・多目的広場整地工事 ・移動式バスケットゴール購入 <p>〔令和5年度〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各施設、設備の保守管理業務委託 ・ダノン城沼アリーナ空調設備等改修工事 ・ダノン城沼アリーナ空調設備等改修工事監理業務委託 ・ダノン城沼アリーナ1階シャワー室改修工事 ・陸上競技場段差解消改修工事 ・乗用芝刈機リース <p>〔令和6年度〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各施設、設備の保守管理業務委託 ・ダノン城沼アリーナ空調設備等改修工事 ・ダノン城沼アリーナ南側外壁改修工事 ・ダノン城沼アリーナ構内電話交換設備等改修工事 ・ダノン城沼アリーナエレベーター設置工事設計業務委託 ・ダノン城沼アリーナLED照明設備改修工事設計業務委託 		<p>・施設利用者数（全体）</p> <p>令和4年度：163,957人 令和5年度：184,044人 令和6年度：200,997人</p>	

【事業の評価】

【Check】 指標評価	A					
事業の 必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の 有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の 効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	市民のスポーツ活動の拠点施設である公園競技施設を整備することは、市スポーツ協会及び加盟団体主催の各種スポーツ大会の実施による競技力の向上や地域住民の体力づくりなど健康増進に資するために不可欠な事業である。 今後も利用者のニーズを把握し、各施設の整備等を計画的に行いながら、スポーツ実施率の向上に繋げていく必要がある。					
課題	各施設の老朽化が著しく、多様化する市民ニーズに対し、スポーツ環境の整備が遅れている状況となっている。					
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 繼続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 (<input type="checkbox"/> 一部廃止)					
施設の老朽化対応として、引き続き定期的な点検、整備に重点を置くとともに、利用者が一年を通して快適にスポーツを行えるよう、各施設の利便性並びに安全性の向上に向け、中長期的な維持管理に取り組む。						
令和8年度 事業計画	公園競技施設（体育館、陸上競技場、野球場、庭球場、多目的広場、市民プール、グラウンドゴルフ場、弓道場、高根運動場、東山運動広場）の整備及び管理運営 内容：各施設（設備）の維持補修、グラウンド整備（芝刈り、整地等）					
予算規模 見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較					
備考						

【令和6年度事業】実施計画書

整理番号	202	重要事業	総合戦略	担当部署	スポーツ振興課 管理係・振興係
款・項・目		事業名	当初予算額 (R4)	当初予算額 (R5)	当初予算額 (R6)
10・6・1		保健体育総務	16,842千円	17,113千円	19,196千円

【総合計画との関連】

基本目的	▶III_育てる幸せを感じ生涯にわたり互いに学び続ける家庭と文化を築くまち
施策目的	▶16_スポーツを生活に取り入れ.誰もがスポーツを楽しめるまちになる
施策の方向	▶2_スポーツ活動への支援

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	体育・スポーツの普及振興に努め、スポーツによる社会参加と生きがいづくりを推進する。
令和6年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
①体育総務	
・第三次生涯スポーツ推進計画の進捗管理 第三次生涯スポーツ推進計画の周知及びスポーツ、レクリエーション活動に対する市民ニーズの把握を図り、生涯スポーツのまちの実現を目指す。	
・スポーツ推進委員会運営 スポーツ推進委員会を運営し、スポーツ推進委員によるスポーツの日常化を推進し、市民の健康増進と体力づくりの促進を図る。	
②社会体育団体育成指導等	
・体育協会事業費補助金 館林市における体育・スポーツ団体を総括し、体育・スポーツの普及と体力づくりの振興を図り、もって市民の健全な心身の進展に寄与することを目的とする。	
・スポーツ少年団運営費補助金 スポーツ少年団の普及と育成及び活動の活性化を図るとともに、スポーツを通じて青少年の心身の健全な育成に資することを目的とする。	
・スポーツ推進委員会事業費補助金 第三次館林市生涯スポーツ推進計画の実行と市民スポーツ及びレクリエーションの普及振興を図るため、研究、協議並びに指導の実践活動を行う。	

【事業スケジュール】

(単位 : 千円)

事業 スケジュール	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	①体育総務 ・スポーツ推進委員会運営 ・関東スポーツ推進委員研究大会 群馬大会参加 ②社会体育団体育成指導等 ・体育協会事業補助金交付 ・スポーツ少年団運営費補助金交付 ・スポーツ推進委員会事業補助金交付	①体育総務 ・スポーツ推進委員会運営 ②社会体育団体育成指導等 ・体育協会事業補助金交付 ・スポーツ少年団運営費補助金交付 ・スポーツ推進委員会事業補助金交付	①体育総務 ・スポーツ推進委員会運営 ②社会体育団体育成指導等 ・体育協会事業補助金交付 ・スポーツ少年団運営費補助金交付 ・スポーツ推進委員会事業補助金交付
事業費	19,196	19,000	18,500
国庫	0		
県費	0		
市債	0		
その他	193	58	58
一般財源	19,003	18,942	18,442

【関連する指標】

	指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
総合計画指 標	スポーツ実施率（週1回以上）【総合戦略KPIを兼ねる】	31.3	目標値	37.5	40.7	43.8	46.9	50.0
		単位 : %	実績値	49.6	60.4	54.9	60.6	
総合計画指 標	スポーツ施設に関する満足度	45.3	目標値	46.9	47.6	48.4	49.2	50.0
		単位 : %	実績値	42.6	39.7	38.6	46.8	
			目標値					
		単位 :	実績値					

【令和6年度事業】事業評価調書

【事業の実績】

令和6年度予算額	23,331千円	令和6年度決算額	22,795千円
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ年	<ul style="list-style-type: none"> ○スポーツ協会 <ul style="list-style-type: none"> ・団体数 (R4:38, R5:38, R6:36) ・支部数 (R4:8支部, R5:8支部, R6:8支部) ・会員数 (R4:5,729, R5:5,171, R6:4,787) ○スポーツ少年団 <ul style="list-style-type: none"> ・団体数 (R4:27, R5:26, R6:24) ・団員数 (R4:430, R5:407, R6:434) 	<ul style="list-style-type: none"> ○補助金の交付 <ul style="list-style-type: none"> ・体育協会事業補助金 〔令和4年度〕 3,112千円 〔令和5年度〕 3,094千円 〔令和6年度〕 3,033千円 ・スポーツ少年団運営費補助金 〔令和4年度〕 657千円 〔令和5年度〕 615千円 〔令和6年度〕 615千円 	<ul style="list-style-type: none"> ○会計年度任用職員の雇用数 〔令和4年度〕 6人 〔令和5年度〕 8人 〔令和6年度〕 8人

【事業の評価】

【Check】 指標評価	A					
事業の 必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の 有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の 効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	<ul style="list-style-type: none"> ・本市におけるスポーツ関係組織の中核的かつ重要な役割を果たしているスポーツ協会やスポーツ少年団を財政的に支援することにより、年間を通じて各種スポーツ大会を開催し、市民がスポーツに取り組む機会の創出及び競技力の向上につながった。 ・会計年度任用職員については、施設の利用予約や受付業務（窓口、電話等）で多くの利用者への応対を行うほか、屋外施設の維持管理業務（機械による整地や除草）を行う必要があるため、今後も継続的な雇用が必要と考える。 					
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ協会やスポーツ少年団の会員数及び団体数が年々減少傾向にあることや、スポーツ推進委員の高齢化が進み担い手不足になっているなど、スポーツを推進するための組織活動が難しくなっている。 ・会計年度任用職員に関しては、不規則勤務等であることなどから、今後の職員確保が困難になることが予測されるため、体制の検討が必要である。人員不足のため、屋外施設の維持管理業務を正規職員が実施している状況にある。 					
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<ul style="list-style-type: none"> ■ 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 (<input type="checkbox"/> 一部廃止) 					
令和8年度 事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ○補助金の交付 <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ協会事業補助金 ・スポーツ少年団運営費補助金 ・スポーツ推進委員会事業費補助金 ○会計年度任用職員の継続雇用及び見直し（施設維持管理担当の増員） 					
予算規模 見込み	<ul style="list-style-type: none"> ■ 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 					
※前年度比較						
備考						

【令和6年度事業】実施計画書

整理番号	203	重要事業		総合戦略		担当部署	スポーツ振興課	振興係
款・項・目	事業名			当初予算額 (R4)	当初予算額 (R5)	当初予算額 (R6)		
10・6・1	体育・スポーツの振興(市民体育行事)			3,335千円	3,335千円	4,472千円		

【総合計画との関連】

基本目的	▶III_育てる幸せを感じ生涯にわたり互いに学び続ける家庭と文化を築くまち
施策目的	▶16_スポーツを生活に取り入れ誰もがスポーツを楽しめるまちになる
施策の方向	▶1_スポーツ環境の充実

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	市民を対象とした各種体育行事を開催し、健康体力づくりを図るとともに、体育・スポーツ活動の日常化を促進する。
令和6年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
①たてばやしスポーツレクリエーション祭 スポーツ・レクリエーションを体験・交流できる機会を提供することにより、市民の健康保持増進と生涯スポーツへの関心を高めるとともに、スポーツを通じた地域の連帯意識の高揚・住みよい地域社会づくりを推進する。	
②市民総合体育大会春季大会 体育協会加盟団体を中心として、広く市民参加を募り、スポーツ活動の推進と競技力向上を図る。	
③市民歩け歩け大会 自然の中を歩くことの楽しさ、素晴らしさを仲間と体験しながら、健康とふれあいの大切さの認識を深める。	
④たてばやし水泳大会 健康体力づくり促進と水泳競技の普及促進を図る。	
⑤たてばやし駅伝大会 仲間と連帯意識を育むとともに、健康増進と競技スポーツとしての選手育成を図る。	
⑥たてばやしシャトルマラソン大会 走ることにより健康の保持増進と体力の向上を図り、あわせて明るく楽しい活力に満ちた地域社会づくりに寄与する。	
⑦市制施行70周年記念事業	

【事業スケジュール】

(単位：千円)

		令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業 スケジュール	①市民体育行事 ・たてばやしスポーツレクリエーション祭の開催 ・市民総合体育大会春季大会の開催 ・市民歩け歩け大会の開催 ・たてばやし水泳大会の開催 ・たてばやし駅伝大会の開催 ・たてばやしシャトルマラソン大会の開催 ・市制施行70周年記念スポーツ講演会の開催 ・市制施行70周年記念巡回ラジオ体操の開催	①市民体育行事 ・たてばやしスポーツレクリエーション祭の開催 ・市民総合体育大会春季大会の開催 ・市民歩け歩け大会の開催 ・たてばやし水泳大会の開催 ・たてばやし駅伝大会の開催 ・たてばやしシャトルマラソン大会の開催	①市民体育行事 ・たてばやしスポーツレクリエーション祭の開催 ・市民総合体育大会春季大会の開催 ・市民歩け歩け大会の開催 ・たてばやし水泳大会の開催 ・たてばやし駅伝大会の開催 ・たてばやしシャトルマラソン大会の開催	①市民体育行事 ・たてばやしスポーツレクリエーション祭の開催 ・市民総合体育大会春季大会の開催 ・市民歩け歩け大会の開催 ・たてばやし水泳大会の開催 ・たてばやし駅伝大会の開催 ・たてばやしシャトルマラソン大会の開催
事業費	4,472		3,300	3,300
財源	国庫	0		
	県費	0		
	市債	0		
	その他	0		
	一般財源	4,472	3,300	3,300

【関連する指標】

総合計画指 標	指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
総合計画指 標	スポーツ実施率（週1回以上）【総合戦略KPIを兼ねる】	31.3	目標値	37.5	40.7	43.8	46.9	50.0
		単位：%	実績値	49.6	60.4	54.9	60.6	
			目標値					
		単位：	実績値					
			目標値					
		単位：	実績値					
			目標値					
		単位：	実績値					

【令和6年度事業】事業評価調査

【事業の実績】

令和6年度予算額	4,472 千円	令和6年度決算額	3,646 千円	
<p>■令和4年度実施事業 歩け歩け大会（春）、支部対抗ターゲットバードゴルフ大会、支部対抗グラウンドゴルフ大会、水泳大会、スポーツレクリエーション祭、ウォークラリー、駅伝大会、スキーダービー、マラソン大会、市民レクリエーション大会 ※中止事業【市民総体春季総合開会式、市民総合体育祭、支部対抗球技大会（4種目）】 ※廃止事業【小学生なわとび大会】</p> <p>■令和5年度実施事業 歩け歩け大会（春）、水泳大会、スポーツレクリエーション祭、ウォークラリー、駅伝大会、スキーダービー、マラソン大会、市民レクリエーション大会 ※廃止事業【市民総体春季総合開会式、市民総合体育祭、支部対抗球技大会（4種目）】</p> <p>■令和6年度実施事業 歩け歩け大会（春）、水泳大会、スポーツレクリエーション祭、ウォークラリー、増田明美スポーツ講演会、駅伝大会、スキーダービー、マラソン大会、市民レクリエーション大会</p> <p>■市民体育行事の開催 令和4年度：延 4,032人参加 令和5年度：延 3,273人参加 令和6年度：延 5,798人参加</p>				

【事業の評価】

【Check】 指標評価	A					
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	<ul style="list-style-type: none"> 年間を通じて各種スポーツ行事を開催することで、市民にスポーツに取り組む機会を提供するとともに、スポーツに取り組んだ成果を発揮する機会を提供することができた。 市制施行70周年及びスポーツ健康都市宣言40周年を機に、スポーツレクリエーション祭の見直しやスポーツ講演会の実施により、スポーツに対する関心を高め、行事参加者の増加につながった。 各種大会をとおして、地域や競技団体との連携と協調を高めるとともに、心身の健康増進、生きがいづくりに寄与し、より良い地域社会の構築に成果が上げられている。 					
課題	<p>ライフスタイルの変化やスポーツの多様化並びに少子高齢化に伴い、事業参加者の減少や役員の担い手不足等の課題が表面化しており、今後、事業の見直し等を検討しなくてはならない。</p>					
【Action】 今後の方向性 ・内容	<p><input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> (一部廃止)</p> <ul style="list-style-type: none"> 市民スポーツの普及振興及び市民の健康増進のために必要不可欠な事業であることから、今後も年間を通じて市民スポーツ行事を開催する。 ライフスタイルの変化やスポーツの多様化により、従来の伝統的な競技スポーツのみならずニュースポーツに親しむ動きがあることから、市民の誰もが気軽にスポーツに親しめる環境を整えていく。 					
令和8年度事業計画	<p>歩け歩け大会（春）、水泳大会、ウォークラリー、スポーツレクリエーション祭、駅伝大会、スキーダービー、マラソン大会等の開催</p>					
予算規模見込み	<p><input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小</p> <p>※前年度比較</p>					
備考						

【令和6年度事業】実施計画書

整理番号	204	重要事業	総合戦略	担当部署	スポーツ振興課 振興係
款・項・目	事業名		当初予算額 (R4)	当初予算額 (R5)	当初予算額 (R6)
10・6・1	体育・スポーツの振興 (全国・関東・県下体育事業派遣)		1,818千円	1,808千円	1,634千円

【総合計画との関連】

基本目的	▶III_育てる幸せを感じ生涯にわたり互いに学び続ける家庭と文化を築くまち
施策目的	▶16_スポーツを生活に取り入れ.誰もがスポーツを楽しめるまちになる
施策の方向	▶3_競技スポーツの推進

【事業の目的及び内容】

【Plan】事業目的	スポーツ競技選手の養成と競技力の向上に努めるとともに、県民スポーツ大会等へスポーツ競技優秀者を市の代表として派遣する。
令和6年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
①県民スポーツ大会夏季大会〔水泳〕選手派遣 県内の市対抗で行われる水泳競技に、本市の代表として選手役員を派遣する。	
②県民スポーツ大会秋季大会選手派遣 県内の市・郡別対抗で行われる17競技に、本市の代表として選手役員を派遣する。	
③県民スポーツ大会駅伝競走大会選手派遣 県内の市対抗で行われ、館林邑楽チームの代表として、本市から選手役員を派遣する。	
④県民スポーツ大会冬季大会選手派遣 県内の市対抗で行われる冬季2大会に、本市の代表として選手役員を派遣する。	
⑤県スポーツ少年団大会選手派遣 県下全市町村のスポーツ少年団交流事業として行われる8競技に、選手役員を派遣する。	

【事業スケジュール】

(単位 : 千円)

事業スケジュール	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	①全国・関東・県下体育事業派遣・県民スポーツ大会夏季大会〔水泳〕への選手派遣 ・県民スポーツ大会秋季大会への選手派遣 ・県民スポーツ大会駅伝競走大会への選手派遣 ・県民スポーツ大会冬季大会への選手派遣 ・県スポーツ少年団大会への選手派遣	①全国・関東・県下体育事業派遣・県民スポーツ大会夏季大会〔水泳〕への選手派遣 ・県民スポーツ大会秋季大会への選手派遣 ・県民スポーツ大会駅伝競走大会への選手派遣 ・県民スポーツ大会冬季大会への選手派遣 ・県スポーツ少年団大会への選手派遣	①全国・関東・県下体育事業派遣・県民スポーツ大会夏季大会〔水泳〕への選手派遣 ・県民スポーツ大会秋季大会への選手派遣 ・県民スポーツ大会駅伝競走大会への選手派遣 ・県民スポーツ大会冬季大会への選手派遣及び令和7年度当番市(スケート)の準備 ・県スポーツ少年団大会への選手派遣
事業費	1,634	1,900	1,900
国庫	0	0	0
県費	0	0	0
市債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	1,634	1,900	1,900

【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
総合計画指標	スポーツ実施率(週1回以上)【総合戦略KPIを兼ねる】	31.3 単位 : %	目標値 実績値	37.5 49.6	40.7 60.4	43.8 54.9	46.9 60.6
		目標値 実績値					
		目標値 実績値					
		目標値 実績値					

【令和6年度事業】事業評価調書

【事業の実績】

令和6年度予算額	1,634千円	令和6年度決算額	1,473千円
<p>■令和4年度派遣実績 県民夏季（水泳）、県民秋季（13競技派遣）、 県民冬季（スキー）、県スポーツ少大会（4競技） ※中止事業【県民冬季（スケート）、駅伝競走（廃止）】</p> <p>■令和5年度派遣実績 県民夏季（水泳）、県民秋季（14競技派遣）、 県民冬季（スキー、スケート）、県スポーツ少大会（6競技）</p> <p>■令和6年度派遣実績 県民夏季（水泳）、県民秋季（14競技派遣）、 県民冬季（スキー、スケート）、県スポーツ少大会（5競技）</p> <p>■県民スポーツ大会等への派遣実績 令和4年度：延 280人派遣 令和5年度：延 277人派遣 令和6年度：延 289人派遣</p>			

【事業の評価】

【Check】 指標評価	A
事業の 必要性	<p>■ 高 政策の推進において不可欠な事業である</p> <p>□ 中</p> <p>□ 低 政策の推進に寄与している事業である</p> <p>目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある</p>
事業の 有効性	<p>□ 高 成果が高水準にある</p> <p>■ 中 適切な成果が得られている</p> <p>□ 低 成果が低水準にある</p>
事業の 効率性	<p>□ 高 費用対効果が高水準にある</p> <p>■ 中 適切な費用対効果が得られている</p> <p>□ 低 費用対効果が低水準にある</p>
評価根拠	<ul style="list-style-type: none"> ・県民スポーツ大会への出場を通じて、スポーツ競技力の維持及び向上を図ることができた。 ・大会に出場する競技団体への支援や、県民スポーツ大会に向けた強化練習会を開催した。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・少子高齢化等による競技人口の減少、競技団体組織の高齢化、役員・指導者の不足等による組織力の低下が懸念され、競技スポーツの衰退に繋がりかねない。 ・競技スポーツの普及振興を図るために、競技団体の組織力強化及び選手の技術向上を担うための指導者確保を継続的に行わなければならない。
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<p>■ 継続 □ 拡大 □ 改善 □ 代替 □ 統合 □ 縮小 □ 休止 □ 廃止 (□ 一部廃止)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・競技種目が多岐に渡るため、競技団体の考え方や指導方針・内容が異なるが、選手ファーストを基本とした指導体制を確立するため、選手育成に係る問題点や指導方法等について研鑽に努めていく。 ・各競技における指導者の養成を推進するとともに、資格を有する指導者の有効活用を図り、競技力向上に取り組んでいく。 ・顕著な実績を上げた選手のほか、本市のスポーツ振興・発展に尽力した役員や指導者の功績を称えることにより、競技力向上やスポーツ活動の一層の振興を図る。
令和8年度 事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ○選手派遣 <ul style="list-style-type: none"> ・県民夏季（水泳）、県民秋季（17競技）、県民冬季（スキー・スケート）、県スポーツ少大会等 ○館林市スポーツ大会壮行金制度 <ul style="list-style-type: none"> ・全国大会等に出場する選手等への壮行金交付
予算規模 見込み	<p>■ 同規模 □ 拡大 □ 縮小</p> <p>※前年度比較</p>
備考	

【令和6年度事業】実施計画書

整理番号	205	重要事業	○	総合戦略	○	担当部署	スポーツ振興課	振興係
款・項・目	事業名			当初予算額 (R4)	当初予算額 (R5)	当初予算額 (R6)		
10・6・1	体育・スポーツの振興 (生涯スポーツ振興事業)			1,381千円	1,373千円	1,327千円		

【総合計画との関連】

基本目的	▶III_育てる幸せを感じ生涯にわたり互いに学び続ける家庭と文化を築くまち
施策目的	▶16_スポーツを生活に取り入れ.誰もがスポーツを楽しめるまちになる
施策の方向	▶1_スポーツ環境の充実

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	スポーツを日常生活に欠かせない文化として根付かせるとともに、地域住民一人ひとりの取り組みが、継続して実施されるよう、各般にわたるスポーツ環境の整備のための事業を推進する。
令和6年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
①スポーツ教室の開催 スポーツ・レクリエーション活動の振興と市民の健康増進を図るために、各種スポーツ教室を開催し、これまでスポーツ活動機会の少なかったかたに、スポーツに親しむ機会を提供する。	
②ファミリースポーツ活動推進事業 親子のふれあいを深めることを目的に、体を動かすことの楽しさ・大切さを知る機会とする。	
③中高年スポーツ活動推進事業 中高年を対象に、健康の保持増進と仲間づくりを図りながら、生涯スポーツ活動の普及を推進する。	
④健康づくり事業 市民が健康で自立した生活を維持するため、運動習慣の継続が可能となる環境整備を行う。	
⑤地域スポーツ活動推進事業 スポーツ・レクリエーション活動を通じて地域住民の連帯の輪を深め、一人ひとりが健康体力の保持増進を図り、生涯にわたりスポーツに親しむことを目的とする。	

【事業スケジュール】

(単位：千円)

事業 スケジュール	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	①生涯スポーツ振興事業【重】 ・スポーツ教室の開催 ・ファミリースポーツ活動推進事業の実施 ・中高年スポーツ活動推進事業の実施 ・健康づくり事業の実施 ・地域スポーツ活動推進事業の実施	①生涯スポーツ振興事業【重】 ・スポーツ教室の開催 ・ファミリースポーツ活動推進事業の実施 ・中高年スポーツ活動推進事業の実施 ・健康づくり事業の実施 ・地域スポーツ活動推進事業の実施	①生涯スポーツ振興事業【重】 ・スポーツ教室の開催 ・ファミリースポーツ活動推進事業の実施 ・中高年スポーツ活動推進事業の実施 ・健康づくり事業の実施 ・地域スポーツ活動推進事業の実施
事業費	1,327	1,400	1,400
国庫	0	0	0
県費	0	0	0
市債	0	0	0
その他	175	175	175
一般財源	1,152	1,225	1,225

【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
総合計画 指標	スポーツ実施率（週1回以上）【総合戦略KPIを兼ねる】	31.3	目標値	37.5	40.7	43.8	46.9
		単位：%	実績値	49.6	60.4	54.9	60.6
総合計画 指標	各種スポーツ教室への参加者数	706	目標値	804	853	902	951
		単位：人	実績値	469	602	133	66
			目標値				
		単位：	実績値				
			目標値				
		単位：	実績値				

【令和6年度事業】事業評価調査

【事業の実績】

令和6年度予算額	1,327千円	令和6年度決算額	444千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	<p>■令和4年度実施事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ教室：柔軟性アップ！ボディメンテナンス教室ほか7教室（1教室中止） ・ファミリースポーツ活動：親子de卓球体験教室ほか1教室 ・地域スポーツ活動（3支部実施・5支部中止） ・スポーツ指導者講習会（3回実施）、スポーツ医科学講演会 ・定期ふれあいウォーク（4回実施）、たてばやしウォーク2022（3回実施） <p>※中止事業【大人のためのラグビー初心者教室】</p> <p>■令和5年度実施事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ教室：寒さに負けるな！ホットな体をつくるヨガ教室ほか1教室 ・ファミリースポーツ活動：柔道の受け身から学ぶ親子ころび方教室 ・地域スポーツ活動（5支部実施・3支部中止） ・スポーツ指導者講習会（2回実施）、スポーツ医科学講演会 ・定期ふれあいウォーク（3回実施）、たてばやしウォーク2023（2回実施） <p>※中止事業【ヘルスバレーボール体験教室】</p> <p>■令和6年度実施事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ教室：城沼ボート教室、ランニング教室 ・地域スポーツ活動（8支部実施） ・スポーツ医科学講演会 ・定期ふれあいウォーク（2回実施）、たてばやしウォーク2024（3回実施） <p>■生涯スポーツ振興事業の開催</p> <p>令和4年度：延 1,659人参加 令和5年度：延 998人参加 令和6年度：延 1,179人参加</p>			

【事業の評価】

【Check】 指標評価	B				
事業の 必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 て不可欠な事業で ある	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進において 政策の推進に寄与 している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有 無について検討の余地がある
事業の 有効性	<input type="checkbox"/> 高 成果が高水準にあ る	<input type="checkbox"/> 中	適切な成果が得ら れている	<input checked="" type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の 効率性	<input type="checkbox"/> 高 費用対効果が高水 準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果 が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	<ul style="list-style-type: none"> ・年齢、性別、障がいの有無にかかわらず、対象者の特性やニーズに応じた事業を行うことで、日常生活に運動・スポーツを取り入れるきっかけを提供することができた。 ・ランニング教室や地域スポーツ活動は、企業やスポーツ協会支部との協働・連携により実施できたものの、スポーツ教室自体の実施数が減少したため、指標の実績値が低下した。 ・医科学講演会等を実施し、健康の保持増進やスポーツに関する傷害等の早期発見、早期治療及びその予防を図ることができた。 				
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・少子高齢化等による競技人口の減少、競技団体組織の高齢化、役員・指導者の不足等による組織力の低下が懸念され、競技スポーツの衰退に繋がりかねない。 				
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 (<input type="checkbox"/> 一部廃止)				
	<p>地域スポーツの普及振興のために、幅広い年齢層を対象にニーズの把握等に努め、種目などの工夫による継続した事業展開を図っていく。</p>				
令和8年度 事業計画	<p>健康づくり事業・スポーツ教室の開催、ファミリースポーツ活動、地域スポーツ活動（8支部）、各種ウォーキング事業、体力測定、レクリエーション大会、軽スポーツ出前講座の開催</p>				
予算規模 見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較				
備考					

【令和6年度事業】実施計画書

整理番号	206	重要事業		総合戦略		担当部署	スポーツ振興課 振興係
款・項・目		事業名		当初予算額 (R4)	当初予算額 (R5)	当初予算額 (R6)	
10・6・1		体育・スポーツの振興 (少年スポーツ交流事業)		167千円	190千円	190千円	

【総合計画との関連】

基本目的	▶III_育てる幸せを感じ生涯にわたり互いに学び続ける家庭と文化を築くまち
施策目的	▶16_スポーツを生活に取り入れ.誰もがスポーツを楽しめるまちになる
施策の方向	▶2_スポーツ活動への支援

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	大規模災害時の相互応援協定の締結を機に、埼玉県志木市との相互交流を深めるとともに、少年スポーツ活動の育成及び定着化を図る。
令和6年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
①少年スポーツ交流事業 埼玉県志木市との大規模災害時の相互応援協定の締結を機に、スポーツ少年団同士が隔年でお互いに行き来して交流し、同じスポーツ種目を愛好する仲間や親子の心と心のふれあいを深めることを目的とする。	

【事業スケジュール】

(単位 : 千円)

事業 スケジュール	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	①少年スポーツ交流事業 ・館林市と志木市スポーツ少年団交流事業の実施【志木市開催】	①少年スポーツ交流事業 ・館林市と志木市スポーツ少年団交流事業の実施【館林市開催】	①少年スポーツ交流事業 ・館林市と志木市スポーツ少年団交流事業の実施【志木市開催】
事業費	190	45	170
財源	国庫 0	0	0
	県費 0	0	0
	市債 0	0	0
	その他 0	0	0
	一般財源 190	45	170

【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度					
			R3	R4	R5	R6	R7	
総合計画指標	スポーツ実施率（週1回以上）【総合戦略KPIを兼ねる】	31.3 単位 : %	目標値 実績値	37.5 49.6	40.7 60.4	43.8 54.9	46.9 60.6	50.0
			目標値 実績値					
			目標値 実績値					
			目標値 実績値					

【令和6年度事業】事業評価調査

【事業の実績】

令和6年度予算額	190千円	令和6年度決算額	0千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ年	・館林市・志木市スポーツ少年団交流大会 令和4年度：中止（志木市開催・サッカー） 令和5年度：中止（志木市開催・サッカー） 令和6年度：中止（志木市開催・サッカー）			

【事業の評価】

【Check】 指標評価	A					
事業の 必要性	<input type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input checked="" type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の 有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input checked="" type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の 効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input checked="" type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	志木市との交流会は令和2年度以降、開催中止となっており、令和6年度に関しても中止となった。理由としては志木市の交流種目団体が減少しており、交流事業の実施が難しくなっていることが挙げられる。当該事業は平成10年度から行われ、隔年でお互いの市を会場に単位団の交流を図ることで、長年にわたり少年期においての貴重な経験の場を提供してきたが、現状を鑑みると当初の目的は達成されたものと考える。					
課題	志木市と本市の交流種目において合致する競技種目が少ないため、多くの団員が交流の恩恵を享受できない。					
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 一部廃止					
	交流当初の目的をある程度達成していること、交流種目が限られていること、また少子化による団員の減少により交流が難しくなってきてることを鑑み、廃止する。					
令和8年度 事業計画	なし					
予算規模 見込み	<input type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較					
備考						

【令和6年度事業】実施計画書

整理番号	207	重要事業		総合戦略		担当部署	スポーツ振興課 管理係
款・項・目		事業名		当初予算額 (R4)	当初予算額 (R5)	当初予算額 (R6)	
10・6・1		学校体育施設開放事業		2,041千円	1,991千円	1,991千円	

【総合計画との関連】

基本目的	▶III_育てる幸せを感じ生涯にわたり互いに学び続ける家庭と文化を築くまち
施策目的	▶16_スポーツを生活に取り入れ.誰もがスポーツを楽しめるまちになる
施策の方向	▶2_スポーツ活動への支援

【事業の目的及び内容】

【Plan】事業目的	地域におけるスポーツ活動の拠点として、学校体育施設を開放し、広く市民のスポーツ活動の推進を図る。 施設：市内の小・中学校及び特別支援学校（計17校）
令和6年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
①学校体育施設開放事業の推進 ・市民のスポーツ活動の場として市内の小・中学校、特別支援学校の体育施設（校庭、体育館等）を開放し、健康体力づくりの促進とスポーツ活動の日常化を図る。運営については、各校の利用者で組織された学校開放運営委員に委託を行う。 ・体育施設利用中の体調の急変等に備え、各校に自動体外式除細動器（AED）を設置する。 ・夜間照明設備等の維持補修を行う。	

【事業スケジュール】

（単位：千円）

事業スケジュール	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	①学校体育施設開放事業の推進 ・学校体育施設開放事業運営委託 ・自動体外式除細動器（AED）設置 ・屋外照明修繕	①学校体育施設開放事業の推進 ・学校体育施設開放事業運営委託 ・自動体外式除細動器（AED）設置 ・屋外照明修繕	①学校体育施設開放事業の推進 ・学校体育施設開放事業運営委託 ・自動体外式除細動器（AED）設置 ・屋外照明修繕
事業費	1,991	2,000	2,000
国庫	0	0	0
県費	0	0	0
市債	0	0	0
その他	100	100	100
一般財源	1,891	1,900	1,900

【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
総合計画指標	スポーツ実施率（週1回以上）【総合戦略KPIを兼ねる】	31.3 単位：%	目標値 実績値	37.5 49.6	40.7 60.4	43.8 54.9	46.9 60.6
総合計画指標	スポーツ施設に関する満足度	45.3 単位：%	目標値 実績値	46.9 42.6	47.6 39.7	48.4 38.6	49.2 46.8
			目標値				
		単位：	実績値				
			目標値				
		単位：	実績値				

【令和6年度事業】事業評価調査

【事業の実績】

令和6年度予算額	1,991 千円	令和6年度決算額	1,457 千円
<p>【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年</p> <p>〔令和4年度〕 ・第二中学校夜間照明設備修繕</p> <p>〔令和5年度〕 ・第二小学校体育館バスケットゴール修繕 ・第四小学校バックネット修繕 ・第一中学校夜間照明設備修繕 ・第二中学校プレハブ物置修繕</p> <p>〔令和6年度〕 ・第一小学校体育館バレーボール支柱差込口修繕 ・第三小学校体育館バレーボールネット修繕 ・第五小学校体育館バレーボールネット修繕 ・第五小学校体育館バレーボールネット修繕</p>			

【事業の評価】

【Check】 指標評価	A					
事業の 必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の 有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の 効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	<p>学校開放事業対象施設を整備することにより、各利用団体のスポーツ活動の促進が図られるほか、地域住民の体力づくりや健康増進に資するために不可欠な事業である。</p> <p>今後も利用者のニーズを把握し、各学校施設の整備等を計画的に行いながら、スポーツ実施率の向上に繋げていく必要がある。</p>					
課題	<p>各校の学校開放運営委員会の組織力に差があり、自主運営を行っている委員会が少ない。また、一部の利用者によるルールやマナー違反により、学校だけでなく施設外からも苦情等が寄せられている。</p>					
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<p><input checked="" type="checkbox"/> 繼続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 (<input type="checkbox"/> 一部廃止)</p> <p>各運営委員会ごとで意見交換等を積極的に行い、共通認識を図りながら、自主運営化の徹底を周知していく。</p>					
令和8年度 事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・学校開放運営委員会の開催 各委員会の運営形態や自主活動が十分になされていないことを踏まえ、引き続き会議等を開催し、事業内容の説明や団体間で情報交換等を行いながら、事業の標準化を図る。 ・屋外照明設備修繕の実施 					
予算規模 見込み	<p><input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小</p> <p>※前年度比較</p>					
備考						

【令和6年度事業】実施計画書

整理番号	208	重要事業		総合戦略		担当部署	スポーツ振興課 振興係
款・項・目		事業名		当初予算額 (R4)	当初予算額 (R5)	当初予算額 (R6)	
10・6・1		国民スポーツ大会事業		0千円	0千円	4,950 千円	

【総合計画との関連】

基本目的	▶III_育てる幸せを感じ生涯にわたり互いに学び続ける家庭と文化を築くまち
施策目的	▶16_スポーツを生活に取り入れ.誰もがスポーツを楽しめるまちになる
施策の方向	▶2_スポーツ活動への支援

【事業の目的及び内容】

【Plan】事業目的	令和11年に本市で開催される「第83回国民スポーツ大会（ローイング・レスリング・軟式野球）」の開催準備及び大会運営を行うことを目的とする。
令和6年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
①国民スポーツ大会事業 城沼ローイングコース測量業務委託 ・第83回国民スポーツ大会ローイング競技に必要となるローイングコース(6コース)の線形を決定し、コース周辺陸上にその方向基準杭(48点)の側設を実施したもの。	

【事業スケジュール】

(単位 : 千円)

事業スケジュール	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	①国民スポーツ大会事業 ・城沼ローイングコース測量業務委託	①国民スポーツ大会事業 ・滋賀県で開催される国民スポーツ大会の視察研究 ・大会会場の施設整備等に係る見積徴収等の事前準備の実施 ・市実行委員会の設置準備	①国民スポーツ大会事業 ・大会会場の施設改修工事設計業務委託 ・市実行委員会の設置・運営
事業費	4,950	422	0
国庫	0		
県費	4,950		
市債	0		
その他	0		
一般財源	0	422	0

【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度					
			R3	R4	R5	R6	R7	
総合計画指標	スポーツ実施率（週1回以上）【総合戦略KPIを兼ねる】	31.3	目標値	37.5	40.7	43.8	46.9	50.0
		単位 : %	実績値	49.6	60.4	54.9	60.6	
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

【令和6年度事業】事業評価調書

【事業の実績】

令和6年度予算額	3,619千円	令和6年度決算額	3,619千円
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ年	主な内容 〔令和6年度〕 令和5年度の中央競技団体正規視察により城沼ローイングコースの測量実施の指摘を受け、競技の実施にはその対応・改善が必須であったことから、本委託の実施により、指摘の一部をクリアした。		

【事業の評価】

【Check】 指標評価	A					
事業の 必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の 有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	第83回国民スポーツ大会は群馬県を挙げて行う事業であり、館林市でも「スポーツ施設整備」や「大会実施による地域活性化」が市長公約となっている。令和6年度の城沼ローイングコース測量業務委託では競技実施のためのコース測量や基準点設置を行った。またローイング競技は特別競技であることから測量費用の全額が県費であり、市費による支出はない。なお本業務委託により、中央競技団体からの指摘の一部をクリアした。					
課題	競技施設の老朽化が激しく、競技実施には整備が必須となっている。これは、国民スポーツ大会での本市開催種目（レスリング・ローイング・軟式野球）全てにいえることであり、今後は時間的制約がある中の整備実施であるため、従事職員の増員や事業費の捻出が緊急の課題となっている。					
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 (<input type="checkbox"/> 一部廃止)					
各競技の実施に向けた整備や市実行委員会の立ち上げ、式典・警備・おもてなし・医療・輸送等、競技実施の諸調整を行う。 (各競技施設整備) レスリング：競技施設（ダノン城沼アリーナ）の改修（LED照明設置・EV設置）、競技用観客席（仮設）の設置 ローイング：競技施設（城沼）での仮設レーンの設置 軟式野球：城沼野球場の改修整備の実施						
令和8年度 事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・城沼野球場実施設計業務委託 ・市実行委員会の設立・運営、各種実施事項（式典・警備・おもてなし・医療・輸送等） 					
予算規模 見込み	<input type="checkbox"/> 同規模 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較					
備考						

【令和6年度事業】実施計画書

整理番号	209	重要事業	○	総合戦略		担当部署	スポーツ振興課 管理係
款・項・目		事業名		当初予算額 (R4)	当初予算額 (R5)	当初予算額 (R6)	
10・6・2		体育施設管理運営		7,174千円	8,257千円	8,197千円	

【総合計画との関連】

基本目的	▶III_育てる幸せを感じ生涯にわたり互いに学び続ける家庭と文化を築くまち
施策目的	▶16_スポーツを生活に取り入れ.誰もがスポーツを楽しめるまちになる
施策の方向	▶4_スポーツ施設の適正管理

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	社会体育施設（市民体育館、市営テニスコート、渡良瀬川河川敷青少年ひろば）の整備及び管理運営を図る。
令和6年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
①体育施設管理運営 ・社会体育施設の維持管理 多くの市民や競技者がスポーツ施設を安全かつ安心に利用できるよう、施設の点検及び整備に努めるとともに、設備の充実を図る。 ・市営テニスコートの除草、整地等の整備及び付帯設備（器具庫等）の維持補修を行う。	
②市民体育館整備【重要事業】 ・市民体育館の設備（電気、給排水、照明等）の保守点検、維持補修を行う。	
③青少年ひろば整備 ・青少年ひろば内のサッカー場、キャンプ場などの芝刈り、整地等の整備及び給排水設備の維持補修を行う。	

【事業スケジュール】

(単位：千円)

		令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業スケジュール	①体育施設管理運営 ・市営テニスコート設備修繕 ②市民体育館整備【重】 ・照明設備補修 ③青少年ひろば整備 ・芝刈り、整地等の整備 ・少年用サッカーゴール購入（入替）	①体育施設管理運営 ・市営テニスコート設備修繕 ②市民体育館整備【重】 ・樹木剪定委託 ③青少年ひろば整備 ・芝刈り、整地等の整備 ・少年用サッカーゴール購入（入替）	①体育施設管理運営 ・市営テニスコート設備修繕 ・ネット購入（入替） ②市民体育館整備【重】 ・照明設備補修 ③青少年ひろば整備 ・芝刈り、整地等の整備	
事業費	8,197		8,500	8,100
財源	国庫	0	0	0
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	433	27	27
	一般財源	7,764	8,473	8,073

【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
総合計画指標	スポーツ実施率（週1回以上）【総合戦略KPIを兼ねる】	31.3 単位：%	目標値 実績値	37.5 49.6	40.7 60.4	43.8 54.9	46.9 60.6
総合計画指標	スポーツ施設に関する満足度	45.3 単位：%	目標値 実績値	46.9 42.6	47.6 39.7	48.4 38.6	49.2 46.8
			目標値				
		単位：	実績値				
			目標値				
		単位：	実績値				

【令和6年度事業】事業評価調査

【事業の実績】

令和6年度予算額	8,197千円	令和6年度決算額	5,565千円
<p>【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年</p> <p>〔令和4年度〕 ・各施設、設備の保守管理業務委託 ・市民体育館軒下床タイル修繕 ・施設整備用車両修繕</p> <p>〔令和5年度〕 ・各施設、設備の保守管理業務委託 ・市民体育館バスケットゴール修繕 ・市民体育館男子トイレタイル修繕 ・市民体育館屋内照明修繕</p> <p>〔令和6年度〕 ・各施設、設備の保守管理業務委託 ・市民体育館屋内照明修繕 ・市民体育館誘導灯交換修繕 ・市民体育館北側ガラス修繕 ・少年用サッカーゴール購入</p>			

【事業の評価】

【Check】 指標評価	A					
事業の 必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の 有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の 効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	<p>社会体育施設を整備することにより、各団体のスポーツ活動の促進が図られるほか、市民の体力づくりや健康増進に繋がるうえで、不可欠な事業である。</p> <p>今後も利用者のニーズを把握し、各施設の整備等を計画的に行いながら、スポーツ実施率の向上に繋げていく必要がある。</p>					
課題	各施設の老朽化が著しく、多様化する市民ニーズへの対応に繋がる環境整備が遅れている状況となっている。					
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<p><input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 (<input type="checkbox"/> 一部廃止)</p> <p>施設の老朽化対応として、引き続き定期的な点検、整備に重点を置くとともに、利用者が一年を通して快適にスポーツを行えるよう、各施設の利便性・安全性向上に向け、中長期的な維持管理に取り組む。</p>					
令和8年度 事業計画	社会体育施設（市民体育館、市営テニスコート、渡良瀬川河川敷青少年ひろば）の整備及び管理運営 内容：各施設（設備）の維持補修、グラウンド整備（芝刈り、整地等）					
予算規模 見込み	<p><input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小</p> <p>※前年度比較</p>					
備考						